

山陽小野田市一般廃棄物処理基本計画

(計画期間：令和2年度～令和16年度)

令和2年3月
(令和7年3月改定)

山 陽 小 野 田 市

目 次

第 1 部 総論

第 1 章 計画策定の趣旨.....	1
1. 一般廃棄物処理基本計画の位置づけ	1
2. 計画の期間.....	2
3. 計画の性格と役割	2
4. 計画対象廃棄物	3
第 2 章 地域特性.....	4
1. 自然環境.....	4
2. 社会環境.....	6
3. 生活環境.....	14
4. 都市環境.....	15

第 2 部 ごみ処理基本計画

第 1 章 ごみ処理の現状と課題.....	17
1. ごみ処理の歴史的変遷	17
2. ごみ排出量の実績及び性状.....	18
3. ごみの減量・再生利用の実績.....	21
4. ごみ処理システム	29
第 2 章 ごみ処理基本計画	45
1. 基本理念.....	45
2. ごみ排出量の数値目標	46
3. 基本方針.....	53
4. ごみ処理主体	54
5. ごみの発生・排出削減のために【排出抑制の推進】	55
6. ごみの再資源化促進のために【リサイクルの推進】	58
7. ごみの適正処理のために【適正処理の推進】	60

第 3 部 生活排水処理基本計画

第 1 章 本市の水環境.....	67
第 2 章 生活排水処理の現状と課題.....	68
1. 生活排水処理の流れ	68
2. 生活排水処理の状況	69
3. 生活排水処理に関する課題.....	91
4. その他の動向等	93

第3章 生活排水処理基本計画.....	95
1. 基本理念・目標.....	95
2. 基本方針.....	95
3. 数値目標.....	96
4. 処理主体.....	96
5. 生活排水の処理計画.....	97
6. し尿・汚泥の処理計画.....	99
7. その他の計画.....	102

資料編

- 推計人口について
- ごみ量の推計について
- 生活排水処理形態別人口等の推計について

第1章 計画策定の趣旨

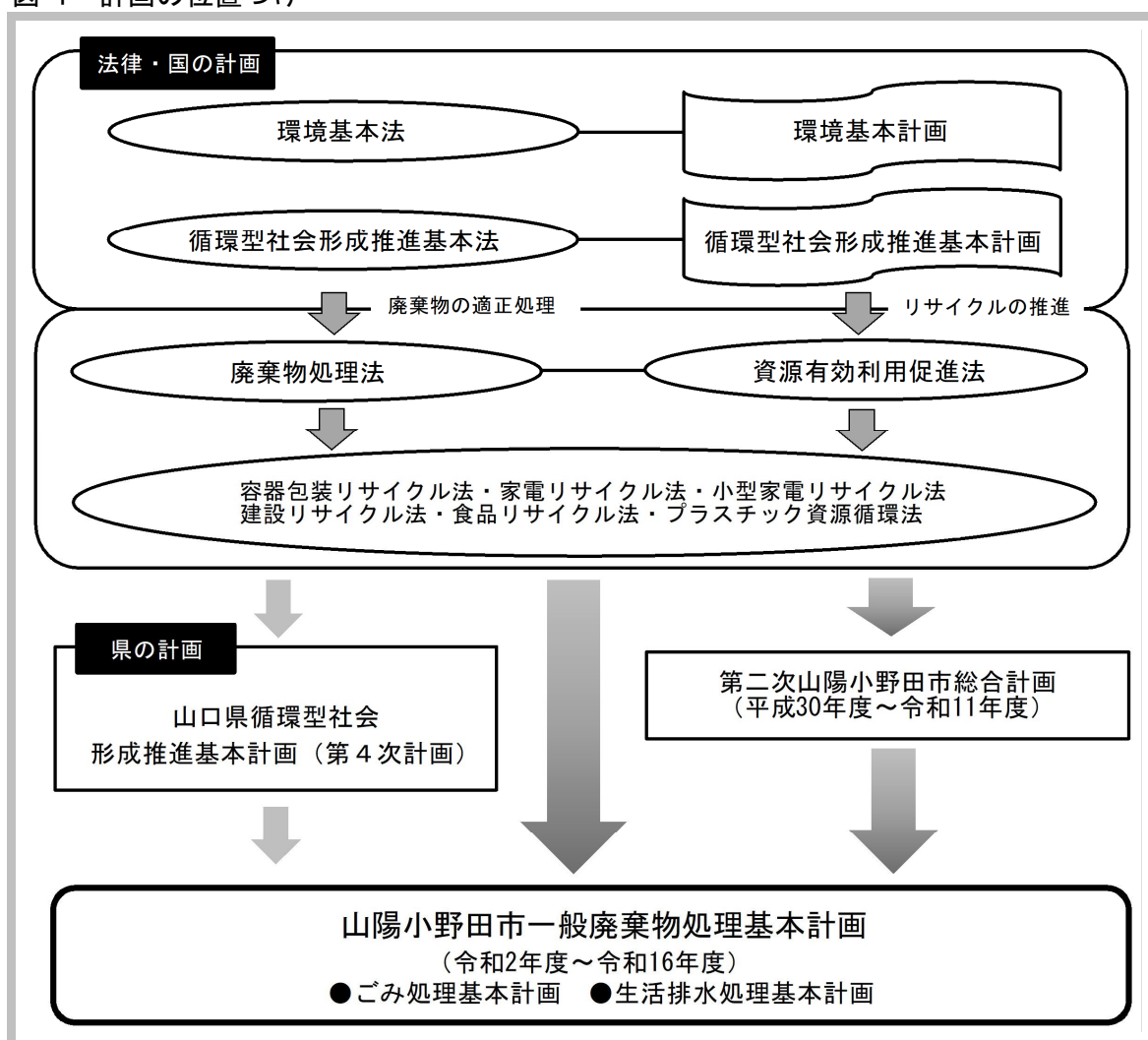
1. 一般廃棄物処理基本計画の位置づけ

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」（以下、「廃棄物処理法」という。）第6条第1項において、市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物処理計画を定めるものとされている。

山陽小野田市一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」という。）は、廃棄物処理法の目的である生活環境の保全と公衆衛生の向上を図りつつ、一般廃棄物の適正な処理を行うための所定の事項を定め、図1に示すように、国の法律・計画、山口県の『山口県循環型社会形成推進基本計画』及び『山陽小野田市総合計画』との整合を図り、山陽小野田市一般廃棄物処理基本計画（平成19年3月）の改定を行ったものである。

なお、本計画は、ごみに関するごみ処理基本計画と生活排水に関する生活排水処理基本計画で構成されている。

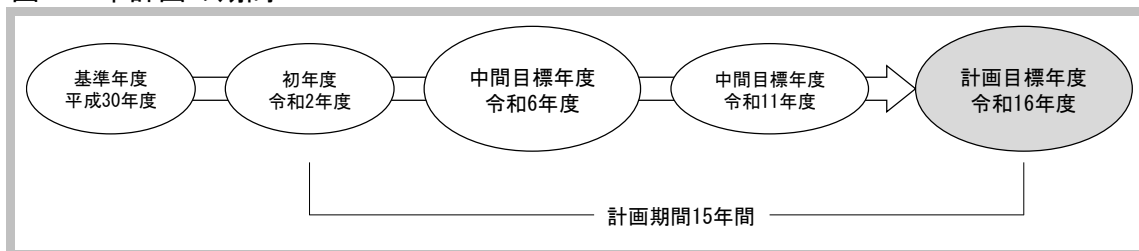
図1 計画の位置づけ



2. 計画の期間

本計画は、令和 2 年度を初年度とし、令和 16 年度を目標年度とする 15 か年計画とする。なお、概ね 5 年ごとに改定するものとし、本計画は中間目標年度（令和 6 年度）の改定となる。また、計画の前提となる諸条件に大きな変動があった場合にも見直しを行うものとする。

図 2 本計画の期間



※基準年度 ⇒ 平成 30 年度

- ・ 基準年度は、ごみ排出抑制目標値を設定するための現状を示すもので、本計画では、直近の実績である平成 30 年度とする。

※中間目標年度 ⇒ 令和 6 年度、令和 11 年度

- ・ 本計画では、目標達成の状況を確認するため、中間目標年度として令和 6 年度、令和 11 年度を設定する。

3. 計画の性格と役割

本計画は、長期的、総合的視点に立って一般廃棄物を適正に処理するために推進すべき施策・事業の基本方針を示したものである。

今後、本計画に基づき、市民・事業者・行政が各々の役割を果たし、循環型社会を形成していくものとする。

4. 計画対象廃棄物

本計画の対象廃棄物は、図 3 に示すとおり一般廃棄物とする。本計画では、固形状の一般廃棄物を「ごみ」とし、液状の一般廃棄物を「生活排水」とする。

なお、ごみのうち、本市（行政）による処理・処分が困難であるものは処理対象外とし、これらの扱いは表 1 に示すとおりとする。

図 3 計画対象廃棄物

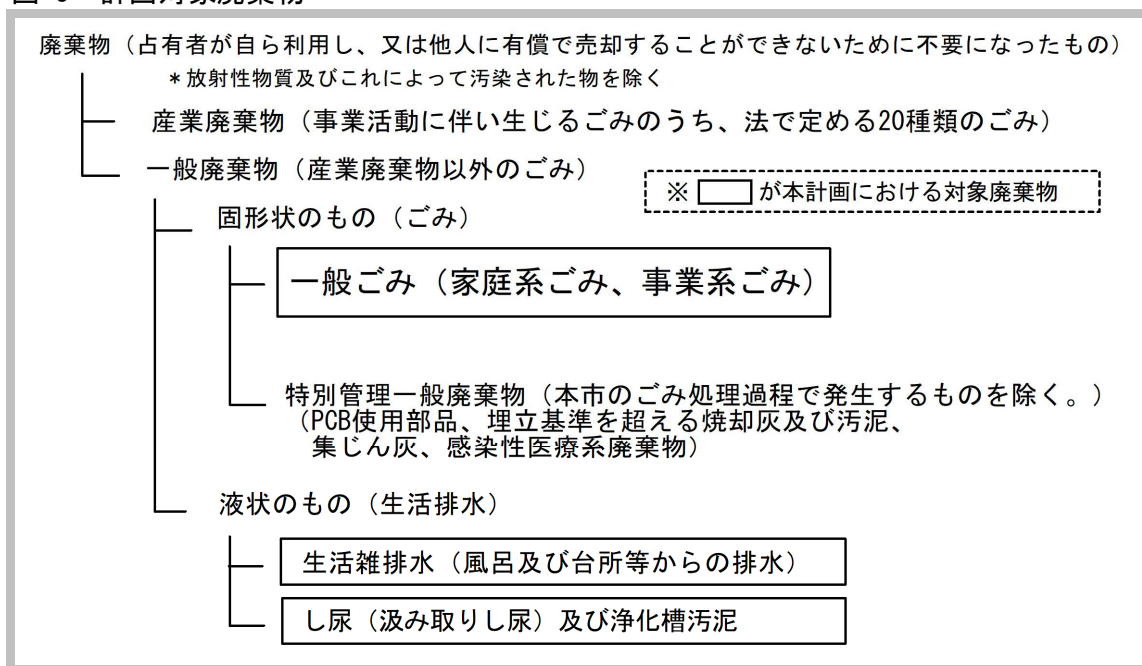


表 1 本計画の処理対象外とするごみとその扱い

区 分	処理・処分先
家電リサイクル法 対 象 品	家電リサイクル法に基づき、テレビ、洗濯機、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、衣類乾燥機については、販売店等の引取りとする。
パ ソ コ ン	資源有効利用促進法に基づき、製造メーカーによる引取・資源化を行う。 （使用済小型家電リサイクルボックスへの投入、山陽小野田市環境衛生センター（以下、「環境衛生センター」という。）へ直接搬入された場合は、本市にて引取りを行う。）
自 動 車	自動車リサイクル法に基づき、製造メーカーによる引取・資源化を行う。
処 理 困 難 物	以下に示す品目については、販売業者等の引取りとする。 タイヤ、消火器、バッテリー、ガスボンベ等の危険物 等

第2章 地域特性

1. 自然環境

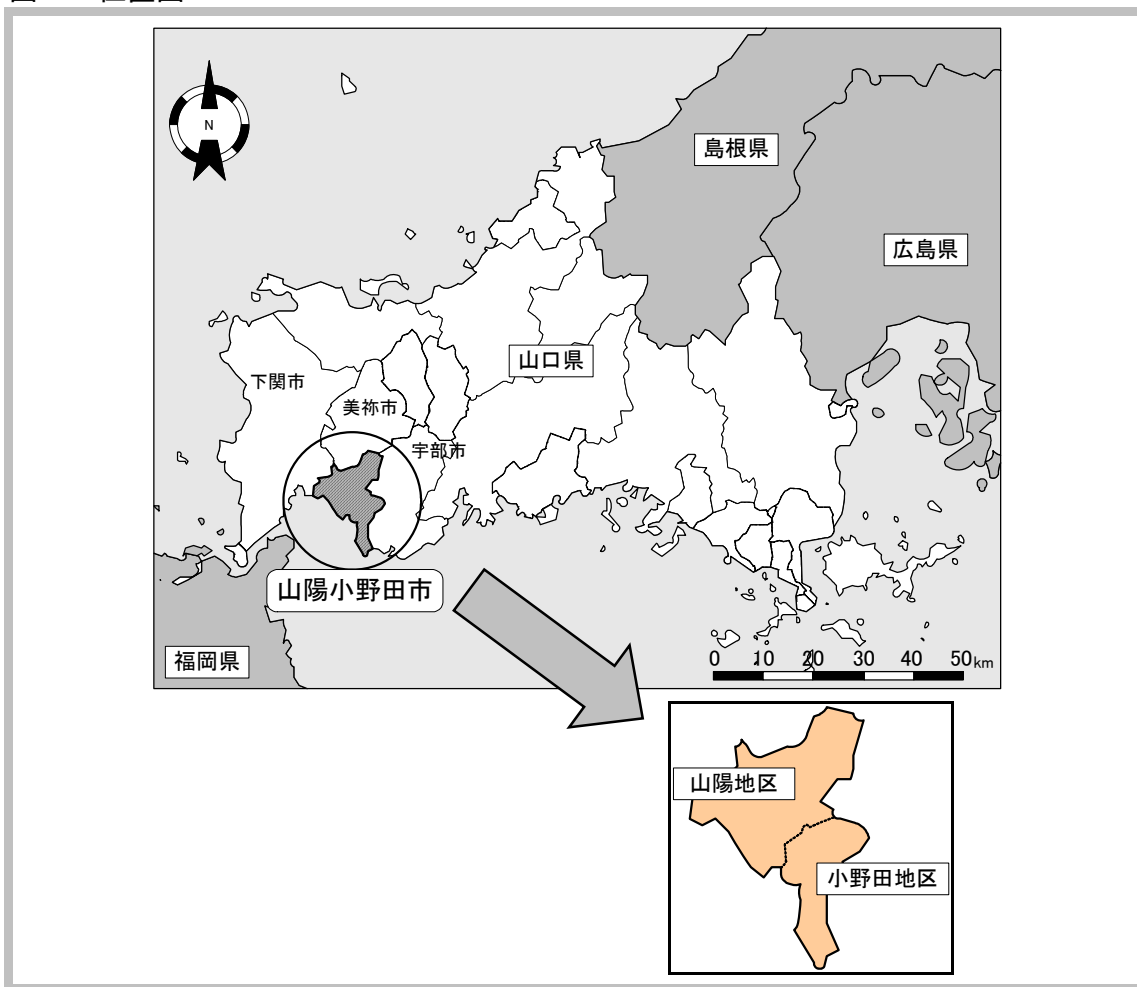
位置と面積

本市は、山口県の西部に位置しており、瀬戸内海と面し、西部は下関市、北部は美祢市、東部は宇部市に接している。

本市の面積は 133.09 km^2 であり、山口県全体 (6,112.53 km^2) の 2.2% を占める。

本市は、平成 17 年 3 月 22 日に旧小野田市（以下、「小野田地区」という。）と旧厚狭郡山陽町（以下、「山陽地区」という。）の 1 市 1 町で合併を行い、誕生した市である。

図 4 位置図



地 勢

なだらかな丘陵地と平坦な干拓地で構成され、瀬戸内海にそそぐ有帆川と厚狭川の流域に広がる豊かな土地、南部には竜王山、美祢市との境には、標高 200～300m 程度の小高い山々が連なっており、西部の厳昌寺山（標高 328m）が最も高い山である。これらの山地から南側は比較的なだらかな斜面で中心部の平地に繋がっている。

本市の中央部を流れる有帆川（流路延長 31.8km）は、美祢市伊佐町奥万倉を水源とし、宇部市の万倉地区と船木地区を南流し、本市高泊を経て瀬戸内海の周防灘にそそいでいる。

南北に貫通する厚狭川（流路延長 43.9km）は、美祢市の大ヶ峠に流れを発し、厚狭地区と鴨庄地区の間を流下して厚狭平野を潤し、厚陽地区を経て瀬戸内海の周防灘にそそいでいる。

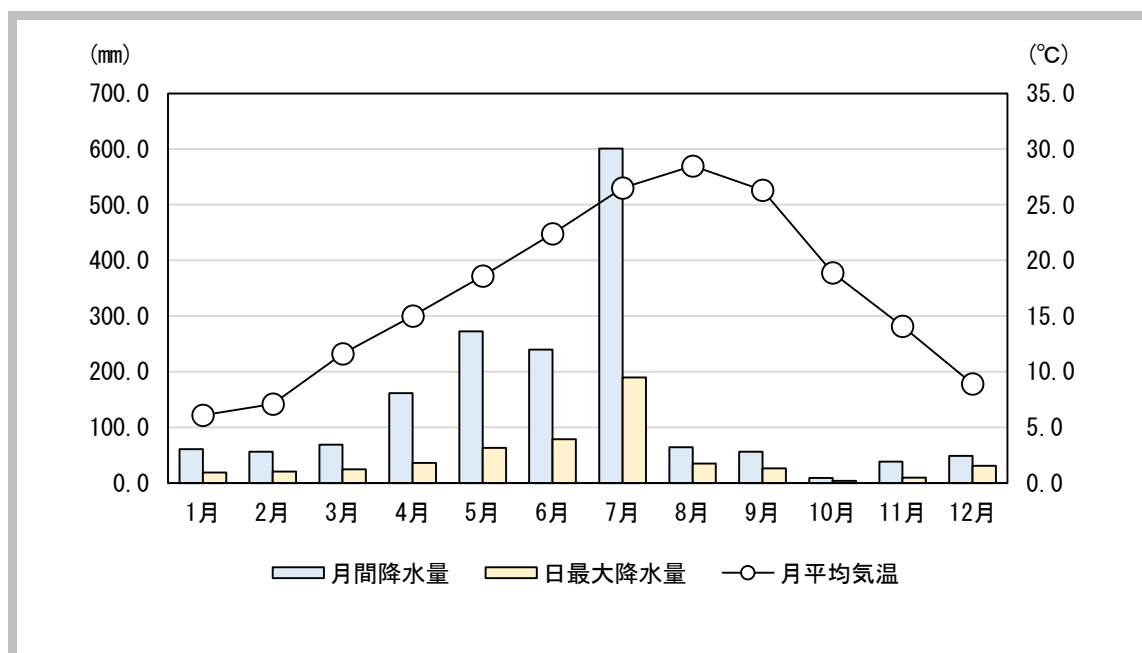
西北部に流れを発する前場川は埴生地区で周防灘にそそいでおり、隣接する下関市との境には糸根川が流下して周防灘にそそいでいる。

気 候

月間降水量、日最大降水量及び月平均気温は、図 5 に示すとおりである。

本市の気候は、年間を通じて温暖な瀬戸内海気候で、降水量は少ない。令和 5 年においても、月平均気温は 6.1～28.5℃と温暖であり、平均気温は毎年同程度となっている。また、年間降水量は 1,678.5mm となっている。

図 5 月間降水量、日最大降水量及び月平均気温（宇部地域気象観測所、令和 5 年）



資料：気象庁HP 気象観測データ

2. 社会環境

人口及び世帯

① 人口及び世帯数の推移

人口及び世帯数の推移は表 2 及び図 6 に示すとおりである。

本市の人口は、年々減少しているが、世帯数は増加傾向を示しているため、一世帯当たり人口は減少傾向となっている。

令和 2 年の国勢調査によると、本市の人口は 60,326 人である。

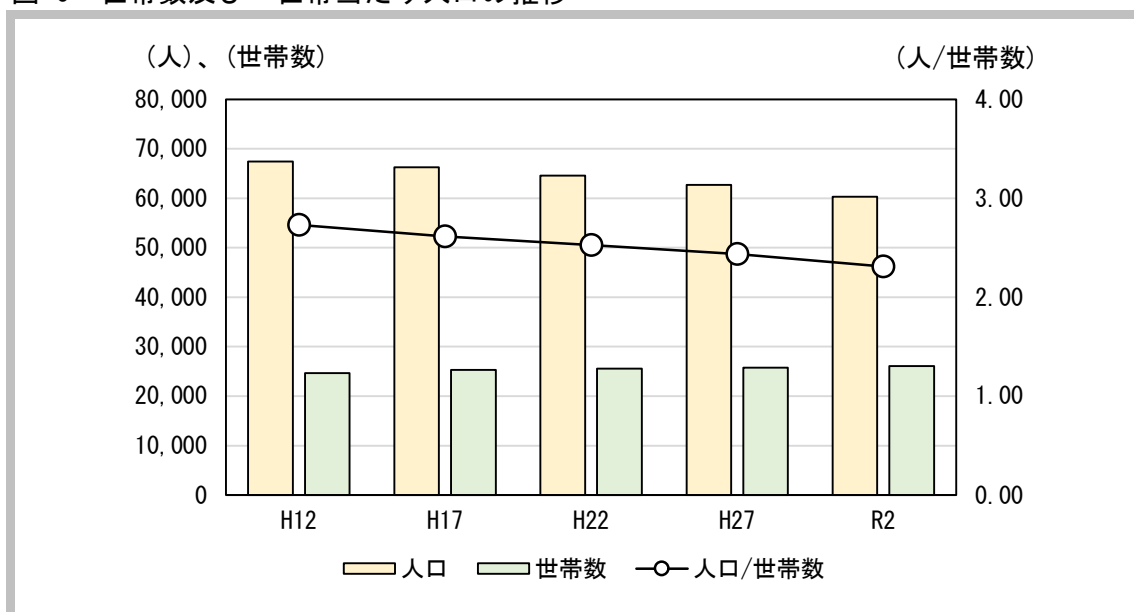
表 2 人口及び世帯数の推移

自治体名	項目	H12	H17	H22	H27	R2
山陽 小野田市	人 口 (人)	67,429	66,259	64,550	62,671	60,326
	世帯数 (世帯)	24,683	25,333	25,536	25,740	26,106
	人口 / 世帯数	2.73	2.62	2.53	2.43	2.31

※各年度 10 月 1 日

資料：総務省統計局「国勢調査報告」

図 6 世帯数及び一世帯当たり人口の推移

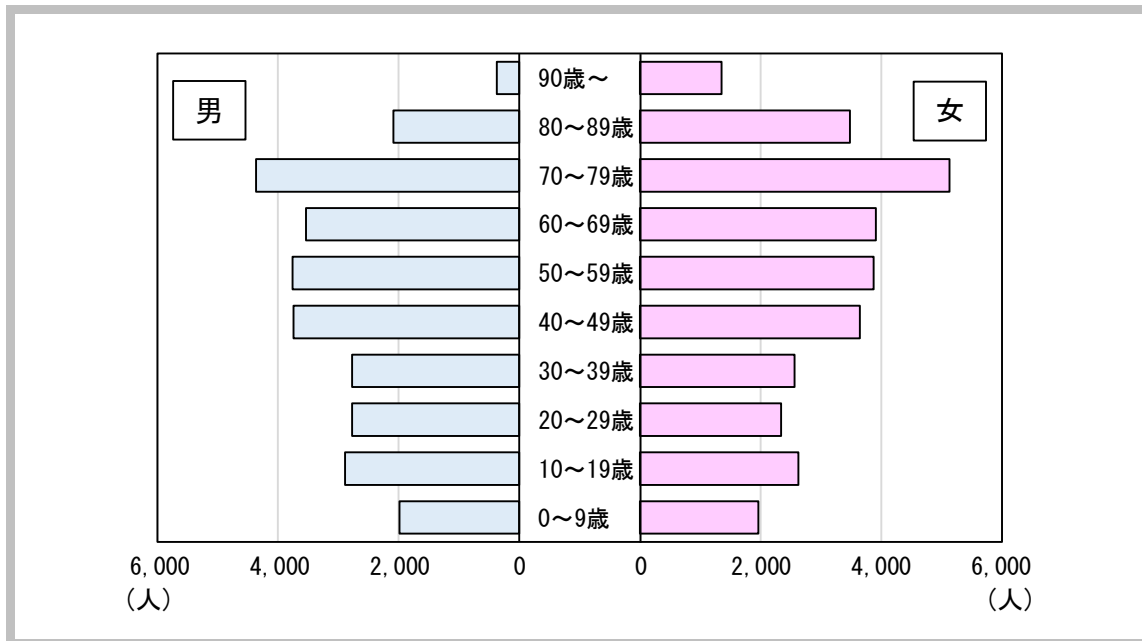


② 年齢別人口

年齢別人口は、図 7 に示すとおりである。

本市の年齢別人口は、0～49 歳までの年齢階層別人口に比べて、50 歳以上の人口が多くなっている。全体的にみると、高齢者の割合が高く、70～79 歳の人口が 9,000 人程度で最も多い世代となっている。なお、40 歳未満の人口は各世代において 4,000 ～6,000 人程度となっている。

図 7 本市の年齢別人口の分布図（令和 6 年 4 月 1 日）



資料：山陽小野田市「住民基本台帳」（令和6年4月1日現在）

③ 人口動態

人口動態は、表 3 及び図 8 に示すとおりである。

自然動態では、過去 5 年間に於いて、出生人口を死亡人口が上回っており、出生人口と死亡人口の差は 480～670 人程度である。

また、社会動態では、過去 5 年間に於いて、転入人口を転出人口が上回っており、転入人口と転出人口の差は 80～340 人程度である。

本市としては、人口が減少傾向である。

表 3 人口動態

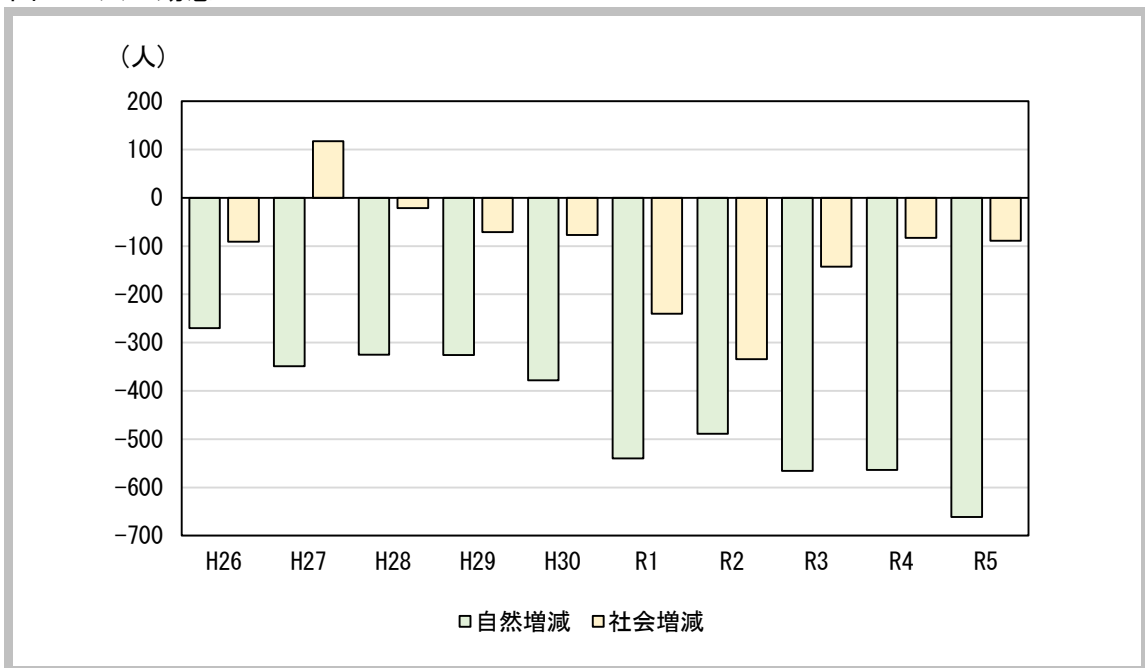
自治体名	項 目	H26	H27	H28	H29	H30
山 陽 小 野 田 市	自然増減	-270	-349	-325	-326	-378
	社会増減	-91	117	-21	-71	-77
	人口増減	-361	-232	-346	-397	-455

自治体名	項 目	R1	R2	R3	R4	R5
山 陽 小 野 田 市	自然増減	-540	-489	-566	-564	-661
	社会増減	-240	-334	-143	-83	-89
	人口増減	-780	-823	-709	-647	-750

※各年1月～12月の1年間

資料：山口県統計年鑑

図 8 人口動態



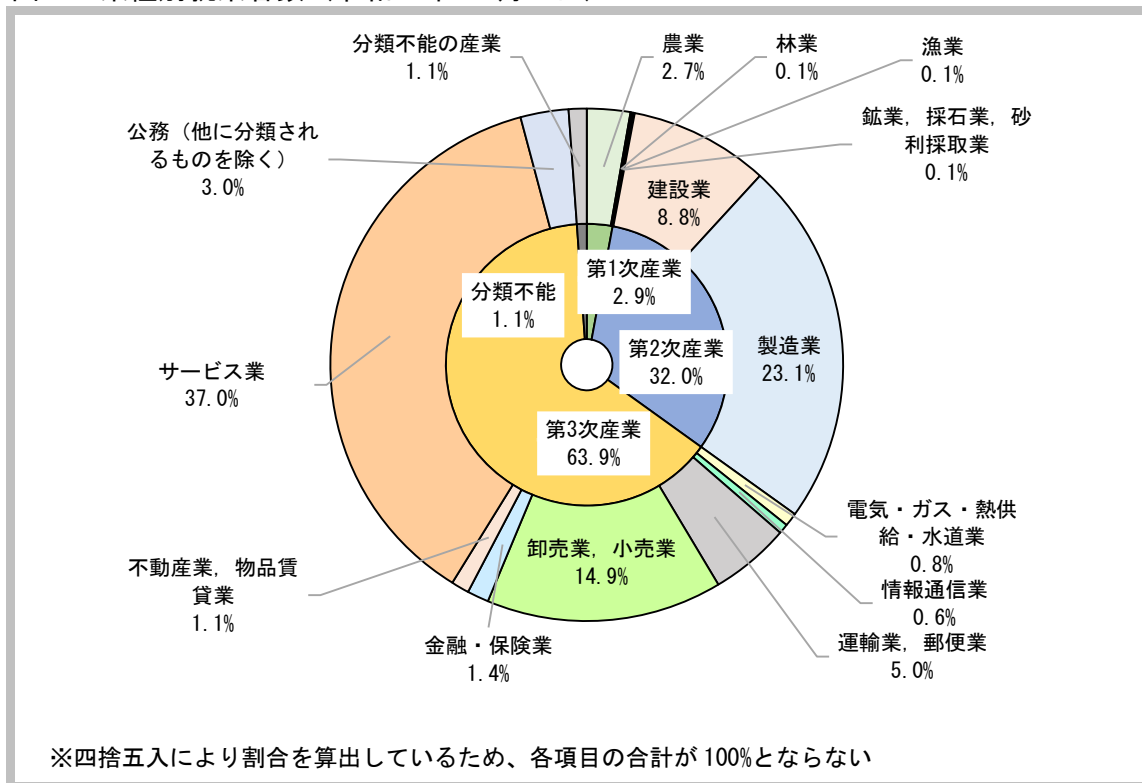
産 業

業種別就業者数は、図 9 に示すとおりである。

本市内の産業別就業者数は、令和 2 年 10 月 1 日現在、合計で 27,716 人であり、第 1 次産業が 2.9%、第 2 次産業が 32.0%、第 3 次産業が 63.9%で、分類不能の産業が 1.1%である。

業種別では、第 3 次産業のサービス業が 37.0%、第 2 次産業の製造業が 23.1%と高い割合を占め、次いで第 3 次産業の卸売・小売業が 14.9%、第 2 次産業の建設業が 8.8%となっている。

図 9 業種別就業者数（令和 2 年 10 月 1 日）



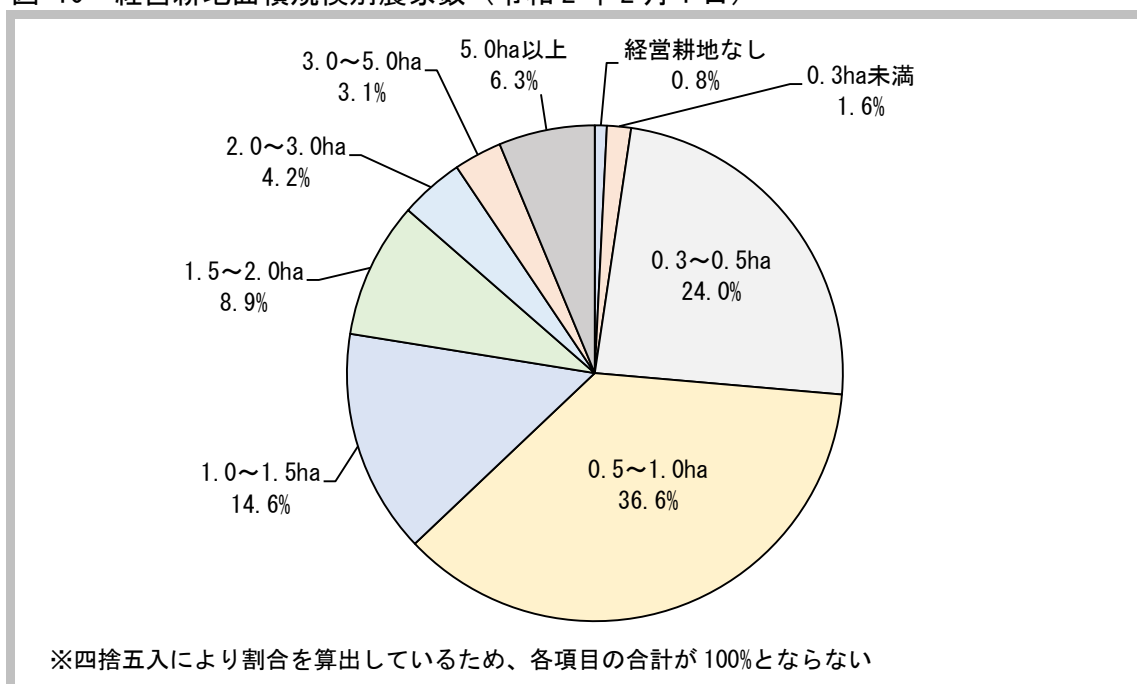
資料：総務省統計局「国勢調査報告」

農 業

経営耕地面積規模別農家数の割合は、図 10 に示すとおりである。

経営耕地面積規模別では、0.5～1.0ha の農家が最も多く 36.6%、次いで 0.3～0.5ha の 24.0%、1.0～1.5ha の 14.6%と、面積規模が小規模な農家の割合が高くなっている。

図 10 経営耕地面積規模別農家数（令和 2 年 2 月 1 日）



資料：山陽小野田市「2020農林業センサス結果」

また、経営耕地別面積は、表 4 及び図 11 に示すとおりである。

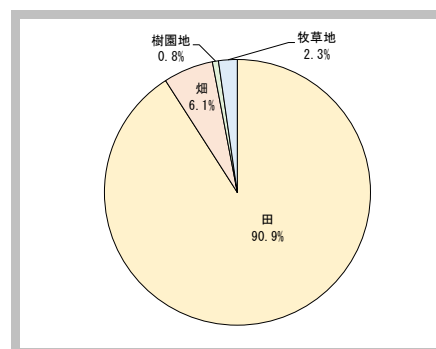
本市内の経営耕地別面積は、令和 2 年 2 月 1 日現在、田が 600ha、畑が 40ha、樹園地が 5ha、牧草地が 15ha で、合計 660ha である。内訳は、田が 90.9%と大半を占めている。

表 4 経営耕地別面積

単位：ha					
自治体名	田	畑	樹園地	牧草地	合計
山陽小野田市	600	40	5	15	660

資料：山陽小野田市
「2020 年農林業センサス結果」

図 11 経営耕地別面積内訳



※令和2年2月1日現在

工 業

工業の推移は、表 5 及び図 12 に示すとおりである。

事業所数は、概ね横ばいで推移している。従業者数は、平成 26 年度以降増加しており、製造品出荷額は、令和 2 年度以降増加している。

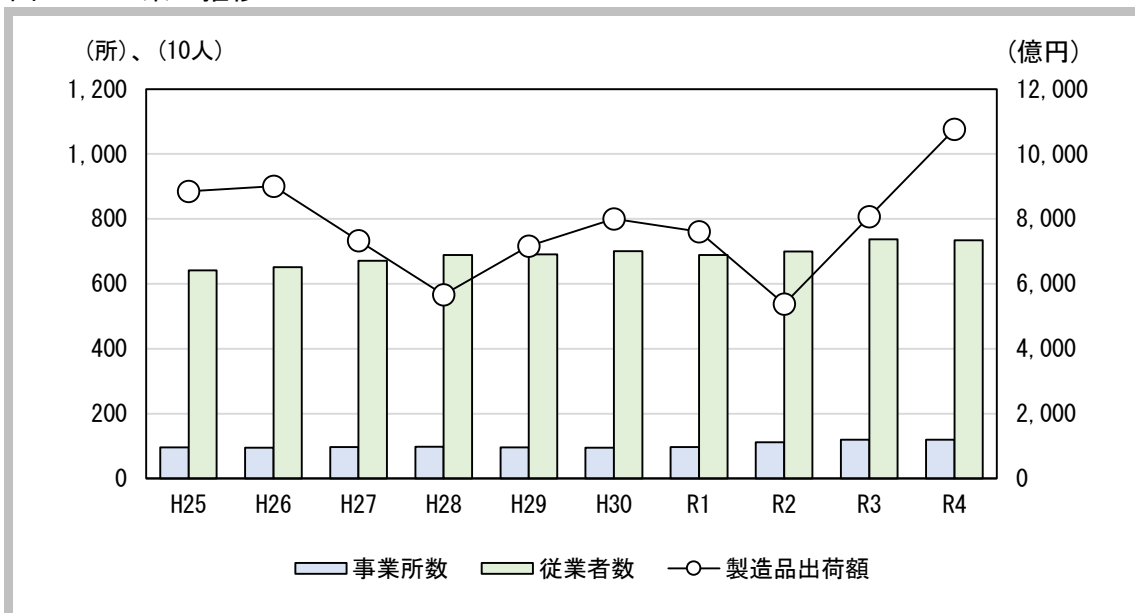
表 5 工業の推移

自治体名	項 目	H25	H26	H27	H28	H29
山陽小野田市	事業所数(所)	96	95	97	98	96
	従業者数(人)	6,412	6,511	6,702	6,887	6,900
	製造品出荷額 (百万円)	884,394	900,410	732,320	566,554	715,689
自治体名	項 目	H30	R1	R2	R3	R4
山陽小野田市	事業所数(所)	95	97	112	120	120
	従業者数(人)	6,998	6,887	6,991	7,367	7,337
	製造品出荷額 (百万円)	799,660	760,475	537,255	807,019	1,075,476

※1 各年12月31日 ※2 製造業で4人以上の事業所が対象

資料：経済産業省「工業統計調査」及び「経済構造実態調査」

図 12 工業の推移



商 業

商業の推移は、表 6 及び図 13 に示すとおりである。

平成 24～令和 3 年度において、本市内の商店数と従業者数は横ばいで推移している。年間商品販売額は平成 24～28 年度にかけて増加していたが、令和 3 年度に減少している。

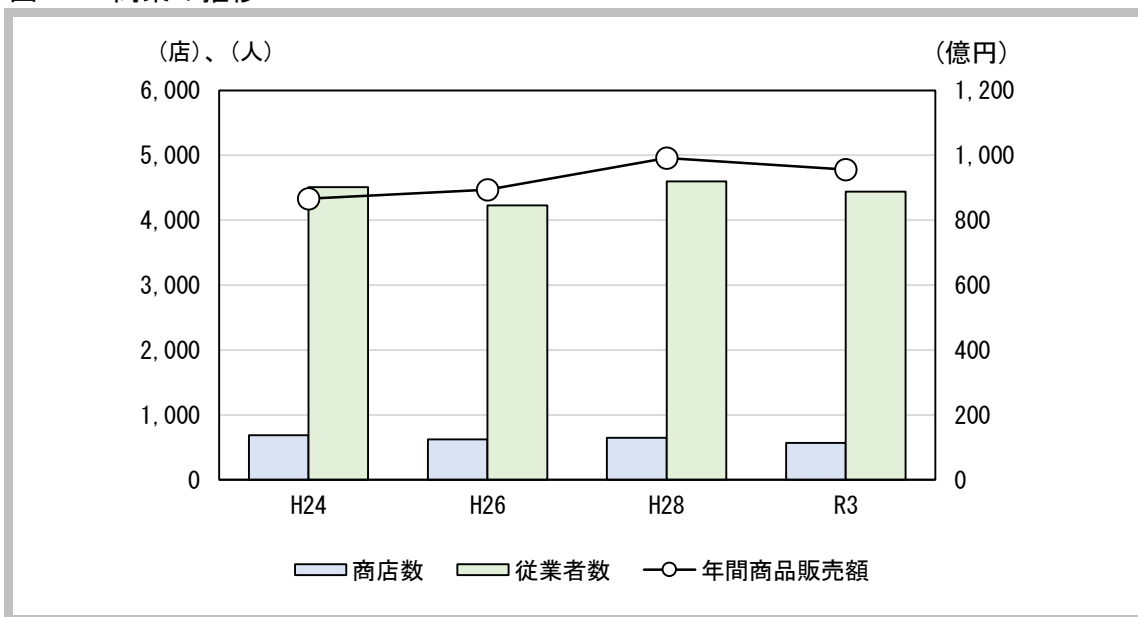
表 6 商業の推移

自治体名	項 目	H24	H26	H28	R3
山陽小野田市	商店数(店)	686	623	647	570
	従業者数(人)	4,506	4,227	4,593	4,439
	年間商品販売額(百万円)	86,583	89,282	99,109	95,501

※各年6月1日

資料：山口県「山口県の商業」

図 13 商業の推移



観 光

観光客数は、表 7 及び図 14 に示すとおりである。

本市への観光客数は、令和元年度まで増加傾向であったが、令和 2 年度に減少している。その後は、再び増加傾向となっている。また、県内からの観光客数が多くを占めている。

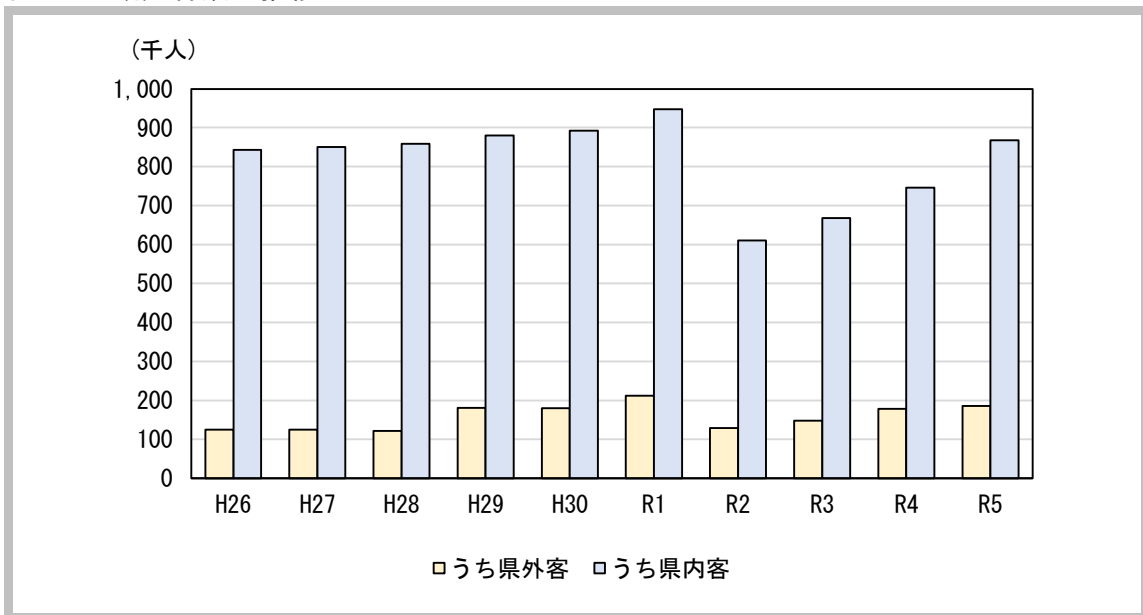
表 7 観光客数の推移

自治体名	項 目	H26	H27	H28	H29	H30
山陽小野田市	総数（人）	968	975	980	1,061	1,072
	うち県外客（人）	125	125	122	181	180
	うち県内客（人）	843	850	858	880	892

自治体名	項 目	R1	R2	R3	R4	R5
山陽小野田市	総数（人）	1,160	739	816	924	1,053
	うち県外客（人）	212	129	148	178	186
	うち県内客（人）	948	610	668	746	867

資料：山口県「観光客動態調査」

図 14 観光客数の推移



3. 生活環境

上水道

本市における上水道整備状況を表 8 に示す。

令和 4 年度において、本市の上水道普及率は 99.3%であり、山口県平均の 94.5%より高い普及率となっている。

表 8 上水道整備状況（令和 4 年 3 月 31 日）

自治体名	水道施設数	給水人口	年間総給水量	上水道普及率
山陽小野田市	1 箇所	58,570 人	8,493 千 m ³	99.3 %

資料：山口県統計年鑑

下水道

本市における污水处理施設整備状況は、表 9 及び図 15 に示すとおりである。

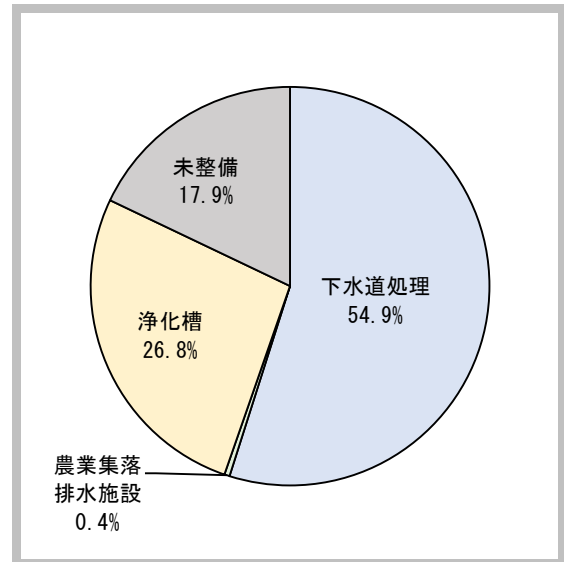
本市では、令和 5 年度末時点において、それぞれの整備状況は、下水道処理が 54.9%、農業集落排水施設が 0.4%、浄化槽が 26.8%となっている。

表 9 污水处理施設整備状況

項目	人口
住民基本台帳人口（人）	59,125
污水处理人口（人）	48,539
下水道処理人口（人）	32,461
農業集落排水人口（人）	251
浄化槽（市町村整備）（人）	0
浄化槽（設置整備事業）（人）	15,827

※令和5年度末時点

図 15 污水处理施設整備状況



資料：市民部環境課資料

4. 都市環境

土地利用

本市内にある民有地の地目別面積は、表 10 及び図 16 に示すとおりである。

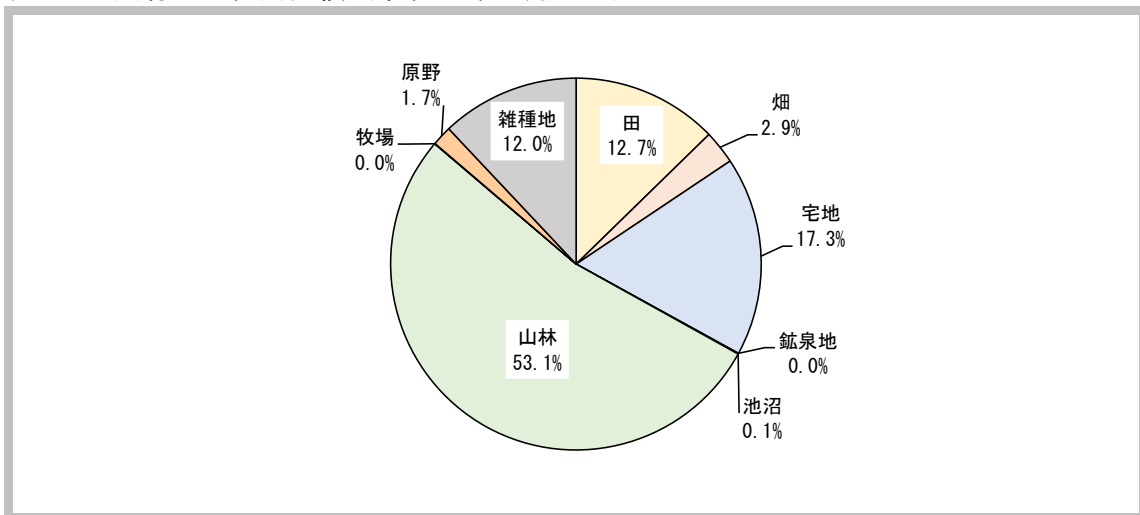
本市内の民有地 996,829a のうち、山林が 53.1%を占め、次いで、宅地 17.3%、田 12.7%、雑種地 12.0%となっている。

表 10 民有地地目別面積（令和 4 年 1 月 1 日）単位：a

自治体名	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地
山陽小野田市	126,913	29,179	172,805	1	569	529,805	488	17,049	120,020

資料：山口県統計年鑑

図 16 民有地地目別面積（令和 4 年 1 月 1 日）



資料：山口県統計年鑑

住宅

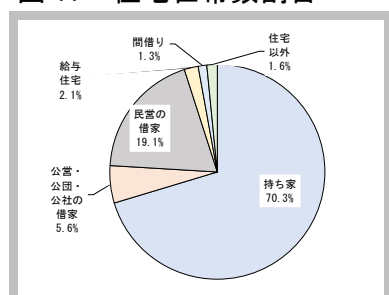
本市における住宅状況を表 11、住宅の世帯数割合を図 17 に示す。

本市では、持ち家率が 70.3%であり、民営の借家が 19.1%、公営・公団・公社の借家が 5.6%となっている。

表 11 住宅状況（令和 2 年 10 月 1 日）単位：世帯数

自治体名	持ち家	公営・公団・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	住宅以外	合計
山陽小野田市	18,319	1,461	4,979	544	335	411	26,049

図 17 住宅世帯数割合



資料：総務省統計局「国勢調査報告」

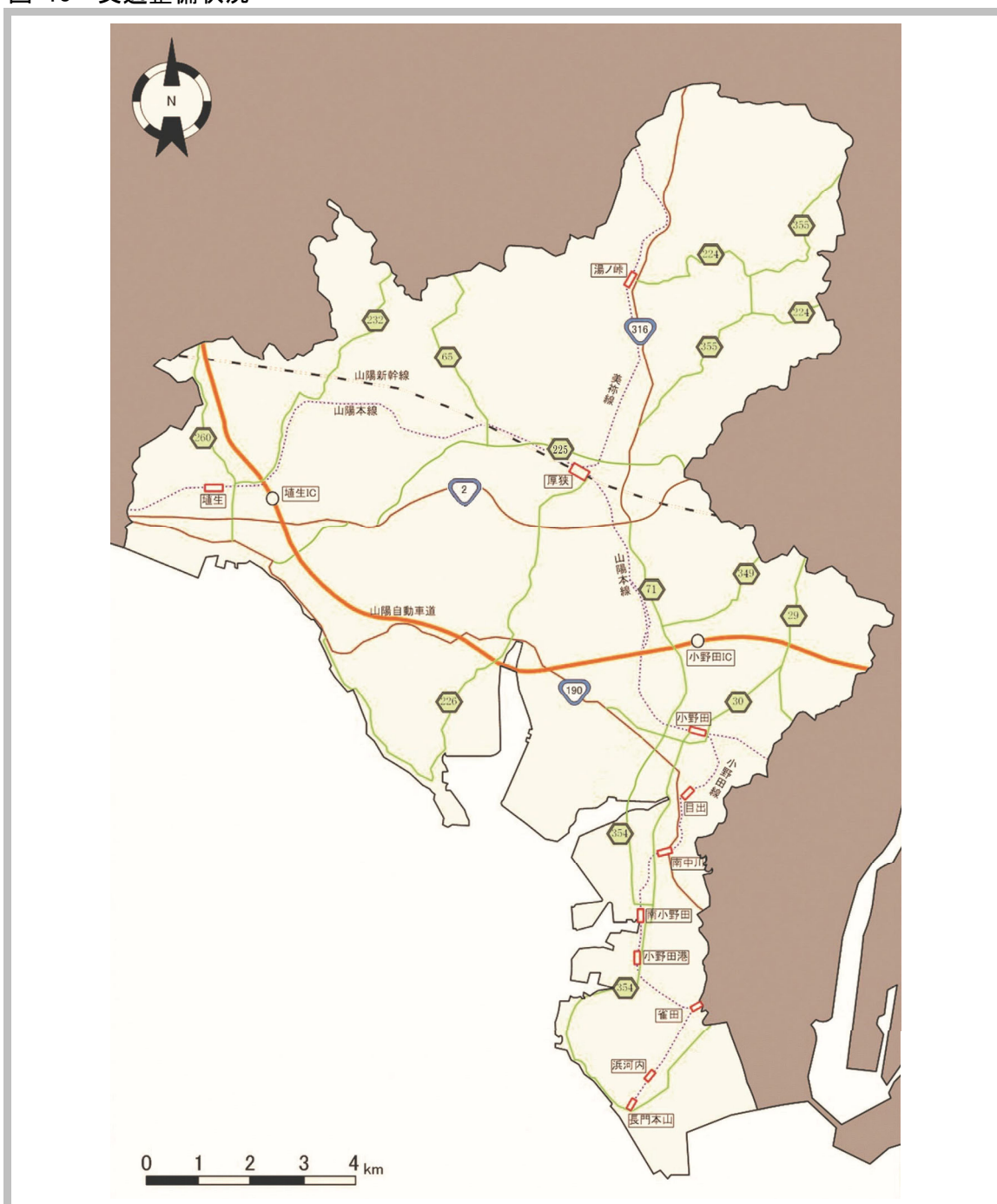
交 通

本市の交通整備の概要図は図 18 のとおりである。

本市には、山陽自動車道が横切っており、小野田 IC、埴生 IC から、宇部、下関方面への交通に利用されている。また、国道の 2 号線、316 号線、190 号線が通っている。

鉄道では、山陽新幹線の厚狭駅があり、この駅を中心に JR 美祢線、山陽本線が通っている。また、山陽本線の小野田駅から JR 小野田線が、小野田地区を縦断している。

図 18 交通整備状況



第 1 章 ごみ処理の現状と課題

1. ごみ処理の歴史的変遷

ごみ処理は、昭和 50 年を皮切りに分別収集を開始した。それ以降、空びん・空かん・古紙類の分別収集を逐次行っており、資源化に努めている。

表 12 清掃行政の歴史的変遷

年度	小野田地区	山陽地区
S50		・ 不燃物収集専用コンテナ設置(4 月)
S54	・ 燃えるごみと燃えないごみの分別開始(4 月)	
S62	・ A 類(ビン・ガラス・缶)、B 類(金物類・小型電化製品)の分別収集開始(4 月)	
S63	・ 生ごみ処理機の補助開始(7 月)	
H2	・ ビン・缶の専用袋を作成・配布(10 月)	
H3	・ ダンボールの分別開始(9 月) ・ 大型ごみ用焼却炉整備(10 月)	
H4	・ 自治会のごみ箱購入費補助開始(4 月)	
H5	・ 新聞・雑誌・ダンボール・古着・リターナブルびんを資源ごみとして回収開始(4 月) ・ 大型ごみの戸別収集開始(4 月)	
H6	・ リサイクルプラザ開設(4 月)	
H8	・ びんの 4 色分別開始(4 月)	
H9	・ ポイ捨て禁止条例制定(3 月)	・ 燃えるごみ収集指定袋の導入(7 月) ・ プラスチック・ビニール専用の収集開始(9 月)
H10		・ びん、ペットボトルの分別収集開始(4 月)
H11	・ ペットボトル収集開始(4 月) ・ 資源ごみ拠点回収施設の設置(4 月)	
H12	・ 電動生ごみ処理機購入補助制度開始(4 月)	
H14	・ 焼却灰をセメント原料化として有効利用(4 月)	・ 可燃ごみ広域処理開始。小野田市に可燃ごみの処理を委託(4 月) ・ ペットボトル専用ごみ袋の導入(4 月)
H15	・ 放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例の制定(3 月)	
H16	・ 小野田市と山陽町が合併し、山陽小野田市となる(3 月) ・ ごみ指定袋の導入(3 月)	
H17	・ びんの 3 色分別に変更(4 月)	
H18	・ 緊急時における広域処理の協定の締結(7 月) ・ 資源ごみ等の抜き取り・持ち去り禁止(10 月)	
H20	・ ごみ処理の有料化、指定ごみ袋代に手数料を上乗せ(10 月)	
H21	・ スーパーレジ袋有料化に伴いマイバッグ運動開始(4 月) ・ 資源ごみ回収拠点を環境衛生センター南側に設置(7 月)	
H22	・ 取っ手付き指定ごみ袋試作品アンケート調査(3 月) ・ 取っ手付き新指定ごみ袋への変更決定(11 月)	
H27	・ 持込みごみ処理手数料等の改正(4 月) ・ 新ごみ処理施設供用開始(4 月)	
R1	・ 持込みごみ処理手数料等の改正(10 月)	

資料：市民部環境課資料

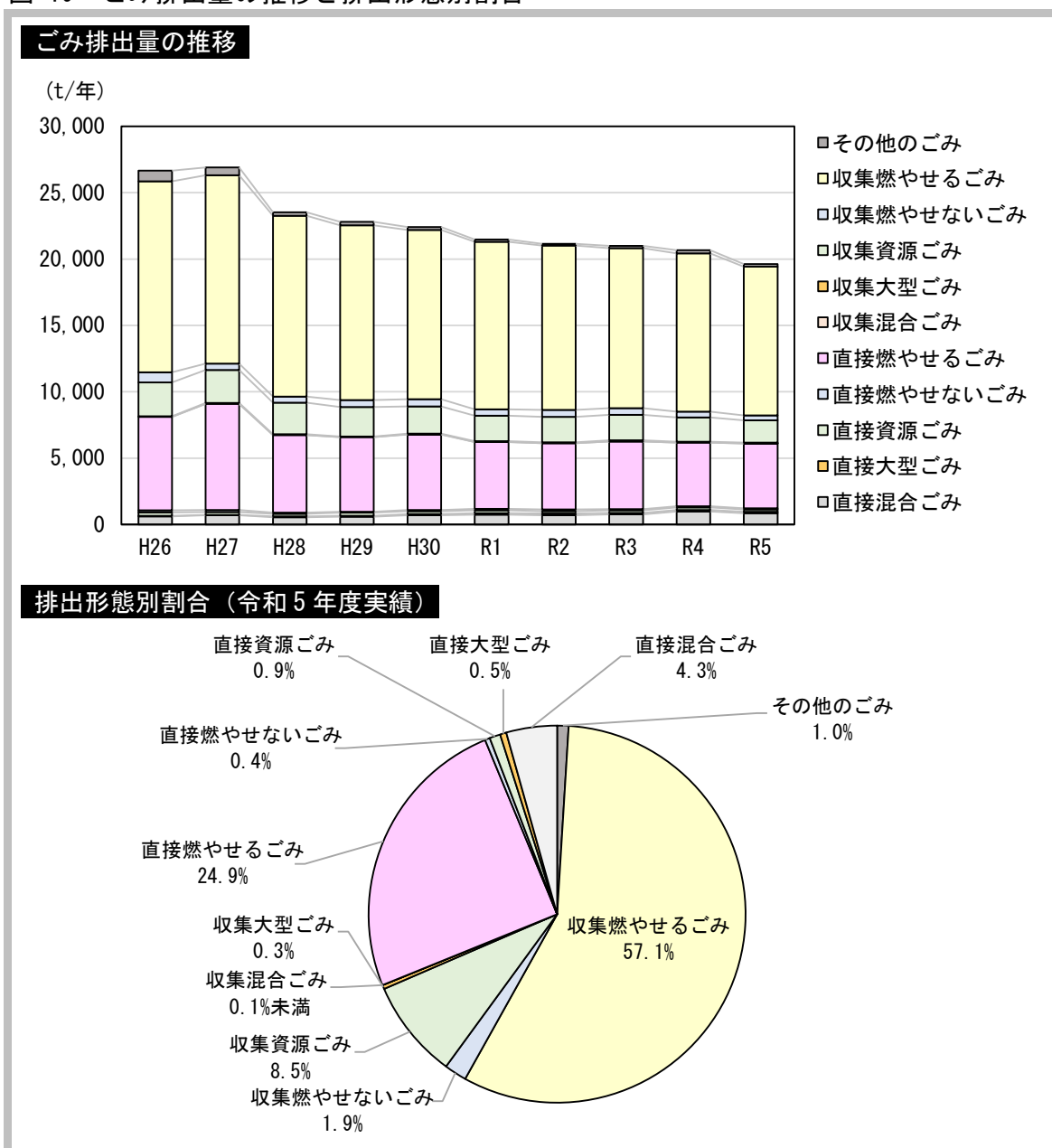
2. ごみ排出量の実績及び性状

年間排出量

ごみ排出量は、令和5年度において約19,613tである。平成28年度にごみ排出量が大幅に減少しており、平成27年度末から収集・運搬事業者への指導、積荷検査等を通じて分別等の徹底に取り組んだことで、産業廃棄物の混入防止を進めた結果と考えられる。平成28年度以降も微減傾向となっている。

令和5年度のごみ量の割合をごみ種類別にみると、収集燃やせるごみが57.1%と最も多く、次いで直搬燃やせるごみが24.9%、収集資源ごみが8.5%となっている。

図 19 ごみ排出量の推移と排出形態別割合



※「その他のごみ」は災害ごみ及び泥土を含む。

資料：市民部環境課資料

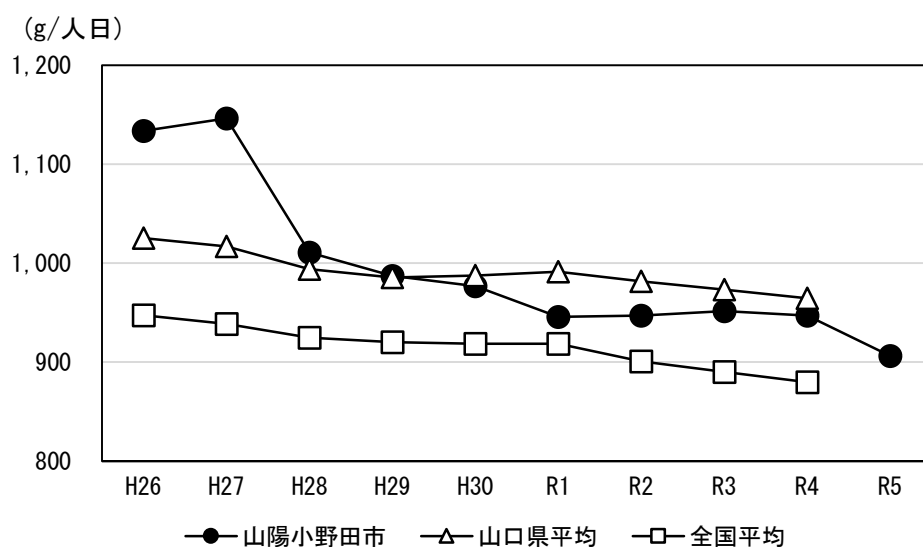
一人一日平均排出量

ごみの一人一日平均排出量は、令和 5 年度では 906.4 g/人日、令和 4 年度では 946.9g/人日であり、令和 4 年度は、全国平均（879.8g/人日）よりも高くなっているが、山口県平均（964.6g/人日）よりも低くなっている。

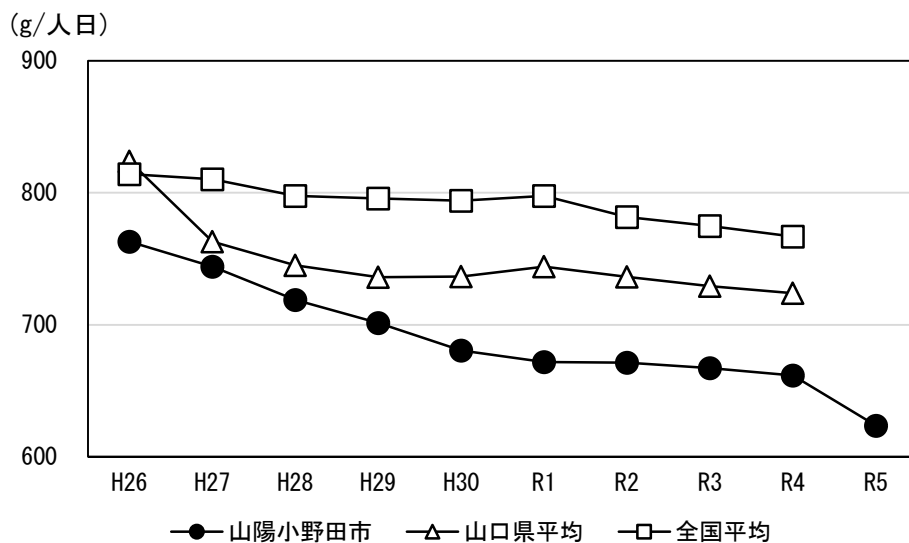
収集ごみ量の一人一日平均排出量は、令和 5 年度では 623.6g/人日、令和 4 年度では 661.6g/人日であり、令和 4 年度は、全国平均（766.8g/人日）及び山口県平均（723.8g/人日）よりも低くなっている。

図 20 一人一日平均排出量の推移

収集ごみ+直搬ごみ



収集ごみ



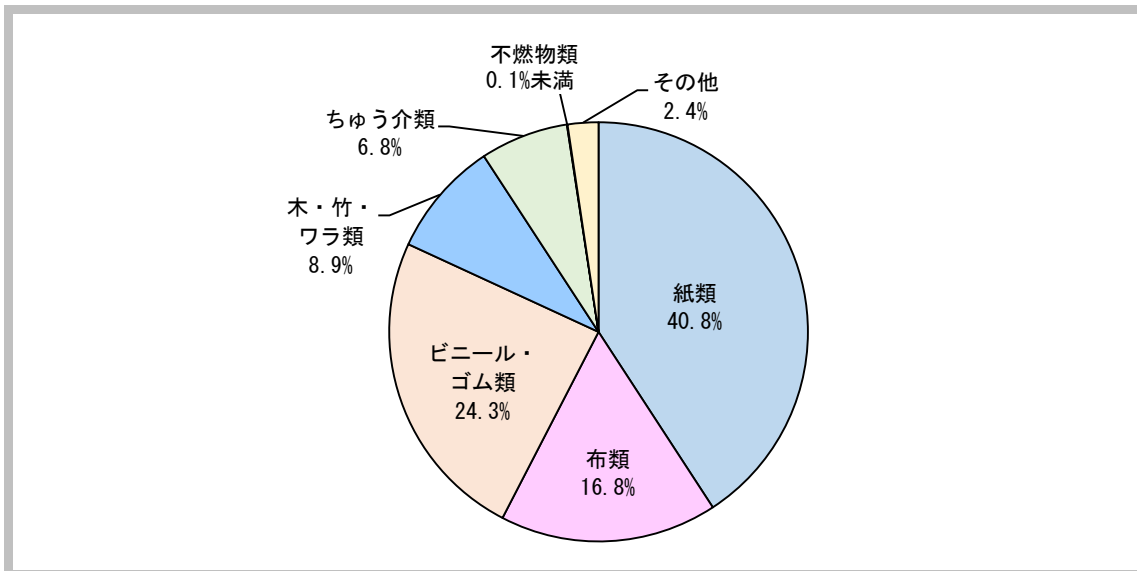
資料：全国・県・・・一般廃棄物処理実態調査結果
本市・・・市民部環境課資料

ごみの性状

① 燃やせるごみ

燃やせるごみの性状は、紙類が最も多く、次いでビニール・ゴム類、布類の順で多く占めている。

図 21 燃やせるごみの性状（乾物）（令和 5 年度実績）



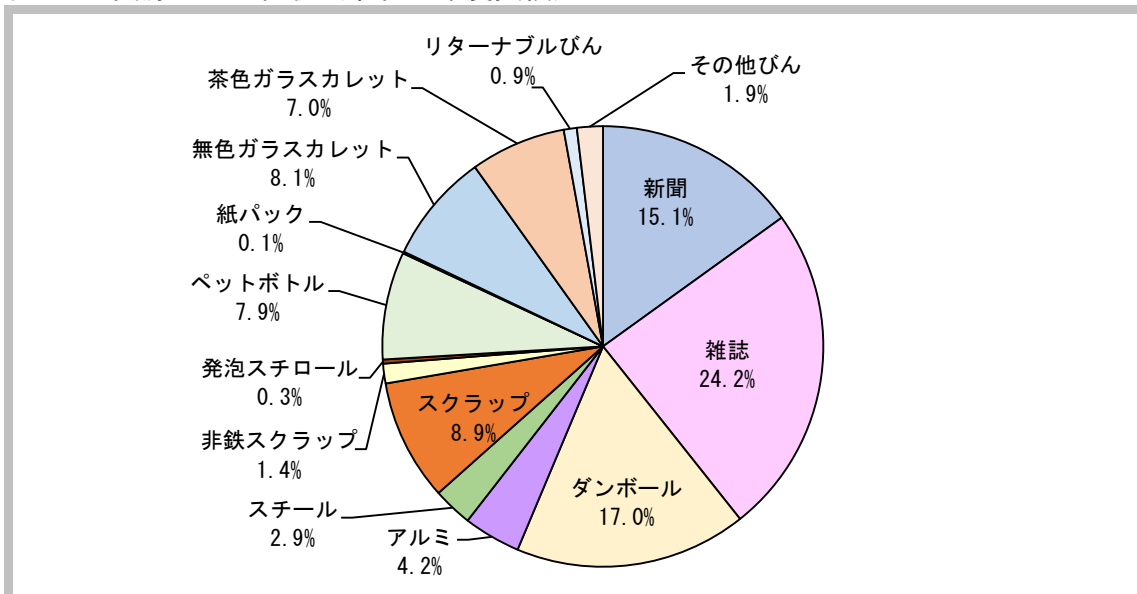
資料：市民部環境課資料

② 資源ごみ

資源ごみの性状は、古紙類（新聞 15.1%・雑誌 24.2%・ダンボール 17.0%）が 56.3%と最も多く、次いでスクラップ 8.9%、無色ガラスカレット 8.1%、ペットボトル 7.9%、茶色ガラスカレット 7.0%の順となっている。

※雑誌とは、雑誌・本・雑紙のことである。

図 22 資源ごみの性状（令和 5 年度実績）



資料：市民部環境課資料

3. ごみの減量・再生利用の実績

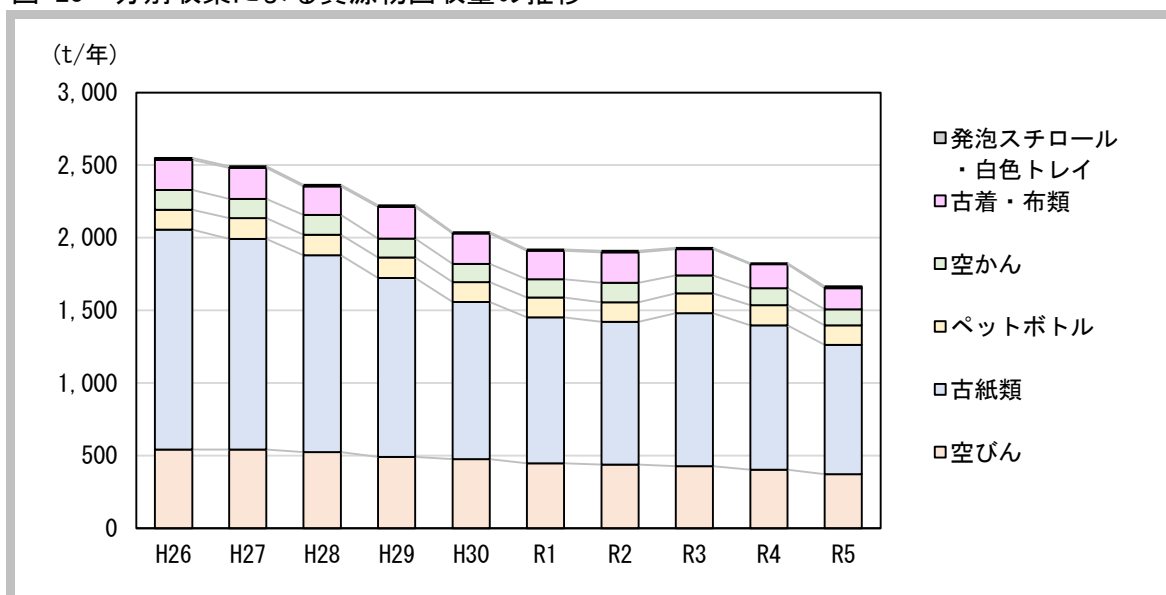
行政主体

① 分別収集による資源化

分別収集された資源ごみは、リサイクルプラザ等にて一時保管し、業者に引き渡して資源化を行っている。

資源ごみの量は、令和 3 年度に増加に転じたが、その後は減少傾向となっている。品目別にみると、古紙類が多くを占めている。

図 23 分別収集による資源物回収量の推移



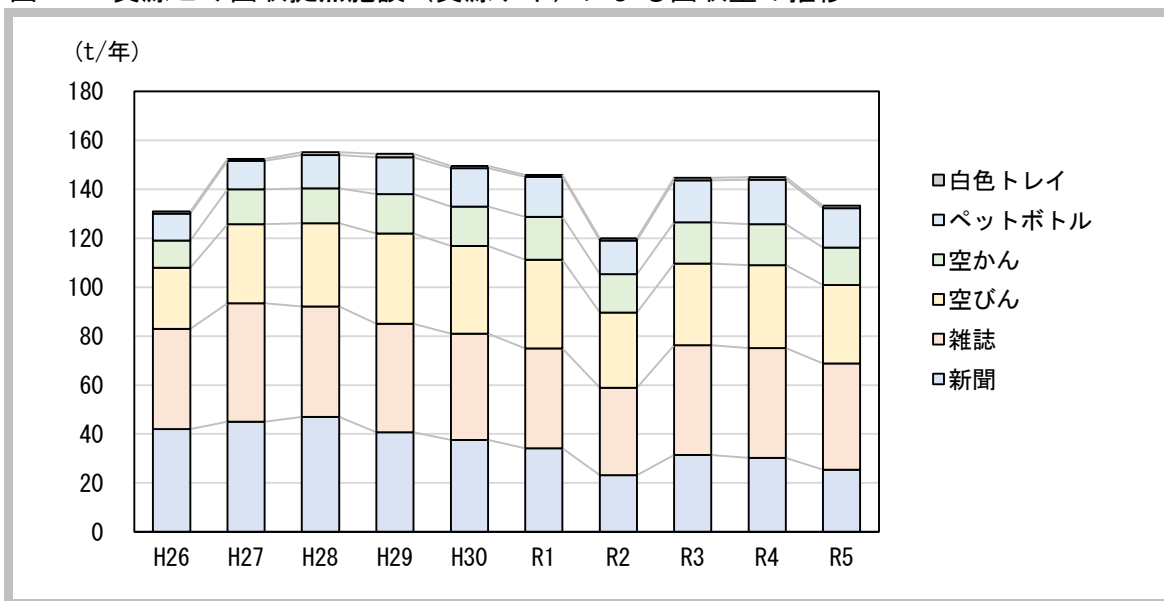
資料：市民部環境課資料

② 資源ごみ回収拠点施設（資源デポ）による回収

資源ごみ回収拠点施設（資源デポ）を平成 21 年 7 月に再開した。持ち込める資源ごみは、新聞、雑誌、空びん、空かん、リターナブルびん（ビールびん、一升びん）、ペットボトル、白色トレイ及び発泡スチロールで、毎週日曜日に開設している。

回収量は、令和 2 年度にコロナ禍の影響により一時的に減少したと推察されるが、令和 3 年度以降、概ね 140t/年程度で推移している。品目別にみると、新聞、雑誌、空びんが多くを占めている。

図 24 資源ごみ回収拠点施設（資源デポ）による回収量の推移



資料：市民部環境課資料

③ 燃やせるごみの減量及び再資源化

燃やせるごみ（収集・直接搬入）は、環境衛生センターにて焼却処分を行っている。

県内の焼却施設から排出される焼却残渣は、山口県エコタウン基本構想（平成 13 年 3 月）に基づき、山口エコテック株式会社にて、セメント原料として再資源化されている。最終処分焼却残渣とは、セメント原料不適物であり、各市町の処理量に応じて振り分けられ、各市町の処理体制に基づき、最終処分される。本市に振り分けられたセメント原料不適物は、山陽小野田市小野田処分場（以下、「小野田処分場」という。）に埋立処分される。

表 13 燃やせるごみの処理量及び焼却残渣量実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30
焼却処理量 [t/年]		21,415	26,341	22,945	23,307	21,957
内 訳	燃やせるごみ等 （破碎残渣含む） [t/年]	21,415	22,660	19,128	19,597	18,402
	下水汚泥 [t/年]	0	2,746	2,988	2,829	2,721
	し尿汚泥 [t/年]	0	936	829	881	834
焼却残渣 [t/年]		2,574	2,372	2,342	2,415	2,228
残渣率※ [%]		12.0	9.0	10.2	10.4	10.1

項目		R1	R2	R3	R4	R5
焼却処理量 [t/年]		22,296	22,471	22,119	22,245	20,772
内 訳	燃やせるごみ等 （破碎残渣含む） [t/年]	18,409	18,653	18,230	18,372	17,105
	下水汚泥 [t/年]	3,040	3,068	3,175	3,216	2,965
	し尿汚泥 [t/年]	847	749	714	657	702
焼却残渣 [t/年]		2,191	2,218	2,159	2,180	2,059
残渣率※ [%]		9.8	9.9	10.2	9.8	9.9

※残渣率(%)＝焼却残渣量(t/年)÷焼却処理量(t/年)

資料：市民部環境課資料

表 14 焼却残渣の再資源化量実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30
再資源化焼却残渣 [t/年]	2,464	2,352	2,313	2,385	2,207
最終処分焼却残渣 [t/年]	110	20	29	30	21
資源化率※ [%]	95.7	99.2	98.8	98.8	99.1

項目	R1	R2	R3	R4	R5
再資源化焼却残渣 [t/年]	2,151	2,178	2,128	2,170	2,059
最終処分焼却残渣 [t/年]	40	40	31	10	0
資源化率※ [%]	98.2	98.2	98.6	99.5	100.0

※資源化率(%)＝再資源化焼却残渣量(t/年)÷焼却残渣量[表13](t/年)

資料：市民部環境課資料

市民主体

① 生ごみ堆肥化による減量

生ごみの減量化の促進を図るとともに、市民意識の高揚を図ることを目的として、生ごみ処理容器の購入への補助金交付を行っている。

生ごみ処理容器の補助基数は、1 年間につき非電動式（土地埋込式、EM菌式、ダンボールコンポスト）が1 世帯2 基、電動式が1 世帯1 基までとしている。

交付補助金は、生ごみ処理容器の購入費の2 分の1 の額としている。ただし、その限度は、ダンボールコンポストが500 円、土地埋込式とEM菌式が1,500 円、電動式が20,000 円としている。

表 15 生ごみ堆肥化における補助基数実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
土地埋込式 [基]	11	4	8	7	4	7	6	4	3	4
EM菌式 [基]	1	1	1	3	0	2	2	6	2	0
ダンボールコンポスト [基]	3	4	6	2	1	2	2	4	2	2
電動式 [基]	6	8	7	1	10	7	7	4	7	8
合計 [基]	21	17	22	13	15	18	17	18	14	14

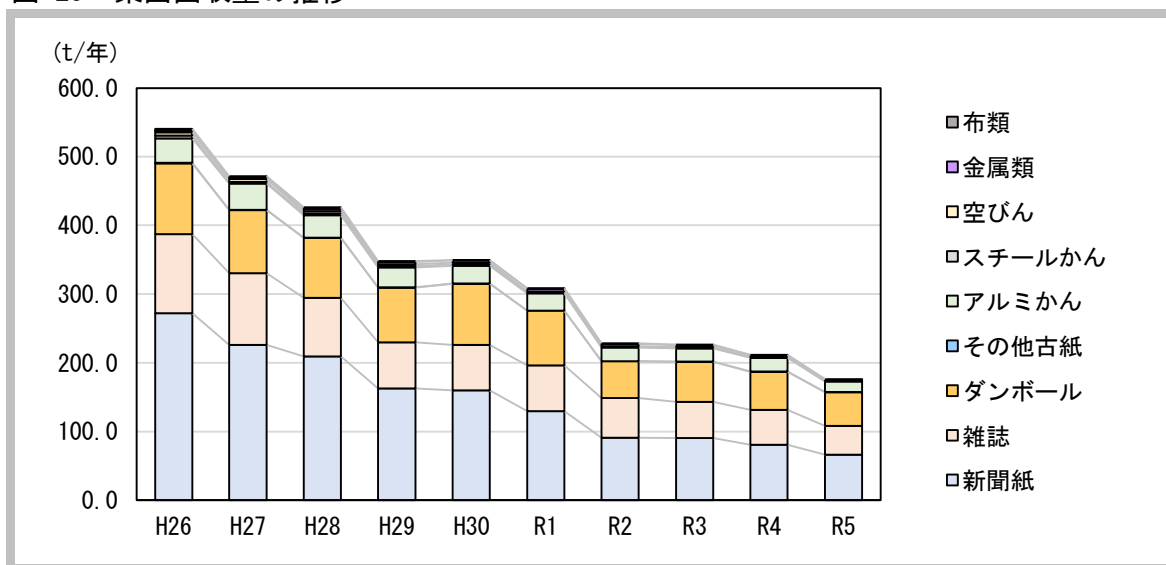
資料：市民部環境課資料

② 市民による集団回収

本市では、自治会、婦人会、PTA 及び子供会等の市民団体に対して集団回収を実施した団体に奨励金（3 円/kg）を交付している。

本市の集団回収量は、平成 26 年度以降減少傾向となっている。品目別にみると、新聞紙が多くを占めている。

図 25 集団回収量の推移



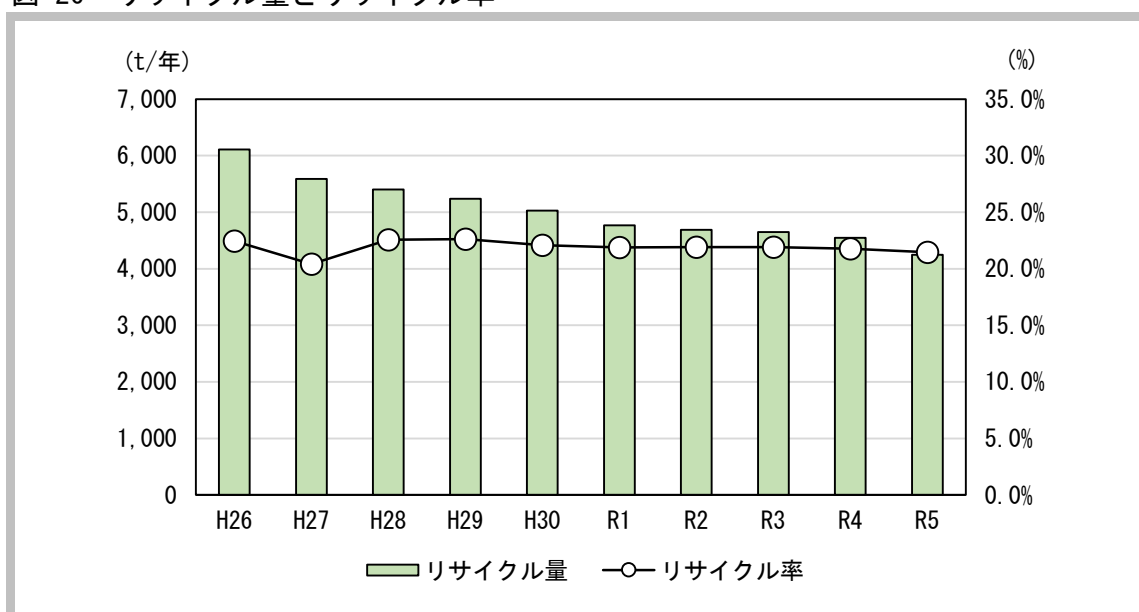
資料：市民部環境課資料

リサイクル率と最終処分率

本市では、市民による資源物の集団回収や資源ごみの分別収集、さらには施設での資源物回収によりリサイクルを行っており、令和 5 年度のリサイクル量は 4,245 t /年、リサイクル率は 21.4%、令和 4 年度のリサイクル量は 4,547 t /年、リサイクル率は 21.8%であり、令和 4 年度のリサイクル率は、山口県平均（22.7%）より低いものの、全国平均（19.6%）と比べると高くなっている。

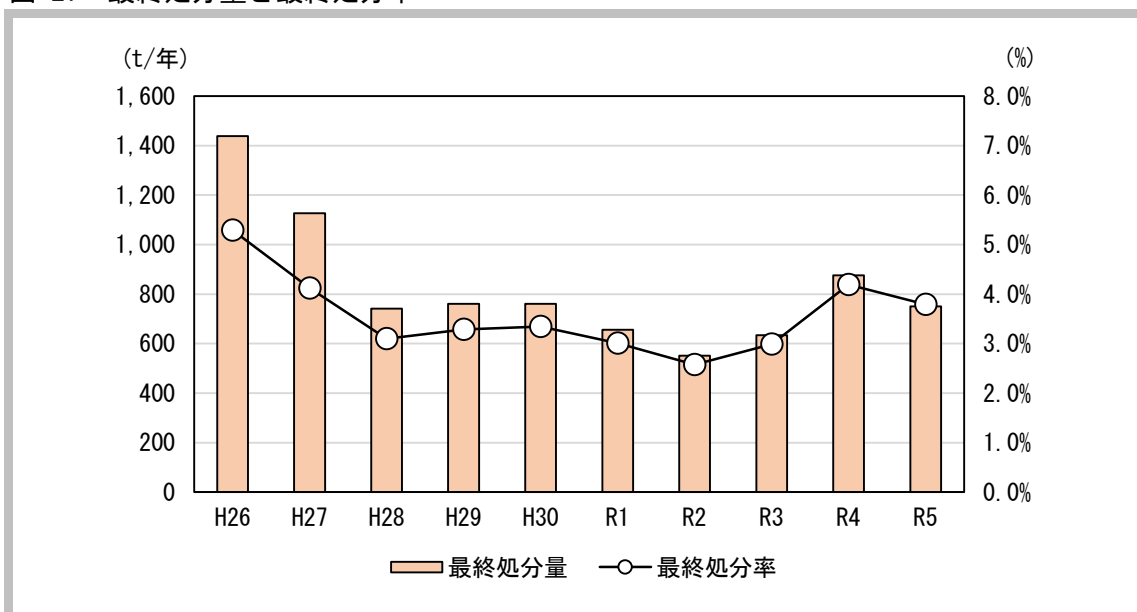
一方、最終処分は、焼却灰のセメント原料不適物と燃やせないごみ・大型ごみの処理残渣や泥土であり、令和 5 年度の最終処分量は 750 t /年、最終処分率は 3.8%、令和 4 年度の最終処分量は 876 t /年、最終処分率は 4.2%であり、令和 4 年度の最終処分率は、山口県平均（4.6%）及び全国平均（8.4%）と比べて低くなっている。

図 26 リサイクル量とリサイクル率



資料：市民部環境課資料

図 27 最終処分量と最終処分率



資料：市民部環境課資料

表 16 リサイクル率と最終処分率

項目	リサイクル率 【リサイクル量÷発生量】	最終処分率 【最終処分量÷排出量】
本市 (R4)	21.8%	4.2%
山口県平均 (R4)	22.7%	4.6%
全国平均 (R4)	19.6%	8.4%

※本市における排出量等（令和4年度）は、以下のとおりに試算する。

排出量 (20,668t) = 収集ごみ排出量 (14,440t) + 直接搬入ごみ排出量 (6,228t)

発生量 (20,880t) = 排出量 (20,668t) + 集団回収量 (212t)

リサイクル量 (4,547t) = 資源化量 (4,335t) + 集団回収量 (212t)

最終処分量 (876t) = 処理残渣等量 (不燃物、混合ごみ、泥土、災害ごみ) (866t)

+ 焼却残渣 (不適物) (10t)

資料：全国・県・・・一般廃棄物処理実態調査結果

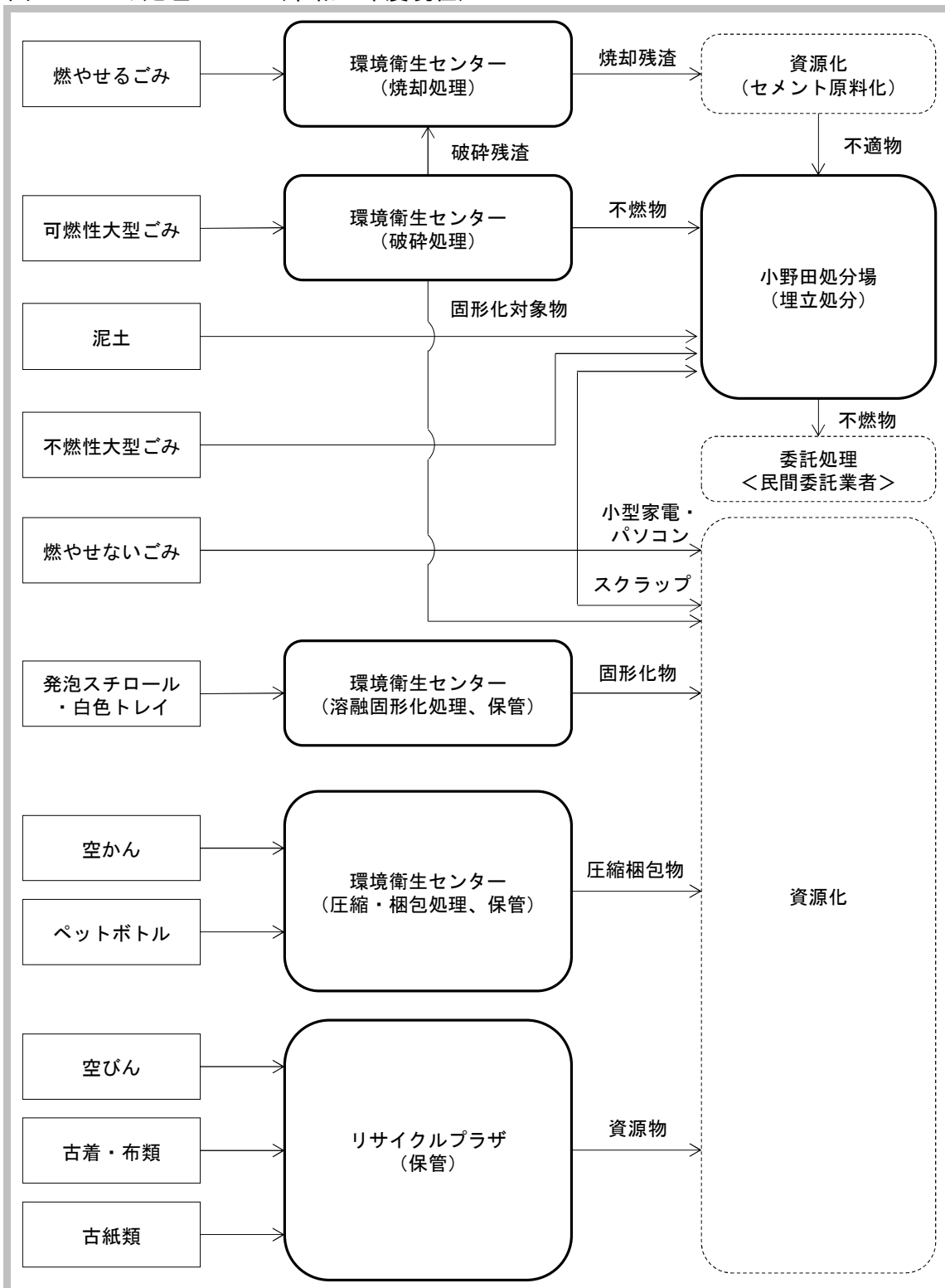
本市・・・市民部環境課資料

4. ごみ処理システム

収集・処理・処分フロー

ごみ処理の流れは、図 28 に示すとおりである。

図 28 ごみ処理フロー（令和 5 年度現在）



※混合ごみ（混載されたごみ）は施設搬入後に分別され、各項目の処理フローに従って処理される。

収集・運搬システム

① 分別区分

収集するごみの分別は、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ、大型ごみの 4 区分に分けられる。なお、分別種類は、9 種類（①燃やせるごみ、②燃やせないごみ、③空びん、④古紙類、⑤ペットボトル、⑥空かん、⑦古着・布類、⑧発泡スチロール・白色トレイ、⑨大型ごみ）である。

その他の区分としては、法定リサイクル対象品やメーカーによる回収、収集・処分ができないものがある。

なお、使用済小型家電は、燃やせないごみに区分されているが、市内 13 か所（市役所、地域交流センター、図書館等）に設置されている使用済小型家電回収ボックスに投入することが可能である。

表 17 分別区分

区分		内容
収集するごみ	燃やせるごみ	台所ごみ、紙くず・木くず、プラスチック類、皮革製品、ゴム類、アルミ箔、天ぷら油等（ごみ指定袋を利用）
	燃やせないごみ	使用済小型家電、自転車・三輪車、寝具類・敷物類、陶磁器類・ガラス製品、ビール等のふた、金属類、ライター、乾電池等
	資源ごみ	空びん
		古紙類
		ペットボトル
		空かん
		古着・布類
		発泡スチロール・白色トレイ
	大型ごみ	ベッド、ソファ、戸棚、たたみ、ドア・ガラス戸・サッシ等
製造メーカーによる回収		パソコン・ディスプレイ （使用済小型家電回収ボックスに投入することも可能）
家電リサイクル法対象品 （市では処理しない）		テレビ、洗濯機、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、衣類乾燥機 （家電販売店による回収または自ら指定取引場所に持ち込む）
収集・処分できないもの		タイヤ、バイク、バッテリー、消火器、農機具、医療用注射器、ガスボンベ等の危険物等 （販売業者等の引取りとする。）

表 18 使用済小型家電 回収品目

回収品目	
携帯電話、PHS 端末、スマートフォン、タブレット端末、パソコン（ディスプレイを含む）	
電話機、ファクシミリ、ラジオ	
デジタルカメラ、ビデオカメラ、カメラ	
録画・再生装置	DVD ビデオ、HDD レコーダー、BD レコーダー/プレーヤー、ビデオテープレコーダー
音響機器	MD プレーヤー、デジタルオーディオプレーヤー（フラッシュメモリ）、デジタルオーディオプレーヤー（HDD）、CD プレーヤー、テープレコーダー、ヘッドホン及びイヤホン、IC レコーダー、補聴器
補助記憶装置	
電子書籍端末	
電子辞書、電卓	
電子血圧計、電子体温計	
理容用機器	ヘアドライヤー、ヘアーアイロン、電気かみそり、電気バリカン、電気かみそり洗浄機、電動歯ブラシ
懐中電灯	
時計	
ゲーム機	据置型ゲーム機、携帯型ゲーム機、ハンドヘルドゲーム（ミニ電子ゲーム）、ハイテク系トレンドトイ
カー用品	カーナビ、カーカラーテレビ、カーチューナー、カーステレオ、カーラジオ、カーCD プレーヤー、カーDVD、カーMD、カースピーカー、カーアンプ、VICS ユニット、ETC 車載ユニット ※使用済小型家電として回収できるものに限る。（その他は回収不可）
付属品	リモコン、キーボードユニット、マウス、AC アダプタ、ケーブル、プラグ・ジャック、充電器（健康機器、美容機器、カメラ等の充電器）、地上デジタルチューナー、CS デジタルチューナー、その他チューナー、ケーブルテレビ用 STB、ゲーム用コントローラー

② 収集・運搬体制

本市の回収方法は、主にステーション方式である。なお、大型ごみのみ戸別収集を行っている。

収集・運搬体制は、燃やせないごみ、空びん、大型ごみ及び山陽地区の燃やせるごみ、発泡スチロール・白色トレイが委託であるが、それ以外は直営で行っている。

表 19 収集・運搬の概要

ごみ種類	方式	収集回数	区分	搬入先
燃やせるごみ	ステーション	週 2 回	直営（委託）	環境衛生センター
燃やせないごみ	ステーション	月 1 回	委託	小野田処分場 民間委託業者
空びん	ステーション	月 1 回	委託	小野田処分場 空びん保管場所
古紙類	ステーション	月 1 回	直営	リサイクルプラザ古紙保管場所
ペットボトル	ステーション	月 1 回	直営	ペットボトルストックヤード
空かん	ステーション	月 1 回	直営	小野田処分場 空かん保管場所
古着・布類	ステーション	月 1 回	直営	古着保管場所
発泡スチロール ・白色トレイ	ステーション	月 1 回	直営（委託）	ペットボトルストックヤード
可燃性大型ごみ	戸別収集	随時	委託	環境衛生センター
不燃性大型ごみ	戸別収集	随時	委託	小野田処分場 民間委託業者

※（ ）は山陽地区の区分を示す。

中間処理システム

① 中間処理施設の概要

各種のごみは、環境衛生センター及びリサイクルプラザで処理を行っている。なお、下表に含まれていない燃やせないごみ及び不燃性大型ごみについては、民間委託業者による処理を行っている。

表 20 中間処理施設の概要

処理対象ごみ	施設名	設備名	処理方法	稼働開始年月
燃やせるごみ	環境衛生センター	焼却設備	焼却	平成 27 年 4 月
可燃性大型ごみ		破碎設備※	破碎	
空かん	空かん保管場所	圧縮・ 梱包設備	圧縮・梱包・ 保管	平成 2 年 4 月
ペットボトル	ペットボトル ストックヤード			平成 11 年 4 月
発泡スチロール・ 白色トレイ			溶融固形化・ 保管	
空びん	空びん保管場所	－	保管	平成 2 年 4 月
古着・布類	古着保管場所			平成 6 年 4 月
古紙類	古紙保管場所			

※破碎設備は、投入できるごみの大きさや種類等に条件があるため、すべての可燃性大型ごみをそのまま投入することができない。

そのため、投入前に選別等の前処理を行っている。

② 燃やせるごみの処理

燃やせるごみは、環境衛生センターにて焼却処分されている。

環境衛生センターは、平成 27 年 4 月より稼働した施設である。処理対象物は、燃やせるごみ、可燃性大型ごみ、可燃性混合ごみ、汚泥（山陽小野田市小野田浄化センター（以下、「小野田浄化センター」という。）、小野田水処理センター、山陽水処理センターから排出される脱水汚泥）である。

なお、排ガス分析結果は、平成 26 年度まで稼働していた旧施設も含めて、排出基準に適合している。

また、環境衛生センターからの温室効果ガス排出量は減少傾向である。

表 21 施設の概要

施設名	環境衛生センター
所在地	山陽小野田市大字小野田 7525-2
敷地面積	約 11,372m ²
竣工	平成 27 年 4 月
施設規模	90 t/24 h (45 t/24h×2 系列)
処理方式	全連続燃焼方式 ストーカ炉
排ガス処理設備	バグフィルタ、有害ガス処理装置
余熱利用設備	温水発生器、汚泥乾燥機

図 29 環境衛生センターの処理フロー

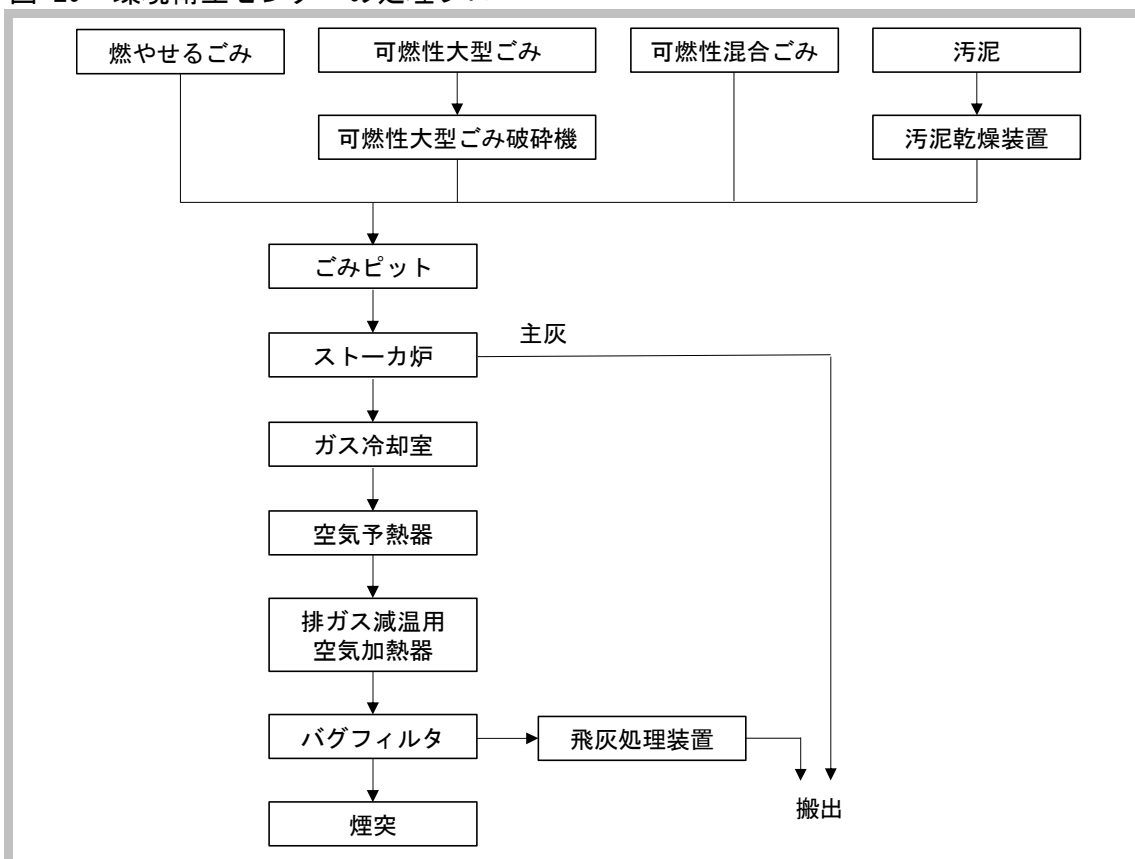


表 22 環境衛生センターの排ガス分析結果

項目		法基準	炉	H26	H27	H28	H29	H30
ばいじん濃度	[g/m³]	0.15	1号炉	0.0181 (g/m³N)	0.0004未満	0.0005未満	0.0008未満	0.0007未満
			2号炉		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
硫黄酸化物濃度	[volppm]	K=2.34	1号炉	—	2未満	1未満	3未満	2
			2号炉		1未満	1未満	2未満	2未満
窒素酸化物濃度	[volppm]	250	1号炉	—	29	23	203	29
			2号炉		21	22	29	21
塩化水素濃度	[volppm]	700	1号炉	—	1未満	5	1	1未満
			2号炉		1未満	3未満	2	1未満

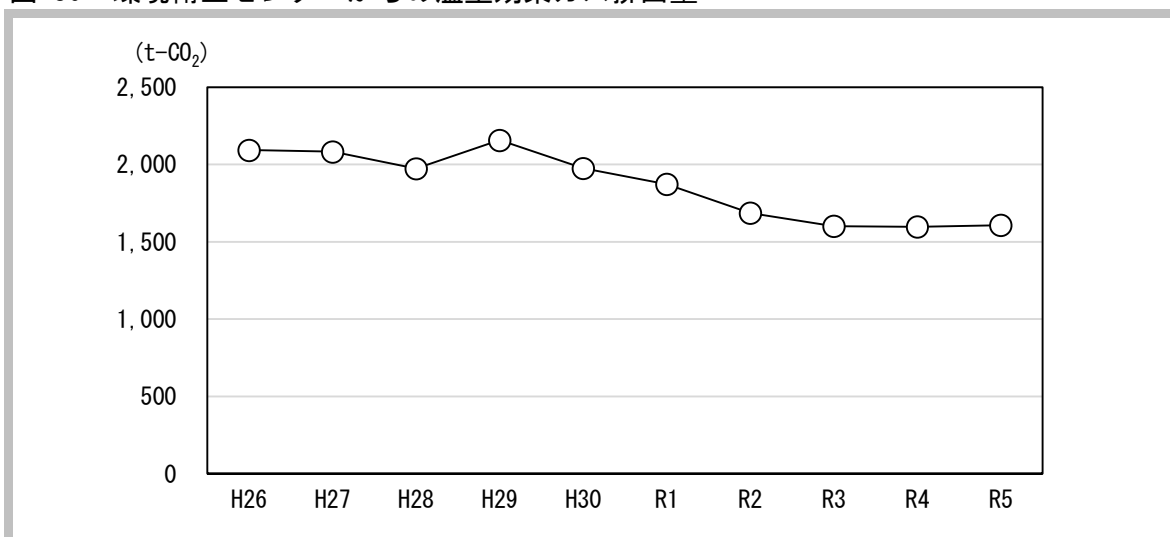
項目		法基準	炉	R1	R2	R3	R4	R5
ばいじん濃度	[g/m³]	0.15	1号炉	0.0039	0.0005未満	0.0005未満	0.001未満	0.001
			2号炉	0.00055	0.0005未満	0.0012	0.001未満	0.001
硫黄酸化物濃度	[volppm]	K=2.34	1号炉	3	3	2.5	10.75	4
			2号炉	2.5	3.5	2	1.9	4
窒素酸化物濃度	[volppm]	250	1号炉	21	23.5	23	27.5	36
			2号炉	36	28.5	34.5	32	33
塩化水素濃度	[volppm]	700	1号炉	2	1	1	11.3	2
			2号炉	1未満	1.5	1未満	4.9	2

※H26年度は旧施設の排ガス分析結果を示す。

※H26年度は年3回の分析結果、H27～R5年度は年2回の分析結果を平均した数値を示す。

資料：環境衛生センター資料

図 30 環境衛生センターからの温室効果ガス排出量



資料：市民部環境課資料

③ 資源ごみ・大型ごみ処理（破碎等設備）

可燃性大型ごみは環境衛生センター内の破碎設備にて破碎処理された後、焼却処分されている。

空かんはスチールとアルミに選別し圧縮・梱包を経て業者に引き渡し資源化されている。

ペットボトルは圧縮・梱包した後、業者に引き渡し資源化されている。

発泡スチロール・白色トレイは溶融固形化した後、業者に引き渡し資源化されている。

表 23 施設の概要

施設名			環境衛生センター
所在地			山陽小野田市大字小野田 7525-2
竣工			① 可燃性大型ごみ破碎設備 : 平成 27 年 4 月 ② カン選別・圧縮・梱包設備 : 平成 2 年 4 月 ③ ペットボトル圧縮・梱包設備 : 平成 11 年 4 月 ④ 白色トレイ・発泡スチロール溶融固形化設備 : 平成 11 年 4 月
対象ごみ			可燃性大型ごみ、空かん、ペットボトル、発泡スチロール・白色トレイ
処理能力	破碎設備		20 t/日
	圧縮 梱包 設備	缶	8 t/日
		ペット ボトル	0.4 t/h
	溶融固形化設備		0.06 t/h

④ 資源ごみ処理（保管設備）

空びんは、3 色（無色、茶色、その他）で分別収集され、環境衛生センター内の保管場所にて保管されている。その後、業者に引き渡し、資源化されている。

古着・布類・紙パック・新聞・雑誌・ダンボールは、それぞれ分別収集され、リサイクルプラザ内の保管場所にて保管されている。その後、業者に引き渡し、資源化されている。

⑤ 最終処分場

本市の処分場は、小野田処分場と山陽小野田市山陽処分場（以下、「山陽処分場」という。）がある。それぞれの最終処分の対象物は、資源化できない不燃ごみとセメント原料にできない焼却残渣である。なお、いずれの処分場も残余容量を有しているものの、現在、山陽処分場へは搬入しておらず、主に小野田処分場を優先して使用している。

表 24 施設の概要

施設名	小野田処分場
所在地	山陽小野田市大字小野田 7525-39
竣工	平成 13 年 4 月
埋立面積	15,000 m ²
埋立容量	60,000 m ³
残余容量	13,013 m ³ （令和 4 年 8 月時点）

表 25 施設の概要

施設名	山陽処分場
所在地	山陽小野田市大字埴生 1186-1
竣工	平成元年
埋立面積	7,200 m ²
埋立容量	38,000 m ³
残余容量	9,450 m ³ （令和 4 年 8 月時点）

ごみ処理行財政の実績

① 清掃行政の組織

清掃行政の執行機関及び処理施設は、図 31 及び表 26 に示すとおりである。

図 31 清掃行政の執行機関（令和 6 年現在）

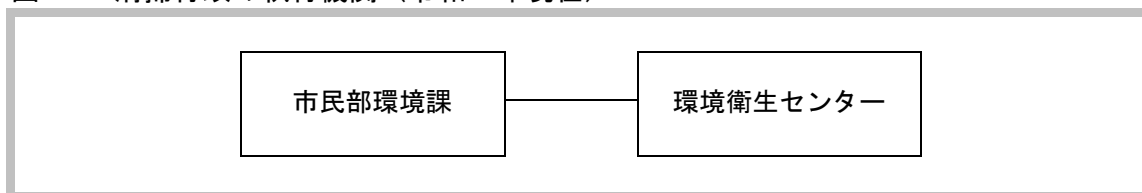


表 26 処理施設（一般廃棄物）

名 称	所 在 地	処 理 概 要
環 境 衛 生 セ ン タ ー	山陽小野田市大字小野田 7525-2	① 本市内の燃やせるごみの焼却 処分を行っている。 ② 本市内の大型ごみ、資源ごみの 中間処理、保管を行っている。

② 一般廃棄物処理に要する経費

ごみ処理に要する経費の合計は、平成 26 年度に環境衛生センターを建設したことにより一時的に増加しているが、平成 27 年度以降は、変動はあるものの 10 億円以下で推移している。

処理及び維持管理費は、令和元年度以降は減少傾向であったが、令和 4 年度に増加に転じている。

表 27 ごみ処理に要する経費の推移

項目		H26	H27	H28	H29	H30
建設改良費	[千円]	3,163,423	0	0	0	12,900
工事費	[千円]	3,163,423	0	0	0	12,900
調査費	[千円]	0	0	0	0	0
処理・維持管理費	[千円]	672,221	699,643	791,550	717,304	758,422
人件費	[千円]	350,619	295,481	322,775	299,205	303,158
収集運搬費	[千円]	16,533	14,323	14,964	14,252	17,289
中間処理費	[千円]	57,345	67,916	116,880	83,401	108,387
最終処分費	[千円]	1,890	1,265	16,107	1,868	7,254
車両等購入費	[千円]	12,373	5,378	9,589	0	0
委託費	[千円]	233,461	315,280	311,235	318,578	322,334
その他	[千円]	0	0	0	0	0
その他	[千円]	5,984	3,921	5,647	5,106	7,318
合計	[千円]	3,841,628	703,564	797,197	722,410	778,640

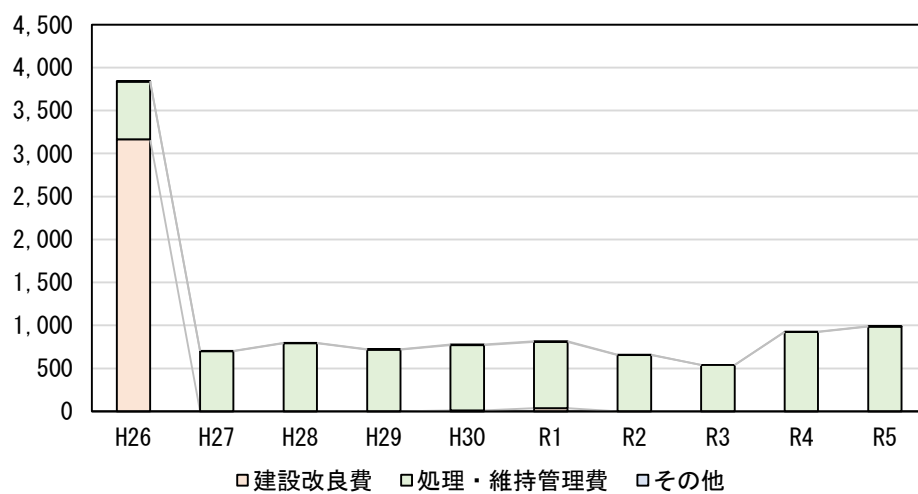
項目		R1	R2	R3	R4	R5
建設改良費	[千円]	36,227	0	0	0	0
工事費	[千円]	36,227	0	0	0	0
調査費	[千円]	0	0	0	0	0
処理・維持管理費	[千円]	772,665	654,330	539,536	921,803	988,481
人件費	[千円]	293,533	177,684	305,925	286,508	313,864
収集運搬費	[千円]	15,267	15,348	14,031	15,115	14,231
中間処理費	[千円]	99,260	100,129	91,596	3,592	7,691
最終処分費	[千円]	3,769	1,859	3,243	2,902	1,377
車両等購入費	[千円]	11,145	13,376	13,513	12,524	8,736
委託費	[千円]	349,691	345,934	111,228	601,162	642,582
その他	[千円]	0	0	0	0	0
その他	[千円]	7,804	4,927	0	4,729	1,328
合計	[千円]	816,696	659,257	539,536	926,532	989,809

資料：市民部環境課資料

図 32 ごみ処理に要する経費及び処理・維持管理費の推移

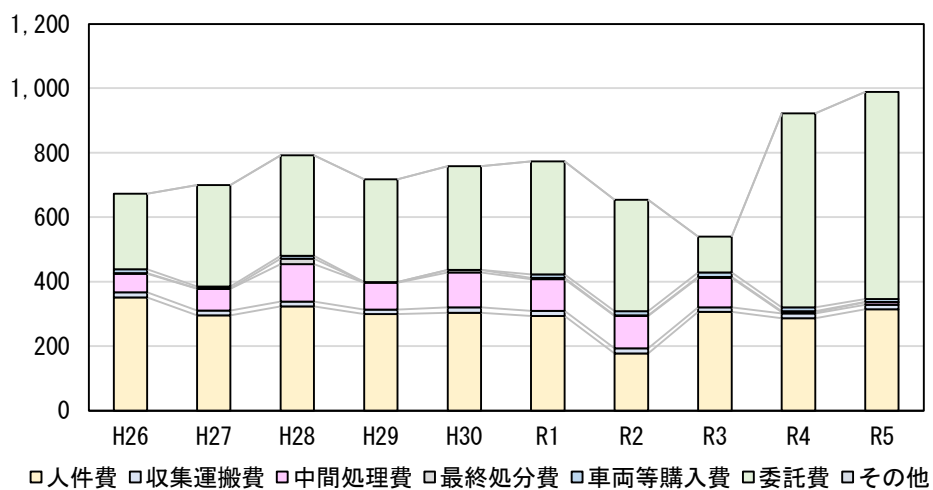
経 費

(百万円/年)



処理・維持管理費

(百万円/年)



令和 5 年度における処理及び維持管理費は、ごみ処理 t 当たり 50.40 千円/t、市民一人当たり 16.72 千円/人、一世帯当たり 34.03 千円/世帯、令和 4 年度における処理及び維持管理費は、ごみ処理 t 当たり 44.60 千円/t、市民一人当たり 15.42 千円/人、一世帯当たり 31.88 千円/世帯となる。

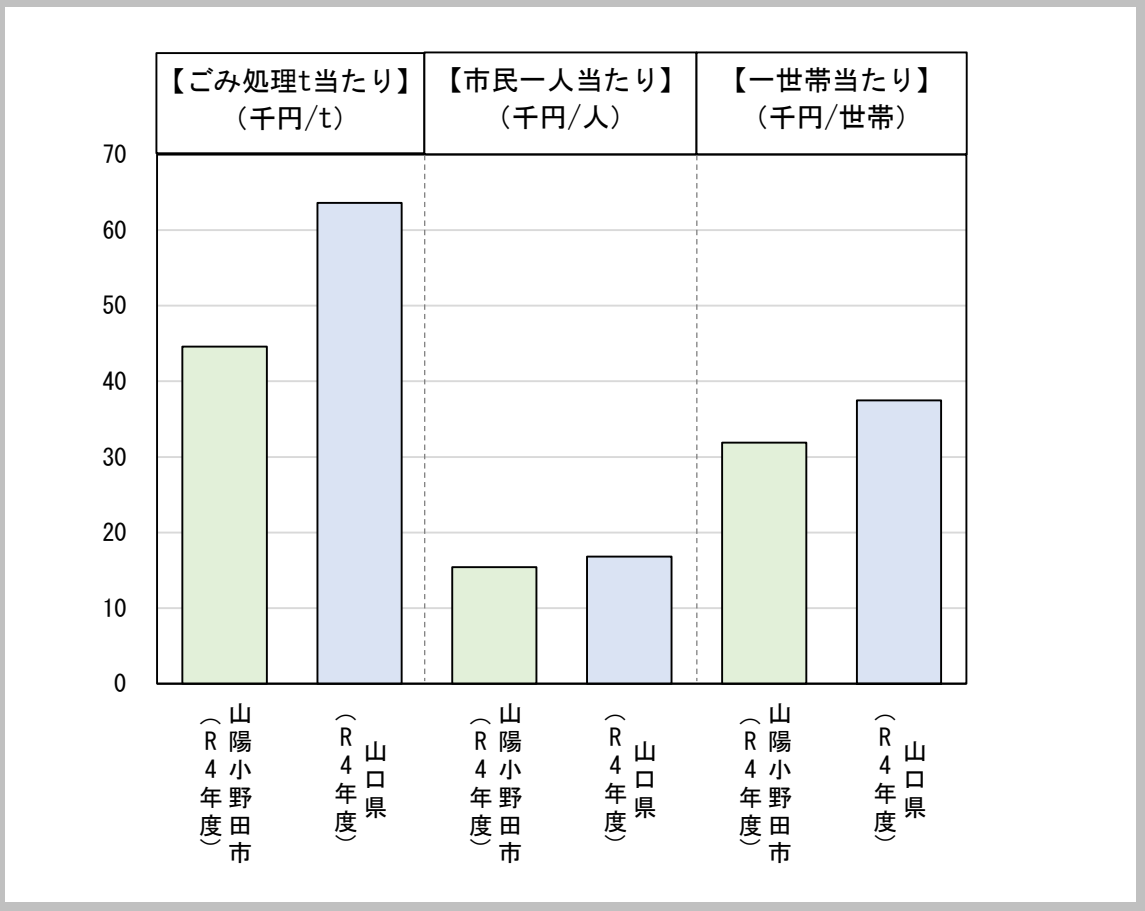
山口県平均の令和 4 年度における処理及び維持管理費と比較すると、ごみ処理 t 当たりの処理単価は低い水準であるが、市民一人当たり及び一世帯当たりの処理単価は、同程度の水準である。

表 28 ごみ処理 t 当たり、市民一人当たり、一世帯当たり処理費用(令和 4、5 年度)

項目				R4	R5
処理費用	①	処理・維持管理費	[千円]	921,803	988,481
	②	建設費	[千円]	0	0
	③	その他	[千円]	4,729	1,328
	④	合計	[千円]	926,532	989,809
ごみ処理t当たり	⑤	総排出量	[t/年]	20,668	19,613
	⑥	処理・維持管理費 (①÷⑤)	[千円/t]	44.60	50.40
	⑦	合計 (④÷⑤)	[千円/t]	44.83	50.47
市民一人当たり	⑧	行政区域内人口	[人]	59,797	59,125
	⑨	処理・維持管理費 (①÷⑧)	[千円/t]	15.42	16.72
	⑩	合計 (④÷⑧)	[千円/t]	15.49	16.74
一世帯当たり	⑪	世帯数	[世帯]	28,913	29,047
	⑫	処理・維持管理費 (①÷⑪)	[千円/世帯]	31.88	34.03
	⑬	合計 (④÷⑪)	[千円/世帯]	32.05	34.08

資料：市民部環境課資料

図 33 ごみ処理 t、市民一人、一世帯当たり処理費用(処理及び維持管理費のみ)



資料：全国・県・・・一般廃棄物処理実態調査結果
本市・・・市民部環境課資料

周辺自治体のごみ処理状況

周辺自治体のごみ処理状況について、処理施設の状況をみると表 29 のとおりである。

表 29 周辺自治体の施設状況

事業 主体名	熱回収施設 (可燃ごみ処理施設)	リサイクルセンター (粗大ごみ処理施設)	最終処分場
下関市	環境センター奥山工場 [発電設備：3,600kW] (170t/日、焼却、H28) [発電設備：3,180kW] (180t/日、焼却、H14)	下関市リサイクルプラザ (113t/日、選圧梱他、H15)	吉母管理場 (127.32 万 m ³ 、S61)
	クリーンセンター響 (中継施設、H21)	クリーンセンター響 (32t/日、選圧梱、H30)	クリーンセンター響 (4.95 万 m ³ 、S63)
美祢市	美祢市カルストクリーンセンター (28t/日、RDF 化、H11)	リサイクルセンター (1.29t/日、圧、H12)	一般廃棄物最終処分場 (2.2 万 m ³ 、H12)
宇部市	宇部市ごみ処理施設 (198t/日、焼却、H14)	宇部市リサイクルプラザ (70t/日、破選圧、H7)	宇部市一般廃棄物最終処分場 (13.1 万 m ³ 、H20)
		圧縮梱包施設 (12.5t/日、選圧梱、H12)	

※可燃ごみ処理施設の欄：(処理能力、処理方式、竣工年)

粗大ごみ処理施設の欄：(処理能力、種類(破：破碎、選：選別、圧：圧縮、梱：梱包)、竣工年)

最終処分場の欄：(埋立容量、竣工年)

資料：一般廃棄物処理実態調査結果

ごみ処理に関する現状・課題

① ごみの排出に関する事項

《 現 状 》 → 《 課 題 》

○本市において、ごみ排出量は持込みごみ処理手数料の値上げ等により減少しており、一人一日平均排出量を見ると、山口県平均と概ね同等の数値を示している。ただし、全国平均よりも高い数値を示している。

→ 今後も適切なごみ減量化施策を展開していくことで、引き続き、ごみの減量化を推進する必要がある。なお、ごみ減量化施策は、収集燃やせるごみが全体の57.1%を占めていることを考慮し、効果的な施策内容を検討する必要がある。

② ごみの分別に関する事項

《 現 状 》 → 《 課 題 》

○分別収集による資源物回収量は概ね横ばいであり、集団回収量は過去10年間に於いて減少傾向にある。

→ 資源物の回収が推進される施策を検討する必要がある。

③ 収集・運搬に関する事項

《 現 状 》 → 《 課 題 》

○ごみの回収方式は、主にステーション方式が採用されている。

→ 今後、高齢化が進み、自らごみをステーションへ持ち出すことが困難な人が増加してくることを踏まえると、要請のあった世帯に戸別収集を行うサービスを検討する必要がある。

④ 中間処理に関する事項

《 現 状 》 → 《 課 題 》

○中間処理施設により、焼却処分や破碎選別、圧縮梱包、保管等が行われている。

→ 中間処理施設を長期的に維持管理していくため、より適正な運転方法の検討を行い、作業環境の向上と作業効率化を図る必要がある。

⑤ 最終処分に関する事項

《 現 状 》 → 《 課 題 》

○小野田処分場にて、本市全体のごみを埋め立てしている。

→ 最終処分場を長期的に使用できるようリサイクルを進め、不燃ごみの減量化を行うことが必要である。また、小野田処分場再生について検討するとともに、現在、埋立していない山陽処分場の埋立計画を検討する必要がある。

第2章 ごみ処理基本計画

1. 基本理念

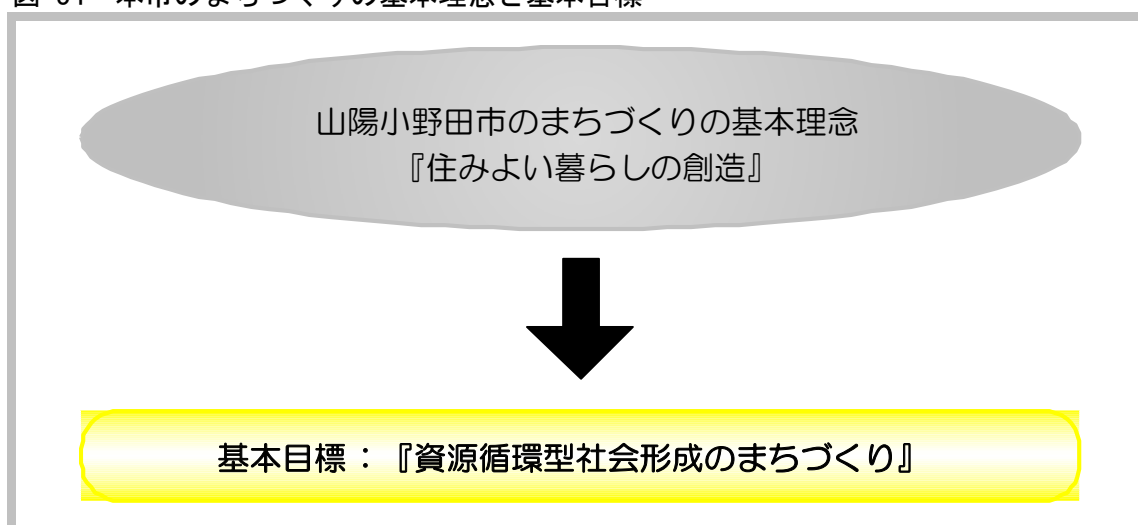
現在のごみ問題は、ごみによる環境への影響の懸念、ごみ処理費用の増加等、ますます深刻化しており、解決するためには、これまでの社会経済システムやライフスタイルの変革が求められており、全体として環境への負荷ができるだけ低減される循環型社会への転換を目指すことが必要である。また、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、17の大きな目標を掲げており、このうち「目標12：持続可能な消費と生産」において、循環型社会形成の取り組みを積極的に展開することを求めている。

国においても、これまでに「環境基本法」や「循環型社会形成推進基本法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や資源の有効利用促進に関する各種法令の整備を進めることで、循環型社会の構築を目指してきた。さらに、近年では、平成30年4月に閣議決定した「第5次環境基本計画」にて、SDGsの考え方を活用した取り組みの展開を求めている。

山口県では、「山口県循環型社会形成推進地域計画（第3次計画）平成28年3月」を策定し、環境負荷の少ない循環型社会の形成を推進している。

したがって、本計画では、第二次山陽小野田市総合計画の「住みよい暮らしの創造」を基本理念として、社会的背景や本市のごみ処理状況を踏まえた適正なごみ処理や各種施策を推進し、環境への負荷を低減することで、基本目標である「資源循環型社会形成のまちづくり」の実現を目指すものとする。

図 34 本市のまちづくりの基本理念と基本目標

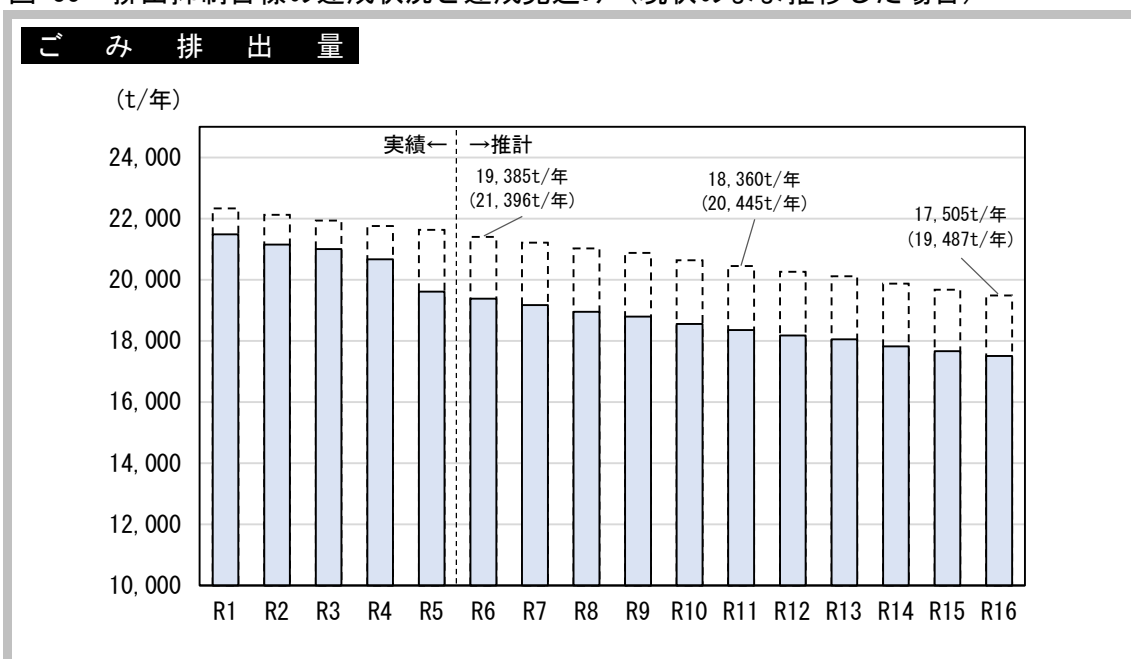


2. ごみ排出量の数値目標

(1) 目標の達成状況と達成見込み

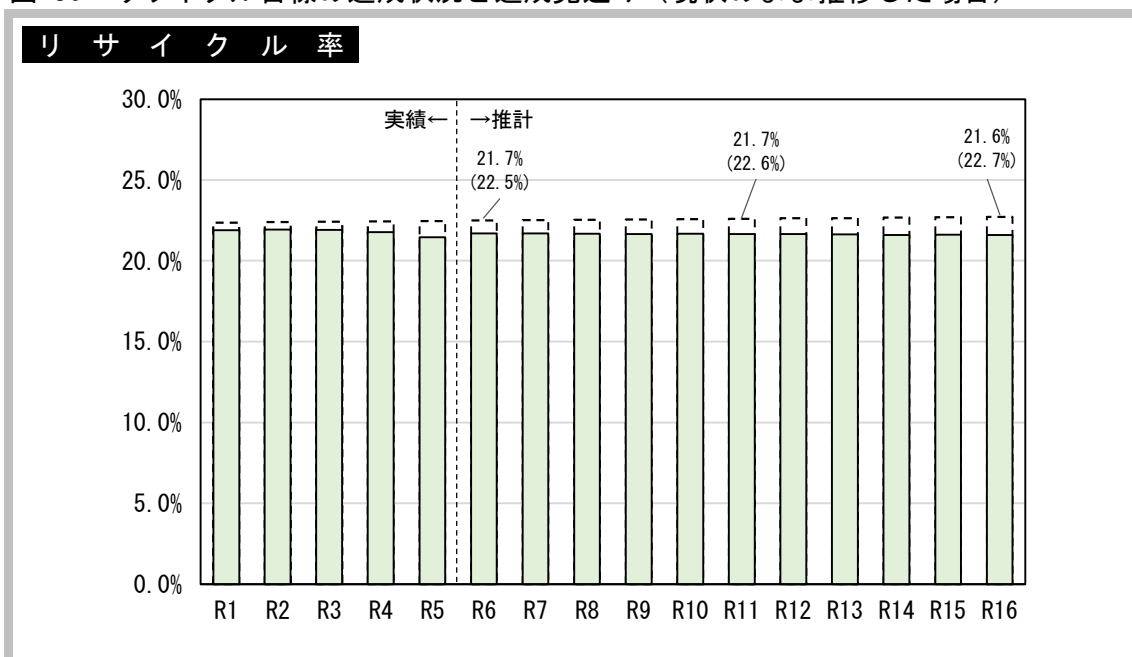
- 本計画では、数値目標として、排出抑制目標（13%削減）、リサイクル目標（22.7%以上）、最終処分目標（717t以下）の3つが設定されている。
- ごみ排出量は、令和16年度において17,505t/年と見込まれ、目標を達成（平成30年度実績から約21%減少）する見込みである。
- リサイクル率は、令和16年度において21.6%と見込まれ、目標を達成できない見込みである。
- 最終処分量は、令和16年度において764tと見込まれ、目標を達成できない見込みである。
- 目標の達成状況と達成見込みを踏まえ、数値目標は当初目標値を踏襲するものとする。なお、排出抑制目標については目標を達成する見込みであることから、平成30年度実績に対し、ごみ排出量を13%以上削減とする。

図 35 排出抑制目標の達成状況と達成見込み（現状のまま推移した場合）



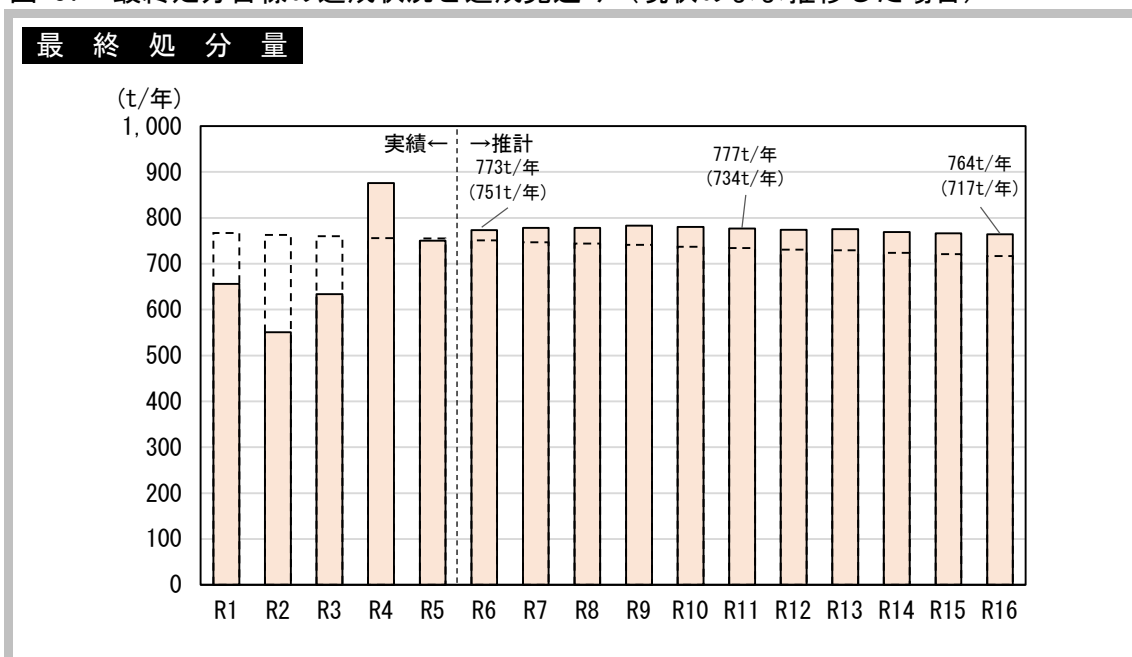
※点線は当初目標を示しており、括弧書きの数値は当初目標値である。

図 36 リサイクル目標の達成状況と達成見込み（現状のまま推移した場合）



※点線は当初目標を示しており、括弧書きの数値は当初目標値である。

図 37 最終処分目標の達成状況と達成見込み（現状のまま推移した場合）



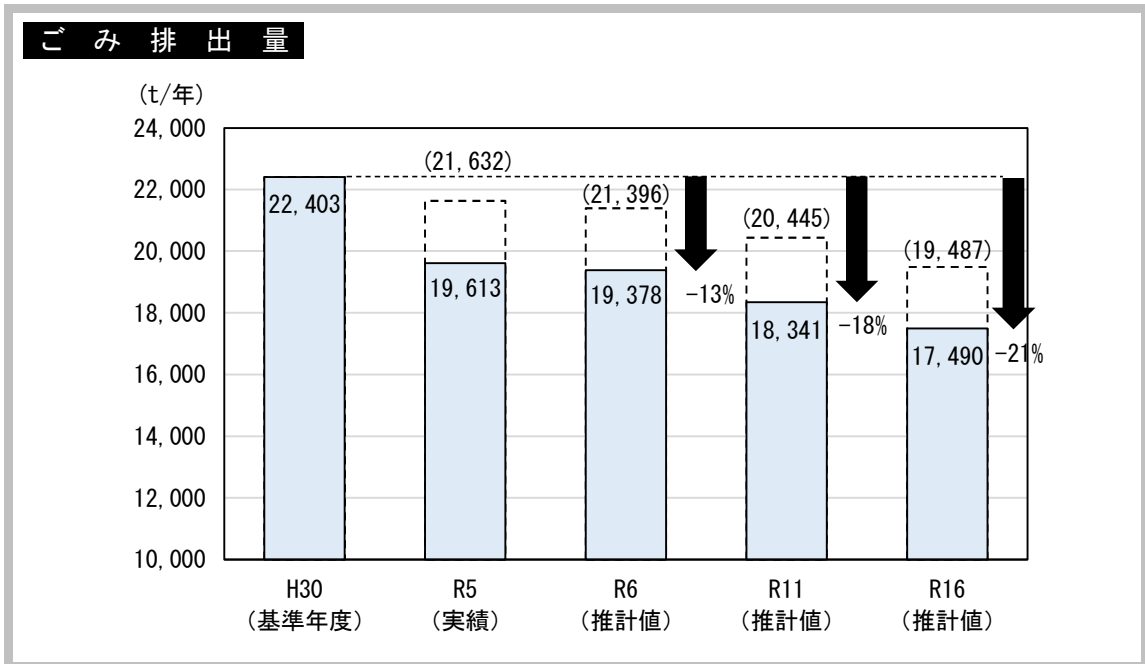
※点線は当初目標を示しており、括弧書きの数値は当初目標値である。

(2) 数値目標

① 排出抑制目標

- 排出抑制目標は、令和 16 年度までに、平成 30 年度実績に対し、ごみ排出量を 13%以上削減とする。

図 38 排出抑制目標



※点線は当初目標を示しており、括弧書きの数値は当初目標値である。
将来推計値は、リサイクル目標や最終処分目標の達成も踏まえて整理している。

(参 考) 削減量の算出根拠

削減量は、各施策を適切に実施することで、可燃ごみの排出量を以下のとおり削減することを見込むことで算出した。なお、その他ごみ種類は、現状を維持するものとした。

【家庭系ごみ 可燃ごみ】

食品ロスの削減	： 1.7%削減
生ごみの水切り	： 0.4%削減
古紙類の分別徹底	： 0.6%削減 (資源ごみとして排出される)
合計	： 2.7%削減

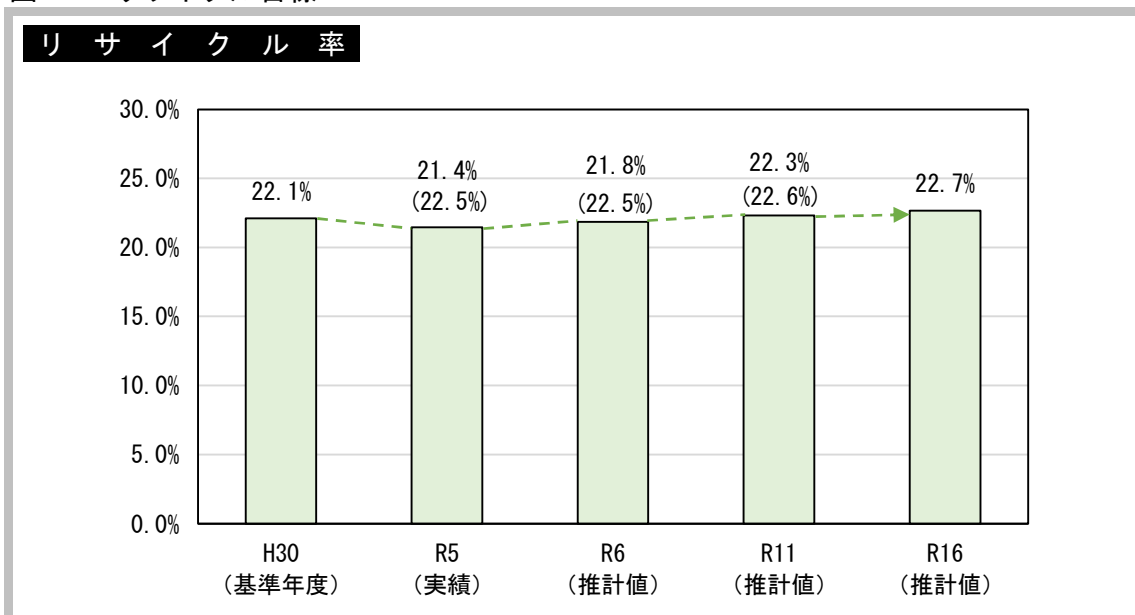
【事業系ごみ 可燃ごみ】

フードバンク活用による食品ロス削減	
厨芥類、調理くずの生ごみ処理業者への処理委託を推進	
ダンボールや新聞紙等の廃棄物再生業者への処理委託を推進	
代替品利用によるプラスチック類の削減	
合計	： 約 5%削減

② リサイクル目標

- 中間処理での資源化を図ることにより、リサイクル率を令和 16 年度で 22.7%以上とする。

図 39 リサイクル目標

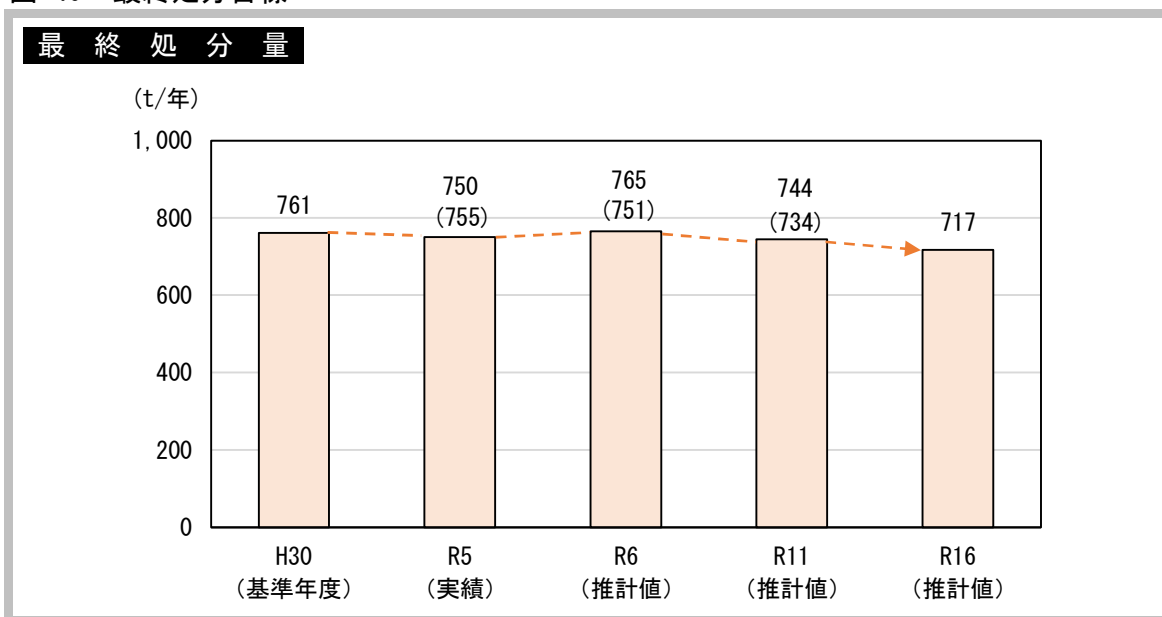


※括弧書きの数値は当初目標値である。
当初目標の達成状況を踏まえ、将来推計値を見直している。

③ 最終処分目標

- 最終処分量は、ごみの排出抑制とリサイクルの推進により、令和 16 年度までに 717t 以下とする。

図 40 最終処分目標

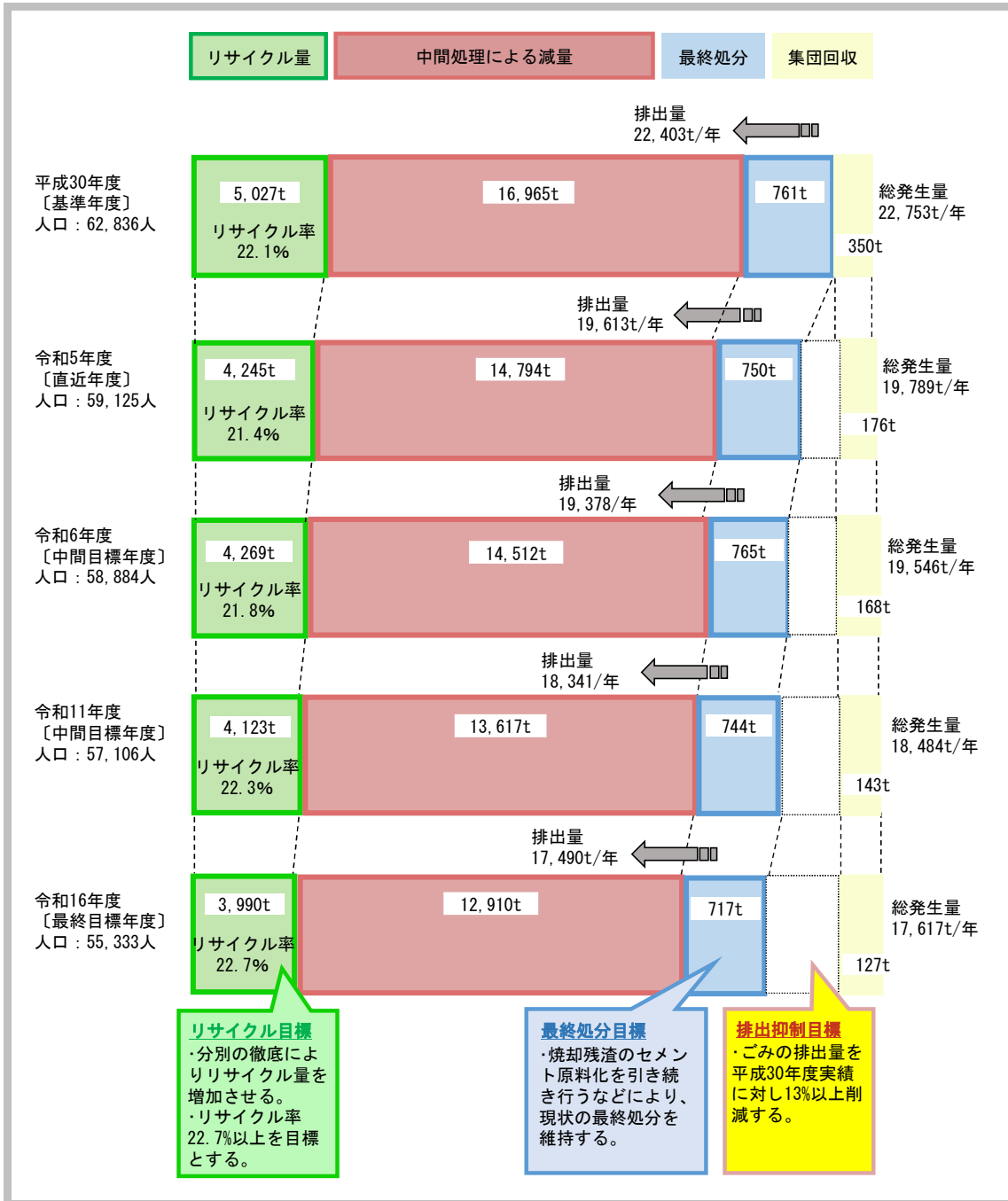


※括弧書きの数値は当初目標値である。
当初目標の達成状況を踏まえ、将来推計値を見直している。

④ 総 括

- 本計画の数値目標を総括すると、以下のとおりである。

図 41 ごみ排出抑制・リサイクル・最終処分に関する数値目標〔総括〕



※リサイクル量には集団回収量が含まれている。

(参 考) ごみを減らすためには (具体例)

買い物へ行く時は、マイバッグを持参しましょう。
買い物の前にあらかじめ購入する商品を決めておき、
不要な買い物をしないようにしましょう。
また、不要なレジ袋は断るようにしましょう。



食事の量を良く考え、作り過ぎないようにしましょう。
作った料理は食べ残ししないようにしたり、翌日のお
弁当に利用しましょう。



調理くずは、生ごみ処理機を利用する等して堆肥化
し、家庭用菜園などに利用しましょう。
ごみとして排出する際には、よく水を切りましょう。



着なくなった洋服は、フリー・マーケットへ出品した
り、知人や近所の人に譲りましょう。
着なくなった洋服は、リフォームしてリユース (再使
用) しましょう。



※国・山口県の目標値

国・山口県・本市上位計画で設定している目標値は以下のとおり。

廃棄物処理基本方針の目標値

項目	目標【令和7年度、9年度】
排出量	令和7年度に平成24年度比「約16%」削減
リサイクル率	令和9年度に「約28%」
最終処分量	令和7年度に平成24年度比「約31%」削減
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量	令和7年度に440グラム

第五次循環型社会形成推進基本計画（令和6年8月）の目標値

項目	目標【令和7年度】
一人一日当たりの ごみ焼却量	580 g/人日

山口県循環型社会形成推進基本計画（第4次計画）の目標値

項目	目標【令和7年度】
総排出量	424 千トン
リサイクル率 (再生利用量)	35.0 % (148 千トン)
減量化量	254 千トン
最終処分量	22 千トン
一人一日当たりの 家庭排出ごみ量	462 g/人日

山陽小野田市総合計画（第二次計画）の目標値

項目	目標【令和7年度】
市民1人1日当たり ごみ排出量	986 g/人日
ごみリサイクル率	22.5 %

※汚泥や災害ごみを除いたごみ排出量をベースとしている

3. 基本方針

- 本計画の目標を達成するために、以下の3つを基本方針とする。

基本方針

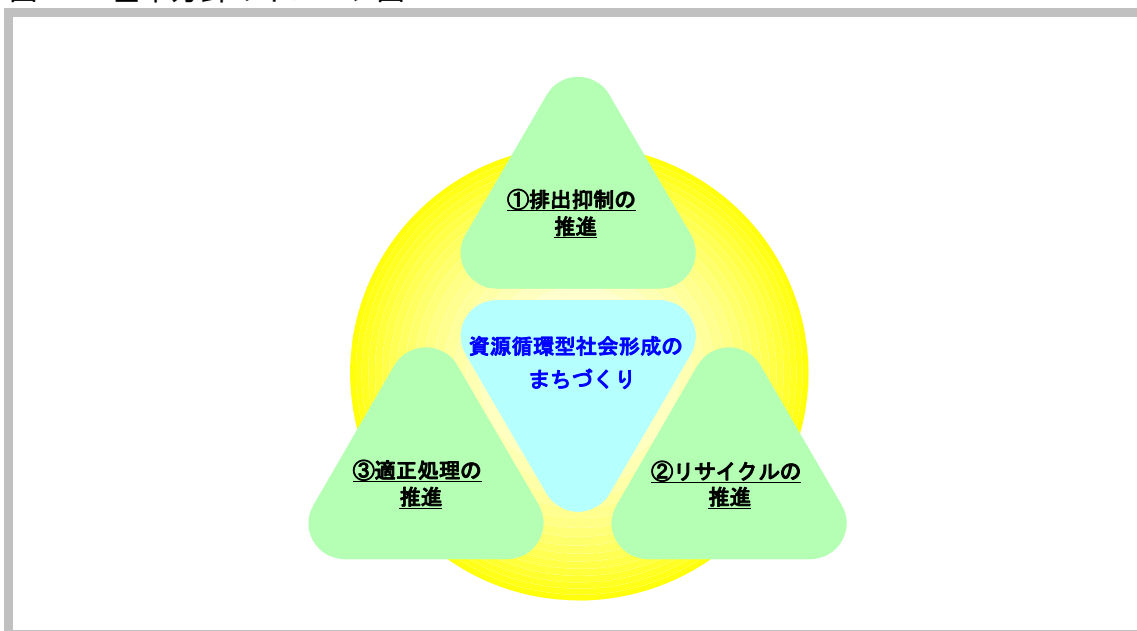
- ①排出抑制の推進
- ②リサイクルの推進
- ③適正処理の推進

ごみの排出抑制を推進するには、市民のライフスタイルの変革と、事業者の環境に配慮した経済活動及び行政による支援・制度づくりが不可欠である。市民・事業者・行政の三者が、連携（パートナーシップ）と協力のもと、それぞれの役割と責任を果たしていくことが基本となる。

リサイクルを推進するためには、5R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペア）の実践が不可欠である。国では、廃棄物・リサイクル対策の優先順位が「①リデュース、②リユース、③リサイクル、④熱回収、⑤適正処理」と明確にしており、これに基づいて行うものとする。具体的には、まず、リデュース（ごみを出さない）、リユース（再利用）により、ごみを最小限にしていくことが必要である。また、それでも不用となるものの中には資源物も多く、分別することによりリサイクル（再生利用）することが可能であり、分別回収を推進する。

適正処理を推進するには、本市の管理のもと、5R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ、リペア）の実践によっても、なおごみとなるものを安全かつ適正に処理・処分する。

図 42 基本方針のイメージ図



4. ごみ処理主体

本市管内から排出されたごみの処理主体を、排出から処理・処分に至る工程ごとに、さらに、ごみ種類ごとに明確化した。表 30 に本市のごみ処理段階ごとの責任者（処理主体）を示す。

発生・排出抑制

排出段階における再利用や発生・排出削減については、排出者である市民や事業者が行う必要があるが、適正処理の観点からも排出抑制を推進する必要があるため、排出者への啓発等については、行政が行うものとする。

収集・運搬

収集・運搬は現行どおりとする。

処理・処分

基本的にごみ（一般廃棄物）の中間処理、最終処分は行政で行うものとする。

また、適正処理困難物や特別管理一般廃棄物については、製造責任者または排出者の責任において処理・処分を行うものとする。

表 30 ごみ処理段階ごとの責任者（処理主体）

区 分		発生・排出抑制	収集・運搬	中間処理	最終処分
対象一般廃棄物	家庭系 ごみ	市 民	行 政	行 政	行 政
	事業系 ごみ	事 業 者			

5. ごみの発生・排出削減のために【排出抑制の推進】

(1) 基本目標

本計画におけるごみの発生・排出削減のための基本目標を表 31 に示す。

ごみの発生・排出削減は、事業者は「環境に配慮した事業活動や商品づくり」を行い、消費者である市民は「環境・資源問題、廃棄物処理に配慮した生活に転換」し、行政は「様々な角度から支援」を行うものとする。

表 31 ごみ発生・排出削減の基本目標

- ① ごみとなるものを「作らない、売らない、買わない」を基本とする。
- ② 市民、事業者、行政が一体となった取り組みを行い、循環型社会を形成する。

(2) 課題

ごみ発生・排出削減に係る課題を表 32 に示す。

ごみの5Rを実践し、ごみの発生・排出削減を有効かつ確実に進めるためには、行政による制度づくりも必要であるが、一方で、排出者である市民及び事業者のごみ問題に関する意識の向上も不可欠である。

表 32 ごみ発生・排出削減の課題

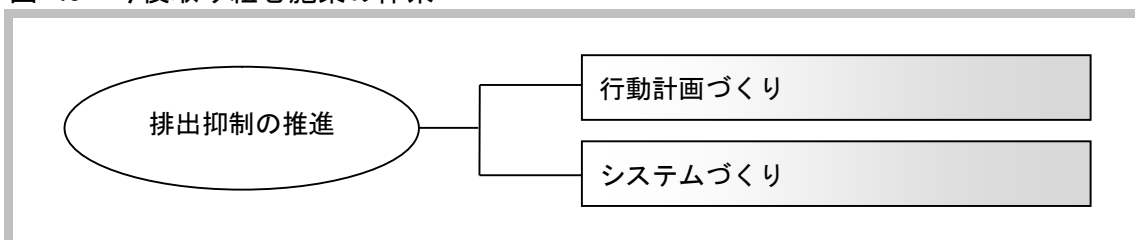
循環型社会形成の観点から大量生産、大量消費、大量廃棄といった生活の利便さや快適さを最優先とした社会から、廃棄物の適正な分別や処理に努めることにより環境への負荷の少ない生活様式（エコ・ライフ）を目指せるようごみの減量化や再資源化の普及啓発に努める必要がある。

(3) 施策の体系

本市において、今後取り組むべき施策の体系を図 43 に示す。

今後取り組む施策は、排出抑制の推進を柱とする。

図 43 今後取り組む施策の体系



(4) 具体的施策

① 行動計画づくり

行動計画づくりのための施策と市民・事業者の取り組みを表 33 に示す。

表 33 行動計画づくりのための施策と市民及び事業者の取り組み

区分	施策	市民等の取組	実施時期
市民意識の向上	<マイバッグ運動の実施> ・スーパー等での買い物時にマイバッグを持参する。	市民は積極的に実践する。	継続事業
	<分別意識向上の啓発> ・家庭ごみの出し方、ごみ収集カレンダーを定期的に発行し、基本的な分別を徹底する。	市民は積極的に実践する。	継続事業
	<ごみの出し方の工夫> ・定期的にごみ減量化の取組事例を調査する。 ・先進的な取組事例については、広報誌に掲載する等により紹介する。	市民は先進事例を学び実践する	継続事業
	<ごみ減量化の実践> ・生ごみを発酵処理させる電動式生ごみ処理機の導入やダンボールコンポスト、コラボン（土地埋込式）などの活用を図る。	市民は積極的に実践する。	継続事業
	<環境学習の充実> ・小・中学校の環境教育のために施設見学を実施する。 ・必要に応じ、担当職員が自治会へ出向きごみの分別や資源化について講習会を開催する。	市民は積極的に参加する。	継続事業
販売事業者の協力推進	<販売店協力の要請> ・スーパー等にマイバッグ運動の強化を要請する。 ・資源ごみ店頭回収協力店を広報やホームページで紹介する。	市民は協力店を利用する。 事業者は協力店となる。	継続事業
環境衛生推進団体の活用	<協議会の活用> ・山陽小野田市快適環境づくり協議会を通じて、適正なごみの排出、分別資源化への改善に向けて、各戸配布、班回覧のチラシを作成・配布する。 ・ごみ出しルールが守れない自治会からの相談に対する対応や助言を行う。	市民は協議会を活用する。	継続事業
率先実行	<グリーン購入の推進> ・率先して再生品等環境への負荷が少ない製品を利用する。 <プラスチック代替品の購入推進> ・使い捨てするお皿やコップ、その他容器類は、プラスチック素材ではなく、できる限り紙製を利用する。	市民は積極的に取り入れる。	継続事業

② システムづくり

市民の取り組みを推進し、また維持するためのシステムづくりの施策と市民及び事業者の取り組みを表 34 に示す。

表 34 市民の取り組みを推進・維持するための施策と市民及び事業者の取り組み

区分	施 策	市民等の取組	実施時期
回収システム等の整備	<助成事業の充実> ・生ごみ堆肥化を促進するため、生ごみ処理機の助成事業を継続する。 ・集団回収を促進するため、助成事業を継続する。	市民は助成を利用する。	継続事業
	<廃棄物再生業者の利用> ・生ごみ処理業者や廃棄物再生業者を把握し、事業者独自の資源化ルートの確立を促す。	事業者は廃棄物再生を活用する。	継続事業
	<フードバンクの活用> ・食品ロスの観点から賞味期限が切れていない未使用食材をフードバンクに引き渡すことへの協力を行う。 ・フードバンク団体からの要望があれば、適当な場所を提供し利用促進を図ると同時に食品廃棄の削減に取り組む。	市民・事業者は、フードバンクを活用する。	継続事業
	<多量排出事業者への指導> ・事業系一般廃棄物を大量に排出する事業者には、運搬業者を通じて排出内容の確認と適正な分別、排出抑制を指導する。	対象事業者は、ごみの排出抑制に努める。	継続事業
	<店頭回収の促進> ・スーパー等で自主的に実施されている店頭回収いわゆる資源ごみ回収事業の導入店舗の拡充を図る。	事業者は協力店となる。	継続事業

6. ごみの再資源化促進のために【リサイクルの推進】

(1) 基本目標

本計画におけるごみの再資源化促進のための基本目標を表 35 に示す。

ごみの再資源化促進のための基本的な方向は、ごみの分別収集による再資源化を進めることにより、天然資源の保全等地球環境保全に資するとともに、焼却量の削減による温室効果ガスの削減や、埋立物の最小化等地域の環境保全に資するものとする。

表 35 ごみ再資源化促進の基本目標

マテリアルリサイクルを前提とした資源ごみへの分別により、資源の再生利用を進めるとともに、焼却量、埋立量の低減を図り、もって地域環境保全に資する。

(2) 課題

ごみの再資源化促進に係る課題を表 36 に示す。

分別収集を進めることは、排出者にとっては負担増となるものの、資源化量を増加させ、焼却量や最終処分量を削減させるためには不可欠である。

表 36 ごみの再資源化促進の課題

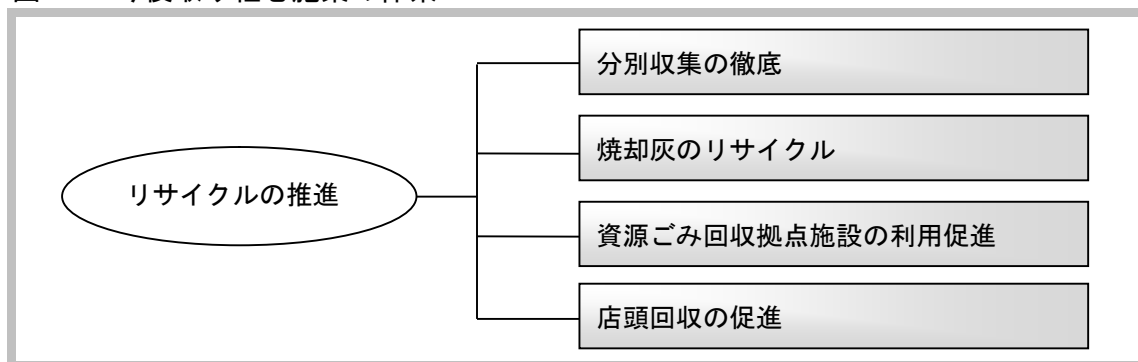
●分別徹底の促進

焼却対象ごみの中には、資源化可能な古紙類等が混入している。資源化促進のために、少しでも多く資源ごみに分別する意識改革の徹底が必要である。

（３）施策の体系

本市において、今後取り組むべき施策の体系を図 44 に示す。
今後取り組む施策は、リサイクルの推進を柱とする。

図 44 今後取り組む施策の体系



（４）具体的施策

① 分別収集の徹底 （継続事業）

本市では、古紙類、ペットボトル、空びん、空かん、古着・布類、発泡スチロール、白色トレイを分別収集することで資源化している。

排出されるごみが分別不徹底であると、施設の維持管理に係る費用が増加したり、資源化が困難になったり等、適正処理に支障をきたしてしまう恐れがある。

したがって、市民並びに事業者の分別協力を得るため、わかりやすい分別方法を示した「家庭ごみの出し方」や「ごみ収集カレンダー」を作成することや、市ホームページを通じて普及啓発を行う。また、定期的に持込みごみの展開検査を実施し、分別指導を行う等の啓発を行い、分別の徹底を図っていくものとする。

② 焼却灰のリサイクル （継続事業）

本市の焼却施設から排出されている焼却残渣は、セメント原料化としてリサイクルされている。したがって、今後もこのリサイクルを継続していくものとする。

③ 資源ごみ回収拠点施設の利用促進 （継続事業）

本市では、平成 21 年 7 月に環境衛生センター南側に設置した資源ごみ回収拠点施設の利用促進を図る。

④ 店頭回収の促進 （継続事業）

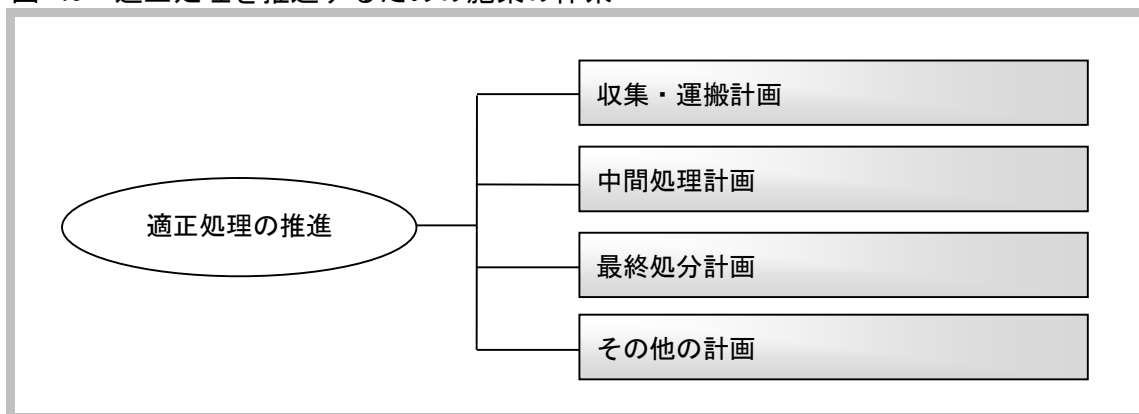
本市内にあるスーパー等の敷地内において、自主的に実施されている資源ごみ回収事業の更なる推進に向けて協力をお願いしていく。

7. ごみの適正処理のために【適正処理の推進】

(1) 適正処理を推進するための施策の体系

本市において、排出されたごみを適正かつ効率的に処理するための施策の体系を図45に示す。

図 45 適正処理を推進するための施策の体系



（２）収集・運搬計画

① 基本目標

収集・運搬に関する市民サービスを維持しつつ、効率的な収集・運搬を実施する。

② 収集・運搬の方法及びその量

対象地域は本市全域とする。本市が収集・運搬するごみは家庭系ごみとし、事業系ごみについては、自らあるいは許可業者による収集・運搬とする。

家庭系ごみは、全て地域のごみステーションにて回収するものとする。ごみステーションの設置及び管理は市民が行うものとする。

収集・運搬の見込量は、表 37 に示すとおりである。

表 37 収集・運搬の種類とその見込量（目標達成時）

収集・運搬するごみ種類	見込み量[t／年]	
	令和 11 年度	令和 16 年度
燃やせるごみ	10,310	9,730
燃やせないごみ	338	313
資源ごみ	1,664	1,633
大型ごみ	71	77
合計	12,383	11,753

③ 具体的な施策

収集・運搬体制の見直し（継続事業）

効率的かつ平準化した収集・運搬体制を目指すため、ごみ排出量の変動に合わせて、適切に体制を見直す。

（３）中間処理計画

① 基本目標

ごみの資源化を図ることにより、焼却量並びに最終処分量を削減していくものとする。

② 中間処理の方法及びその量

本市から排出されるごみは、現行どおり、既存のごみ処理施設にて適正に処理を行っていくものとする。

中間処理の見込量は、表 38 に示すとおりである。

表 38 中間処理の見込量（目標達成時）

中間処理	見込み量[t／年]	
	令和 11 年度	令和 16 年度
焼却処理量	19,690	18,843
圧縮梱包量	278	265
固形化量	12	11
合計	19,980	19,119

※破碎処理量は計量していない。

③ 具体的な施策

既存施設の維持管理（継続事業）

既存施設では、令和 4 年度より焼却施設の長期包括運転管理事業を開始し、より効率的な運転管理に努めており、今後も資源化と埋立物の削減を促進していくものとする。

効率的な中間処理システムの構築（継続事業）

本市の中間処理システムは概ね整備され、それに伴い適正処理を促し、リサイクルを推進している。

したがって、今後は、各種のリサイクル制度や各施設の処理能力の状況を勘案しながら、効率的な処理ができるよう、施設等の整備に関して検討していくものとする。

（４）最終処分計画

① 基本目標

最終処分するものは可能な限り減量・減容を図っていくものとする。また、現有処分場周辺の環境保全に努め、処分場に対する信頼性を確保していくものとする。

② 最終処分の方法及びその量

最終処分対象物は、セメント原料化不適物（異物）、不燃物及び泥土とし、それらを埋立処分する。

最終処分の見込量は、表 39 に示すとおりである。

表 39 最終処分の見込量（目標達成時）

最終処分	見込み量[t／年]	
	令和 11 年度	令和 16 年度
焼却残渣（不適物）	21	20
不燃物	143	141
混合ごみ	408	389
泥土	172	167
合計	744	717

③ 具体的な施策

現有処分場の適正管理（継続事業）

現有処分場は、廃棄物処理法に基づく「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（昭和 52 年 3 月 14 日 総理府・厚生省令第 1 号）に基づく維持管理を継続して行っていくものとする。

処分場の再生事業（継続事業）

小野田最終処分場は、平成 22 年度に災害ごみを多く埋め立てたことにより、残余容量が少なくなっている。

そのため、処分場の再生事業について検討する。

（５）その他の計画

① 一般廃棄物収集・運搬業の新規許可の制限（継続事業）

一般廃棄物収集・運搬業については、現在の許可業者で適切な処理が確保できており、これ以上の許可業者の濫立は需給の均衡を損ない、適正な処理を阻害することになるため、原則として新規許可は行わないものとする。

（参照）

- ・平成 26 年 10 月 8 日付け環廃対発第 1410081 号通知
- ・平成 26 年 1 月 28 日 最高裁第三小法廷判決

② 施策推進のための体制づくり（継続事業）

廃棄物処理法では、市町村における一般廃棄物の減量対策を実効あるものとするため、廃棄物減量等推進審議会及び廃棄物減量等推進員の制度が設けられている。また、地域の廃棄物減量等推進員については、地域の一般廃棄物減量、再生利用の促進を図っていくためのリーダーとしての役割が求められている。

こうした廃棄物減量等推進審議会及び廃棄物減量等推進員による活動は、市民・事業者と行政をつなぐ重要な役割を果たしている。

したがって、本市では、その役割を果たすものとして、「山陽小野田市快適環境づくり協議会」と継続的に連携していくものとする。

③ 事業者の協力（継続事業）

廃棄物の元となる製品、流通容器等の製造、加工、販売等を行う事業者に対して、ごみ減量のため、自主回収ルートの確立、ごみにならない容器の利用促進及び適正処理困難物等の処理施設整備について国・県等の関係各機関への要請を行っていく。

④ 廃棄物再生事業者の協力（継続事業）

本市から排出されるごみの減量・再資源化のためには、これらに関連する再生事業者の協力が不可欠である。

そのために、山口県下において登録されている廃棄物再生事業者に対して、ごみ資源化への協力要請を行うとともに、市内の廃棄物再生事業者による安定した資源化等を推進していくものとする。

⑤ その他

不法投棄対策（継続事業）

近年の不法投棄増加による環境への悪影響は全国的な社会問題であり、不法投棄場所のみではなく、その周辺地域の環境破壊が懸念される。

そのため、不法投棄防止に関する取り組みは、各種啓発チラシの回覧や防止看板を無料提供し、廃棄物を捨てにくい環境を創ることにより、不法投棄防止の普及啓発を図ることとしている。また、警察の協力を得ながら快適環境づくり協議会と連携して不法投棄撲滅に向けてのパトロールを実施していくものとする。

災害時の廃棄物処理に関する事項（継続事業）

災害時に多量に発生する廃棄物は、各地で散乱して存在することが多く、早急な撤去が求められる。そのため、その処理体制を構築する必要がある。

本市では「山陽小野田市地域防災計画」及び「災害廃棄物処理計画（令和２年３月）」を策定し、また本市を含めた６市（下関市、宇部市、萩市、長門市、美祢市）で「環境行政広域連携協定」を締結している。今後はそれらの計画や協定に基づき民間も含め地域内及び周辺地域との連携体制を構築していくものとする。

在宅医療廃棄物の処理（継続事業）

家庭から排出される在宅医療廃棄物の中には、特に医師等の訪問を伴わずに患者自らが行う医療処置により、感染性のある物質が付着した注射針等が含まれている可能性がある。過去にごみ袋内にあった在宅医療注射針がごみ収集者に刺さる事故がある等、在宅医療廃棄物による事故を防ぐためにも、安全で適切な廃棄システムを構築する必要がある。

本市においては、原則として医療機関・販売業者等を通じ、専門者等で処理を行うものとし、収集・運搬及び処理については行わないものとする。

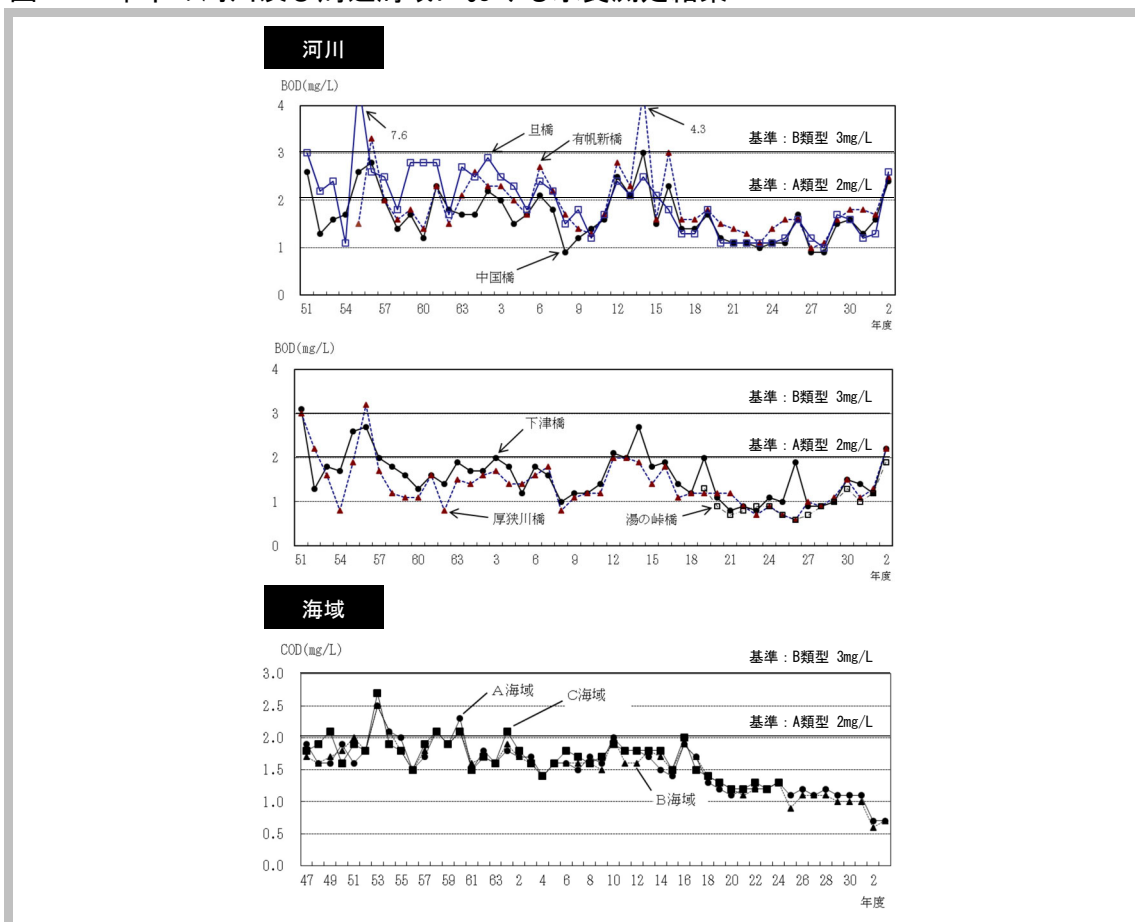
第 1 章 本市の水環境

本市の中央部には厚狭川及び有帆川が流れ、平野部を通して瀬戸内海に注いでいる。こうした水域の環境の状況について、水質調査結果は図 46 のとおりである。

本市の河川の水質について、水質汚濁の指標である生物化学的酸素要求量（BOD）は、水量や天候の変化により地点によって変動があるが、概ね環境基準に適合している。

また、海域の水質について、水質汚濁の指標である化学的酸素要求量（COD）は、響灘及び周防灘（宇部・小野田地先）の A 類型を除き、環境基準に適合している。

図 46 本市の河川及び周辺海域における水質測定結果



資料：山陽小野田市環境白書

※水質汚濁に係る環境基準

環境基準

- 環境基準は、環境基本法第 16 条第 1 項の規定により「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として政府が定める環境保全行政上の目標をいう。現在、環境基準は、大気、水質、騒音等について定められている。

水質汚濁に係る環境基準値

- BOD の環境基準値は、A 類型 2mg/L、B 類型 3mg/L である。
- COD の環境基準値は、A 類型 2mg/L、B 類型 3mg/L、C 類型 8mg/L である。

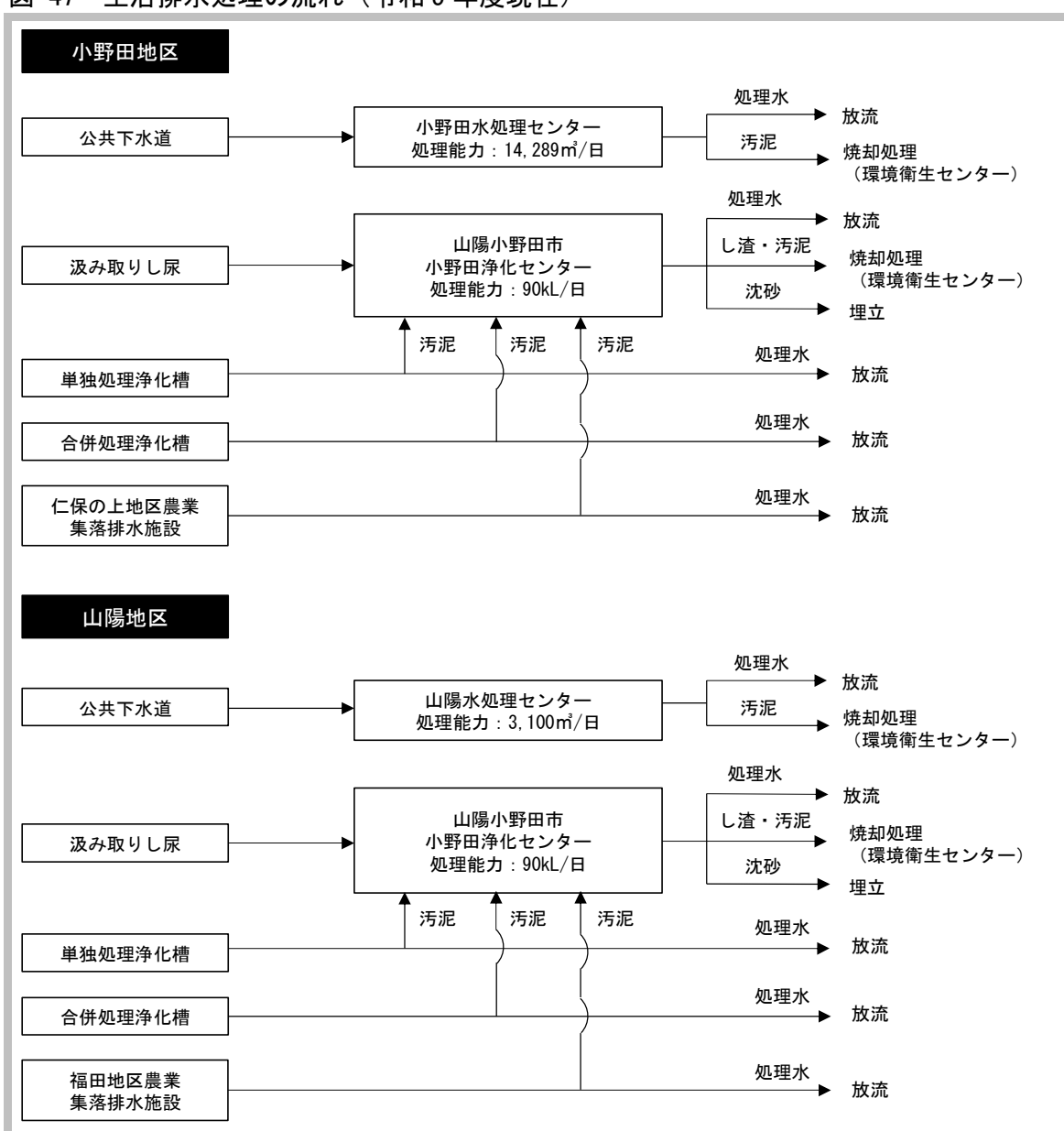
第2章 生活排水処理の現状と課題

1. 生活排水処理の流れ

生活排水処理の流れは、図 47 のとおりである。

生活排水は、下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽により処理されている。し尿及び浄化槽汚泥（合併処理浄化槽・単独処理浄化槽・農業集落排水施設）は、し尿処理施設により処理されている。公共下水道、農業集落排水施設は、小野田地区と山陽地区、それぞれに設置されている。し尿処理施設は本市全体のし尿、浄化槽汚泥を処理している。

図 47 生活排水処理の流れ（令和5年度現在）



※汲み取りし尿及び単独処理浄化槽からの生活雑排水は直接公共用水域へ放流されている。

2. 生活排水処理の状況

(1) 生活排水処理施設の整備状況

① 公共下水道

公共下水道の概要は、表 40 のとおりである。

公共下水道事業は、小野田処理区と山陽処理区にて実施している。

小野田処理区は、昭和 56 年 5 月に供用開始し、現在の水洗化人口が 24,791 人となっている。また、山陽処理区は、平成元年 4 月に供用開始し、現在の水洗化人口が 7,670 人となっている。

水洗化率は、小野田処理区で 90.4%、山陽処理区で 94.9%であり、概ね接続が完了している状態である。

表 40 公共下水道事業の概要（令和 6 年 3 月 31 日現在）

項目		小野田公共下水道	山陽公共下水道
処理区名		小野田処理区	山陽処理区
事業開始年月日		昭和 46 年 11 月 19 日	昭和 51 年 2 月 27 日
供用開始年月日		昭和 56 年 5 月 8 日	平成元年 4 月 1 日
全体計画面積		945.4 [ha]	393.3 [ha]
事業計画面積		903.3 [ha]	369.2 [ha]
整備状況	行政区域内人口	39,966 [人]	19,159 [人]
	処理区域内人口	27,437 [人]	8,086 [人]
	水洗化人口	24,791 [人]	7,670 [人]
	水洗化率	90.4 [%]	94.9 [%]
	処理区域面積	816.3 [ha]	347.5 [ha]
終末処理場		小野田水処理センター	山陽水処理センター
処理方式		標準活性汚泥法	ステップ流入式 多段消化脱窒法
処理能力		14,280 [m³/日]	3,100 [m³/日]

資料：建設部下水道課資料

② 農業集落排水施設

農業集落排水事業の概要は、表 41 のとおりである。

農業集落排水事業は、仁保の上地区、福田地区にて実施しており、小野田西地区は、隣接する公共下水道事業である小野田処理区に令和 3 年度に統合した。

仁保の上地区は、計画戸数 56 戸で平成 11 年 4 月に供用開始している。また、福田地区は、計画戸数 89 戸で平成 10 年 4 月に供用開始している。

仁保の上地区の水洗化率が 90%を下回っているが、概ね接続が完了している状態である。また、計画戸数と利用可能戸数に大きく差が無いため、整備も概ね完了している状態である。

表 41 農業集落排水事業の概要（令和 6 年 3 月 31 日現在）

項目		小野田西地区※	仁保の上地区	福田地区
処理区域		大字西高泊地区	大字有帆地区	大字福田地区
処理区域面積		50.0 [ha]	10.0 [ha]	8.5 [ha]
処理人口		1,980 [人]	190 [人]	320 [人]
事業年度		平成 3～8 年度	平成 7～11 年度	平成 6～9 年度
処理施設	名称	小野田西地区 農業集落排水施設	仁保の上地区 農業集落排水施設	福田地区 農業集落排水施設
	位置	大字西高泊 3585	大字有帆 2217-1	大字福田 172-8
	処理方式	オキシデーションデイチ方式 (JARUS 仕様—0D96 型)	分離接触曝気方式 (JARUS—S96 型)	分離接触曝気方式 (JARUS— I 96 型)
	日平均汚水量	534.6 [m ³ /日]	51.3 [m ³ /日]	86.4 [m ³ /日]
供用開始		平成 7 年 7 月 3 日	平成 11 年 4 月 1 日	平成 10 年 4 月 1 日
整備状況	計画戸数	519 [戸]	56 [戸]	89 [戸]
	利用可能戸数	—	52 [戸]	75 [戸]
	水洗化済み戸数	—	45 [戸]	68 [戸]
	未水洗化戸数	—	7 [戸]	7 [戸]
	未利用戸数	—	0 [戸]	0 [戸]
	水洗化率	—	86.5 [%]	90.7 [%]

※R3年度に公共下水道に統合

資料：建設部下水道課資料

③ 合併処理浄化槽

合併処理浄化槽の設置基数は、表 42 に示すとおりである。

小野田地区は平成 4 年度より、山陽地区は平成 2 年度より、公共下水道・農業集落排水施設の計画処理区域外で、合併処理浄化槽の設置に対する補助を行っている。

令和 5 年度末までの補助基数は、2,893 基である。

表 42 浄化槽設置整備事業における補助基数

項目			H26	H27	H28	H29	H30
小野田地区	設置基数	[基]	49	41	40	17	30
	処理人口	[人]	166	151	146	65	96
山陽地区	設置基数	[基]	25	42	32	26	19
	処理人口	[人]	102	157	105	104	60
単年度計		[基]	74	83	72	43	49
累計		[基]	2,353	2,436	2,508	2,551	2,600

項目			R1	R2	R3	R4	R5
小野田地区	設置基数	[基]	35	26	20	25	57
	処理人口	[人]	131	90	69	60	163
山陽地区	設置基数	[基]	26	19	30	20	35
	処理人口	[人]	80	56	102	62	100
単年度計		[基]	61	45	50	45	92
累計		[基]	2,661	2,706	2,756	2,801	2,893

資料：建設部下水道課資料

④ し尿処理施設

汲み取りし尿及び浄化槽汚泥（以下、「し尿等」という。）を処理する施設の概要は、表 43 のとおりである。

し尿等は、現在、小野田浄化センターで全量処理している。

小野田浄化センターは、供用開始が平成元年 11 月であり、供用年数が 35 年を超えているため、老朽化が進んでいる状態である。

表 43 し尿処理施設の概要

施設名	小野田浄化センター
所在地	山陽小野田市大字小野田 7525-41
敷地面積	約 8,600 m ²
竣工	平成元年 11 月
型式	高負荷脱窒素処理方式
処理能力	90 kL/日

資料：市民部環境課資料

（２）生活排水処理人口の推移

① 小野田地区

生活排水処理人口の推移は、表 44 及び図 48 に示すとおりである。

生活排水処理率（水洗化・生活雑排水処理人口÷行政区域内人口）は、令和 5 年度において 83.5%（33,383 人÷39,966 人）である。

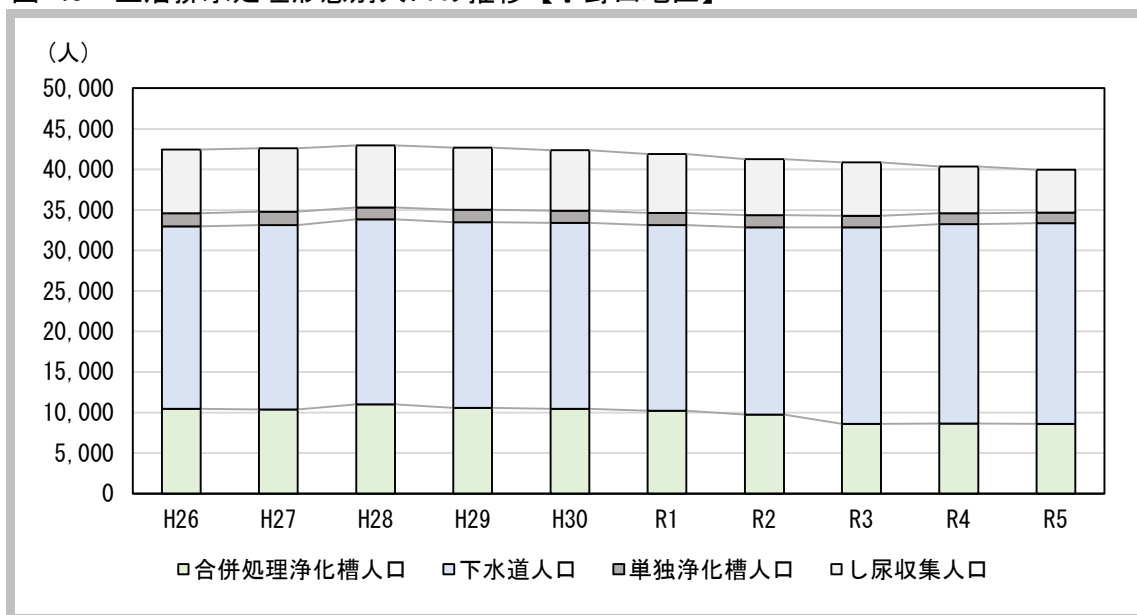
表 44 生活排水処理人口の推移【小野田地区】

項目		H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口	[人]	43,198	43,036	42,966	42,678	42,347
計画処理区域内人口	[人]	43,198	43,036	42,966	42,678	42,347
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	32,964	33,126	33,864	33,490	33,398
合併処理浄化槽人口	[人]	10,450	10,390	11,032	10,593	10,465
農業集落排水人口	[人]	1,461	1,401	1,324	1,317	1,321
補助合併処理浄化槽人口	[人]	4,355	4,355	4,525	4,297	4,306
その他合併処理浄化槽人口	[人]	4,634	4,634	5,183	4,979	4,838
下水道人口	[人]	22,514	22,736	22,832	22,897	22,933
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	1,647	1,647	1,419	1,527	1,523
非水洗化人口	[人]	7,839	7,839	7,683	7,661	7,426
し尿収集人口	[人]	7,839	7,839	7,683	7,661	7,426
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	76.3%	77.0%	78.8%	78.5%	78.9%

項目		R1	R2	R3	R4	R5
行政区域内人口	[人]	41,878	41,261	40,853	40,371	39,966
計画処理区域内人口	[人]	41,878	41,261	40,853	40,371	39,966
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	33,135	32,879	32,864	33,243	33,383
合併処理浄化槽人口	[人]	10,223	9,761	8,600	8,630	8,592
農業集落排水人口	[人]	1,286	1,249	108	106	107
補助合併処理浄化槽人口	[人]	4,211	4,254	4,211	4,277	4,391
その他合併処理浄化槽人口	[人]	4,726	4,258	4,281	4,247	4,094
下水道人口	[人]	22,912	23,118	24,264	24,613	24,791
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	1,491	1,474	1,421	1,361	1,297
非水洗化人口	[人]	7,252	6,908	6,568	5,767	5,286
し尿収集人口	[人]	7,252	6,908	6,568	5,767	5,286
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	79.1%	79.7%	80.4%	82.3%	83.5%

資料：建設部下水道課資料

図 48 生活排水処理形態別人口の推移【小野田地区】



② 山陽地区

生活排水処理人口の推移は、表 45 及び図 49 に示すとおりである。

生活排水処理率（水洗化・生活雑排水処理人口÷行政区域内人口）は、令和 5 年度において 79.1%（15,156 人÷19,159 人）である。

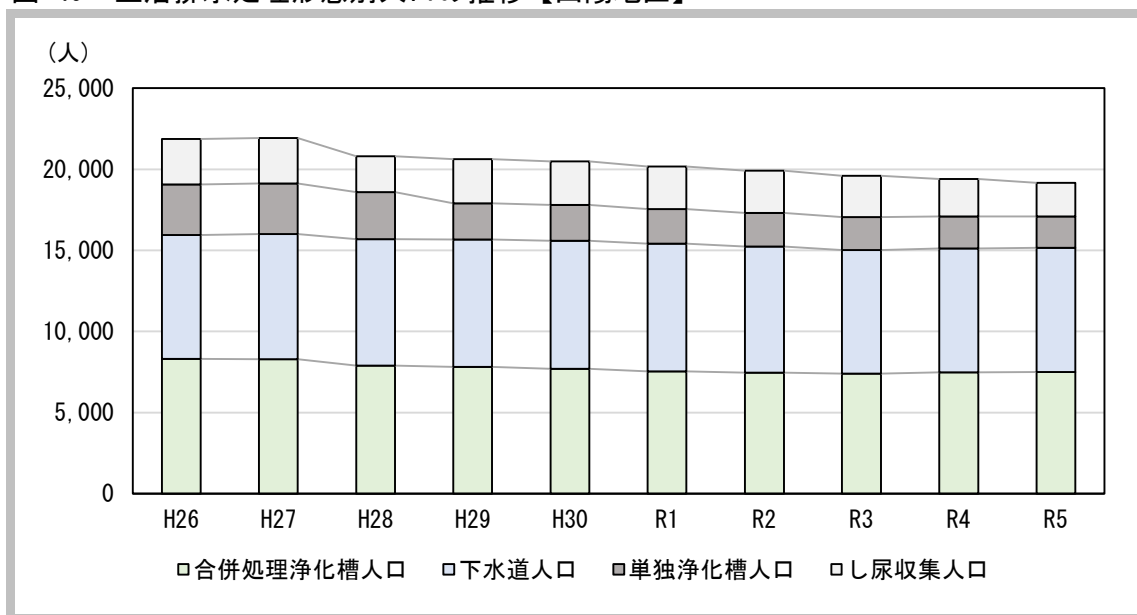
表 45 生活排水処理人口の推移【山陽地区】

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口	[人]	21,235	21,064	20,811	20,635	20,489
計画処理区域内人口	[人]	21,235	21,064	20,811	20,635	20,489
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	15,952	16,013	15,688	15,661	15,595
合併処理浄化槽人口	[人]	8,312	8,294	7,907	7,829	7,711
農業集落排水人口	[人]	218	200	172	172	167
補助合併処理浄化槽人口	[人]	3,186	3,186	3,343	3,303	3,341
その他合併処理浄化槽人口	[人]	4,908	4,908	4,392	4,354	4,203
下水道人口	[人]	7,640	7,719	7,781	7,832	7,884
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	3,118	3,118	2,904	2,236	2,220
非水洗化人口	[人]	2,790	2,790	2,219	2,738	2,674
し尿収集人口	[人]	2,790	2,790	2,219	2,738	2,674
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	75.1%	76.0%	75.4%	75.9%	76.1%

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
行政区域内人口	[人]	20,181	19,919	19,611	19,426	19,159
計画処理区域内人口	[人]	20,181	19,919	19,611	19,426	19,159
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	15,412	15,235	15,025	15,119	15,156
合併処理浄化槽人口	[人]	7,543	7,448	7,398	7,472	7,486
農業集落排水人口	[人]	167	163	147	141	144
補助合併処理浄化槽人口	[人]	3,308	3,292	3,305	3,337	3,406
その他合併処理浄化槽人口	[人]	4,068	3,993	3,946	3,994	3,936
下水道人口	[人]	7,869	7,787	7,627	7,647	7,670
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	2,138	2,089	2,043	1,976	1,939
非水洗化人口	[人]	2,631	2,595	2,543	2,331	2,064
し尿収集人口	[人]	2,631	2,595	2,543	2,331	2,064
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	76.4%	76.5%	76.6%	77.8%	79.1%

資料：建設部下水道課資料

図 49 生活排水処理形態別人口の推移【山陽地区】



③ 本市全体

生活排水処理人口の推移は、表 46 及び図 50 に示すとおりである。

生活排水処理率（水洗化・生活雑排水処理人口÷行政区域内人口）は、令和 5 年度において 82.1%（48,539 人÷59,125 人）である。

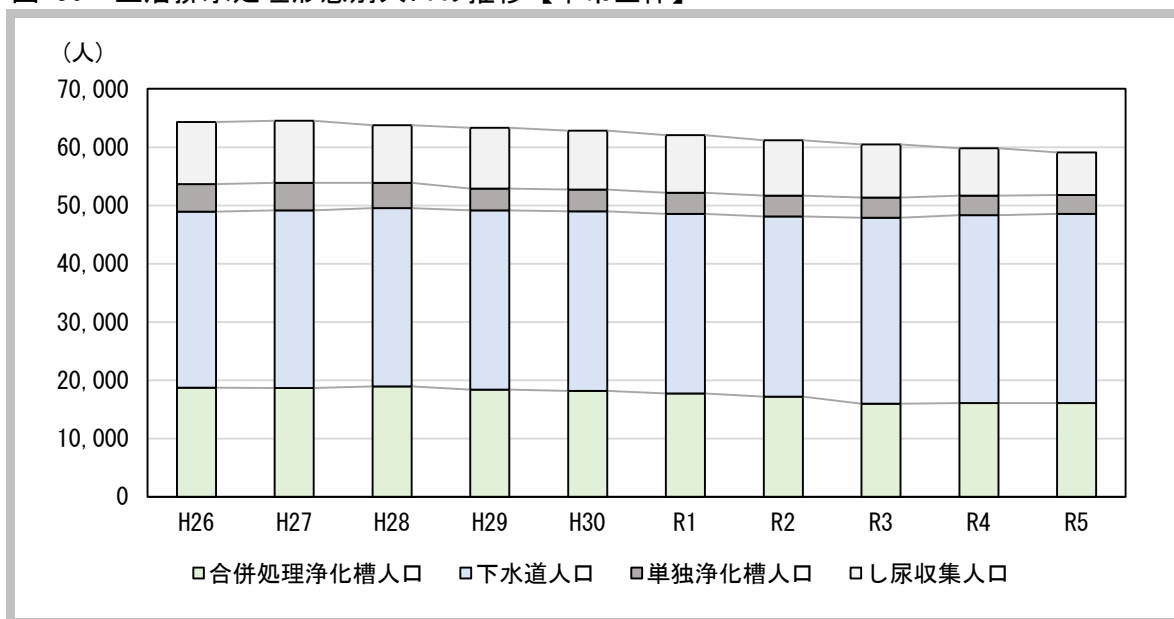
表 46 生活排水処理人口の推移【本市全体】

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口	[人]	64,433	64,100	63,777	63,313	62,836
計画処理区域内人口	[人]	64,433	64,100	63,777	63,313	62,836
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	48,916	49,139	49,552	49,151	48,993
合併処理浄化槽人口	[人]	18,762	18,684	18,939	18,422	18,176
農業集落排水人口	[人]	1,679	1,601	1,496	1,489	1,488
補助合併処理浄化槽人口	[人]	7,541	7,541	7,868	7,600	7,647
その他合併処理浄化槽人口	[人]	9,542	9,542	9,575	9,333	9,041
下水道人口	[人]	30,154	30,455	30,613	30,729	30,817
小野田処理区	[人]	22,514	22,736	22,832	22,897	22,933
山陽処理区	[人]	7,640	7,719	7,781	7,832	7,884
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	4,765	4,765	4,323	3,763	3,743
非水洗化人口	[人]	10,629	10,629	9,902	10,399	10,100
し尿収集人口	[人]	10,629	10,629	9,902	10,399	10,100
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	75.9%	76.7%	77.7%	77.6%	78.0%

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
行政区域内人口	[人]	62,059	61,180	60,464	59,797	59,125
計画処理区域内人口	[人]	62,059	61,180	60,464	59,797	59,125
水洗化・生活雑排水処理人口	[人]	48,547	48,114	47,889	48,362	48,539
合併処理浄化槽人口	[人]	17,766	17,209	15,998	16,102	16,078
農業集落排水人口	[人]	1,453	1,412	255	247	251
補助合併処理浄化槽人口	[人]	7,519	7,546	7,516	7,614	7,797
その他合併処理浄化槽人口	[人]	8,794	8,251	8,227	8,241	8,030
下水道人口	[人]	30,781	30,905	31,891	32,260	32,461
小野田処理区	[人]	22,912	23,118	24,264	24,613	24,791
山陽処理区	[人]	7,869	7,787	7,627	7,647	7,670
水洗化・生活雑排水未処理人口（単独）	[人]	3,629	3,563	3,464	3,337	3,236
非水洗化人口	[人]	9,883	9,503	9,111	8,098	7,350
し尿収集人口	[人]	9,883	9,503	9,111	8,098	7,350
自家処理人口	[人]	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	[人]	0	0	0	0	0
生活排水処理率	[%]	78.2%	78.6%	79.2%	80.9%	82.1%

資料：建設部下水道課資料

図 50 生活排水処理形態別人口の推移【本市全体】



（３）し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移

① 小野田地区

し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移は、表 47 及び図 51 に示すとおりである。

経年的には、排出量及び排出原単位ともに、概ね横ばいで推移しているが、し尿の原単位については、令和３年度以降増加傾向にある。

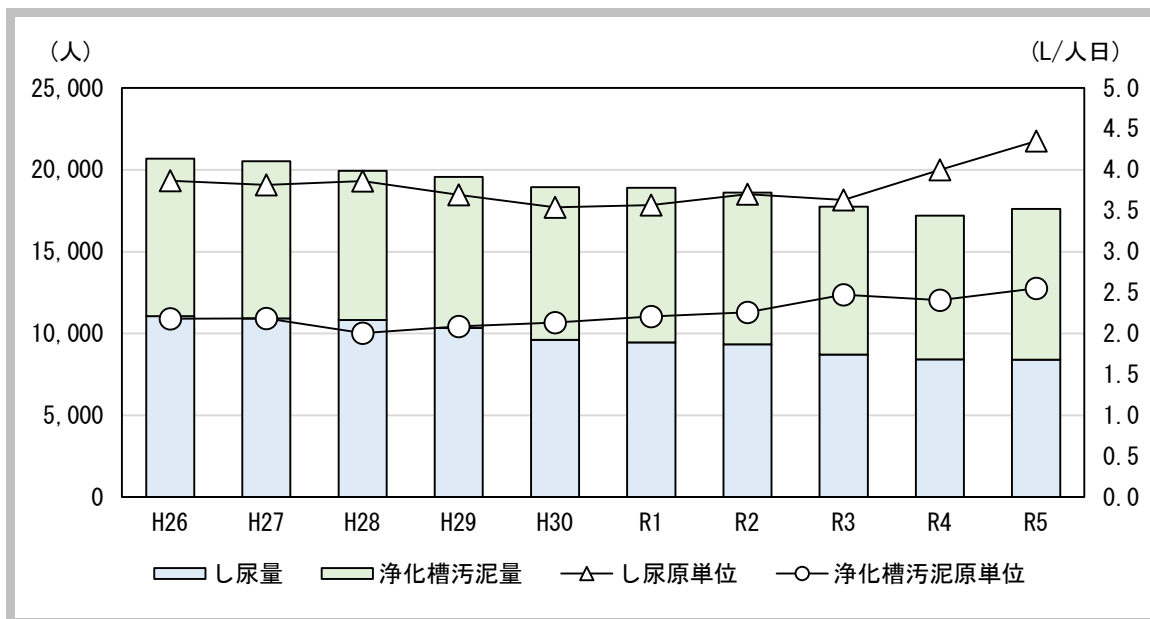
表 47 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【小野田地区】

項目			H26	H27	H28	H29	H30	
処理人口	し尿収集人口	[人]	7, 839	7, 839	7, 683	7, 661	7, 426	
	浄化槽人口	[人]	12, 097	12, 037	12, 451	12, 120	11, 988	
		合併処理浄化槽	[人]	10, 450	10, 390	11, 032	10, 593	10, 465
		単独処理浄化槽	[人]	1, 647	1, 647	1, 419	1, 527	1, 523
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	11, 067	10, 924	10, 829	10, 338	9, 607
		一日排出量	[kL/日]	30. 32	29. 93	29. 67	28. 32	26. 32
		排出原単位	[L/人日]	3. 9	3. 8	3. 9	3. 7	3. 5
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	9, 623	9, 607	9, 108	9, 226	9, 345
		一日排出量	[kL/日]	26. 36	26. 32	24. 95	25. 28	25. 60
		排出原単位	[L/人日]	2. 2	2. 2	2. 0	2. 1	2. 1
	合計	年間排出量	[kL/年]	20, 690	20, 531	19, 937	19, 564	18, 952
		一日排出量	[kL/日]	56. 68	56. 25	54. 62	53. 60	51. 92
		排出原単位	[L/人日]	2. 8	2. 8	2. 7	2. 7	2. 7
浄化槽汚泥混入率		[%]	46. 5%	46. 8%	45. 7%	47. 2%	49. 3%	

項目			R1	R2	R3	R4	R5	
処理人口	し尿収集人口	[人]	7,252	6,908	6,568	5,767	5,286	
	浄化槽人口	[人]	11,714	11,235	10,021	9,991	9,889	
		合併処理浄化槽	[人]	10,223	9,761	8,600	8,630	8,592
		単独処理浄化槽	[人]	1,491	1,474	1,421	1,361	1,297
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	9,452	9,342	8,705	8,421	8,400
		一日排出量	[kL/日]	25.90	25.59	23.85	23.07	23.01
		排出原単位	[L/人日]	3.6	3.7	3.6	4.0	4.4
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	9,451	9,263	9,055	8,779	9,216
		一日排出量	[kL/日]	25.89	25.38	24.81	24.05	25.25
		排出原単位	[L/人日]	2.2	2.3	2.5	2.4	2.6
	合計	年間排出量	[kL/年]	18,903	18,605	17,760	17,200	17,616
		一日排出量	[kL/日]	51.79	50.97	48.66	47.12	48.26
		排出原単位	[L/人日]	2.7	2.8	2.9	3.0	3.2
浄化槽汚泥混入率		[%]	50.0%	49.8%	51.0%	51.0%	52.3%	

資料：市民部環境課資料

図 51 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【小野田地区】



② 山陽地区

し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移は、表 48 及び図 52 に示すとおりである。

経年的には、排出量及び排出原単位ともに、概ね横ばいで推移しているが、し尿の原単位については、令和 3 年度以降増加傾向にある。

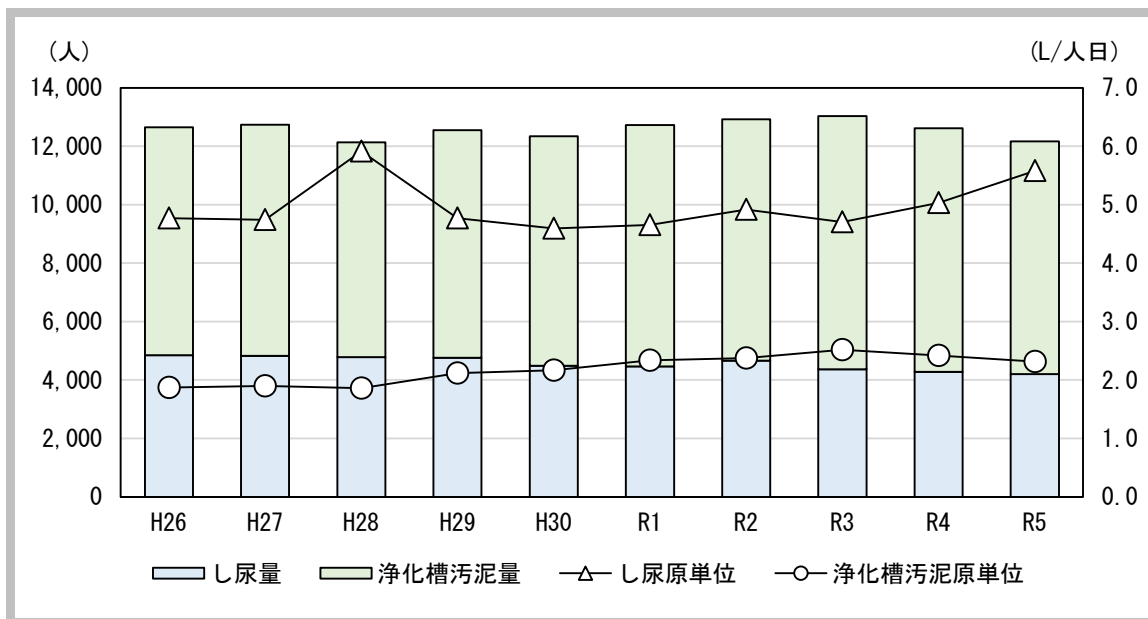
表 48 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【山陽地区】

項目			H26	H27	H28	H29	H30	
処理人口	し尿収集人口		[人]	2,790	2,790	2,219	2,738	2,674
	浄化槽人口		[人]	11,430	11,412	10,811	10,065	9,931
	合併処理浄化槽	[人]	8,312	8,294	7,907	7,829	7,711	
	単独処理浄化槽	[人]	3,118	3,118	2,904	2,236	2,220	
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	4,853	4,830	4,788	4,766	4,483
		一日排出量	[kL/日]	13.30	13.23	13.12	13.06	12.28
		排出原単位	[L/人日]	4.8	4.7	5.9	4.8	4.6
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	7,800	7,908	7,350	7,783	7,859
		一日排出量	[kL/日]	21.37	21.67	20.14	21.32	21.53
		排出原単位	[L/人日]	1.9	1.9	1.9	2.1	2.2
	合計	年間排出量	[kL/年]	12,653	12,738	12,138	12,549	12,342
		一日排出量	[kL/日]	34.67	34.90	33.25	34.38	33.81
		排出原単位	[L/人日]	2.4	2.5	2.6	2.7	2.7
		浄化槽汚泥混入率		[%]	61.6%	62.1%	60.6%	62.0%

項目			R1	R2	R3	R4	R5	
処理人口	し尿収集人口		[人]	2,631	2,595	2,543	2,331	2,064
	浄化槽人口		[人]	9,681	9,537	9,441	9,448	9,425
	合併処理浄化槽	[人]	7,543	7,448	7,398	7,472	7,486	
	単独処理浄化槽	[人]	2,138	2,089	2,043	1,976	1,939	
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	4,470	4,659	4,366	4,283	4,203
		一日排出量	[kL/日]	12.25	12.76	11.96	11.73	11.52
		排出原単位	[L/人日]	4.7	4.9	4.7	5.0	5.6
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	8,258	8,268	8,670	8,338	7,967
		一日排出量	[kL/日]	22.62	22.65	23.75	22.84	21.83
		排出原単位	[L/人日]	2.3	2.4	2.5	2.4	2.3
	合計	年間排出量	[kL/年]	12,728	12,927	13,035	12,620	12,170
		一日排出量	[kL/日]	34.87	35.42	35.71	34.58	33.34
		排出原単位	[L/人日]	2.8	2.9	3.0	2.9	2.9
	浄化槽汚泥混入率		[%]	64.9%	64.0%	66.5%	66.1%	65.5%

資料：市民部環境課資料

図 52 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【山陽地区】



③ 本市全体

し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移は、表 49 及び図 53 に示すとおりである。

経年的には、排出量及び排出原単位ともに、概ね横ばいで推移しているが、し尿の原単位については、令和 3 年度以降増加傾向にある。

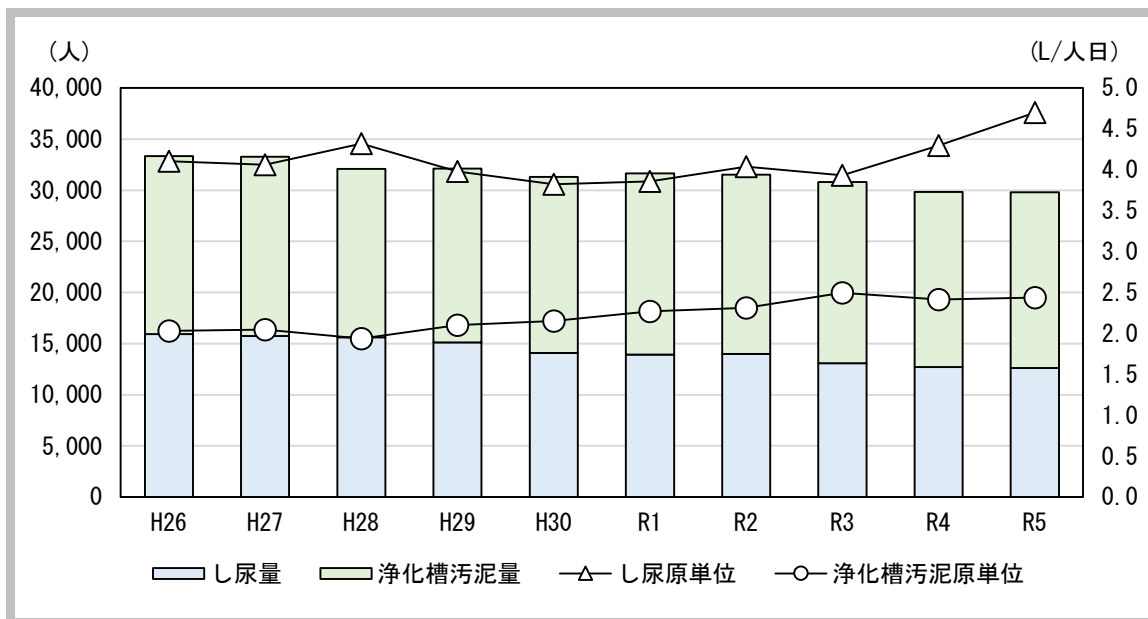
表 49 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【本市全体】

項目			H26	H27	H28	H29	H30	
処理人口	し尿収集人口	[人]	10,629	10,629	9,902	10,399	10,100	
	浄化槽人口	[人]	23,527	23,449	23,262	22,185	21,919	
	合併処理浄化槽	[人]	18,762	18,684	18,939	18,422	18,176	
	単独処理浄化槽	[人]	4,765	4,765	4,323	3,763	3,743	
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	15,920	15,754	15,617	15,104	14,090
		一日排出量	[kL/日]	43.62	43.16	42.79	41.38	38.60
		排出原単位	[L/人日]	4.1	4.1	4.3	4.0	3.8
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	17,423	17,515	16,458	17,009	17,204
		一日排出量	[kL/日]	47.73	47.99	45.09	46.60	47.13
		排出原単位	[L/人日]	2.0	2.0	1.9	2.1	2.2
	合計	年間排出量	[kL/年]	33,343	33,269	32,075	32,113	31,294
		一日排出量	[kL/日]	91.35	91.15	87.88	87.98	85.74
		排出原単位	[L/人日]	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7
浄化槽汚泥混入率		[%]	52.3%	52.6%	51.3%	53.0%	55.0%	

項目			R1	R2	R3	R4	R5	
処理人口	し尿収集人口		[人]	9,883	9,503	9,111	8,098	7,350
	浄化槽人口		[人]	21,395	20,772	19,462	19,439	19,314
	合併処理浄化槽	[人]	17,766	17,209	15,998	16,102	16,078	
	単独処理浄化槽	[人]	3,629	3,563	3,464	3,337	3,236	
排出量	し尿	年間排出量	[kL/年]	13,922	14,000	13,071	12,704	12,603
		一日排出量	[kL/日]	38.14	38.36	35.81	34.80	34.53
		排出原単位	[L/人日]	3.9	4.0	3.9	4.3	4.7
	浄化槽汚泥	年間排出量	[kL/年]	17,708	17,531	17,724	17,117	17,183
		一日排出量	[kL/日]	48.52	48.03	48.56	46.90	47.08
		排出原単位	[L/人日]	2.3	2.3	2.5	2.4	2.4
	合計	年間排出量	[kL/年]	31,631	31,532	30,795	29,820	29,786
		一日排出量	[kL/日]	86.66	86.39	84.37	81.70	81.60
		排出原単位	[L/人日]	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1
	浄化槽汚泥混入率		[%]	56.0%	55.6%	57.6%	57.4%	57.7%

資料：市民部環境課資料

図 53 し尿及び浄化槽汚泥量の推移【本市全体】



(3) し尿等の処理状況

① 収集・運搬体制

し尿及び浄化槽汚泥収集・運搬体制の概要は、表 50 のとおりである。
収集は、し尿、浄化槽汚泥とも許可業者により行われている。

表 50 収集・運搬体制（令和 5 年度現在）

区分	小野田地区		山陽地区	
	し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥
収集形態	許可（1 社）	許可（2 社）	許可（1 社）	
収集運搬範囲	小野田地区		山陽地区	
収集運搬頻度	1 回/月以下	1 回/年程度	1 回/月以下	1 回/年程度
収集運搬機材	バキューム車		バキューム車	

資料：市民部環境課資料

② 中間処理状況

し尿及び浄化槽汚泥の処理は、小野田浄化センターで行っている。

小野田浄化センターにおけるし尿等処理量は、減少傾向であるが、令和 5 年度では施設処理能力（90kL/日）の 9 割程度を占めている。

浄化槽汚泥混入率は増加傾向にあり、令和 5 年度で 5 割を超えている。施設処理能力としては、浄化槽汚泥混入率 33%（し尿 60kL/日、浄化槽汚泥 30kL/日）であるため、稼働当初と比べて、搬入物の性状が変化している。

また、小野田浄化センターからの温室効果ガス排出量は減少傾向である。

表 51 中間処理量の実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30
小野田浄化センター	[kL/日]	91.35	91.15	87.88	87.98	85.73
し尿	[kL/日]	43.62	43.16	42.79	41.38	38.60
浄化槽汚泥	[kL/日]	47.73	47.99	45.09	46.60	47.13
浄化槽汚泥混入率	[%]	52.3%	52.6%	51.3%	53.0%	55.0%

項目		R1	R2	R3	R4	R5
小野田浄化センター	[kL/日]	86.66	86.39	84.37	81.70	81.61
し尿	[kL/日]	38.14	38.36	35.81	34.80	34.53
浄化槽汚泥	[kL/日]	48.52	48.03	48.56	46.90	47.08
浄化槽汚泥混入率	[%]	56.0%	55.6%	57.6%	57.4%	57.7%

資料：市民部環境課資料

図 54 施設の処理実績

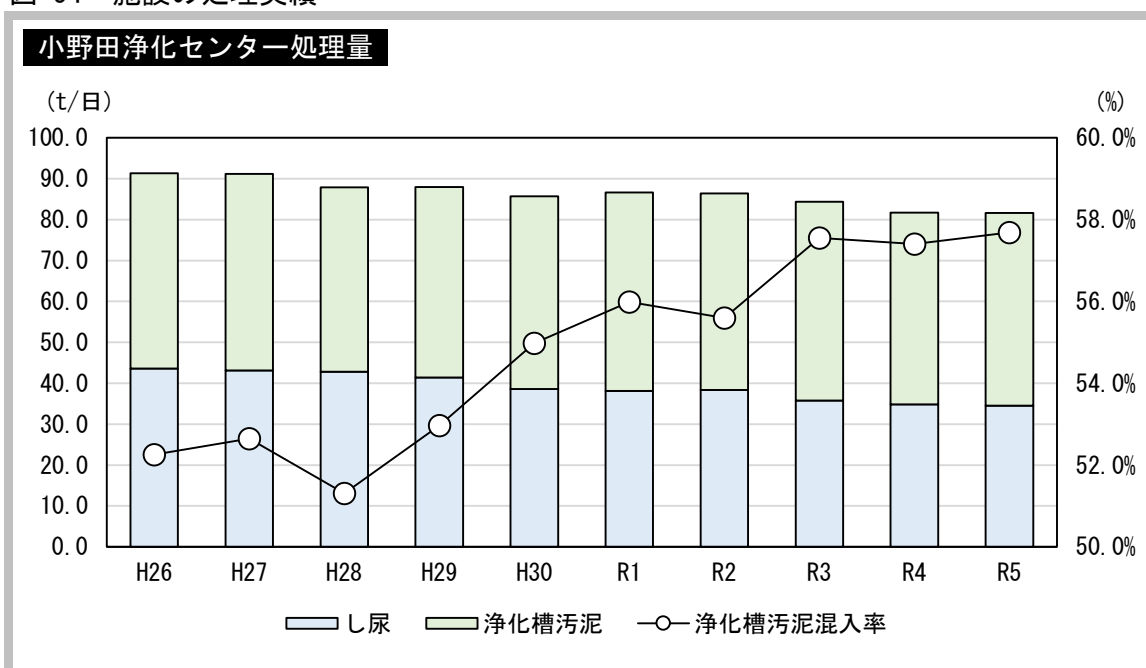
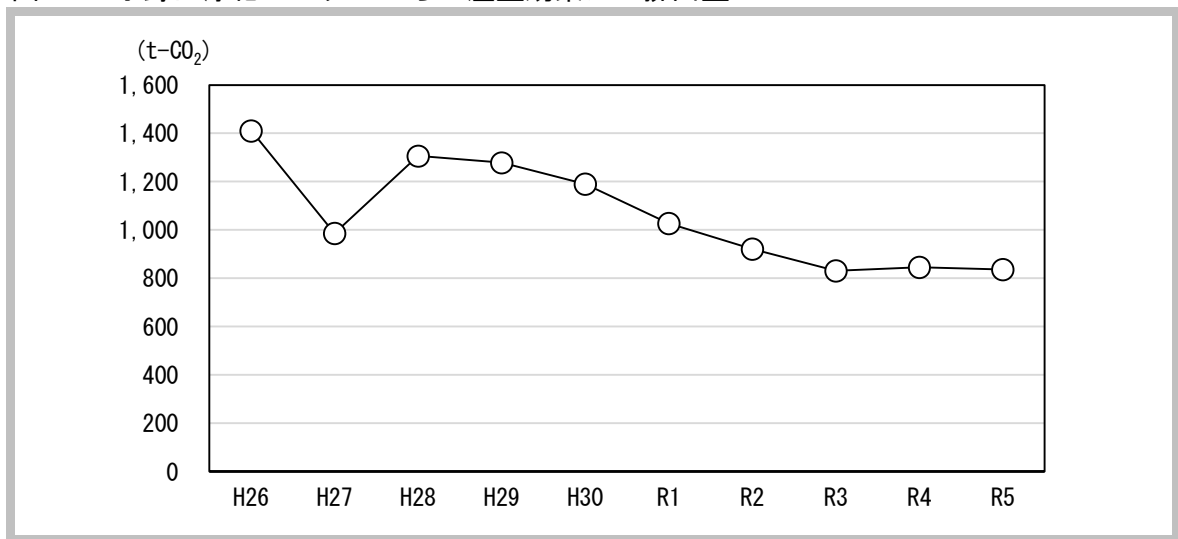


図 55 小野田浄化センターからの温室効果ガス排出量



資料：市民部環境課資料

③ 最終処分状況

小野田浄化センターで発生するし渣は、環境衛生センターで焼却処分している。また、余剰汚泥は脱水し、環境衛生センターで焼却処分している。

(4) し尿処理経費

し尿処理経費としては、平成 21 年度から平成 26 年度にかけて工事を実施していたが、平成 27 年度以降、工事を実施していないため、減少している。

処理及び維持管理費は、平成 30 年度まで、1.5 億円程度で概ね横ばい推移であったが、令和 2 年度以降増加傾向にある。

表 52 し尿処理経費の推移

項目		H26	H27	H28	H29	H30
建設改良費	[千円]	146,634	0	0	0	0
工事費	[千円]	146,634	0	0	0	0
調査費	[千円]	0	0	0	0	0
処理・維持管理費	[千円]	172,363	152,663	159,971	165,819	160,770
人件費	[千円]	24,811	14,860	15,591	25,269	15,636
収集運搬費	[千円]	1,231	1,224	1,203	1,275	1,293
中間処理費	[千円]	74,341	59,077	66,236	62,064	62,773
最終処分費	[千円]	0	0	0	0	0
車両等購入費	[千円]	0	0	0	0	0
委託費	[千円]	71,980	77,502	76,941	77,211	81,068
その他	[千円]	0	0	0	0	0
その他	[千円]	568	504	536	2,223	525
合計	[千円]	319,565	153,167	160,507	168,042	161,295

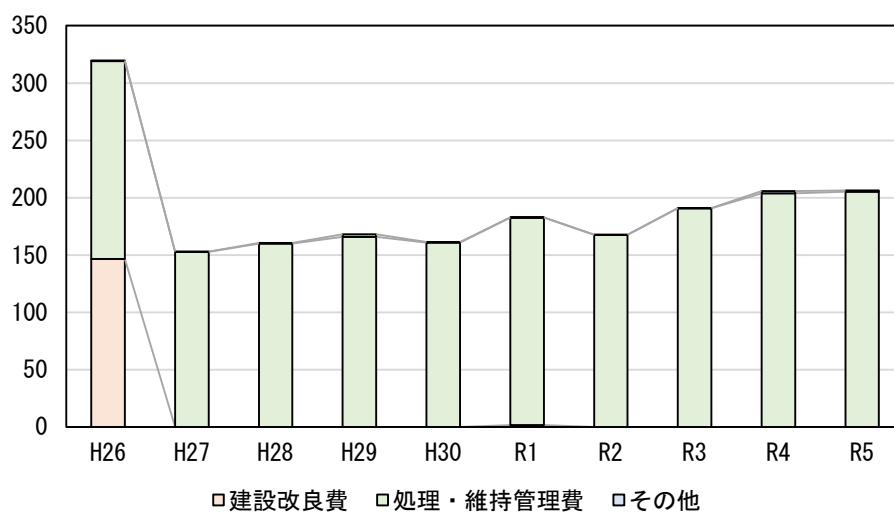
項目		R1	R2	R3	R4	R5
建設改良費	[千円]	1,661	0	0	0	0
工事費	[千円]	1,661	0	0	0	0
調査費	[千円]	0	0	0	0	0
処理・維持管理費	[千円]	181,025	167,601	190,784	203,742	205,184
人件費	[千円]	15,851	8,572	22,394	22,528	22,550
収集運搬費	[千円]	1,309	1,286	1,233	26,920	27,024
中間処理費	[千円]	78,450	67,555	69,499	86,636	89,637
最終処分費	[千円]	0	0	0	0	0
車両等購入費	[千円]	0	0	0	0	0
委託費	[千円]	85,415	90,188	97,658	65,973	64,856
その他	[千円]	0	0	0	1,685	1,117
その他	[千円]	258	154	303	1,923	1,284
合計	[千円]	182,944	167,755	191,087	205,665	206,468

資料：市民部環境課資料

図 56 処理及び維持管理費の推移【本市全体】

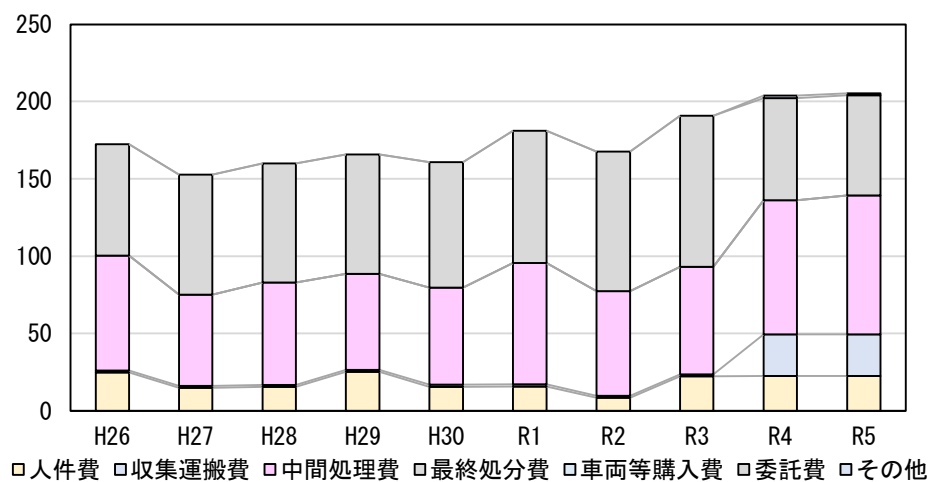
経 費

(百万円/年)



処理・維持管理費

(百万円/年)



資料：市民部環境課資料

ここで、し尿処理経費（処理・維持管理費）について、し尿処理 1kL 当たりとした場合を表 53 及び図 57 のとおり示す。

令和 5 年度における処理単価は、し尿処理 kL 当たり 5,637 円/kL である。本市の処理単価は、山口県と同程度であり、全国平均より低い。

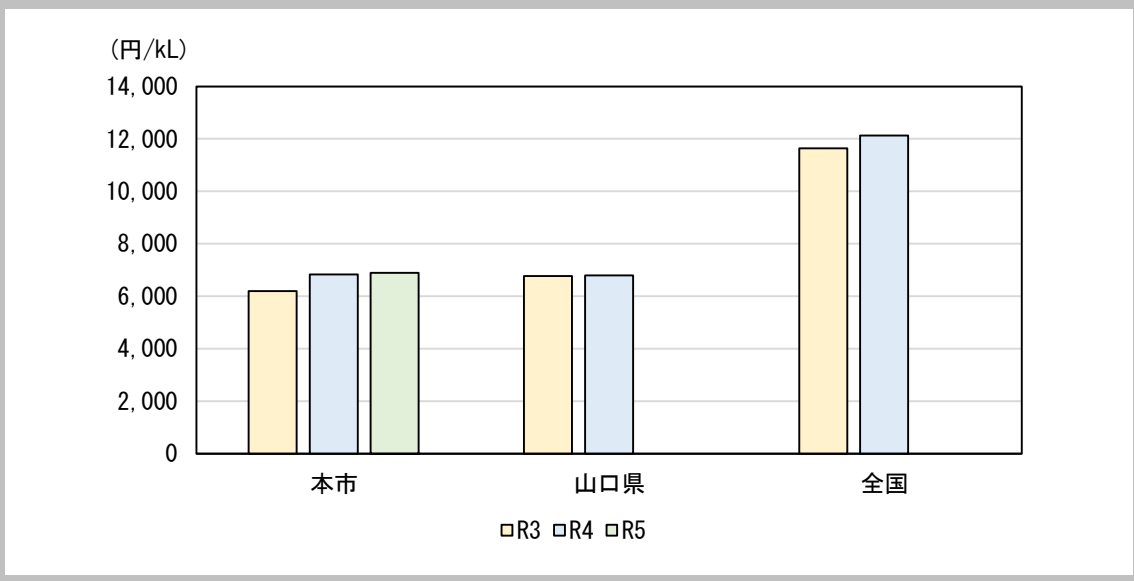
表 53 し尿等処理 kL 当たり処理費

項目		H26	H27	H28	H29	H30
処理原価	処理・維持管理費 [千円]	172,363	152,663	159,971	165,819	160,770
し尿等排出量合計 [kL/年]		33,343	33,269	32,075	32,113	31,294
し尿等1kL当たりの処理単価 [円/kL]		5,169	4,589	4,987	5,164	5,137

項目		R1	R2	R3	R4	R5
処理原価	処理・維持管理費 [千円]	181,025	167,601	190,784	203,742	205,184
し尿等排出量合計 [kL/年]		31,631	31,532	30,795	29,820	29,786
し尿等1kL当たりの処理単価 [円/kL]		5,723	5,315	6,195	6,832	6,889

資料：市民部環境課資料

図 57 し尿処理に係る処理単価



資料：全国・県・・・一般廃棄物処理実態調査結果
本市・・・市民部環境課資料

3. 生活排水処理に関する課題

(1) 生活排水処理に関する事項

【現 状】

生活排水は、台所排水や風呂排水といった生活雑排水と、汲み取りトイレのし尿並びに浄化槽汚泥である。

生活排水は、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽及び単独浄化槽（生活雑排水を除く）で処理しているが、その普及率は令和５年度において82.1%と、山口県平均（R4：89.2%）より低い。

排出原単位はここ近年緩やかな増加傾向である。一方で、し尿では簡易水洗トイレの普及、浄化槽汚泥では浄化槽の維持管理を適切に行わないことなどにより、排出原単位が変動することも懸念される。特に、浄化槽清掃において、汚泥引き抜きが適切に行われないと汚泥量増となるばかりか、浄化槽の浄化能力が低下し、河川等の公共用水域の水質悪化を招くおそれもある。

【課 題】

生活排水を処理するための公共下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽を継続的普及することが必要である。

また、生活排水の排出者となる市民、事業者において、水質保全の関心度を高め、また、意識・知識の向上を図ることが必要である。

(2) 収集・運搬に関する事項

【現 状】

し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬は、直営や委託によらず、許可業者に行わせているが、これらの許可業者との連絡調整を図りつつ、市民がさわやかで快適な日常生活が送れるよう安定的かつ継続的な体制の維持を図っている。

【課 題】

今後、公共下水道や農業集落排水施設の整備・普及により、し尿量はより減少することが予想される。収集・運搬量の減少を踏まえた収集・運搬体制の検討が必要である。

（３）中間処理に関する事項

【現 状】

し尿及び浄化槽汚泥の中間処理は、小野田浄化センターで行っている。

【課 題】

小野田浄化センターは、令和 7 年度時点で稼働年数が 36 年であり、老朽化が進行し処理に支障が生じている状態である。今後は下水道投入施設を整備する予定であり、計画的な整備が進められるよう、協議・検討を重ねる必要がある。

（４）再生利用に関する事項

【現 状】

小野田浄化センターでは、処理の過程で排出されるし渣及び余剰汚泥を環境衛生センターに運搬し焼却処分している。

【課 題】

脱水汚泥の有効利用について検討する。

4. その他の動向等

(1) 新技術の動向

し尿処理施設では、嫌気処理と好気処理の組み合わせや、槽容量のコンパクト化、膜設備の活用、浄化槽汚泥の混入比率の増加に対応するための方式等、様々な技術が採用されている。し尿処理施設における処理方式の主な4方式を表54に示す。

表 54 し尿処理施設の処理方式

処理方式	特徴
標準脱窒素処理方式	嫌氣的工程と好氣的工程の組み合わせにより有機物と窒素を同時に除去する。希釈倍率5～10倍程度の希釈水が必要である。
高負荷脱窒素処理方式	標準脱窒素処理方式と同様であるが、酸素溶解効率を高めることにより、槽容量のコンパクト化を図っている。
膜分離高負荷脱窒素処理方式	高負荷脱窒素処理方式と同様であるが、固液分離に膜を使用し、固液分離性能を高めている。
浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式	高負荷脱窒素処理方式、膜分離高負荷脱窒素処理方式と同様であるが、生物処理を行う前に固液分離を行い、高い浄化槽汚泥比率下での処理の安定性を高めている。

なお、近年では、し尿等の受入・前処理を行った後、下水へ投入する「下水投入施設」を建設する事例も増えている。

また、し尿処理工程において、発生した余剰汚泥等の処理は、従来まで焼却処分を主体として行われてきた。しかし、国においては、し尿及び浄化槽汚泥の衛生的処理に加え、循環型社会を形成する観点から、汚泥を資源として積極的に有効利用することを示している。汚泥の処理技術の概要を表55に示す。

表 55 汚泥処理技術の概要

技術内容		課題等
汚泥焼却		汚泥焼却設備は、燃焼ガスを800℃以上とすることが必要。 焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策が必要。
汚泥資源化	メタン発酵	ある程度以上の生ごみ量の確保が必要。 発酵汚泥が残渣として発生するため、これを堆肥化する等、他の資源化技術との組合せが必要。
	助燃剤化	助燃剤は外部では使用できず、自前施設で利用することが条件となる。 施設の方の受入に関して臭気や含水率が問題になることがある。
	堆肥化	農業への利用は施肥の時期が限られるので貯蔵方法の検討が必要。
	乾燥(肥料化)	30～40%まで乾燥させるための熱源が必要。
	炭化	木炭や活性炭とよく似た性質を持った炭化物にするための熱源が必要。
リン回収		枯渇資源であるリンを回収し、再利用可能なものにするもの。 各種の回収方法が実証段階にある。

(2) 関連法の整備状況

国は、農地還元という位置付けで埋立処分されていたし尿処理に関し、昭和 29 年、汚物の衛生的な処理と公衆衛生の向上を目的とした「清掃法」を制定した。昭和 45 年には「清掃法」が全面的に改正され、廃棄物処理法が制定された。近年では、窒素・リン等の排出基準強化、ふっ素・ほう素の排出基準設定等、水質規制を取り巻く状況も厳しくなっている。

表 56 生活排水処理に関する法律の歴史

年 月	法律等の推移
明治 33 年 4 月	・ 汚物処理法 施行
昭和 29 年 7 月	・ 清掃法 施行
昭和 45 年	・ 廃棄物処理法 制定
昭和 46 年 6 月	・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 施行
昭和 60 年 10 月	・ 浄化槽法 施行
平成元年 4 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの排出基準設定)
平成 2 年 8 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (生活排水対策の制度化)
平成 2 年 9 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (201 人以上 500 人以下のし尿浄化槽を指定地域特定施設に指定)
平成 4 年 7 月	・ 廃棄物処理法 一部改正 (し尿処理施設の構造基準の強化 排水基準 BOD20mg/L 等)
平成 5 年 8 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (閉鎖性水域におけるリン、窒素の規制)
平成 13 年 4 月	・ 浄化槽法 一部改正 (単独処理浄化槽の新設廃止)
平成 13 年 6 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (環境基準にホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を追加)
平成 13 年 12 月	・ COD、窒素及びリン含有量に係る総量削減基本方針の策定 (東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海)
平成 14 年 4 月	・ 浄化槽法 一部改正 (法定検査の水質に関する検査の検査内容及び方法、検査結果の判定等変更) (浄化槽の保守点検時に残留塩素測定方法からオルトトリジン法を削除)
平成 15 年 11 月	・ 水質汚濁防止法 一部改正 (水生生物保全に係る環境基準の設定)
平成 18 年 2 月	・ 浄化槽法 一部改正 (放流水の水質に係る基準、7 条検査の実施時期などを追加)
令和元年 6 月	・ 浄化槽法 一部改正 (浄化槽処理区域の指定、公共浄化槽に係る制度の整備)

第3章 生活排水処理基本計画

1. 基本理念・目標

本市においては、生活排水対策として、公共下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の整備を進めているところである。

さらに、より一層の下水道施設等の生活排水処理施設の整備に努め、下水処理区域内において水洗化されていない家庭及び下水処理区域外の生活排水をも衛生的に処理することを基本理念とし、清潔で衛生的な生活環境の実現と公共用水域の水質保全を図り、より快適で潤いのある環境空間づくりを目指すものとする。

2. 基本方針

生活排水対策の基本として、水の適正利用に関する普及啓発とともに、公共下水道をはじめとする各種の生活排水の処理施設を、地域の特性に合わせ合理的に逐次整備していくことが重要であり、その基本方針は以下のとおりとする。

①公共下水道の整備

生活環境の改善を図るため、下水道全体計画及び事業計画に基づいて管渠及び終末処理場の整備を進め、水洗化を促進する。

②農業集落排水事業の適正な運営

農業集落排水事業は、すべての処理区（小野田西地区、仁保の上地区、福田地区）の事業は完了している。また、小野田西地区は、令和3年度に公共下水道に接続された。

今後、施設の適正な維持管理を行うとともに、水洗化の推進や経営の健全化に努める。

③合併処理浄化槽の普及

公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水事業の区域外において、合併処理浄化槽の設置を支援及び推進する。

④し尿処理施設の整備

し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を維持するため、下水道投入施設の整備について検討を重ねる。

3. 数値目標

本計画の基本理念、目標を達成するため、令和16年度には総人口のうち92.5%の51,183人が生活排水を処理することを目標とする。

表 57 生活排水処理の目標

項目	現 在 (令和5年度)	目標年度 (令和16年度)
生活排水処理率	82.1%	92.5%

※ 生活排水処理率＝（公共下水道人口＋合併処理浄化槽人口）÷行政区域内人口

表 58 処理人口の内訳

項目	現 在 (令和5年度)	目標年度 (令和16年度)
行政区域内人口	59,125 人	55,333 人
計画処理区域内人口	59,125 人	55,333 人
水洗化・生活雑排水処理人口	48,539 人	51,183 人

※ 水洗化・生活雑排水処理人口＝公共下水道人口＋合併処理浄化槽人口

4. 処理主体

生活排水処理施設別の処理主体は、表 59 のとおりとする。

表 59 処理主体

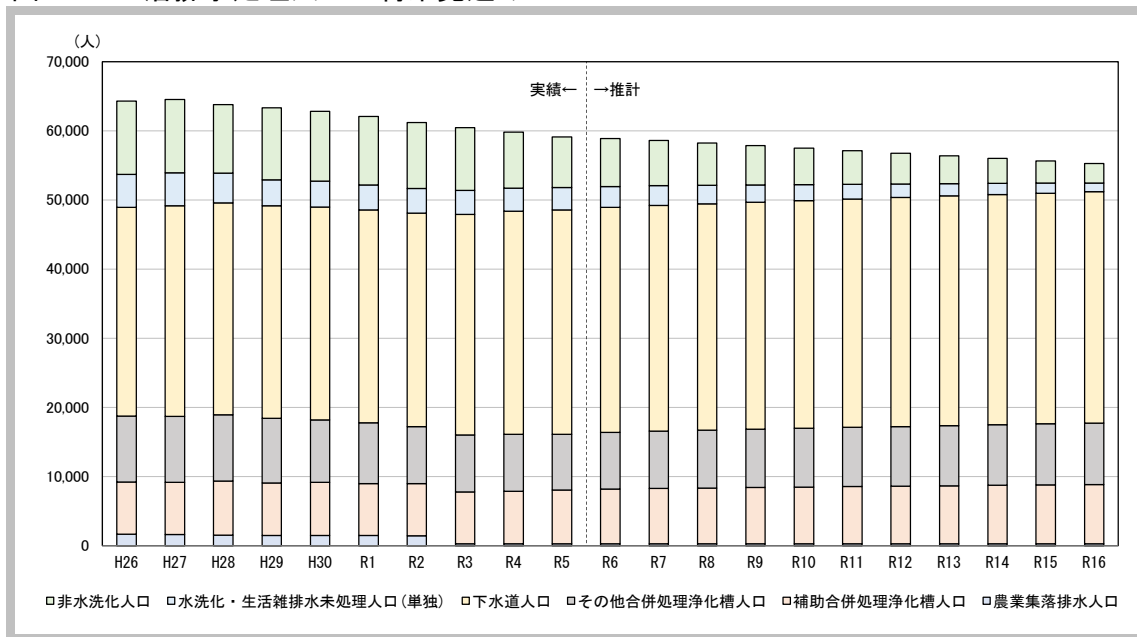
処理施設の種類	対象となる生活排水の種類	処理主体
公共下水道	し尿及び生活雑排水	本市
合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水	個人等
農業集落排水施設	し尿及び生活雑排水	本市
単独処理浄化槽	し尿	個人等
し尿処理施設	し尿及び浄化槽汚泥	本市

5. 生活排水の処理計画

(1) 生活排水処理人口の将来見込み

生活排水処理人口の将来見込みは、図 58 に示すとおりである。

図 58 生活排水処理人口の将来見込み



(2) 施設及びその整備計画の概要

① 公共下水道

公共下水道は、小野田処理区、山陽処理区において整備事業を実施している。今後は、本市の下水道整備計画に基づいて、さらに整備を推進していくものとする。それぞれの整備事業の概要は、表 60 に示すとおりである。

表 60 公共下水道整備計画の概要

名 称	山陽小野田市公共下水道	
処 理 区 名	小野田処理区	山陽処理区
計 画 区 域 面 積	945.4 [ha]	393.3 [ha]
計 画 処 理 人 口	26,870 [人]	7,660 [人]

② 農業集落排水施設

農業集落排水施設は、小野田西地区、仁保の上地区及び福田地区の3地区で供用開始し、既に整備は完了している。今後は、農業集落排水施設の適正な維持管理に努めていくものとする。なお、小野田西地区は、令和3年度に公共下水道に接続された。

③ 合併処理浄化槽（浄化槽設置整備事業）

合併処理浄化槽は、公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水事業計画区域外における生活排水対策を進めるため、浄化槽設置整備事業として補助を行うことで、設置・整備を推進する。

浄化槽設置整備事業により設置・整備する計画基数は表 61 のとおりである。

表 61 浄化槽設置整備事業により設置・整備する計画基数

項目	R6	R7	R8
計 画 基 数 [基]	100	100	100

資料：循環型社会形成推進地域計画（山陽小野田市）

6. し尿・汚泥の処理計画

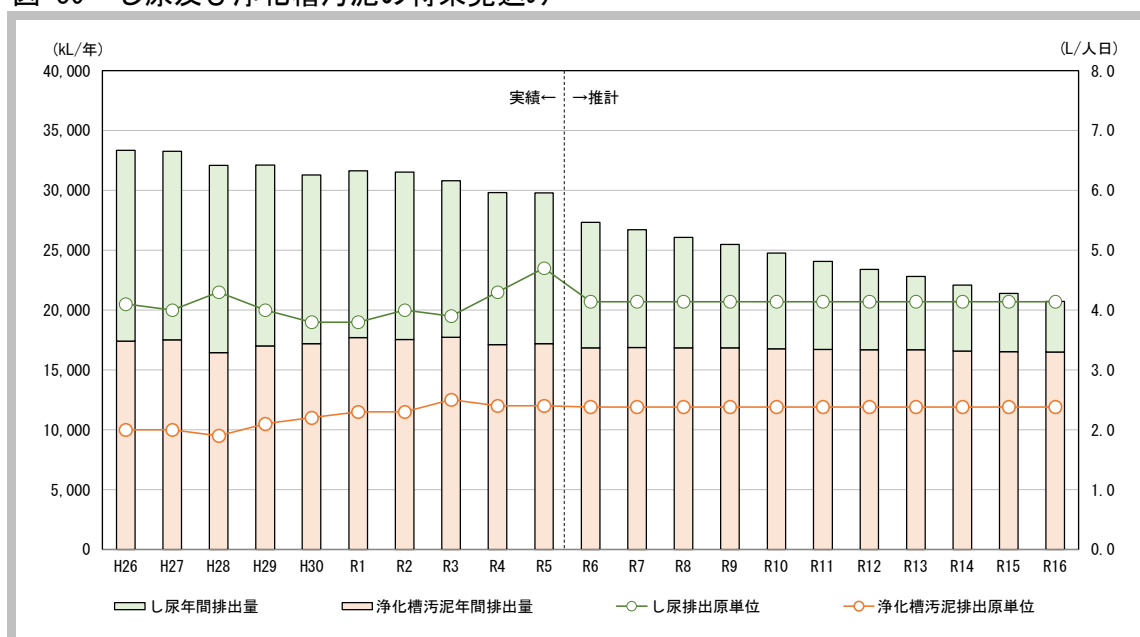
(1) し尿及び浄化槽汚泥量の将来見込み

し尿及び浄化槽汚泥の将来見込みの合計は、令和 16 年度において年間 20,688kL 程度まで減少する見込みである。

減少する要因は、全体人口の減少や下水道等の整備により、し尿の減少が大きく進むことによるものである。なお、浄化槽汚泥は、合併処理浄化槽の整備が今後も進められるため、減少の傾向が、し尿と比べて小さくなる見込みである。

浄化槽汚泥混入率は、令和 16 年度において 79.4%となる見込みである。

図 59 し尿及び浄化槽汚泥の将来見込み



(2) 再資源化計画

① 再資源化に関する目標

し尿及び浄化槽汚泥を処理する過程で発生するし渣及び余剰汚泥については、現在、環境衛生センターにて焼却処分しているが、今後、再資源化等の有効利用について検討を進める。

② 資源化の方法

再資源化の方法は、表 55 に示す方法のうち、本市において採用の可能性がある方法を選定し、今後の施設整備の方針を踏まえて適切な時期に検討する。

(3) 収集・運搬計画

① 収集・運搬に関する目標

し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に支障をきたすことのないような体制を維持していく。そのため、許可業者との連絡調整を図りつつ、より安定的な収集・運搬を行っていくことを目標とする。

② 収集・運搬の範囲

収集・運搬の範囲は、現行どおり本市全域とする。

③ 収集・運搬の方法及び量

し尿については、水洗化率の上昇に伴い収集・運搬量の減少が見込まれることから、許可業者による収集・運搬体制を維持していくものとする。

浄化槽汚泥については、公共下水道整備の進捗率の上昇に伴い収集・運搬量が減少するものであるが、今しばらくは、浄化槽の普及が進む見込みであるため、基本的には現状の収集・運搬体制を維持していくものとする。

し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬量は、表 62 に示すとおりである。

表 62 収集・運搬量の見込み

収集運搬するし尿等の種類	見込み量[kL／年]	
	令和 11 年度	令和 16 年度
し尿	7,282	4,256
浄化槽汚泥（農業集落排水施設の汚泥を含む）	16,586	16,432
合計	23,868	20,688

④ 収集・運搬に関する施策

収集・運搬体制の維持

収集・運搬から搬入に至るまでの運行計画について、施設の受入れ体制とも調整を図りつつ、処理の円滑化に支障をきたさないよう、許可業者に対し、指導していくものとする。

(4) 中間処理計画

① 中間処理に関する目標

し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を推進する。

② 中間処理の方法及び量

し尿及び浄化槽汚泥の処理は、小野田浄化センターで行う。

し尿及び浄化槽汚泥の処理量は、表 63 に示すとおりである。

表 63 中間処理量の見込み

処理量	見込み量[kL／年]	
	令和 11 年度	令和 16 年度
し尿	7,282	4,256
浄化槽汚泥（農業集落排水施設の汚泥を含む）	16,586	16,432
合計	23,868	20,688

③ 中間処理に関する施策

小野田浄化センターが老朽化していることを踏まえ、下水道投入施設の整備を行う。整備にあたり、国土交通省交付金を活用する。

(5) 最終処分計画

し尿処理施設で発生するし渣及び余剰汚泥は、環境衛生センターに運搬し焼却処分している。引き続き、同様な処理を継続できるように施設を管理し、適切な汚泥の脱水に努める。

7. その他の計画

(1) 市民に対する広報・啓発活動

本市の市民に対しては、公共水域の汚濁防止等の観点から生活排水対策や浄化槽管理の重要性について周知を図っていく必要がある。

そのため、台所での対応等家庭でできる生活排水対策について広報・啓発活動を行っていく必要がある。

浄化槽については、合併処理浄化槽への切り替えや新規設置の普及促進に努め、それと同時に保守点検、清掃、定期検査等の適切な実施を呼びかけていくものとする。

また、公共下水道や農業集落排水施設が整備されている地区においては、各世帯へ速やかな接続を促す等、積極的に生活排水処理を進めていくものとする。

(2) 施策推進体制と諸計画との調整

本計画は、公共下水道事業や農業集落排水事業、さらに浄化槽設置整備事業と調整を図ることが必要である。

今後も各事業計画との整合を図り、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理を推進していくものとする。

資 料 編

資 料 編	1
推計人口について	1
1. 人口の実績	1
2. 人口の推計方法	2
ごみ量の推計について	4
1. ごみ排出量の実績整理	4
2. ごみ排出量の推計方法	8
3. 原単位、一日量の推計	9
4. ごみ排出量の推計結果（現状のまま推移した場合）	41
5. 焼却処理量、リサイクル量、最終処分量の推計（現状のまま推移した場合） ..	46
6. 既計画の目標達成状況	49
7. 目標を達成した場合のごみ排出量、中間処理量、リサイクル量及び最終処分量	54
生活排水処理形態別人口等の推計について	60
1. 生活排水処理形態別人口の推計	60
2. し尿、浄化槽汚泥排出量の推計	61
3. 推計結果集計表	62

推計人口について

1. 人口の実績

山陽小野田市の人口実績（住民基本台帳 3 月 31 日付 外国人人口含む）は、表 1 のとおりである。

表 1 人口実績（住民基本台帳 3 月 31 日付 外国人人口含む）

項目	(年度)	2014	2015	2016	2017	2018
		H26	H27	H28	H29	H30
山陽小野田市	(人)	64,433	64,100	63,777	63,313	62,836

項目	(年度)	2019	2020	2021	2022	2023
		R1	R2	R3	R4	R5
山陽小野田市	(人)	62,059	61,180	60,464	59,797	59,125

2. 人口の推計方法

(1) 推計方法

将来人口の推計は、上位計画との整合性を勘案し、山陽小野田市人口ビジョン（令和 2 年 3 月改訂）で示された人口を基に設定するものとする。

なお、人口ビジョンの推計値は 5 年ごとのデータのため、その間は等差的に増減させるものとして、直線補完を行う。また、人口ビジョンの推計値（直線補完）と令和 5 年度の実績値には乖離があるため、その差を各年度の推計値に足すことで補正を行う。

将来人口の推計を表 2 及び図 1 に示す。

表 2 将来人口の推計

年度	実績値 (3月31日人口)	人口ビジョン			採用値 (実績値との乖離 を補正)
		推計値 (10月1日人口)	推計値 直線補完 (10月1日人口)	推計値 (3月31日補正)	
平成 25	64,758				
26	64,433				
27	64,100				
28	63,777				
29	63,313				
30	62,836				
令和 1	62,059				
2	61,180	60,865	60,865		
3	60,464		60,624		
4	59,797		60,382		
5	59,125		60,141	60,020	59,125
6			59,899	59,779	58,884
7		59,658	59,658	59,474	58,579
8			59,290	59,106	58,211
9			58,922	58,738	57,842
10			58,553	58,369	57,474
11			58,185	58,001	57,106
12		57,817	57,817	57,641	56,745
13			57,464	57,288	56,392
14			57,111	56,935	56,039
15			56,758	56,582	55,686
16			56,405	56,229	55,333
17		56,052	56,052		

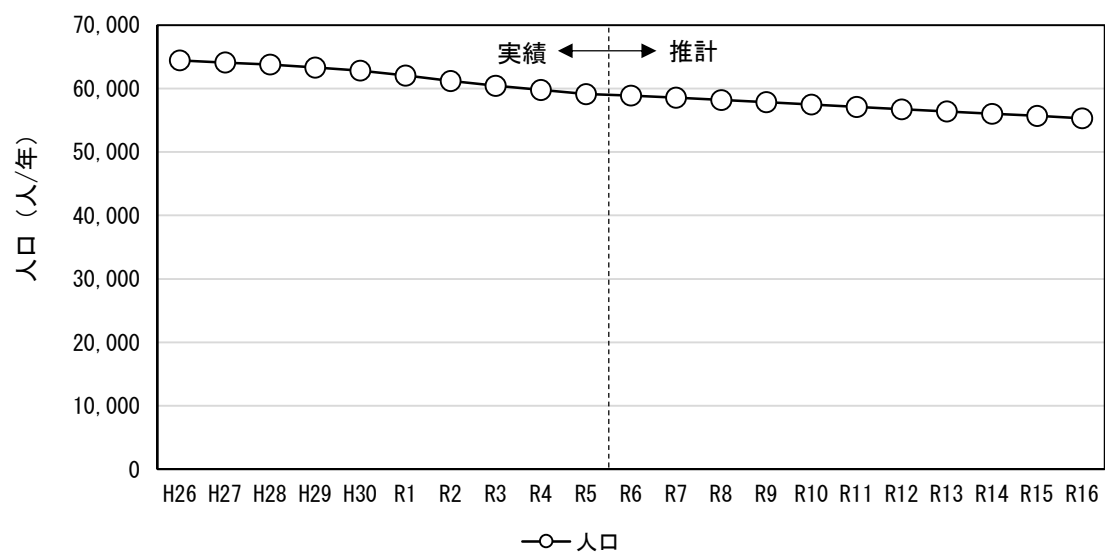


図 1 将来人口の推計

ごみ量の推計について

1. ごみ排出量の実績整理

ごみ排出量・処理量の実績は以下に示すとおりである。

表 3 ごみ排出量の推移（本編 図 19、図 20）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
その他のごみ	t/年	819	575	280	264	202
収集燃やせるごみ	t/年	14,386	14,203	13,615	13,178	12,757
収集燃やせないごみ	t/年	747	472	468	511	550
収集資源ごみ	t/年	2,549	2,491	2,363	2,224	2,038
収集大型ごみ	t/年	55	65	64	59	62
収集混合ごみ	t/年	0	0	0	0	6
直接燃やせるごみ	t/年	7,029	8,001	5,839	5,603	5,697
直接燃やせないごみ	t/年	167	137	88	82	82
直接資源ごみ	t/年	259	219	211	230	215
直接大型ごみ	t/年	30	22	64	79	98
直接混合ごみ	t/年	621	704	539	580	696
総計	t/年	26,662	26,889	23,531	22,810	22,403
1人1日平均排出量						
山陽小野田市	g/人日	1,133.7	1,146.1	1,010.8	987.1	976.8
山口県平均	g/人日	1,025.2	1,016.9	993.9	985.5	987.5
全国平均	g/人日	947.2	938.5	924.6	920.1	918.6
1人1日平均排出量（収集）						
山陽小野田市	g/人日	762.9	744.1	718.9	701.5	680.4
山口県平均	g/人日	823.9	763.0	745.0	736.1	736.6
全国平均	g/人日	814.2	810.3	797.7	795.7	793.9

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
その他のごみ	t/年	184	125	181	235	195
収集燃やせるごみ	t/年	12,621	12,386	12,067	11,924	11,203
収集燃やせないごみ	t/年	476	532	490	440	377
収集資源ごみ	t/年	1,919	1,909	1,930	1,825	1,665
収集大型ごみ	t/年	57	56	66	63	67
収集混合ごみ	t/年	3	3	1	0	1
直接燃やせるごみ	t/年	5,050	5,007	5,101	4,808	4,880
直接燃やせないごみ	t/年	101	125	101	82	87
直接資源ごみ	t/年	213	169	195	195	183
直接大型ごみ	t/年	112	142	102	104	106
直接混合ごみ	t/年	746	690	769	992	851
総計	t/年	21,481	21,146	21,002	20,668	19,613
1人1日平均排出量						
山陽小野田市	g/人日	945.7	946.9	951.6	946.9	906.4
山口県平均	g/人日	991.3	981.7	973.0	964.6	
全国平均	g/人日	918.5	900.8	890.0	879.8	
1人1日平均排出量（収集）						
山陽小野田市	g/人日	671.7	671.2	667.1	661.6	623.6
山口県平均	g/人日	743.9	736.2	729.3	723.8	
全国平均	g/人日	797.7	781.7	774.9	766.8	

表 4 燃やせるごみの性状（乾物）（本編 図 21）

項目	単位	R5
紙類	%	40.8
布類	%	16.8
ビニール・ゴム類	%	24.3
木・竹・ワラ類	%	8.9
ちゅう介類	%	6.8
不燃物類	%	0.0
その他	%	2.4

表 5 資源ごみの性状（令和 5 年度実績）（本編 図 22）

項目	単位	R5	
新聞	kg	285,180	15.1%
雑誌	kg	458,970	24.2%
ダンボール	kg	322,040	17.0%
アルミ	kg	79,170	4.2%
スチール	kg	54,850	2.9%
スクラップ	kg	168,660	8.9%
非鉄スクラップ	kg	27,440	1.4%
発泡スチロール	kg	5,510	0.3%
ペットボトル	kg	149,480	7.9%
紙パック	kg	2,750	0.1%
無色ガラスカレット	kg	152,490	8.1%
茶色ガラスカレット	kg	132,790	7.0%
リターナブルびん	kg	17,954	0.9%
その他びん	kg	35,840	1.9%
合計	kg	1,893,124	100.0%

表 6 分別収集による資源物回収量の推移（本編 図 23）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
空びん	t/年	543	542	525	492	475
古紙類	t/年	1,512	1,449	1,354	1,232	1,082
ペットボトル	t/年	138	143	142	139	138
空かん	t/年	136	133	136	131	125
古着・布類	t/年	206	213	195	219	209
発泡スチロール ・白色トレイ	t/年	14	11	11	11	9
合計	t/年	2,549	2,491	2,363	2,224	2,038

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
空びん	t/年	448	439	427	403	372
古紙類	t/年	1,004	982	1,054	994	890
ペットボトル	t/年	136	135	136	138	134
空かん	t/年	125	134	123	118	111
古着・布類	t/年	196	210	181	164	145
発泡スチロール ・白色トレイ	t/年	9	10	9	8	12
合計	t/年	1,919	1,909	1,930	1,825	1,665

表 7 資源ごみ回収拠点施設（資源デポ）による回収量の推移（本編 図 24）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
新聞	t/年	42.0	45.0	47.0	40.8	37.5
雑誌	t/年	41.0	48.5	45.1	44.2	43.5
空びん	t/年	25.0	32.2	34.0	37.0	35.9
空かん	t/年	11.0	14.3	14.3	16.0	16.0
紙パック	t/年	1.0	—	—	—	—
ペットボトル	t/年	11.0	11.7	13.6	15.1	15.7
白色トレイ	t/年	1.0	0.8	1.2	1.5	0.9
合計	t/年	132	152	155	155	150

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
新聞	t/年	34.1	23.1	31.4	30.2	25.4
雑誌	t/年	40.8	35.7	44.9	44.9	43.5
空びん	t/年	36.3	30.7	33.4	33.9	32.0
空かん	t/年	17.4	15.7	16.8	16.8	15.3
紙パック	t/年	—	—	—	—	—
ペットボトル	t/年	16.4	13.8	17.2	18.1	16.2
白色トレイ	t/年	0.8	0.9	1.0	1.1	1.0
合計	t/年	146	120	145	145	133

表 8 集団回収実績の推移（本編 図 25）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
新聞紙	t/年	272.2	226.2	209.1	162.8	160.1
雑誌	t/年	114.8	104.0	85.4	66.9	65.9
ダンボール	t/年	103.0	91.6	86.9	80.0	89.1
その他古紙	t/年	1.2	0.5	0.4	0.2	0.1
アルミかん	t/年	35.1	38.3	32.8	29.0	26.0
スチールかん	t/年	4.1	2.4	3.1	1.7	2.0
空びん	t/年	4.9	4.4	3.2	3.0	2.5
金属類	t/年	2.3	1.8	3.2	3.4	3.3
布類	t/年	2.7	2.3	2.3	1.3	0.7
合計	t/年	540.4	471.6	426.3	348.0	349.7

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
新聞紙	t/年	129.8	91.0	90.5	80.7	66.2
雑誌	t/年	66.5	57.6	52.8	50.7	42.1
ダンボール	t/年	79.7	53.7	58.3	55.6	49.0
その他古紙	t/年	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2
アルミかん	t/年	24.9	20.2	19.4	20.2	15.4
スチールかん	t/年	1.4	0.5	0.5	0.4	0.2
空びん	t/年	1.7	1.2	1.3	1.2	0.9
金属類	t/年	3.7	3.3	3.0	2.1	2.3
布類	t/年	0.9	0.7	0.7	0.4	0.0
合計	t/年	308.5	228.3	226.5	211.5	176.3

表 9 リサイクル量とリサイクル率（本編 図 26）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
リサイクル量	t/年	6,109	5,586	5,403	5,238	5,027
リサイクル率	%	22.5%	20.4%	22.6%	22.6%	22.1%

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
リサイクル量	t/年	4,769	4,686	4,651	4,547	4,245
リサイクル率	%	21.9%	21.9%	21.9%	21.8%	21.4%

表 10 最終処分量と最終処分率（本編 図 27）

項目	単位	H26	H27	H28	H29	H30
最終処分量	t/年	1,439	1,127	742	761	761
最終処分率	%	5.3%	4.1%	3.1%	3.3%	3.3%

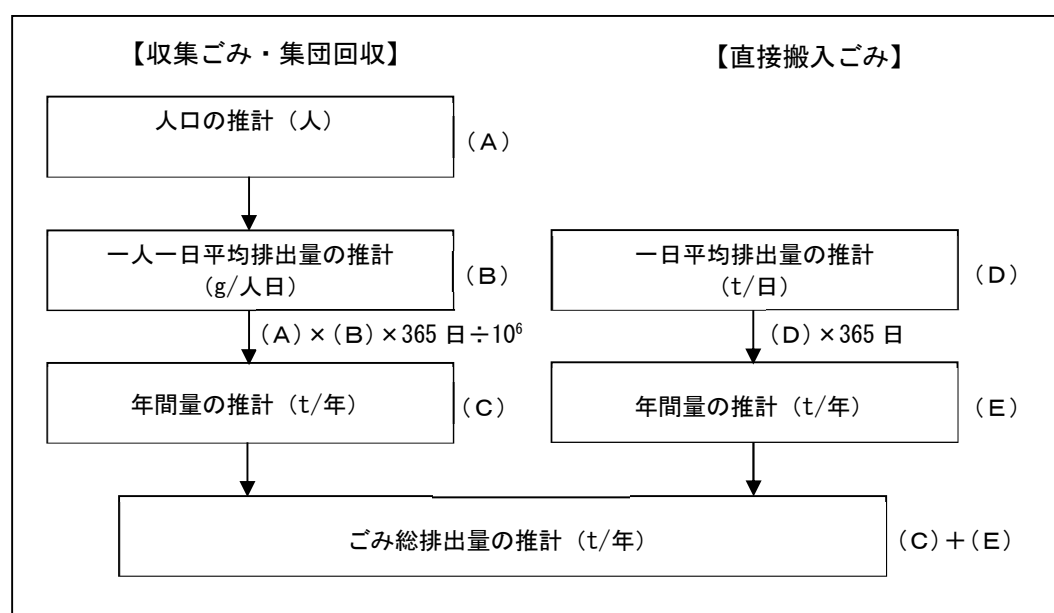
項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5
最終処分量	t/年	656	551	634	876	750
最終処分率	%	3.0%	2.6%	3.0%	4.2%	3.8%

2. ごみ排出量の推計方法

ごみ排出量等の推計は以下に示すとおりである。

家庭系ごみは、一人一日平均排出量（原単位）に人口推計値及び年間日数を乗じることで算出する。事業系ごみは、一日平均排出量（一日量）に年間日数を乗じることで算出する。

なお、排出量が少なく、原単位及び一日量が 0.00 を下回る場合には、年間量の推移を用いて推計を行う。



家庭系ごみ：原単位＝一人一日平均排出量（g/人日）

＝年間排出量（t/年）÷計画収集人口（人）÷365（日）×10⁶

事業系ごみ：一日量＝一日平均排出量（t/日）

＝年間排出量（t/年）÷365（日）または 366（日）

図 2 ごみ排出量の推計方法

3. 原単位、一日量の推計

原単位、一日量の推計は、表 11 に示す各種推計式により計算するトレンド法を用いる。各種推計式には「ごみ処理施設構造指針解説」（昭和 53 年 10 月（社）全国都市清掃会議）で挙げられている式（一次式、二次式、一次指数式、べき乗式、ロジスティック式）や対数式等がある。

表 11 算出に用いた推計式の概要

推計式	基本式	特 性
一次式	$Y = a + bX$	傾き一定で単調に増加もしくは減少する場合を示す式。
二次式	$Y = a + bX + cX^2$	増減を大きく放物線で示す式。
一次指数式	$Y = ab^X$	徐々に増加率もしくは減少率が増加していく曲線式。
べき乗式	$Y = aX^b + c$	徐々に増加率もしくは減少率が増加していく曲線式。
ロジスティック式	$Y = K / (1 + a \times \exp(-bX))$	K 値を上限として、上限と下限で左右対称となる推計式。

Y：計画年度における推計値（Y₀は計画初年度の実績値）

X：計画年度（平成年度）（X₀は計画初年度の値）

K：過去の実績値から求められる飽和値

a、b、c：定数

トレンド法による推計にあたっては、相関係数と実績値との乖離（直近実績値と目標年度の推計値の差）を確認することにより、過去の実績値をできるだけ正確に再現し、かつ、将来におけるトレンドの動きが論理的矛盾をきたさない、最も妥当と判断されるものを採用するものとする。なお、実績値と採用式の令和 5 年度の差分をとり、採用式の推計値に足すことで補正を行った。

なお、トレンド推計は過去 10 年間の実績を踏まえて行うものとするが、2014 年の実績がない家庭系直搬資源ごみ、事業系直搬大型ごみ及び事業系直搬資源ごみについては、過去 9 年間の実績を踏まえて推計を行うものとする。

各項目の採用根拠を表 12～表 15、各項目のトレンド推計結果を表 16～表 42、図 3～図 29 に示す。

表 12 各項目の採用根拠（家庭系収集ごみ）

項目			採用式	採用根拠
混合ごみ			—	収集ごみにおける混合ごみは、排出方法によって混合状況が変わると考えられ、今後の変動を予測することが難しいため、最新の実績値で推移するものとする。
可燃ごみ			べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
不燃ごみ			べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
その他のごみ（泥土）			—	排出元が状況によって変わるその他のごみについては、今後の変動を予測することが難しいため、最新の実績値で推移するものとする。
大型ごみ（可燃・不燃）			一次指数式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
資源ごみ	空びん		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
	古紙類	新聞	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
		雑誌	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
		ダンボール	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
	ペットボトル		一次指数式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	空かん		ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	古着・布類		—	過去 10 年間に於いて一定の傾向を捉えられないため、過去 10 年間の平均値で推移するものとする。
	発泡スチロール・白色トレイ		—	過去 10 年間に於いて一定の傾向を捉えられないため、過去 10 年間の平均値で推移するものとする。

表 13 各項目の採用根拠（家庭系直接搬入ごみ）

項目			採用式	採用根拠
混合ごみ			ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
可燃ごみ			べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さく、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
不燃ごみ			べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
その他のごみ（泥土）			—	過去 2 年間に於いて 0t であったため、現状維持とする。
大型ごみ（可燃・不燃）			ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
資源ごみ	空びん		—	全体的に相関係数が低く、対象としている原単位も小さいことから、過去 9 年間の平均値で推移するものとする。
	古紙類	新聞	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
		雑誌	—	全体的に相関係数が低く、対象としている原単位も小さいことから、過去 9 年間の平均値で推移するものとする。
		ダンボール	—	過去 9 年間に於いて一定の傾向を捉えられないため、過去 9 年間の平均値で推移するものとする。
	ペットボトル		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	空かん		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	古着・布類		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	発泡スチロール・白色トレイ		—	過去 9 年間に於ける搬入量は 1t/年であることから、最新の実績値で推移するものとする。

表 14 各項目の採用根拠（事業系直接搬入ごみ）

項目		採用式	採用根拠	
混合ごみ		—	混合ごみは、排出方法によって混合状況が変わると考えられ、今後の変動を予測することが難しいため、最新の実績値で推移するものとする。	
可燃ごみ		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。	
不燃ごみ		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さく、相関係数が最も大きい式を採用する。	
その他のごみ（泥土）		べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。	
大型ごみ（可燃・不燃）		ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。	
資源ごみ	空びん		—	過去 4 年間における搬入量は 0t/年であるため、現状維持とする。
	古紙類	新聞	—	過去 6 年間における搬入量は 0t/年であるため、現状維持とする。
		雑誌	—	過去 9 年間において一定の傾向を捉えられないため、過去 9 年間の平均値で推移するものとする。
		ダンボール	ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
	ペットボトル		ロジスティック式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さく、相関係数が最も大きい式を採用する。
	空かん		—	過去 6 年間における搬入量は 0t/年であるため、現状維持とする。
	古着・布類		—	過去 6 年間における搬入量は 0t/年であるため、現状維持とする。
	発泡スチロール・白色トレイ		—	過去 4 年間における搬入量は 0t/年であるため、現状維持とする。

表 15 各項目の採用根拠（集団回収量）

項目	採用式	採用根拠
新聞紙	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
雑誌	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、大幅な増加傾向を示す式を除外し、それ以外で相関係数が最も大きい式を採用する。
ダンボール	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
牛乳パック	—	原単位が 0.00 を下回るため、コロナ禍による影響を考慮し、過去 3 年間の年間量の平均値で推移するものとする。
アルミかん	べき乗式	推計期間において大幅に増加または減少する可能性は低いと考えられるため、実績値の乖離が最も小さい式を採用する。
スチールかん	—	原単位が 0.00 を下回るため、コロナ禍による影響を考慮し、過去 3 年間の年間量の平均値で推移するものとする。
空びん	—	原単位が 0.00 を下回るため、コロナ禍による影響を考慮し、過去 3 年間の年間量の平均値で推移するものとする。
金属類	—	過去 10 年間に於いて一定の傾向を捉えられないため、過去 10 年間の平均値で推移するものとする。
布類	—	原単位が 0.00 を下回るため、コロナ禍による影響を考慮し、過去 3 年間の年間量の平均値で推移するものとする。

表 16 家庭系収集可燃ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	611.7						
2	2015	605.4						
3	2016	584.9						
4	2017	570.2						
5	2018	556.2						
6	2019	555.7						
7	2020	554.7						
8	2021	546.8						
9	2022	546.3						
10	2023	517.7	524.1	529.8	525.1	535.8	515.8	517.7
11	2024		515.1	525.5	516.8	532.4	501.1	514.3
12	2025		506.0	522.2	508.5	529.4	485.3	511.3
13	2026		496.9	519.8	500.5	526.6	468.6	508.5
14	2027		487.8	518.3	492.5	524.1	450.8	506.0
15	2028		478.8	517.8	484.7	521.7	432.1	503.6
16	2029		469.7	518.3	477.0	519.5	412.7	501.4
17	2030		460.6	519.7	469.4	517.4	392.5	499.3
18	2031		451.5	522.1	462.0	515.5	371.8	497.4
19	2032		442.5	525.4	454.6	513.7	350.8	495.6
20	2033		433.4	529.6	447.4	512.0	329.6	493.9
21	2034		424.3	534.9	440.3	510.3	308.3	492.2
最大		611.7	515.1	534.9	516.8	532.4	501.1	514.3
最小		517.7	424.3	517.8	440.3	510.3	308.3	492.2
実績との乖離※			-93.4	17.2	-77.4	-7.4	-209.4	-25.5
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = R / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	614.87	625.35	616.24	623.05	0.07	
		b	-9.07	-14.32	0.98	-0.07	-0.13	
		c		0.48				
		K					653.86	
		相関係数R	0.957	0.965	0.959	0.952	0.936	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	2	4	5	
		実績値との乖離	4	2	3	1	5	
	採用	べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

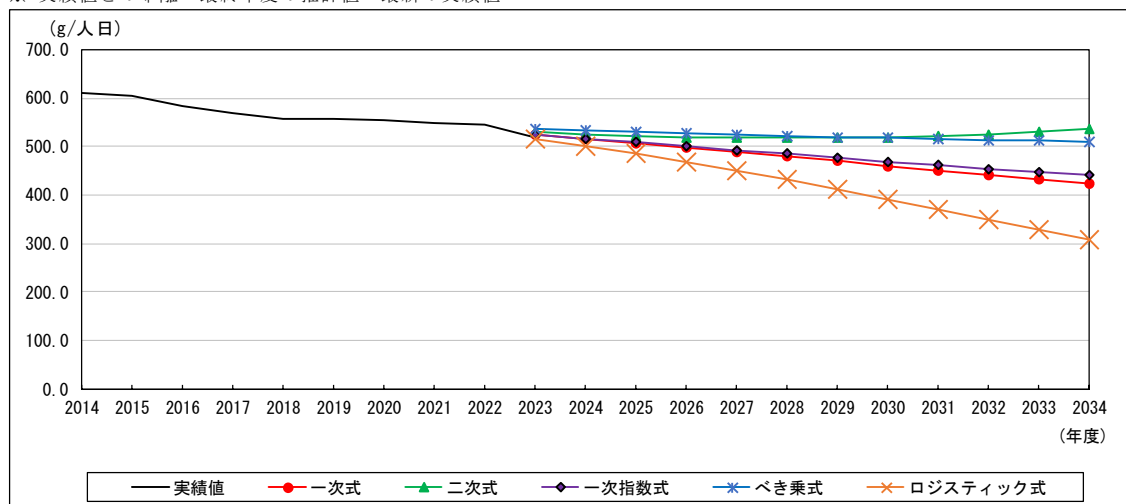


図 3 家庭系収集可燃ごみのトレンド推計結果

表 17 家庭系収集不燃ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t		年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦	2014	31.8						
2		2015	20.1						
3		2016	20.1						
4		2017	22.1						
5		2018	24.0						
6		2019	20.9						
7		2020	23.8						
8		2021	22.2						
9		2022	20.1						
10		2023	17.4	19.1	19.8	19.3	19.7	18.3	17.4
11		2024		18.3	19.7	18.7	19.5	17.3	17.2
12		2025		17.6	19.7	18.2	19.2	16.3	16.9
13		2026		16.9	19.8	17.6	19.0	15.3	16.7
14		2027		16.2	20.1	17.1	18.8	14.3	16.5
15		2028		15.5	20.5	16.6	18.7	13.3	16.4
16		2029		14.8	21.0	16.1	18.5	12.3	16.2
17		2030		14.1	21.6	15.7	18.3	11.4	16.0
18		2031		13.4	22.3	15.2	18.2	10.5	15.9
19		2032		12.7	23.2	14.8	18.1	9.7	15.8
20		2033		12.0	24.2	14.4	17.9	8.9	15.6
21		2034		11.2	25.3	13.9	17.8	8.2	15.5
最大			31.8	18.3	25.3	18.7	19.5	17.3	17.2
最小			17.4	11.2	19.7	13.9	17.8	8.2	15.5
実績との乖離※				-6.2	7.9	-3.5	0.4	-9.2	-1.9
算定根拠			推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
			a	26.15	27.49	25.83	27.01	0.28	
			b	-0.71	-1.38	0.97	-0.14	-0.12	
			c		0.06				
			K				34.98		
			相関係数R	0.553	0.566	0.558	0.665	0.544	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○		
	順位	相関係数R	4	2	3	1	5		
		実績値との乖離	3	4	2	1	5		
採用			べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

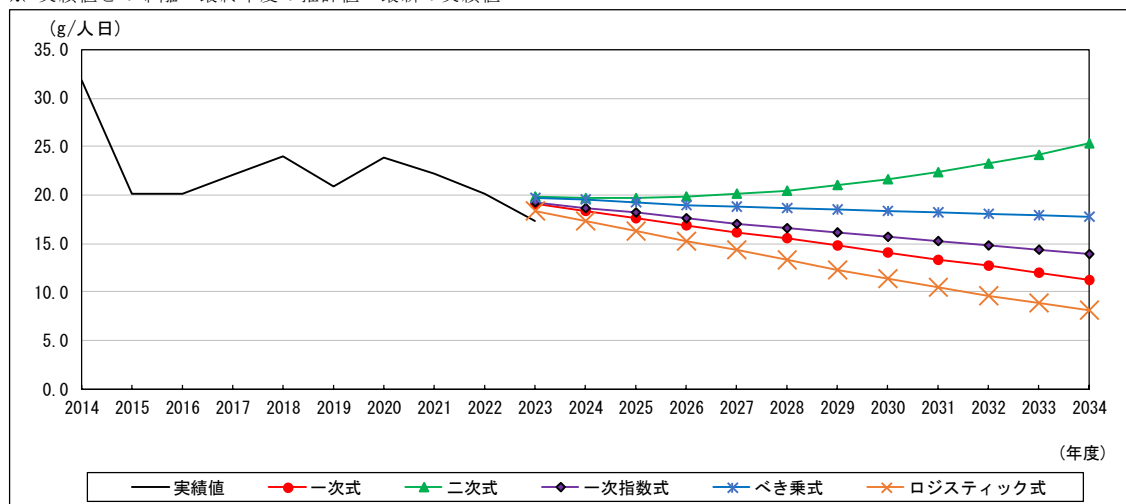


図 4 家庭系収集不燃ごみのトレンド推計結果

表 18 家庭系収集大型ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	2.3						
2	2015	2.8						
3	2016	2.7						
4	2017	2.6						
5	2018	2.7						
6	2019	2.5						
7	2020	2.5						
8	2021	3.0						
9	2022	2.9						
10	2023	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.1
11	2024		3.0	3.2	3.0	2.9	3.0	3.1
12	2025		3.1	3.3	3.1	2.9	3.0	3.2
13	2026		3.1	3.5	3.1	2.9	3.1	3.2
14	2027		3.2	3.7	3.2	3.0	3.1	3.3
15	2028		3.2	3.8	3.3	3.0	3.1	3.4
16	2029		3.3	4.0	3.3	3.0	3.2	3.4
17	2030		3.3	4.3	3.4	3.0	3.2	3.5
18	2031		3.4	4.5	3.5	3.0	3.2	3.6
19	2032		3.4	4.8	3.5	3.0	3.2	3.6
20	2033		3.5	5.0	3.6	3.0	3.2	3.7
21	2034		3.5	5.3	3.7	3.0	3.3	3.8
最大		3.1	3.5	5.3	3.7	3.0	3.3	3.8
最小		2.3	3.0	3.2	3.0	2.9	3.0	3.1
実績との乖離※			0.4	2.2	0.6	-0.1	0.2	0.7
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = R / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	2.41	2.58	2.42	2.40	0.45	
		b	0.05	-0.03	1.02	0.08	0.11	
		c		0.01				
		K					3.41	
		相関係数R	0.661	0.702	0.667	0.627	0.640	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	2	5	4	
		実績値との乖離	3	5	4	1	2	
	採用	一次指数式	—	—	◎	—	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

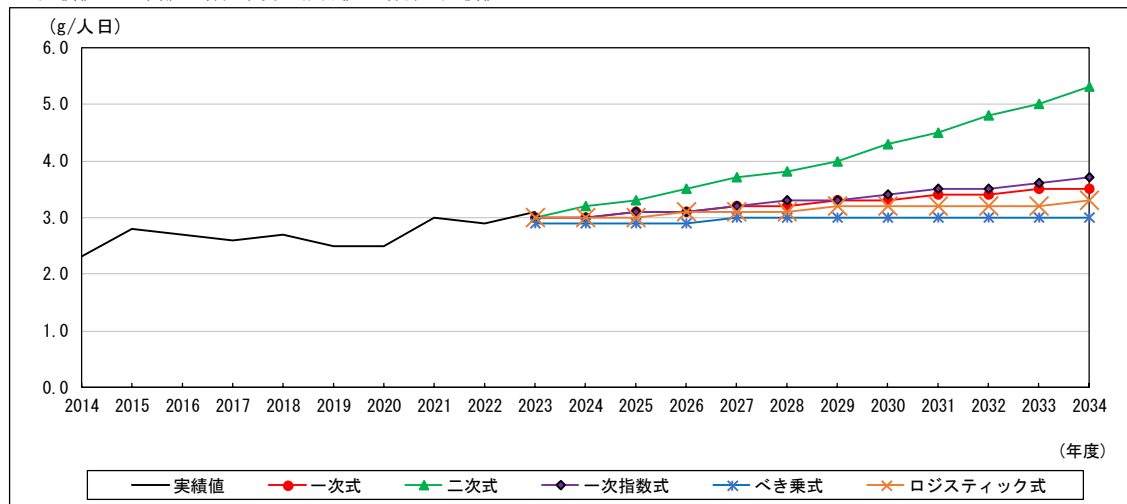


図 5 家庭系収集大型ごみのトレンド推計結果

表 19 家庭系収集資源ごみ（空びん）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	23.1						
2	2015	23.1						
3	2016	22.6						
4	2017	21.3						
5	2018	20.7						
6	2019	19.7						
7	2020	19.6						
8	2021	19.4						
9	2022	18.5						
10	2023	17.2	17.6	17.5	17.7	18.5	16.8	17.2
11	2024		16.9	16.8	17.1	18.3	15.6	17.0
12	2025		16.3	16.1	16.6	18.1	14.4	16.8
13	2026		15.6	15.4	16.1	18.0	13.0	16.7
14	2027		15.0	14.7	15.6	17.8	11.7	16.5
15	2028		14.3	13.9	15.1	17.6	10.4	16.3
16	2029		13.7	13.2	14.6	17.5	9.1	16.2
17	2030		13.0	12.4	14.1	17.4	7.9	16.1
18	2031		12.4	11.7	13.7	17.2	6.8	15.9
19	2032		11.7	10.9	13.3	17.1	5.8	15.8
20	2033		11.1	10.1	12.9	17.0	4.9	15.7
21	2034		10.4	9.3	12.5	16.9	4.1	15.6
最大		23.1	16.9	16.8	17.1	18.3	15.6	17.0
最小		17.2	10.4	9.3	12.5	16.9	4.1	15.6
実績との乖離※			-6.8	-7.9	-4.7	-0.3	-13.1	-1.6
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	24.10	23.99	24.36	24.59	0.05	
		b	-0.65	-0.60	0.97	-0.12	-0.22	
		c		0.00				
		K					24.60	
		相関係数R	0.983	0.983	0.982	0.909	0.971	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	2	1	3	5	4	
		実績値との乖離	3	4	2	1	5	
	採用	べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

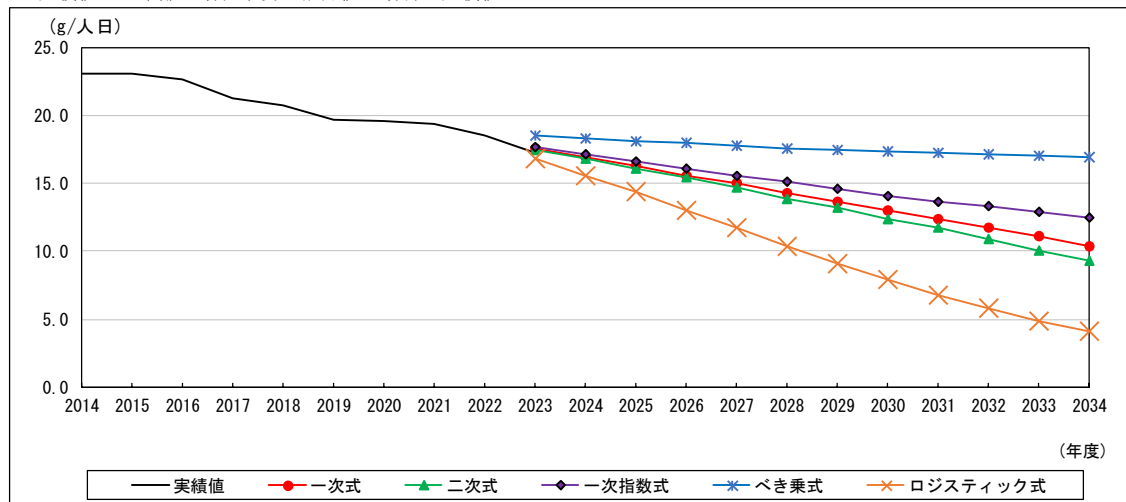


図 6 家庭系収集資源ごみ（空びん）のトレンド推計結果

表 20 家庭系収集資源ごみ（新聞）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	24.5						
2	2015	23.4						
3	2016	21.8						
4	2017	19.6						
5	2018	16.3						
6	2019	14.8						
7	2020	13.3						
8	2021	14.6						
9	2022	14.0						
10	2023	11.5	10.9	12.3	11.6	12.9	11.0	11.5
11	2024		9.4	12.0	10.7	12.5	9.8	11.1
12	2025		8.0	12.0	9.8	12.2	8.7	10.8
13	2026		6.5	12.2	9.1	11.9	7.6	10.5
14	2027		5.1	12.6	8.3	11.6	6.7	10.2
15	2028		3.6	13.3	7.7	11.3	5.8	9.9
16	2029		2.2	14.3	7.1	11.1	5.1	9.7
17	2030		0.7	15.4	6.5	10.8	4.4	9.4
18	2031		-0.7	16.8	6.0	10.6	3.8	9.2
19	2032		-2.2	18.4	5.5	10.4	3.3	9.0
20	2033		-3.6	20.3	5.1	10.3	2.8	8.9
21	2034		-5.1	22.4	4.7	10.1	2.4	8.7
最大		24.5	9.4	22.4	10.7	12.5	9.8	11.1
最小		11.5	-5.1	12.0	4.7	10.1	2.4	8.7
実績との乖離※			-16.6	10.9	-6.8	-1.4	-9.1	-2.8
算定根拠	推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=R/(1+a*EXP(-b*t))$		
	a	25.35	27.96	26.58	27.89	0.45		
	b	-1.45	-2.75	0.92	-0.33	-0.16		
	c		0.12					
	K					36.50		
相関係数R		0.956	0.977	0.971	0.928	0.959		
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○		
	順位	相関係数R	4	1	2	5	3	
		実績値との乖離	5	4	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

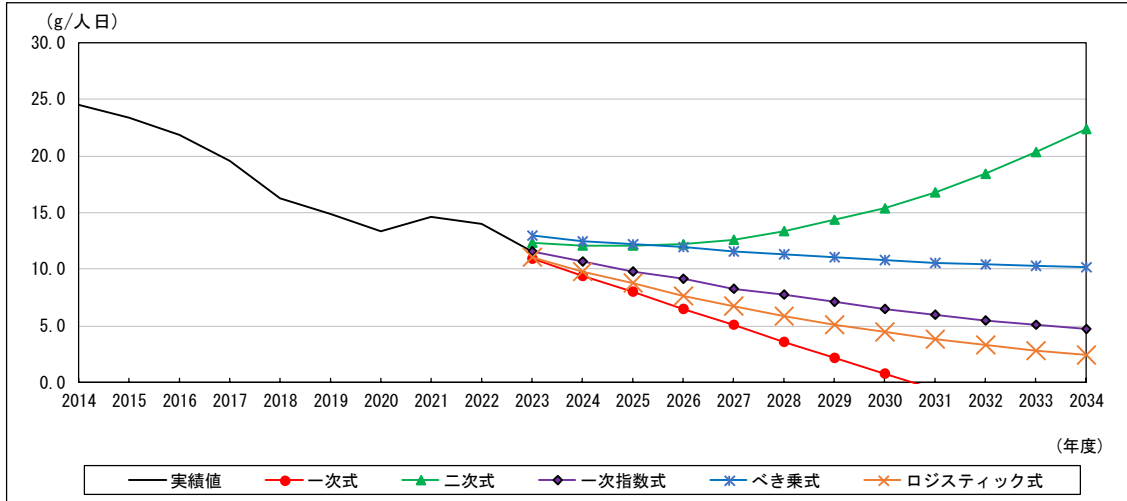


図 7 家庭系収集資源ごみ（新聞）のトレンド推計結果

表 21 家庭系収集資源ごみ（雑誌）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	24.7						
2	2015	23.9						
3	2016	22.3						
4	2017	21.0						
5	2018	18.9						
6	2019	18.4						
7	2020	18.8						
8	2021	19.3						
9	2022	18.2						
10	2023	17.0	16.7	17.8	16.9	17.7	15.9	17.0
11	2024		15.9	17.9	16.3	17.4	14.7	16.7
12	2025		15.1	18.2	15.7	17.2	13.5	16.5
13	2026		14.3	18.7	15.1	16.9	12.3	16.2
14	2027		13.5	19.4	14.5	16.7	11.1	16.0
15	2028		12.7	20.2	13.9	16.6	10.0	15.9
16	2029		11.9	21.2	13.4	16.4	8.9	15.7
17	2030		11.1	22.5	12.9	16.2	7.8	15.5
18	2031		10.3	23.9	12.4	16.1	6.9	15.4
19	2032		9.5	25.5	12.0	15.9	6.0	15.2
20	2033		8.7	27.2	11.5	15.8	5.2	15.1
21	2034		7.9	29.2	11.1	15.7	4.5	15.0
最大		24.7	15.9	29.2	16.3	17.4	14.7	16.7
最小		17.0	7.9	17.9	11.1	15.7	4.5	15.0
実績との乖離※			-9.1	12.2	-5.9	-1.3	-12.5	-2.0
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=R/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	24.63	26.64	24.85	25.69	0.12	
		b	-0.80	-1.80	0.96	-0.16	-0.18	
		c		0.09				
		K					27.17	
		相関係数R	0.926	0.965	0.938	0.953	0.890	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
		相関係数R	4	1	3	2	5	
	順位	実績値との乖離	3	4	2	1	5	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

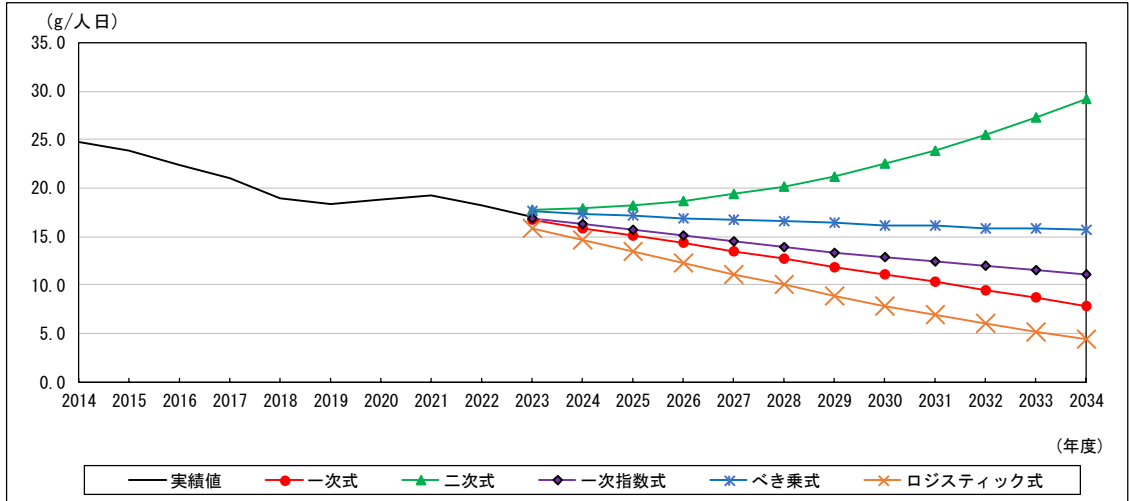


図 8 家庭系収集資源ごみ（雑誌）のトレンド推計結果

表 22 家庭系収集資源ごみ（ダンボール）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	15.1						
2	2015	14.5						
3	2016	14.0						
4	2017	12.7						
5	2018	11.9						
6	2019	10.9						
7	2020	11.8						
8	2021	13.9						
9	2022	13.3						
10	2023	12.7	12.1	13.5	12.2	12.2	12.0	12.7
11	2024		11.9	14.4	12.0	12.1	11.7	12.6
12	2025		11.7	15.6	11.8	12.0	11.4	12.5
13	2026		11.5	16.9	11.6	11.9	11.0	12.4
14	2027		11.3	18.5	11.4	11.8	10.7	12.3
15	2028		11.1	20.4	11.3	11.8	10.3	12.3
16	2029		10.9	22.4	11.1	11.7	10.0	12.2
17	2030		10.7	24.7	10.9	11.6	9.6	12.1
18	2031		10.5	27.2	10.8	11.6	9.2	12.1
19	2032		10.3	29.9	10.6	11.5	8.8	12.0
20	2033		10.1	32.9	10.4	11.5	8.5	12.0
21	2034		9.9	36.1	10.3	11.4	8.1	11.9
最大		15.1	11.9	36.1	12.0	12.1	11.7	12.6
最小		10.9	9.9	14.4	10.3	11.4	8.1	11.9
実績との乖離※			-2.8	23.4	-2.4	-1.3	-4.6	-0.8
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	14.22	16.70	14.15	14.79	0.15	
		b	-0.21	-1.45	0.98	-0.08	-0.09	
		c		0.11				
		K					16.61	
		相関係数R	0.475	0.808	0.487	0.642	0.429	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	3	2	5	
		実績値との乖離	3	5	2	1	4	
	採用	べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

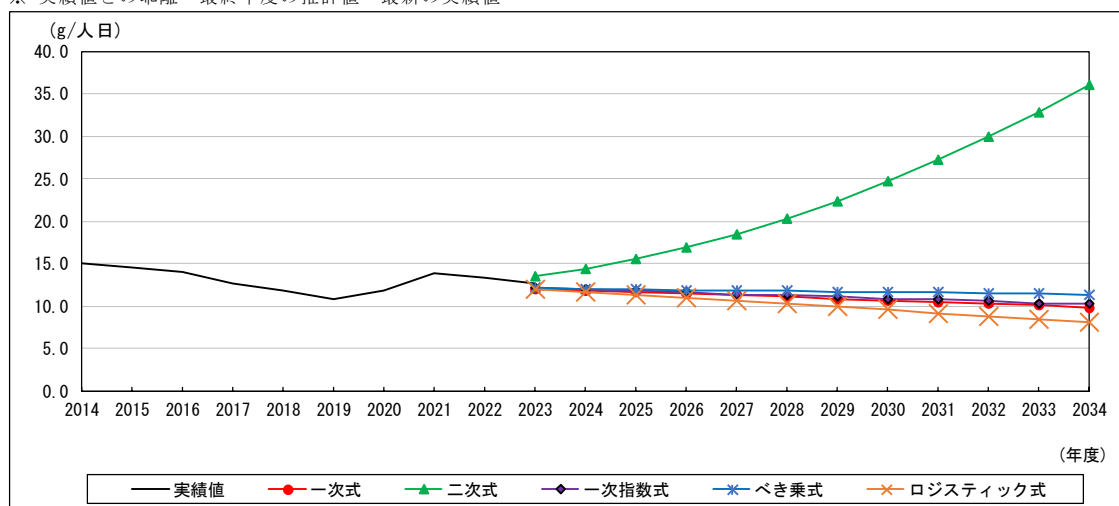


図 9 家庭系収集資源ごみ（ダンボール）のトレンド推計結果

表 23 家庭系収集資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

単位:g/人日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	5.9						
2	2015	6.1						
3	2016	6.1						
4	2017	6.0						
5	2018	6.0						
6	2019	6.0						
7	2020	6.1						
8	2021	6.2						
9	2022	6.3						
10	2023	6.2	6.2	6.3	6.2	6.2	6.2	6.2
11	2024		6.3	6.3	6.3	6.2	6.2	6.3
12	2025		6.3	6.4	6.3	6.2	6.3	6.3
13	2026		6.3	6.5	6.3	6.2	6.3	6.3
14	2027		6.3	6.5	6.3	6.2	6.3	6.3
15	2028		6.4	6.6	6.4	6.2	6.3	6.4
16	2029		6.4	6.7	6.4	6.2	6.4	6.4
17	2030		6.4	6.8	6.4	6.2	6.4	6.4
18	2031		6.5	6.9	6.5	6.2	6.4	6.5
19	2032		6.5	7.0	6.5	6.3	6.4	6.5
20	2033		6.5	7.1	6.5	6.3	6.4	6.5
21	2034		6.6	7.3	6.6	6.3	6.5	6.6
最大		6.3	6.6	7.3	6.6	6.3	6.5	6.6
最小		5.9	6.3	6.3	6.3	6.2	6.2	6.3
実績との乖離※			0.4	1.1	0.4	0.1	0.3	0.4
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	5.93	5.99	5.93	5.92	0.17	
		b	0.03	0.00	1.00	0.02	0.04	
		c		0.00				
		K					6.93	
		相関係数R	0.751	0.776	0.752	0.698	0.743	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	2	5	4	
		実績値との乖離	3	5	3	1	2	
	採用	一次指数式	—	—	◎	—	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

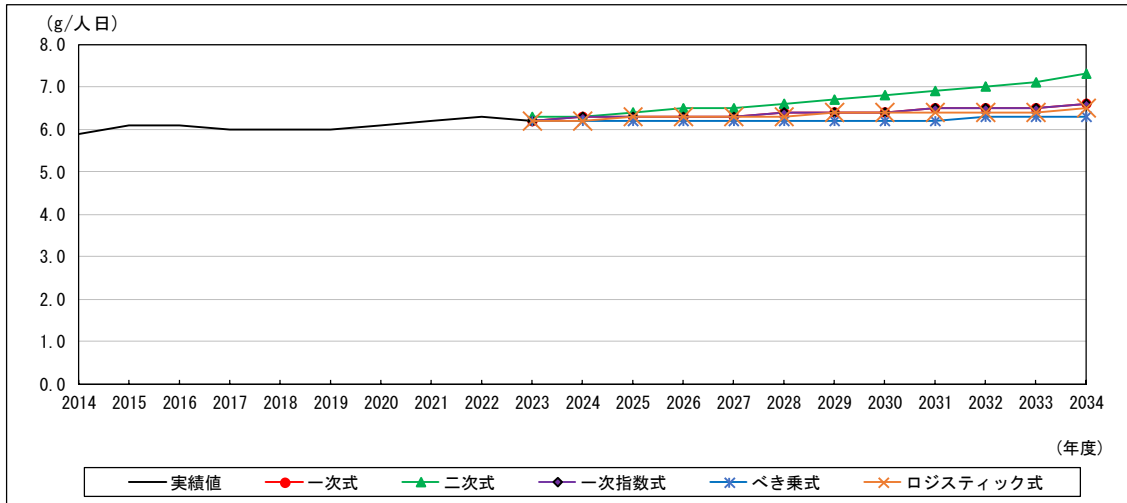


図 10 家庭系収集資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

表 24 家庭系収集資源ごみ（空かん）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	5.8						
2	2015	5.7						
3	2016	5.8						
4	2017	5.7						
5	2018	5.5						
6	2019	5.5						
7	2020	6.0						
8	2021	5.6						
9	2022	5.4						
10	2023	5.1	5.4	5.2	5.4	5.5	5.4	5.1
11	2024		5.3	5.1	5.3	5.4	5.4	5.1
12	2025		5.3	4.9	5.3	5.4	5.3	5.0
13	2026		5.2	4.7	5.2	5.4	5.2	4.9
14	2027		5.2	4.5	5.2	5.4	5.2	4.9
15	2028		5.1	4.2	5.1	5.4	5.1	4.8
16	2029		5.1	3.9	5.1	5.4	5.1	4.8
17	2030		5.0	3.7	5.0	5.4	5.0	4.7
18	2031		5.0	3.3	5.0	5.4	4.9	4.6
19	2032		4.9	3.0	4.9	5.3	4.8	4.5
20	2033		4.9	2.6	4.9	5.3	4.8	4.5
21	2034		4.8	2.3	4.8	5.3	4.7	4.4
最大		6.0	5.3	5.1	5.3	5.4	5.4	5.1
最小		5.1	4.8	2.3	4.8	5.3	4.7	4.4
実績との乖離※			-0.3	-2.8	-0.3	0.2	-0.4	-0.7
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	5.89	5.65	5.90	5.89	0.13	
		b	-0.05	0.07	0.99	-0.03	-0.06	
		c		-0.01				
		K					6.60	
		相関係数R	0.620	0.705	0.616	0.524	0.636	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	4	5	2	
		実績値との乖離	2	5	2	1	4	
	採用	ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

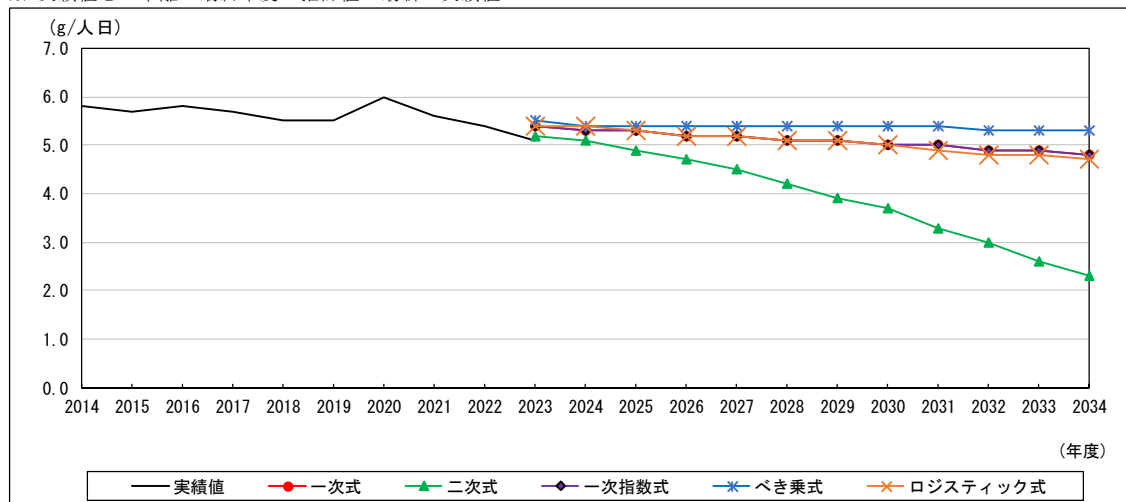


図 11 家庭系収集資源ごみ（空かん）のトレンド推計結果

表 25 家庭系直搬混合ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	10.5						
2	2015	16.2						
3	2016	14.2						
4	2017	13.8						
5	2018	16.5						
6	2019	18.5						
7	2020	24.4						
8	2021	25.9						
9	2022	27.2						
10	2023	26.3	27.8	28.4	29.1	25.4	27.0	26.3
11	2024		29.7	30.8	32.2	26.4	27.7	27.0
12	2025		31.6	33.3	35.7	27.4	28.3	27.6
13	2026		33.5	35.9	39.5	28.3	28.7	28.0
14	2027		35.4	38.5	43.7	29.1	29.1	28.4
15	2028		37.3	41.3	48.3	29.9	29.3	28.6
16	2029		39.2	44.2	53.5	30.7	29.5	28.8
17	2030		41.1	47.1	59.2	31.5	29.6	28.9
18	2031		42.9	50.2	65.5	32.2	29.7	29.0
19	2032		44.8	53.3	72.5	32.9	29.7	29.0
20	2033		46.7	56.6	80.2	33.6	29.8	29.1
21	2034		48.6	59.9	88.8	34.3	29.8	29.1
最大		27.2	48.6	59.9	88.8	34.3	29.8	29.1
最小		10.5	29.7	30.8	32.2	26.4	27.7	27.0
実績との乖離※			22.3	33.6	62.5	8.0	3.5	2.8
最大/最小-1		159.0%	63.6%	94.5%	175.8%	29.9%	7.6%	7.8%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	8.97	10.04	10.57	10.03	2.76	
		b	1.89	1.35	1.11	0.40	0.32	
		c		0.05				
		K					29.92	
		相関係数R	0.940	0.942	0.939	0.912	0.928	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	最大/最小-1	＜±159.0%×11年/10年	○	○	×	○	○	
	順位	相関係数R	2	1	3	5	4	
		実績値との乖離	3	4	5	2	1	
採用		ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

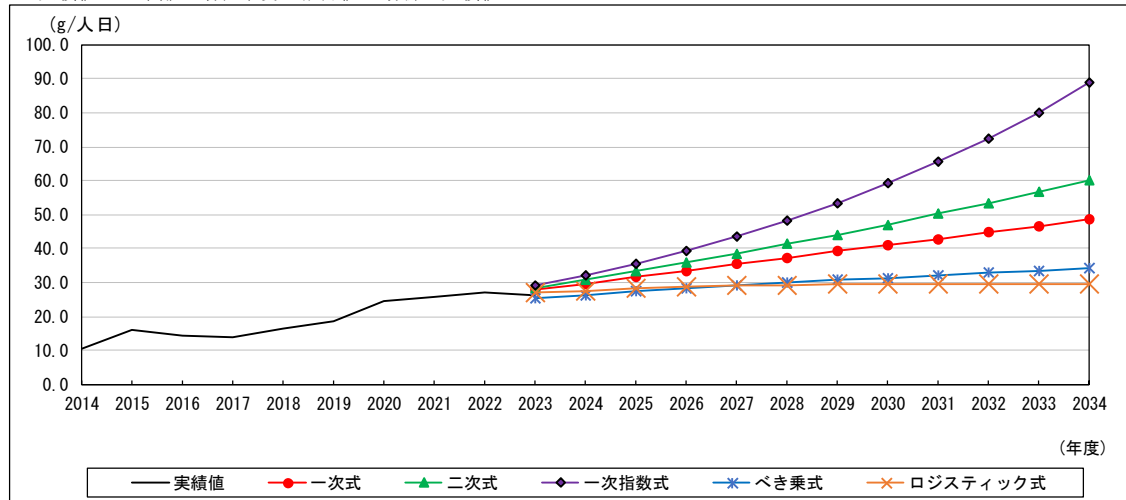


図 12 家庭系直搬混合ごみのトレンド推計結果

表 26 家庭系直搬可燃ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	50.8						
2	2015	15.2						
3	2016	8.4						
4	2017	8.1						
5	2018	8.0						
6	2019	9.6						
7	2020	12.5						
8	2021	12.6						
9	2022	11.9						
10	2023	12.2	5.8	18.5	9.2	8.7	7.4	12.2
11	2024		3.8	27.0	8.6	8.3	6.3	11.8
12	2025		1.7	37.7	8.1	8.0	5.3	11.5
13	2026		-0.3	50.4	7.6	7.7	4.5	11.2
14	2027		-2.3	65.3	7.1	7.4	3.8	10.9
15	2028		-4.3	82.3	6.6	7.2	3.2	10.7
16	2029		-6.4	101.4	6.2	7.0	2.7	10.5
17	2030		-8.4	122.6	5.8	6.8	2.3	10.3
18	2031		-10.4	146.0	5.4	6.6	1.9	10.1
19	2032		-12.5	171.4	5.1	6.5	1.6	10.0
20	2033		-14.5	199.0	4.7	6.3	1.3	9.8
21	2034		-16.5	228.7	4.4	6.2	1.1	9.7
最大		50.8	3.8	228.7	8.6	8.3	6.3	11.8
最小		8.0	-16.5	27.0	4.4	6.2	1.1	9.7
実績との乖離※			-28.7	216.5	-7.8	-6.0	-11.1	-2.5
最大/最小-1		535.0%	-123.0%	747.0%	95.5%	33.9%	472.7%	21.6%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	26.09	49.34	18.04	25.04	1.06	
		b	-2.03	-13.65	0.94	-0.46	-0.18	
		c		1.06				
		K					55.88	
		相関係数R	0.479	0.792	0.533	0.806	0.539	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	＜±535.0%×11年/10年	○	×	○	○	○	
	順位	相関係数R	5	2	4	1	3	
		実績値との乖離	4	5	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

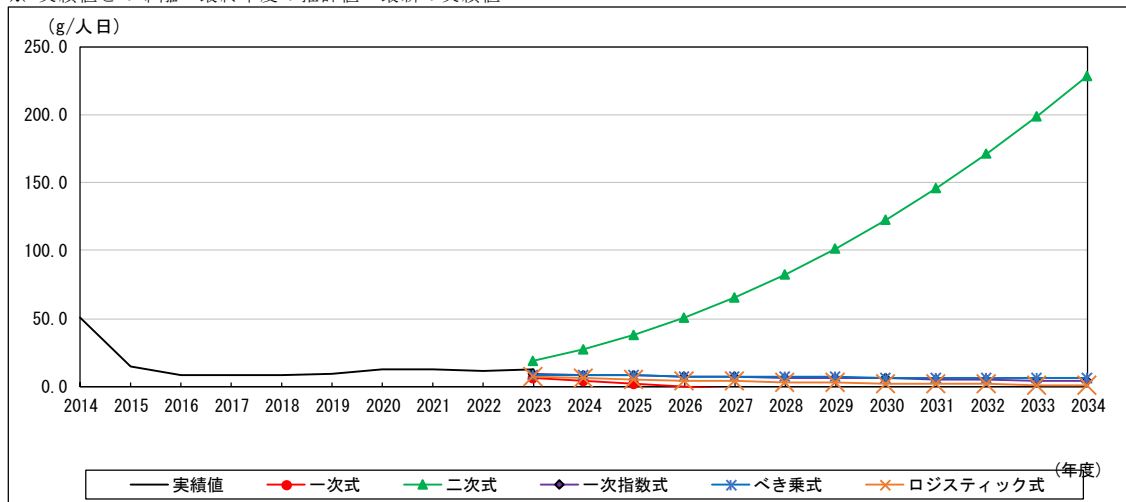


図 13 家庭系直搬可燃ごみのトレンド推計

表 27 家庭系直搬不燃ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	0.6						
2	2015	3.0						
3	2016	2.4						
4	2017	2.4						
5	2018	2.8						
6	2019	4.0						
7	2020	5.3						
8	2021	4.3						
9	2022	3.2						
10	2023	3.6	4.5	3.6	5.1	4.8	4.6	3.6
11	2024		4.8	3.1	5.9	5.1	4.8	3.9
12	2025		5.0	2.5	6.7	5.4	5.0	4.2
13	2026		5.3	1.8	7.7	5.7	5.2	4.5
14	2027		5.6	0.9	8.8	6.0	5.3	4.8
15	2028		5.9	-0.1	10.1	6.3	5.4	5.1
16	2029		6.2	-1.3	11.6	6.6	5.5	5.4
17	2030		6.5	-2.6	13.2	6.9	5.6	5.7
18	2031		6.8	-4.1	15.1	7.1	5.6	5.9
19	2032		7.1	-5.7	17.3	7.4	5.7	6.2
20	2033		7.4	-7.5	19.8	7.7	5.7	6.5
21	2034		7.7	-9.4	22.7	7.9	5.7	6.7
最大		5.3	7.7	3.1	22.7	7.9	5.7	6.7
最小		0.6	4.8	-9.4	5.9	5.1	4.8	3.9
実績との乖離※			4.1	-13.0	19.1	4.3	2.1	3.1
最大/最小-1		783.3%	60.4%	-133.0%	284.7%	54.9%	18.8%	71.8%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	1.57	-0.05	1.34	1.01	3.20	
		b	0.29	1.10	1.14	0.68	0.25	
		c		-0.07				
		K					5.83	
		相関係数R	0.688	0.817	0.602	0.723	0.702	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	×	○	○	○	
	最大/最小-1	＜±783.3%×11年/10年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	5	2	3	
		実績値との乖離	2	4	5	3	1	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

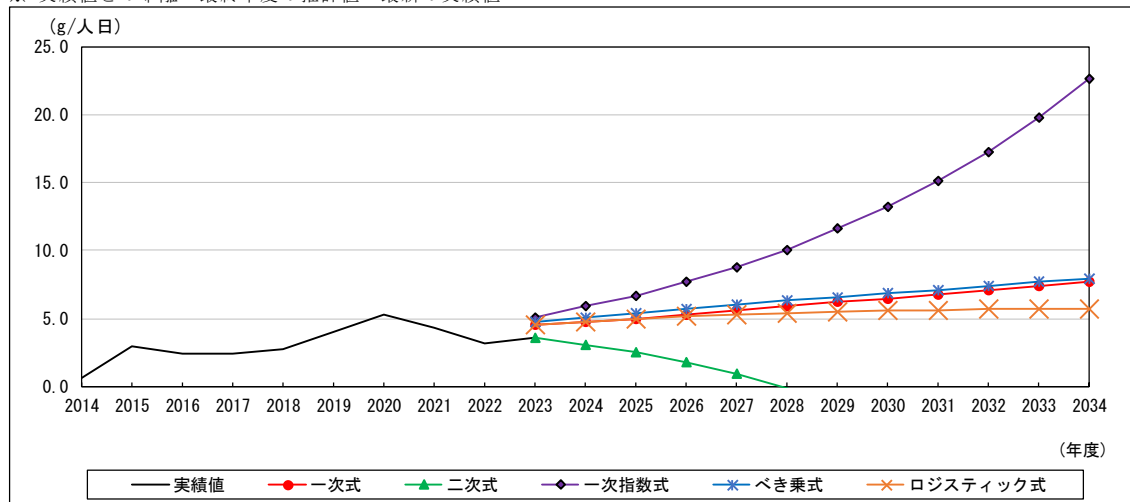


図 14 家庭系直搬不燃ごみのトレンド推計結果

表 28 家庭系直搬大型ごみのトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	1.3						
2	2015	0.6						
3	2016	2.0						
4	2017	2.4						
5	2018	3.2						
6	2019	4.5						
7	2020	5.7						
8	2021	4.1						
9	2022	4.2						
10	2023	4.1	5.2	4.3	6.2	5.1	5.2	4.1
11	2024		5.6	4.0	7.5	5.5	5.4	4.3
12	2025		6.1	3.6	9.0	5.9	5.6	4.5
13	2026		6.5	3.0	10.8	6.3	5.8	4.7
14	2027		6.9	2.3	13.1	6.6	5.9	4.8
15	2028		7.4	1.4	15.7	7.0	6.0	4.9
16	2029		7.8	0.4	18.9	7.4	6.1	5.0
17	2030		8.2	-0.8	22.7	7.7	6.1	5.0
18	2031		8.7	-2.1	27.3	8.1	6.2	5.1
19	2032		9.1	-3.5	32.9	8.4	6.2	5.1
20	2033		9.5	-5.1	39.5	8.8	6.2	5.1
21	2034		10.0	-6.9	47.6	9.1	6.2	5.1
最大		5.7	10.0	4.0	47.6	9.1	6.2	5.1
最小		0.6	5.6	-6.9	7.5	5.5	5.4	4.3
実績との乖離※			5.9	-11.0	43.5	5.0	2.1	1.0
最大/最小-1		850.0%	78.6%	-158.0%	534.7%	65.5%	14.8%	18.6%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.81	-0.79	0.98	0.82	5.92	
		b	0.44	1.24	1.20	0.79	0.33	
		c		-0.07				
		K					6.27	
		相関係数R	0.827	0.898	0.720	0.842	0.843	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	×	○	○	○	
	最大/最小-1	＜±850.0%×11年/10年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	5	3	2	
		実績値との乖離	3	4	5	2	1	
採用		ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

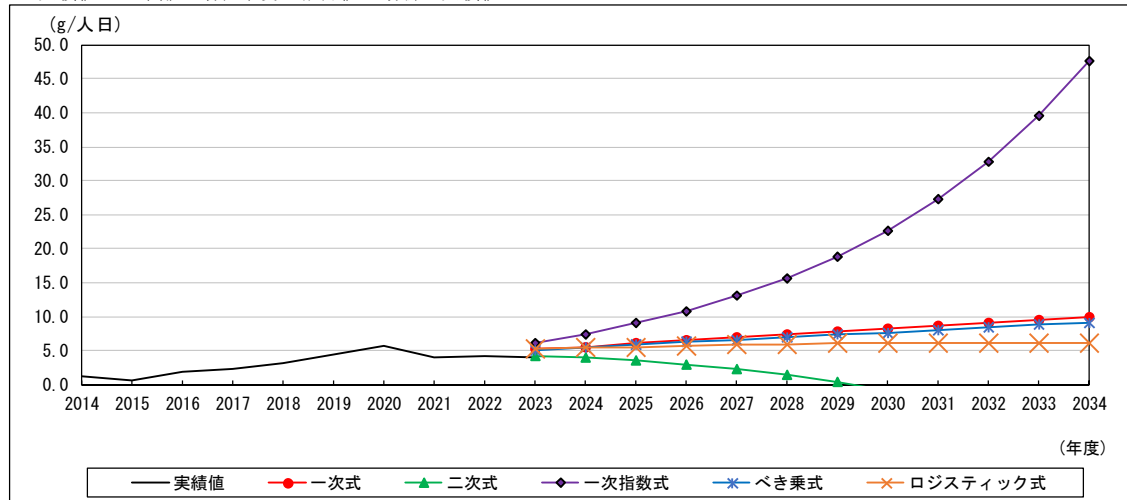


図 15 家庭系直搬大型ごみのトレンド推計結果

表 29 家庭系直搬資源ごみ（新聞）のトレンド推計結果

単位:g/人日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	1.9						
2	2016	2.0						
3	2017	1.8						
4	2018	1.7						
5	2019	1.5						
6	2020	1.0						
7	2021	1.4						
8	2022	1.4						
9	2023	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2
10	2024		1.0	1.2	1.1	1.2	0.9	1.2
11	2025		0.9	1.2	1.0	1.2	0.8	1.2
12	2026		0.8	1.2	1.0	1.2	0.7	1.2
13	2027		0.7	1.3	0.9	1.1	0.6	1.1
14	2028		0.6	1.4	0.8	1.1	0.5	1.1
15	2029		0.5	1.4	0.8	1.1	0.4	1.1
16	2030		0.4	1.6	0.7	1.1	0.3	1.1
17	2031		0.3	1.7	0.7	1.1	0.2	1.1
18	2032		0.2	1.8	0.6	1.1	0.2	1.1
19	2033		0.1	2.0	0.6	1.0	0.2	1.0
20	2034		0.0	2.2	0.6	1.0	0.1	1.0
最大		2.0	1.0	2.2	1.1	1.2	0.9	1.2
最小		1.0	0.0	1.2	0.6	1.0	0.1	1.0
実績との乖離※			-1.2	1.0	-0.6	-0.2	-1.1	-0.2
最大/最小-1		100.0%	0.0%	83.3%	83.3%	20.0%	800.0%	20.0%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	2.05	2.23	2.10	2.14	0.11	
		b	-0.10	-0.20	0.94	-0.24	-0.25	
		c		0.01				
		K					2.20	
		相関係数R	0.838	0.858	0.849	0.801	0.812	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±100.0%×11年/9年	○	○	○	○	×	
	順位	相関係数R	3	1	2	5	4	
		実績値との乖離	5	3	2	1	4	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

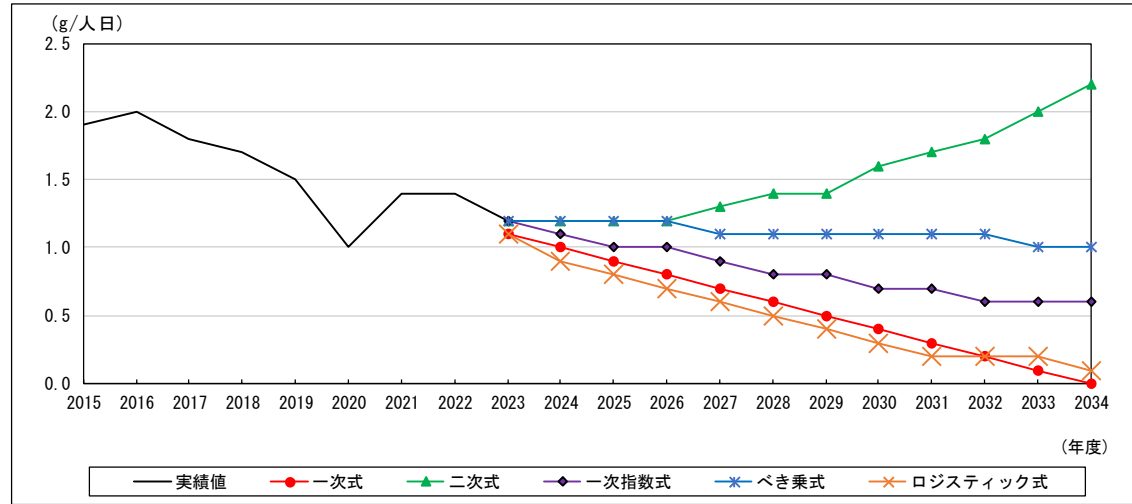


図 16 家庭系直搬資料ごみ（新聞）のトレンド推計結果

表 30 家庭系直搬資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

単位:g/人日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.5						
2	2016	0.6						
3	2017	0.6						
4	2018	0.7						
5	2019	0.8						
6	2020	0.7						
7	2021	0.8						
8	2022	0.9						
9	2023	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8
10	2024		0.9	0.8	1.0	0.9	0.9	0.9
11	2025		1.0	0.8	1.0	0.9	0.9	0.9
12	2026		1.0	0.8	1.1	0.9	0.9	0.9
13	2027		1.0	0.8	1.1	0.9	0.9	0.9
14	2028		1.1	0.8	1.2	0.9	0.9	0.9
15	2029		1.1	0.7	1.3	1.0	1.0	1.0
16	2030		1.2	0.7	1.4	1.0	1.0	1.0
17	2031		1.2	0.6	1.5	1.0	1.0	1.0
18	2032		1.3	0.5	1.6	1.0	1.0	1.0
19	2033		1.3	0.5	1.7	1.0	1.0	1.0
20	2034		1.3	0.4	1.8	1.0	1.0	1.0
最大		0.9	1.3	0.8	1.8	1.0	1.0	1.0
最小		0.5	0.9	0.4	1.0	0.9	0.9	0.9
実績との乖離※			0.5	-0.4	1.0	0.2	0.2	0.2
最大/最小-1		80.0%	44.4%	100.0%	80.0%	11.1%	11.1%	11.1%
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	0.50	0.42	0.52	0.50	1.08	
		b	0.04	0.09	1.06	0.24	0.22	
		c		0.00				
		K					0.99	
		相関係数R	0.899	0.925	0.882	0.921	0.917	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	最大/最小-1	＜±80.0%×11年/9年	○	×	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	5	2	3	
		実績値との乖離	4	3	5	1	1	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

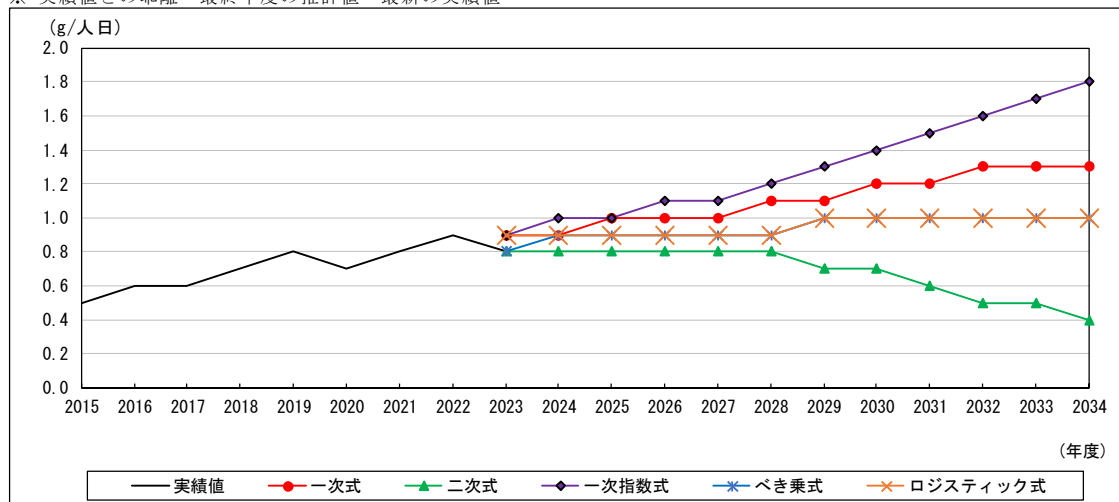


図 17 家庭系直搬資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

表 31 家庭系直搬資源ごみ（空かん）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.6						
2	2016	0.6						
3	2017	0.7						
4	2018	0.7						
5	2019	0.8						
6	2020	0.8						
7	2021	0.8						
8	2022	0.8						
9	2023	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8
10	2024		0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.8
11	2025		0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9
12	2026		0.9	0.7	1.0	0.9	0.9	0.9
13	2027		1.0	0.7	1.0	0.9	1.0	0.9
14	2028		1.0	0.6	1.0	0.9	1.0	0.9
15	2029		1.0	0.6	1.1	0.9	1.0	0.9
16	2030		1.0	0.5	1.1	0.9	1.1	0.9
17	2031		1.1	0.4	1.2	0.9	1.1	0.9
18	2032		1.1	0.3	1.2	0.9	1.1	0.9
19	2033		1.1	0.2	1.3	0.9	1.2	0.9
20	2034		1.2	0.1	1.3	0.9	1.2	0.9
最大		0.8	1.2	0.8	1.3	0.9	1.2	0.9
最小		0.6	0.9	0.1	0.9	0.8	0.9	0.8
実績との乖離※			0.4	-0.7	0.5	0.1	0.4	0.1
最大/最小-1		33.3%	33.3%	700.0%	44.4%	12.5%	33.3%	12.5%
算定根拠	推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$		
	a	0.59	0.50	0.60	0.58	2.79		
	b	0.03	0.08	1.04	0.16	0.06		
	c		0.00					
	K					2.25		
	相関係数R	0.896	0.962	0.879	0.937	0.888		
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±33.3%×11年/9年	○	×	×	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	5	2	4	
		実績値との乖離	2	5	4	1	2	
採用	べき乗式	—	—	—	◎	—		

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

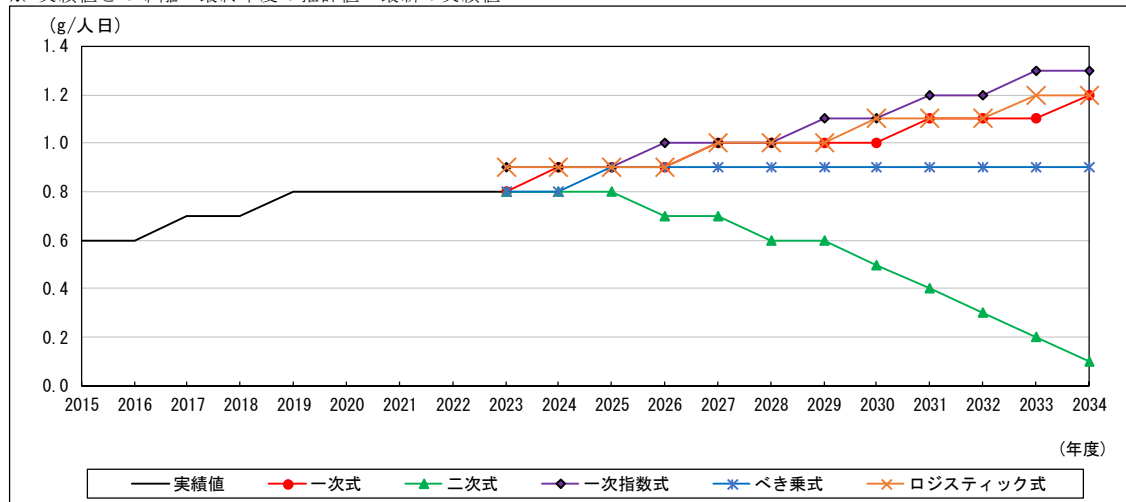


図 18 家庭系直搬資源ごみ（空かん）のトレンド推計結果

表 32 家庭系直搬資源ごみ（古着・布類）のトレンド推計結果

単位:g/人日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.3						
2	2016	0.3						
3	2017	0.3						
4	2018	0.4						
5	2019	0.6						
6	2020	0.6						
7	2021	0.5						
8	2022	0.4						
9	2023	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4
10	2024		0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4
11	2025		0.6	0.2	0.6	0.5	0.5	0.4
12	2026		0.6	0.1	0.6	0.5	0.6	0.4
13	2027		0.6	-0.1	0.6	0.5	0.6	0.4
14	2028		0.6	-0.3	0.7	0.6	0.6	0.5
15	2029		0.6	-0.5	0.7	0.6	0.6	0.5
16	2030		0.7	-0.7	0.8	0.6	0.6	0.5
17	2031		0.7	-0.9	0.8	0.6	0.6	0.5
18	2032		0.7	-1.2	0.9	0.6	0.6	0.5
19	2033		0.7	-1.5	0.9	0.6	0.6	0.5
20	2034		0.7	-1.8	1.0	0.6	0.6	0.5
最大		0.6	0.7	0.3	1.0	0.6	0.6	0.5
最小		0.3	0.5	-1.8	0.5	0.5	0.5	0.4
実績との乖離※			0.3	-2.2	0.6	0.2	0.2	0.1
最大/最小-1		100.0%	40.0%	-116.7%	100.0%	20.0%	20.0%	25.0%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.31	0.10	0.31	0.28	1.01	
		b	0.02	0.14	1.06	0.25	0.15	
		c		-0.01				
		K					0.66	
		相関係数R	0.494	0.784	0.452	0.579	0.529	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	×	○	○	○	
	最大/最小-1	<±100.0%×11年/9年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	5	2	3	
		実績値との乖離	3	5	4	1	1	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

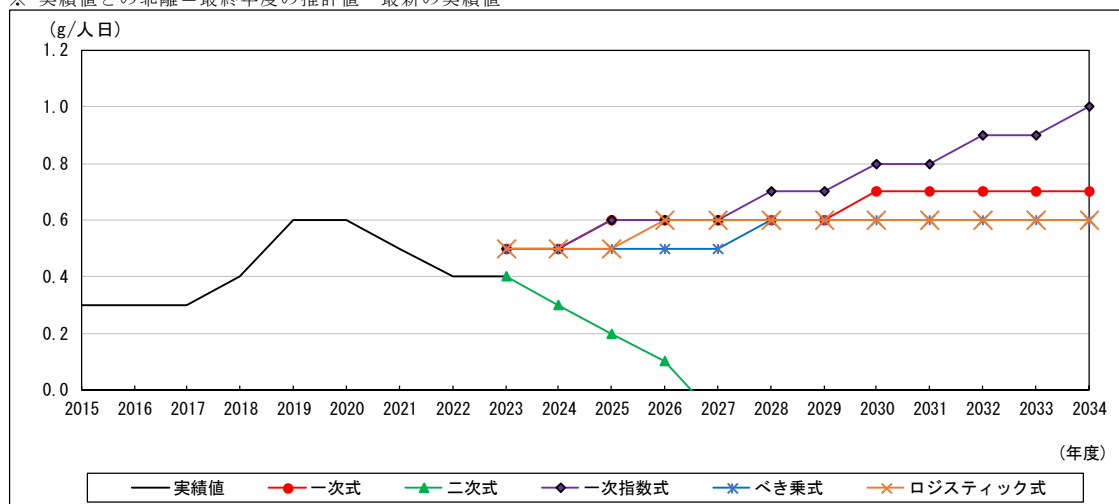


図 19 家庭系直搬資源ごみ（古着・布類）のトレンド推計結果

表 33 事業系直搬可燃ごみのトレンド推計結果

単位：t/日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	15.9863						
2	2015	20.8852						
3	2016	15.4630						
4	2017	14.8356						
5	2018	15.1068						
6	2019	13.2053						
7	2020	12.9514						
8	2021	13.2164						
9	2022	12.4627						
10	2023	12.6122	11.7240	12.3148	11.9564	12.6916	11.3523	12.6122
11	2024		11.0688	12.1519	11.4545	12.4897	10.5163	12.4103
12	2025		10.4136	12.0875	10.9738	12.3082	9.6906	12.2288
13	2026		9.7583	12.1216	10.5132	12.1435	8.8835	12.0641
14	2027		9.1031	12.2541	10.0720	11.9931	8.1026	11.9137
15	2028		8.4479	12.4851	9.6492	11.8547	7.3545	11.7753
16	2029		7.7927	12.8146	9.2443	11.7267	6.6446	11.6473
17	2030		7.1374	13.2426	8.8563	11.6077	5.9770	11.5283
18	2031		6.4822	13.7690	8.4846	11.4966	5.3545	11.4172
19	2032		5.8270	14.3939	8.1285	11.3925	4.7786	11.3131
20	2033		5.1718	15.1172	7.7873	11.2946	4.2497	11.2152
最大		20.8852	11.0688	15.9390	11.4545	12.4897	10.5163	12.4103
最小		12.4627	4.5166	12.0875	7.4605	11.2022	3.7672	11.1228
実績との乖離※			-8.0956	3.3268	-5.1517	-1.4100	-8.8450	-1.4894
最大/最小-1		67.6%	145.1%	31.9%	53.5%	11.5%	179.2%	11.6%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	18.28	19.36	18.36	18.70	0.24	
		b	-0.66	-1.20	0.96	-0.17	-0.15	
		c		0.05				
		K					22.97	
		相関係数R	0.785	0.799	0.791	0.729	0.777	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±67.6%×11年/10年	×	○	○	○	×	
	順位	相関係数R	3	1	2	5	4	
		実績値との乖離	4	2	3	1	5	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

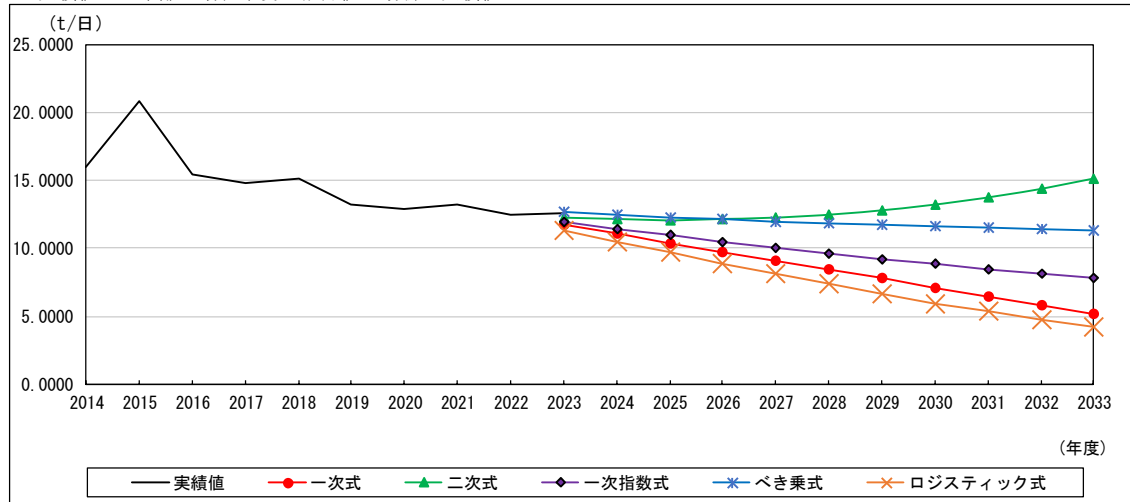


図 20 事業系直搬可燃ごみのトレンド推計結果

表 34 事業系直搬不燃ごみのトレンド推計結果

単位:t/日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	0.4219						
2	2015	0.1803						
3	2016	0.0849						
4	2017	0.0712						
5	2018	0.0466						
6	2019	0.0307						
7	2020	0.0197						
8	2021	0.0186						
9	2022	0.0329						
10	2023	0.0215	-0.0473	0.0619	0.0133	0.0179	0.0094	0.0215
11	2024		-0.0784	0.1217	0.0098	0.0157	0.0060	0.0193
12	2025		-0.1095	0.1997	0.0072	0.0140	0.0038	0.0176
13	2026		-0.1407	0.2959	0.0053	0.0125	0.0024	0.0161
14	2027		-0.1718	0.4103	0.0039	0.0113	0.0015	0.0149
15	2028		-0.2030	0.5429	0.0029	0.0103	0.0010	0.0139
16	2029		-0.2341	0.6937	0.0021	0.0094	0.0006	0.0130
17	2030		-0.2652	0.8627	0.0016	0.0087	0.0004	0.0123
18	2031		-0.2964	1.0499	0.0011	0.0080	0.0002	0.0116
19	2032		-0.3275	1.2552	0.0008	0.0075	0.0002	0.0111
20	2033		-0.3586	1.4788	0.0006	0.0070	0.0001	0.0106
最大		0.4219	-0.0784	1.7206	0.0098	0.0157	0.0060	0.0193
最小		0.0186	-0.3898	0.1217	0.0005	0.0065	0.0001	0.0101
実績との乖離※			-0.4113	1.6991	-0.0210	-0.0150	-0.0214	-0.0114
最大/最小-1		2168.3%	-79.9%	1313.8%	1860.0%	141.5%	5900.0%	91.1%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.26	0.46	0.29	0.42	0.49	
		b	-0.03	-0.13	0.74	-1.36	-0.46	
		c		0.01				
		K					0.46	
		相関係数R	0.750	0.933	0.919	0.997	0.884	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±2168.3%×11年/10年	○	○	○	○	×	
	順位	相関係数R	5	2	3	1	4	
		実績値との乖離	4	5	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

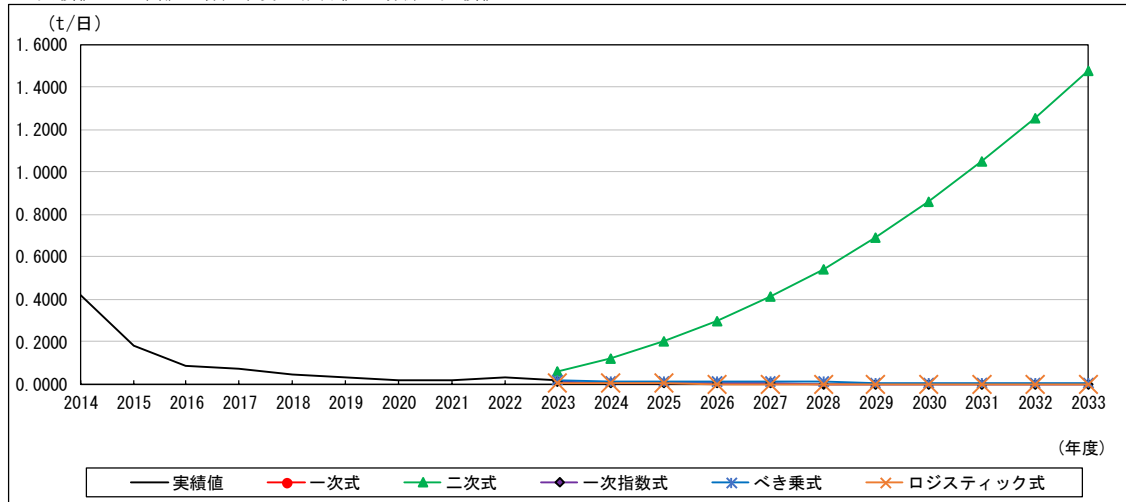


図 21 事業系直搬不燃ごみのトレンド推計結果

表 35 事業系直搬その他のごみのトレンド推計結果

単位:t/日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	0.2301						
2	2015	0.0437						
3	2016	0.0712						
4	2017	0.0329						
5	2018	0.0164						
6	2019	0.0047						
7	2020	0.0657						
8	2021	0.0328						
9	2022	0.1278						
10	2023	0.0346	0.0312	0.0970	0.0298	0.0264	0.0261	0.0346
11	2024		0.0235	0.1440	0.0276	0.0250	0.0222	0.0332
12	2025		0.0157	0.2021	0.0256	0.0238	0.0188	0.0320
13	2026		0.0080	0.2711	0.0237	0.0227	0.0159	0.0309
14	2027		0.0003	0.3510	0.0220	0.0217	0.0134	0.0299
15	2028		-0.0075	0.4420	0.0204	0.0209	0.0113	0.0291
16	2029		-0.0152	0.5439	0.0189	0.0201	0.0095	0.0283
17	2030		-0.0230	0.6567	0.0175	0.0194	0.0080	0.0276
18	2031		-0.0307	0.7805	0.0162	0.0187	0.0067	0.0269
19	2032		-0.0384	0.9153	0.0150	0.0182	0.0056	0.0264
20	2033		-0.0462	1.0610	0.0139	0.0176	0.0047	0.0258
最大		0.2301	0.0235	1.2177	0.0276	0.0250	0.0222	0.0332
最小		0.0047	-0.0539	0.1440	0.0129	0.0171	0.0039	0.0253
実績との乖離※			-0.0885	1.1831	-0.0217	-0.0175	-0.0307	-0.0093
最大/最小-1		4795.7%	-143.6%	745.6%	114.0%	46.2%	469.2%	31.2%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.11	0.23	0.06	0.10	1.43	
		b	-0.01	-0.07	0.93	-0.59	-0.18	
		c		0.01				
		K					0.25	
		相関係数R	0.348	0.715	0.409	0.687	0.424	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±4795.7%×11年/10年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	5	1	4	2	3	
		実績値との乖離	4	5	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

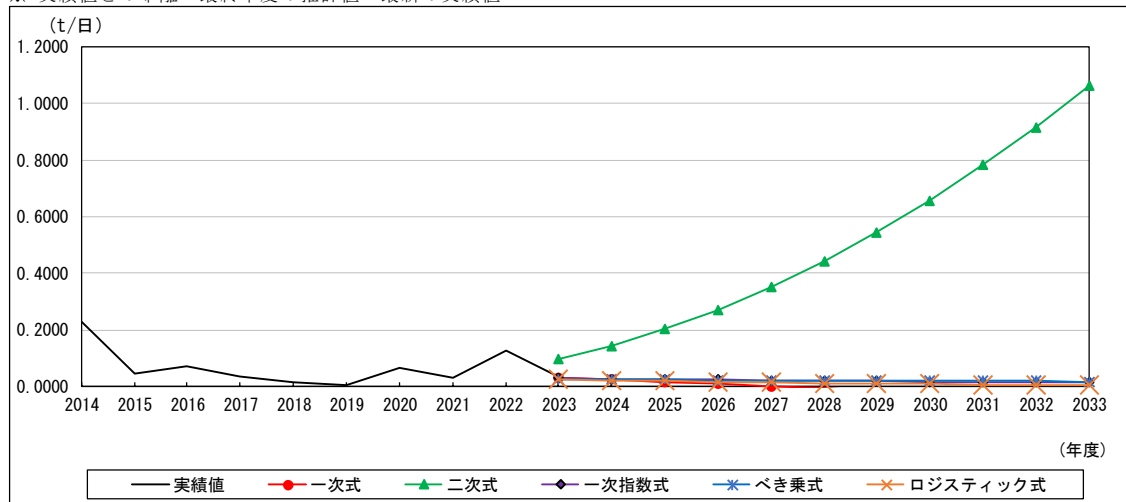


図 22 事業系直搬その他のごみのトレンド推計結果

表 36 事業系直搬大型ごみのトレンド推計結果

単位:t/日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.0219						
2	2016	0.0493						
3	2017	0.0630						
4	2018	0.0658						
5	2019	0.0266						
6	2020	0.0377						
7	2021	0.0325						
8	2022	0.0345						
9	2023	0.0468	0.0398	0.0342	0.0398	0.0423	0.0403	0.0468
10	2024		0.0392	0.0284	0.0398	0.0426	0.0393	0.0458
11	2025		0.0386	0.0213	0.0399	0.0430	0.0383	0.0448
12	2026		0.0381	0.0131	0.0399	0.0433	0.0374	0.0439
13	2027		0.0375	0.0037	0.0400	0.0436	0.0364	0.0429
14	2028		0.0369	-0.0069	0.0400	0.0439	0.0354	0.0419
15	2029		0.0364	-0.0187	0.0401	0.0442	0.0344	0.0409
16	2030		0.0358	-0.0317	0.0402	0.0444	0.0335	0.0400
17	2031		0.0352	-0.0458	0.0402	0.0446	0.0325	0.0390
18	2032		0.0347	-0.0611	0.0403	0.0449	0.0315	0.0380
19	2033		0.0341	-0.0776	0.0403	0.0451	0.0306	0.0371
20	2034		0.0335	-0.0953	0.0404	0.0453	0.0296	0.0361
最大		0.0658	0.0392	0.0284	0.0404	0.0453	0.0393	0.0458
最小		0.0219	0.0335	-0.0953	0.0398	0.0426	0.0296	0.0361
実績との乖離※			-0.0133	-0.1421	-0.0064	-0.0015	-0.0172	-0.0107
最大/最小-1		200.5%	17.0%	-129.8%	1.5%	6.3%	32.8%	26.9%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.04	0.03	0.04	0.03	0.49	
		b	0.00	0.01	1.00	0.09	-0.05	
		c		0.00				
		K					0.07	
		相関係数R	0.101	0.259	-0.101	0.039	0.105	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	×	○	○	○	
	最大/最小-1	<±200.5%×11年/9年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	3	1	8	4	2	
		実績値との乖離	3	5	2	1	4	
採用		ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

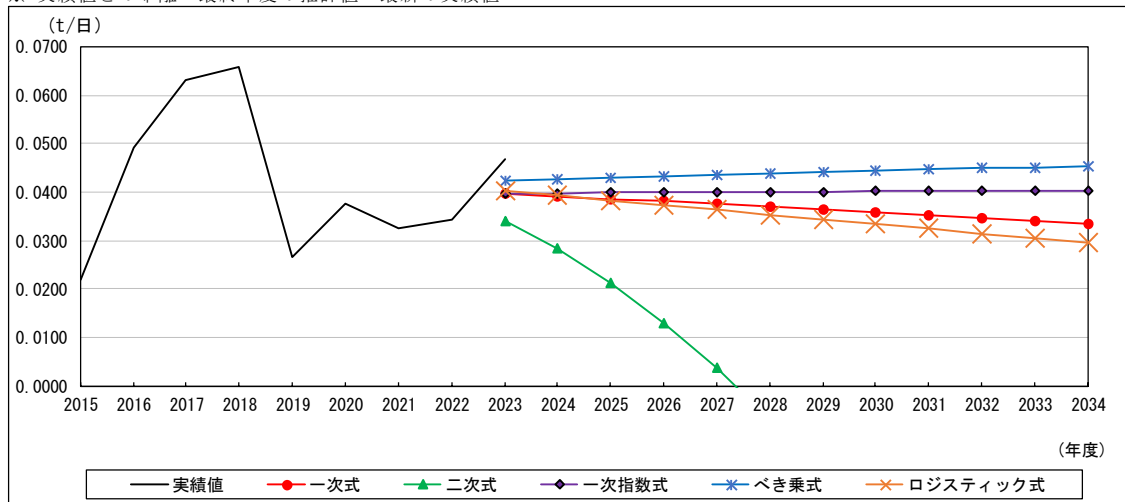


図 23 事業系直搬大型ごみのトレンド推計結果

表 37 事業系直搬資源ごみ（ダンボール）のトレンド推計結果

単位:t/日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.0246						
2	2016	0.0082						
3	2017	0.0630						
4	2018	0.0521						
5	2019	0.0490						
6	2020	0.0558						
7	2021	0.0592						
8	2022	0.0662						
9	2023	0.0635	0.0708	0.0627	0.0828	0.0710	0.0666	0.0635
10	2024		0.0762	0.0603	0.0978	0.0762	0.0685	0.0654
11	2025		0.0816	0.0561	0.1155	0.0811	0.0698	0.0667
12	2026		0.0871	0.0502	0.1365	0.0860	0.0707	0.0676
13	2027		0.0925	0.0426	0.1612	0.0907	0.0714	0.0683
14	2028		0.0979	0.0332	0.1905	0.0952	0.0718	0.0687
15	2029		0.1034	0.0221	0.2250	0.0997	0.0721	0.0690
16	2030		0.1088	0.0093	0.2658	0.1040	0.0724	0.0693
17	2031		0.1142	-0.0053	0.3141	0.1083	0.0725	0.0694
18	2032		0.1196	-0.0217	0.3711	0.1125	0.0726	0.0695
19	2033		0.1251	-0.0397	0.4384	0.1166	0.0727	0.0696
20	2034		0.1305	-0.0596	0.5179	0.1206	0.0727	0.0696
最大		0.0662	0.1305	0.0603	0.5179	0.1206	0.0727	0.0696
最小		0.0082	0.0762	-0.0596	0.0978	0.0762	0.0685	0.0654
実績との乖離※			0.0670	-0.1231	0.4544	0.0571	0.0092	0.0061
最大/最小-1		707.3%	71.3%	-201.2%	429.6%	58.3%	6.1%	6.4%
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	0.02	0.01	0.02	0.02	2.90	
		b	0.01	0.01	1.18	0.66	0.38	
		c		0.00				
		K					0.07	
		相関係数R	0.753	0.801	0.692	0.775	0.781	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	×	○	○	○	
	最大/最小-1	<±707.3%×11年/9年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	5	3	2	
		実績値との乖離	3	4	5	2	1	
採用		ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

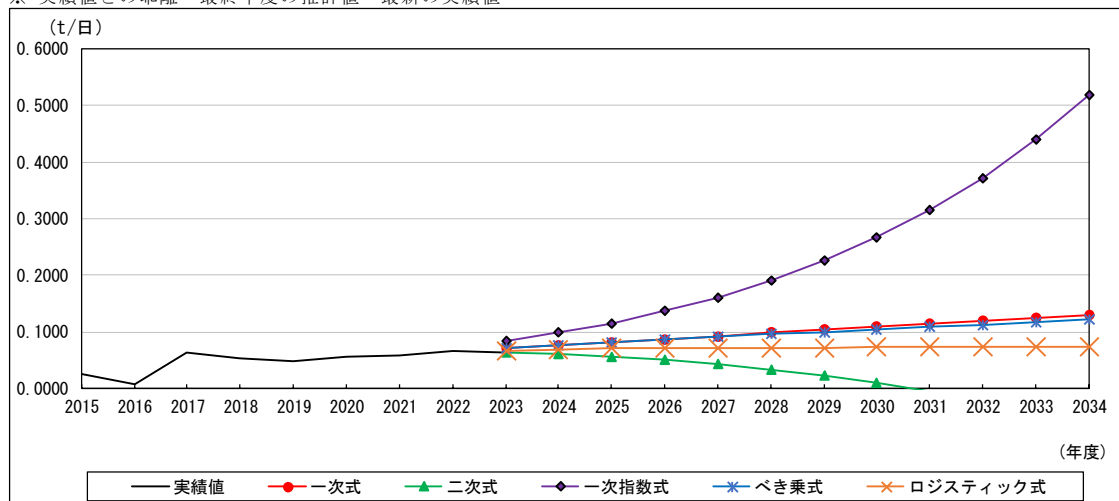


図 24 事業系直搬資源ごみ（ダンボール）のトレンド推計結果

表 38 事業系直搬資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

単位:t/日								
変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2015	0.0027						
2	2016	0.0027						
3	2017	0.0027						
4	2018	0.0082						
5	2019	0.0034						
6	2020	0.0007						
7	2021	0.0008						
8	2022	0.0053						
9	2023	0.0106	0.0060	0.0078	0.0035	0.0032	0.0057	0.0106
10	2024		0.0065	0.0101	0.0037	0.0032	0.0062	0.0111
11	2025		0.0069	0.0127	0.0038	0.0032	0.0067	0.0116
12	2026		0.0074	0.0157	0.0040	0.0033	0.0072	0.0121
13	2027		0.0079	0.0191	0.0042	0.0033	0.0077	0.0126
14	2028		0.0083	0.0229	0.0044	0.0033	0.0081	0.0130
15	2029		0.0088	0.0271	0.0046	0.0033	0.0085	0.0134
16	2030		0.0093	0.0317	0.0048	0.0033	0.0089	0.0138
17	2031		0.0097	0.0367	0.0050	0.0034	0.0093	0.0142
18	2032		0.0102	0.0420	0.0052	0.0034	0.0096	0.0145
19	2033		0.0107	0.0478	0.0054	0.0034	0.0099	0.0148
20	2034		0.0111	0.0539	0.0057	0.0034	0.0101	0.0150
最大		0.0106	0.0111	0.0539	0.0057	0.0034	0.0101	0.0150
最小		0.0007	0.0065	0.0101	0.0037	0.0032	0.0062	0.0111
実績との乖離※			0.0005	0.0433	-0.0049	-0.0072	-0.0005	0.0044
最大/最小-1		1414.3%	70.8%	433.7%	54.1%	6.3%	62.9%	35.1%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=R/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	0.00	0.01	0.00	0.00	5.20	
		b	0.00	0.00	1.04	0.09	0.18	
		c		0.00				
		K					0.01	
		相関係数R	0.384	0.529	0.402	0.320	0.403	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	○	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±1414.3%×11年/9年	○	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	3	5	2	
		実績値との乖離	1	5	3	4	1	
採用		ロジスティック式	—	—	—	—	◎	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

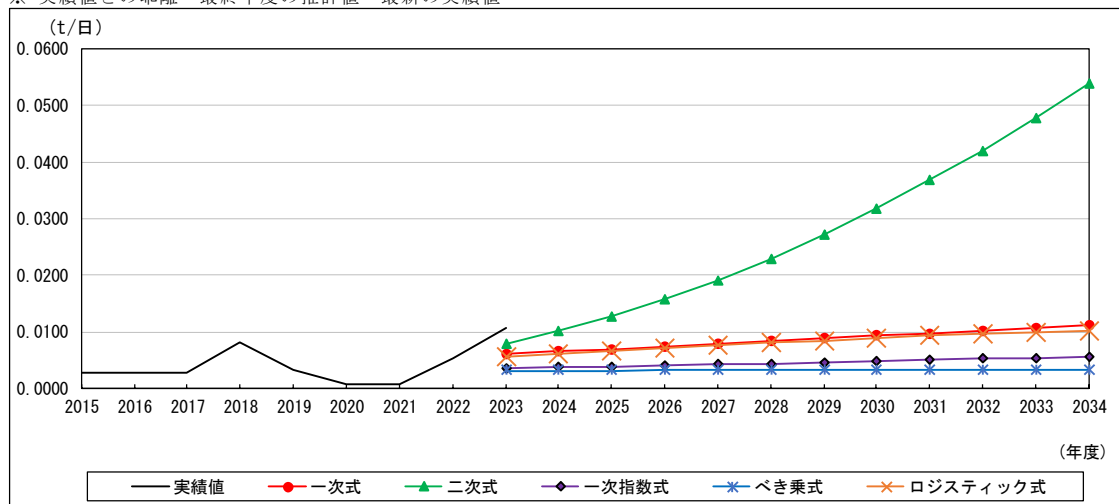


図 25 事業系直搬資源ごみ（ペットボトル）のトレンド推計結果

表 39 集団回収量（新聞紙）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	11.6						
2	2015	9.6						
3	2016	9.0						
4	2017	7.0						
5	2018	7.0						
6	2019	5.7						
7	2020	4.1						
8	2021	4.1						
9	2022	3.7						
10	2023	3.1	2.3	3.1	3.1	3.7	3.0	3.1
11	2024		1.4	2.9	2.6	3.5	2.5	2.9
12	2025		0.5	2.8	2.3	3.4	2.1	2.8
13	2026		-0.4	2.8	2.0	3.2	1.8	2.6
14	2027		-1.4	2.9	1.7	3.1	1.5	2.5
15	2028		-2.3	3.2	1.5	3.0	1.3	2.4
16	2029		-3.2	3.6	1.3	2.9	1.1	2.3
17	2030		-4.1	4.1	1.1	2.8	0.9	2.2
18	2031		-5.0	4.8	0.9	2.7	0.7	2.1
19	2032		-6.0	5.6	0.8	2.6	0.6	2.0
20	2033		-6.9	6.6	0.7	2.5	0.5	1.9
21	2034		-7.8	7.6	0.6	2.4	0.4	1.8
最大		11.6	1.4	7.6	2.6	3.5	2.5	2.9
最小		3.1	-7.8	2.8	0.6	2.4	0.4	1.8
実績との乖離※			-10.9	4.5	-2.5	-0.7	-2.7	-1.3
最大/最小-1		274.2%	-117.9%	171.4%	333.3%	45.8%	525.0%	61.1%
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	11.57	13.03	13.33	14.24	1.66	
		b	-0.92	-1.66	0.86	-0.58	-0.18	
		c		0.07				
		K					33.40	
		相関係数R	0.975	0.991	0.991	0.933	0.990	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	順位	相関係数R	4	1	2	5	3	
		実績値との乖離	5	4	2	1	3	
	採用	べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

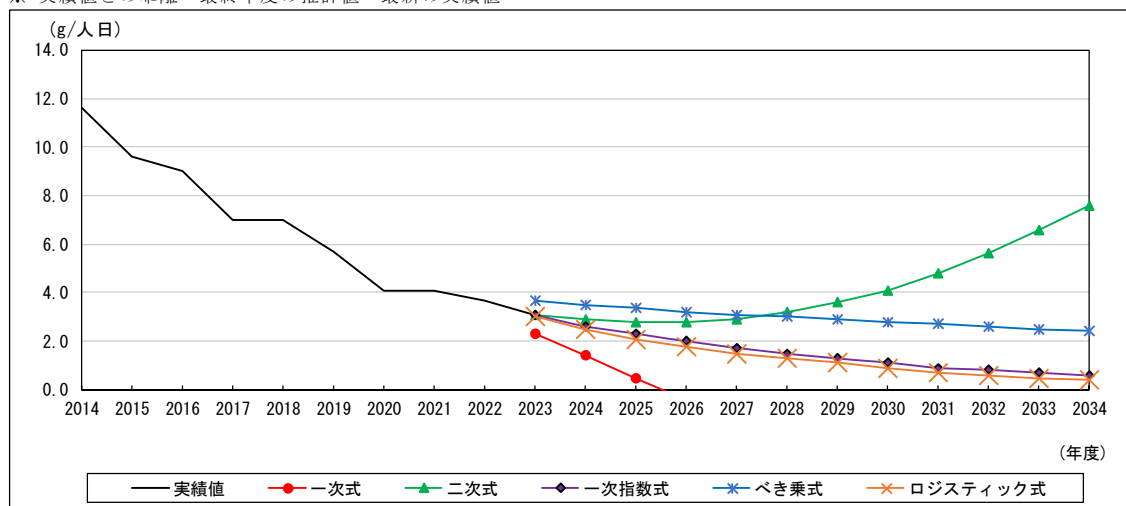


図 26 集団回収量（新聞紙）のトレンド推計結果

表 40 集団回収量（雑誌）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	4.9						
2	2015	4.4						
3	2016	3.7						
4	2017	2.9						
5	2018	2.9						
6	2019	2.9						
7	2020	2.6						
8	2021	2.4						
9	2022	2.3						
10	2023	1.9	1.8	2.1	1.9	2.2	1.6	1.9
11	2024		1.5	2.2	1.8	2.1	1.4	1.8
12	2025		1.2	2.2	1.6	2.0	1.1	1.7
13	2026		0.9	2.4	1.5	2.0	0.9	1.7
14	2027		0.6	2.6	1.3	1.9	0.7	1.6
15	2028		0.3	2.9	1.2	1.9	0.6	1.6
16	2029		0.0	3.2	1.1	1.8	0.4	1.5
17	2030		-0.3	3.6	1.0	1.8	0.3	1.5
18	2031		-0.6	4.1	0.9	1.7	0.3	1.4
19	2032		-0.9	4.6	0.8	1.7	0.2	1.4
20	2033		-1.2	5.2	0.8	1.7	0.2	1.4
21	2034		-1.5	5.9	0.7	1.6	0.1	1.3
最大		4.9	1.5	5.9	1.8	2.1	1.4	1.8
最小		1.9	-1.5	2.2	0.7	1.6	0.1	1.3
実績との乖離※			-3.4	4.0	-1.2	-0.3	-1.8	-0.6
最大/最小-1		157.9%	-200.0%	168.2%	157.1%	31.3%	1300.0%	38.5%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	4.73	5.43	4.99	5.34	0.16	
		b	-0.30	-0.65	0.91	-0.39	-0.27	
		c		0.03				
		K					5.39	
		相関係数R	0.942	0.976	0.967	0.969	0.921	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±157.9%×11年/10年	×	○	○	○	×	
	順位	相関係数R	4	1	3	2	5	
		実績値との乖離	4	5	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

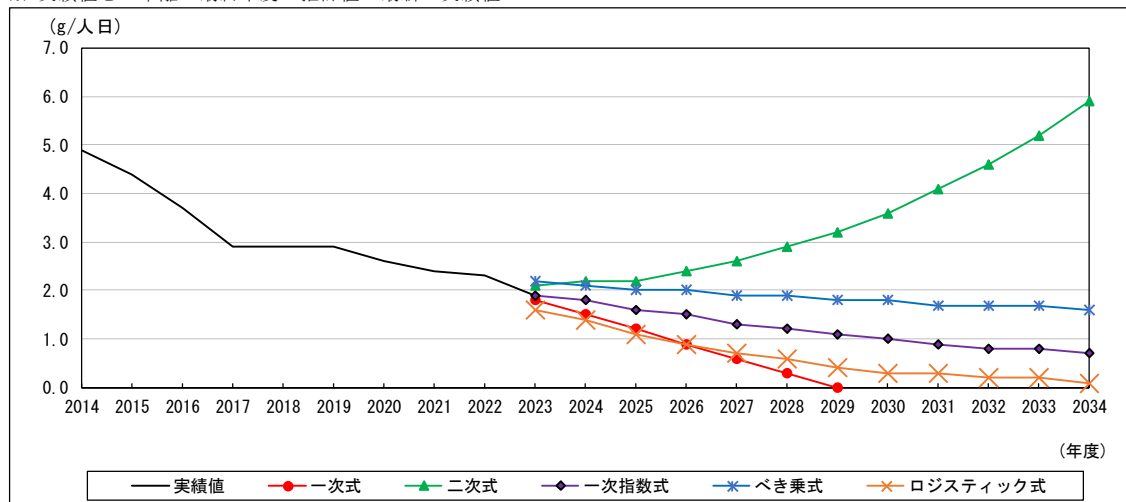


図 27 集団回収量（雑誌）のトレンド推計結果

表 41 集団回収量（ダンボール）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	4.4						
2	2015	3.9						
3	2016	3.7						
4	2017	3.5						
5	2018	3.9						
6	2019	3.5						
7	2020	2.4						
8	2021	2.6						
9	2022	2.5						
10	2023	2.3	2.2	2.2	2.3	2.6	2.1	2.3
11	2024		2.0	2.0	2.1	2.5	1.8	2.2
12	2025		1.8	1.7	2.0	2.4	1.6	2.1
13	2026		1.5	1.4	1.9	2.4	1.3	2.1
14	2027		1.3	1.2	1.7	2.3	1.1	2.0
15	2028		1.1	0.9	1.6	2.3	0.9	2.0
16	2029		0.9	0.6	1.5	2.2	0.8	1.9
17	2030		0.6	0.3	1.4	2.2	0.6	1.9
18	2031		0.4	0.1	1.3	2.2	0.5	1.9
19	2032		0.2	-0.2	1.2	2.1	0.4	1.8
20	2033		-0.1	-0.5	1.1	2.1	0.3	1.8
21	2034		-0.3	-0.8	1.0	2.1	0.3	1.8
最大		4.4	2.0	2.0	2.1	2.5	1.8	2.2
最小		2.3	-0.3	-0.8	1.0	2.1	0.3	1.8
実績との乖離※			-2.6	-3.1	-1.3	-0.2	-2.0	-0.5
最大/最小-1		91.3%	-766.7%	-350.0%	110.0%	19.0%	500.0%	22.2%
算定根拠		推計式	$Y_t = a + b * t$	$Y_t = a + b * t + c * t^2$	$Y_t = a * b^t$	$Y_t = a * t^b$	$Y_t = K / (1 + a * \text{EXP}(-b * t))$	
		a	4.53	4.48	4.75	4.85	0.12	
		b	-0.23	-0.20	0.93	-0.28	-0.24	
		c		0.00				
		K					4.84	
		相関係数R	0.924	0.924	0.918	0.849	0.922	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	×	○	○	○	
	最大/最小-1	<±91.3%×11年/10年	×	×	×	○	×	
	順位	相関係数R	2	1	4	5	3	
		実績値との乖離	4	5	2	1	3	
	採用	べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

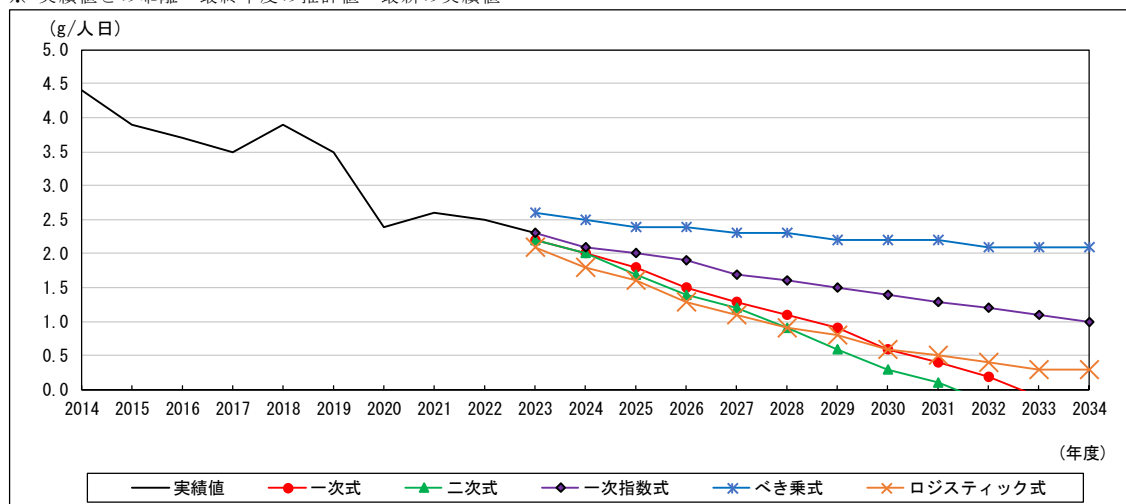


図 28 集団回収量（ダンボール）のトレンド推計結果

表 42 集団回収量（アルミかん）のトレンド推計結果

単位:g/人日

変数t	年度	実績値	一次式	二次式	一次指数式	べき乗式	ロジスティック式	補正
1	西暦 2014	1.5						
2	2015	1.6						
3	2016	1.4						
4	2017	1.3						
5	2018	1.1						
6	2019	1.1						
7	2020	0.9						
8	2021	0.9						
9	2022	0.9						
10	2023	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	0.7	0.7
11	2024		0.6	0.7	0.7	0.8	0.6	0.6
12	2025		0.5	0.6	0.6	0.8	0.5	0.6
13	2026		0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.6
14	2027		0.3	0.4	0.5	0.8	0.3	0.6
15	2028		0.2	0.4	0.5	0.7	0.2	0.5
16	2029		0.1	0.3	0.4	0.7	0.2	0.5
17	2030		0.0	0.3	0.4	0.7	0.1	0.5
18	2031		-0.1	0.2	0.4	0.7	0.1	0.5
19	2032		-0.2	0.2	0.3	0.7	0.1	0.5
20	2033		-0.2	0.1	0.3	0.7	0.1	0.5
21	2034		-0.3	0.1	0.3	0.7	0.1	0.5
最大		1.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.6	0.6
最小		0.7	-0.3	0.1	0.3	0.7	0.1	0.5
実績との乖離※			-1.0	-0.6	-0.4	0.0	-0.6	-0.2
最大/最小-1		128.6%	-300.0%	600.0%	133.3%	14.3%	500.0%	20.0%
算定根拠		推計式	$Y_t=a+b*t$	$Y_t=a+b*t+c*t^2$	$Y_t=a*b^t$	$Y_t=a*t^b$	$Y_t=K/(1+a*EXP(-b*t))$	
		a	1.67	1.71	1.77	1.82	0.11	
		b	-0.10	-0.12	0.92	-0.33	-0.27	
		c		0.00				
		K					1.76	
		相関係数R	0.970	0.971	0.969	0.877	0.960	
判定基準	マイナス判定	全期間0以上	×	○	○	○	○	
	最大/最小-1	<±128.6%×11年/10年	×	×	○	○	×	
	順位	相関係数R	2	1	3	5	4	
		実績値との乖離	5	3	2	1	3	
採用		べき乗式	—	—	—	◎	—	

※ 実績値との乖離＝最終年度の推計値－最新の実績値

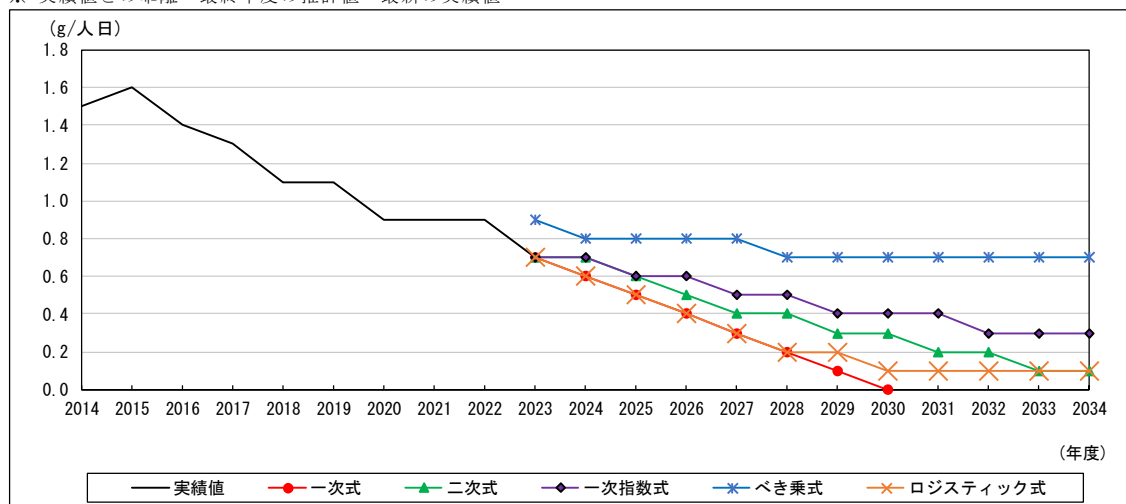


図 29 集団回収量（アルミかん）のトレンド推計結果

4. ごみ排出量の推計結果（現状のまま推移した場合）

現状のまま推移した場合のごみ排出量の推計結果は表 43 に示すとおりである。

表 43 ごみ排出量の推計表（現状のまま推移した場合）（1/4）

項目				単位	実績←→推計																						
					2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16		
家庭系	収集	資源ごみ	混合ごみ	t/年	0	0	0	0	6	3	3	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
				t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
				g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
			可燃ごみ	t/年	14,386	14,203	13,615	13,178	12,757	12,621	12,386	12,067	11,924	11,203	11,054	10,932	10,804	10,712	10,565	10,451	10,342	10,266	10,137	10,039	9,941		
				t/日	39.41	38.81	37.30	36.10	34.95	34.48	33.94	33.06	32.67	30.61	30.28	29.95	29.60	29.27	28.94	28.63	28.33	28.05	27.77	27.50	27.24		
				g/人日	611.7	605.4	584.9	570.2	556.2	555.7	554.7	546.8	546.3	517.7	514.3	511.3	508.5	506.0	503.6	501.4	499.3	497.4	495.6	493.9	492.2		
			不燃ごみ	t/年	747	472	468	511	550	476	532	490	440	377	370	361	355	349	344	338	331	328	323	317	313		
				t/日	2.05	1.29	1.28	1.40	1.51	1.30	1.46	1.34	1.20	1.03	1.01	0.99	0.97	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.87	0.86		
				g/人日	31.8	20.1	20.1	22.1	24.0	20.9	23.8	22.2	20.1	17.4	17.2	16.9	16.7	16.5	16.4	16.2	16.0	15.9	15.8	15.6	15.5		
			その他のごみ（泥土）	t/年	204	225	224	238	192	182	101	169	188	182	181	180	178	178	176	175	174	173	172	171	170		
				t/日	0.56	0.61	0.61	0.65	0.53	0.50	0.28	0.46	0.52	0.50	0.49	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.48	0.47	0.47	0.47	0.46		
				g/人日	8.7	9.6	9.6	10.3	8.4	8.0	4.5	7.6	8.6	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4		
			大型ごみ（可燃・不燃）	t/年	55	65	64	59	62	57	56	66	63	67	67	68	68	70	71	71	72	74	74	75	77		
				t/日	0.15	0.18	0.18	0.16	0.17	0.16	0.15	0.18	0.17	0.18	0.18	0.19	0.19	0.19	0.20	0.19	0.20	0.20	0.20	0.21	0.21		
				g/人日	2.3	2.8	2.7	2.6	2.7	2.5	2.5	3.0	2.9	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.7	3.8		
			資源ごみ	空びん	t/年	543	542	525	492	475	448	439	427	403	372	365	359	355	349	342	338	333	328	319	315		
					t/日	1.49	1.48	1.44	1.35	1.30	1.22	1.20	1.17	1.10	1.02	1.00	0.98	0.97	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.87	0.86	
					g/人日	23.1	23.1	22.6	21.3	20.7	19.7	19.6	19.4	18.5	17.2	17.0	16.8	16.7	16.5	16.3	16.2	16.1	15.9	15.8	15.7	15.6	
				古紙類	新聞	t/年	576	548	508	453	374	337	297	322	306	248	239	231	223	216	208	202	195	190	184	181	176
						t/日	1.58	1.50	1.39	1.24	1.02	0.92	0.81	0.88	0.84	0.68	0.65	0.63	0.61	0.59	0.57	0.55	0.53	0.52	0.50	0.50	0.48
						g/人日	24.5	23.4	21.8	19.6	16.3	14.8	13.3	14.6	14.0	11.5	11.1	10.8	10.5	10.2	9.9	9.7	9.4	9.2	9.0	8.9	8.7
					雑誌	t/年	580	560	519	485	434	419	420	425	397	368	359	353	344	339	334	327	321	318	311	307	303
						t/日	1.59	1.53	1.42	1.33	1.19	1.14	1.15	1.16	1.09	1.01	0.98	0.97	0.94	0.93	0.91	0.90	0.88	0.87	0.85	0.84	0.83
						g/人日	24.7	23.9	22.3	21.0	18.9	18.4	19.3	18.2	17.0	16.7	16.5	16.2	16.0	15.9	15.7	15.5	15.4	15.2	15.1	15.0	14.9
					ダンボール	t/年	356	341	327	294	274	249	264	306	291	274	271	267	263	260	258	254	251	250	245	244	240
						t/日	0.98	0.93	0.90	0.81	0.75	0.68	0.72	0.84	0.80	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67	0.67	0.66
						g/人日	15.1	14.5	14.0	12.7	11.9	10.9	11.8	13.9	13.3	12.7	12.6	12.5	12.4	12.3	12.3	12.2	12.1	12.1	12.0	12.0	11.9
					計	t/年	1,512	1,449	1,354	1,232	1,082	1,004	982	1,054	994	890	869	851	830	815	800	783	767	758	740	732	719
						t/日	4.14	3.96	3.71	3.38	2.96	2.74	2.69	2.89	2.72	2.43	2.38	2.33	2.27	2.23	2.19	2.15	2.10	2.07	2.03	2.01	1.97
						g/人日	64.3	61.8	58.2	53.3	47.2	44.2	44.0	47.7	45.5	41.1	40.4	39.8	39.1	38.5	38.1	37.6	37.0	36.7	36.2	36.0	35.6
				ペットボトル	t/年	138	143	142	139	138	136	135	136	138	134	135	135	134	133	134	133	133	134	133	132	133	
					t/日	0.38	0.39	0.39	0.38	0.38	0.37	0.37	0.37	0.38	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.36	0.37	0.37	0.36	0.37	0.36	0.37	
					g/人日	5.9	6.1	6.1	6.0	6.0	6.0	6.1	6.2	6.3	6.2	6.3	6.3	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5	6.5	6.6	
				空かん	t/年	136	133	136	131	125	125	134	123	118	111	110	107	104	104	101	100	97	95	92	91	89	
					t/日	0.37	0.36	0.37	0.36	0.34	0.34	0.37	0.34	0.32	0.30	0.30	0.29	0.29	0.28	0.28	0.27	0.27	0.26	0.25	0.25	0.24	
					g/人日	5.8	5.7	5.8	5.7	5.5	5.5	6.0	5.6	5.4	5.1	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	
				古着・布類	t/年	206	213	195	219	209	196	210	181	164	145	183	182	181	179	178	177	176	174	173	172		
					t/日	0.56	0.58	0.53	0.60	0.57	0.53	0.57	0.49	0.45	0.40	0.50	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48	0.47	
					g/人日	8.8	9.1	8.4	9.5	9.1	8.6	9.4	8.2	7.5	6.7	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
				発泡スチロール・白色トレイ	t/年	14	11	11	11	9	9	10	9	8	12	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	
					t/日	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
					g/人日	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
				小計	t/年	2,549	2,491	2,363	2,224	2,038	1,919	1,909	1,930	1,825	1,665	1,672	1,644	1,614	1,592	1,566	1,542	1,517	1,501	1,472	1,457	1,437	
					t/日	6.98	6.81	6.47	6.09	5.58	5.24	5.23	5.29	5.00	4.55	4.58	4.50	4.42	4.35	4.29	4.22	4.16	4.10	4.03	3.99	3.94	
					g/人日	108.4	106.2	101.5	96.2	88.9	84.5	85.5	87.4	83.6	76.9	77.8	76.9	76.0	75.2	74.6	74.0	73.2	72.7	72.0	71.7	71.2	
				合計	t/年	17,941	17,456	16,734	16,210	15,605	15,257	14,988	14,721	14,440	13,494	13,345	13,186	13,020	12,902	12,723	12,578	12,437	12,343	12,179	12,060	11,939	
					t/日	49.15	47.69	45.85	44.41	42.75	41.69	41.06	40.33	39.56	36.87	36.56	36.13	35.67	35.25	34.86	34.46	34.07	33.72	33.37	33.04	32.71	
					g/人日	762.9	744.1	718.9	701.5	680.4	671.7	671.2	667.1	661.6	623.6	620.9	616.7	612.8	609.4	606.5	603.5	600.5	598.0	595.4	593.3	591.1	

表 43 ごみ排出量の推計表（現状のまま推移した場合）（2/4）

項目					単位	実績←→推計																				
						2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
家庭系	直接搬入	資源ごみ	混合ごみ	t/年	248	381	330	320	379	419	545	572	594	569	580	590	595	601	600	600	599	599	593	591	588	
				t/日	0.68	1.04	0.90	0.88	1.04	1.15	1.49	1.57	1.63	1.56	1.81	1.93	2.06	2.19	2.33	2.47	2.61	2.75	2.90	3.05	3.21	
				g/人日	10.5	16.2	14.2	13.8	16.5	18.5	24.4	25.9	27.2	26.3	27.0	27.6	28.0	28.4	28.6	28.8	28.9	29.0	29.0	29.1	29.1	
			可燃ごみ	t/年	1,194	357	195	188	183	217	280	277	259	264	254	246	238	231	224	219	213	208	205	199	196	
				t/日	3.27	0.98	0.53	0.52	0.50	0.59	0.77	0.76	0.71	0.72	0.50	0.48	0.46	0.44	0.43	0.41	0.40	0.39	0.38	0.37	0.36	
				g/人日	50.8	15.2	8.4	8.1	8.0	9.6	12.5	12.6	11.9	12.2	11.8	11.5	11.2	10.9	10.7	10.5	10.3	10.1	10.0	9.8	9.7	
			不燃ごみ	t/年	13	71	57	56	65	90	118	95	70	79	84	90	96	102	107	113	118	122	127	132	135	
				t/日	0.04	0.19	0.16	0.15	0.18	0.25	0.32	0.26	0.19	0.22	0.31	0.33	0.34	0.36	0.37	0.39	0.41	0.42	0.43	0.45	0.46	
				g/人日	0.6	3.0	2.4	2.4	2.8	4.0	5.3	4.3	3.2	3.6	3.9	4.2	4.5	4.8	5.1	5.4	5.7	5.9	6.2	6.5	6.7	
			その他のごみ（泥土）	t/年	531	334	30	14	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				t/日	1.45	0.91	0.08	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				g/人日	22.6	14.2	1.3	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			大型ごみ（可燃・不燃）	t/年	30	14	46	56	74	102	128	90	91	89	92	96	100	102	103	104	104	105	104	104	103	
				t/日	0.08	0.04	0.13	0.15	0.20	0.28	0.35	0.25	0.25	0.24	0.33	0.35	0.38	0.40	0.42	0.44	0.46	0.48	0.50	0.52	0.54	
				g/人日	1.3	0.6	2.0	2.4	3.2	4.5	5.7	4.1	4.2	4.1	4.3	4.5	4.7	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.1	
			資源ごみ	空びん	t/年	—	33	35	38	37	37	32	35	35	33	33	33	33	32	32	32	32	31	31	31	
					t/日	—	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08		
					g/人日	—	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
				古紙類	新聞	t/年	—	45	47	41	38	35	23	32	30	26	26	26	25	23	23	23	23	22	20	20
						t/日	—	0.12	0.13	0.11	0.10	0.10	0.06	0.09	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	
						g/人日	—	1.9	2.0	1.8	1.7	1.5	1.0	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1		
					雑誌	t/年	—	52	48	48	46	44	39	49	49	47	45	44	44	43	43	43	42	42	42	
						t/日	—	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12	0.11	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
						g/人日	—	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.7	2.2	2.3	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1		
					ダンボール	t/年	—	3	3	2	2	2	3	7	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
						t/日	—	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
						g/人日	—	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
				計	t/年	—	100	98	91	86	81	65	88	84	77	74	73	72	70	69	69	69	67	65	65	
					t/日	—	0.27	0.27	0.25	0.24	0.22	0.18	0.24	0.23	0.21	0.20	0.20	0.20	0.19	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18		
					g/人日	—	4.3	4.2	3.9	3.7	3.6	2.9	3.6	3.9	3.6	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2		
				ペットボトル	t/年	—	12	14	15	16	17	15	18	19	17	19	19	19	19	21	21	21	20	20	20	
					t/日	—	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
					g/人日	—	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
				空かん	t/年	—	14	15	17	17	18	17	18	17	17	17	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18
					t/日	—	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
					g/人日	—	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
				古着・布類	t/年	—	6	6	6	10	14	13	12	10	9	9	8	8	10	10	10	10	10	10	10	
					t/日	—	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04		
					g/人日	—	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
				発泡スチロール・白色トレイ	t/年	—	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
					t/日	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
					g/人日	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
				小計	t/年	38	166	169	168	167	168	143	172	167	155	154	155	153	150	152	153	153	148	146	146	
					t/日	0.10	0.45	0.46	0.46	0.46	0.46	0.39	0.47	0.46	0.42	0.42	0.42	0.41	0.42	0.42	0.42	0.42	0.41	0.40	0.40	
					g/人日	1.6	7.1	7.3	7.3	7.3	7.4	6.4	7.8	7.6	7.2	7.2	7.2	7.1	7.2	7.3	7.4	7.4	7.2	7.2		
				合計	t/年	2,054	1,323	827	802	872	996	1,214	1,206	1,181	1,156	1,164	1,177	1,182	1,186	1,189	1,187	1,187	1,177	1,172	1,168	
					t/日	5.63	3.61	2.27	2.20	2.39	2.72	3.33	3.31	3.23	3.16	3.19	3.22	3.24	3.25	3.26	3.25	3.24	3.22	3.21	3.21	
					g/人日	87.3	56.4	35.5	34.7	38.0	43.9	54.4	54.7	54.1	53.4	54.2	55.0	55.6	56.0	56.5	57.0	57.3	57.5	57.7	57.8	
	家庭系 合計	t/年		19,995	18,779	17,561	17,012	16,477	16,253	16,203	15,928	15,621	14,650	14,509	14,363	14,202	14,088	13,909	13,767	13,624	13,530	13,356	13,232	13,107		
		t/日		54.78	51.31	47.51	46.61	45.14	44.41	44.39	43.64	42.80	40.03	39.75	39.35	38.91	38.49	38.11	37.72	37.33	36.97	36.59	36.25	35.91		
		g/人日		850.2	800.4	754.4	736.2	718.4	715.6	725.6	721.7	715.7	677.0	675.1	671.8	668.4	665.5	663.0	660.5	657.8	655.5	653.0	651.0			

表 43 ごみ排出量の推計表（現状のまま推移した場合）（3/4）

項目				単位	実績←→推計																						
					2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16		
事業系	直接搬入	混合ごみ		t/年	373	323	209	260	317	327	145	197	398	282	281	281	281	282	281	281	281	282	281	281			
				t/日	1.0219	0.8825	0.5726	0.7123	0.8685	0.8944	0.3966	0.5387	1.0907	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710		
		可燃ごみ		t/年	5,835	7,644	5,644	5,415	5,514	4,833	4,727	4,824	4,549	4,616	4,530	4,464	4,403	4,360	4,298	4,251	4,208	4,179	4,129	4,094	4,060		
				t/日	15.9863	20.8852	15.4630	14.8356	15.1068	13.2053	12.9514	13.2164	12.4627	12.6122	12.4103	12.2288	12.0641	11.9137	11.7753	11.6473	11.5283	11.4172	11.3131	11.2152	11.1228		
		不燃ごみ		t/年	154	66	31	26	17	11	7	7	12	8	7	6	6	5	5	5	4	4	4	4	4		
				t/日	0.4219	0.1803	0.0849	0.0712	0.0466	0.0307	0.0197	0.0186	0.0329	0.0215	0.0193	0.0176	0.0161	0.0149	0.0139	0.0130	0.0123	0.0116	0.0111	0.0106	0.0101		
		その他のごみ		t/年	84	16	26	12	6	2	24	12	47	13	12	12	11	11	10	10	10	10	10	9	9		
				t/日	0.2301	0.0437	0.0712	0.0329	0.0164	0.0047	0.0657	0.0328	0.1278	0.0346	0.0332	0.0320	0.0309	0.0299	0.0291	0.0283	0.0276	0.0269	0.0264	0.0258	0.0253		
		大型ごみ		t/年	—	8	18	23	24	10	14	12	13	17	17	16	16	15	15	15	14	14	14	13			
				t/日	—	0.0219	0.0493	0.0630	0.0658	0.0266	0.0377	0.0325	0.0345	0.0468	0.0458	0.0448	0.0439	0.0429	0.0419	0.0409	0.0400	0.0390	0.0380	0.0371	0.0361		
		資源ごみ	空びん	t/年	—	2	4	8	7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0055	0.0110	0.0219	0.0192	0.0300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
			古紙類	新聞	t/年	—	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
					t/日	—	0.0000	0.0000	0.0027	0.0000	0.0008	0.0004	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
				雑誌	t/年	—	8	4	7	1	5	5	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
					t/日	—	0.0219	0.0110	0.0192	0.0027	0.0136	0.0141	0.0016	0.0071	0.0015	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103		
	ダンボール			t/年	—	9	3	23	19	18	20	22	24	23	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25		
				t/日	—	0.0246	0.0082	0.0630	0.0521	0.0490	0.0558	0.0592	0.0662	0.0635	0.0654	0.0667	0.0676	0.0683	0.0687	0.0690	0.0693	0.0694	0.0695	0.0696	0.0696		
	計		t/年	—	17	7	31	20	23	26	22	27	24	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26			
			t/日	—	0.0464	0.0192	0.0849	0.0548	0.0634	0.0703	0.0608	0.0733	0.0650	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700			
	ペットボトル		t/年	—	1	1	1	3	1	0	0	2	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5				
			t/日	—	0.0027	0.0027	0.0027	0.0082	0.0034	0.0007	0.0008	0.0053	0.0106	0.0111	0.0116	0.0121	0.0126	0.0130	0.0134	0.0138	0.0142	0.0145	0.0148	0.0150			
	空かん		t/年	—	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
			t/日	—	0.0000	0.0027	0.0027	0.0000	0.0013	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000			
	古着・布類		t/年	—	14	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
			t/日	—	0.0383	0.0301	0.0055	0.0000	0.0001	0.0003	0.0009	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000			
	発泡スチロール・白色トレイ		t/年	—	19	18	19	18	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
			t/日	—	0.0519	0.0493	0.0521	0.0493	0.0244	0.0001	0.0003	0.0002	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000			
	小計		t/年	221	53	42	62	48	45	26	23	29	28	29	29	30	31	31	31	31	31	31	31				
			t/日	0.6055	0.1448	0.1151	0.1699	0.1315	0.1226	0.0714	0.0627	0.0789	0.0756	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800				
	事業系 合計				t/年	6,667	8,110	5,970	5,798	5,926	5,228	4,943	5,074	5,047	4,964	4,876	4,808	4,747	4,705	4,641	4,593	4,549	4,520	4,469	4,433	4,398	
					t/日	18.266	22.159	16.356	15.885	16.236	14.284	13.543	13.902	13.828	13.562	13.3600	13.1700	13.0000	12.8500	12.7100	12.5800	12.4600	12.3500	12.2400	12.1400	12.0500	
総計				t/年	26,662	26,889	23,531	22,810	22,403	21,481	21,146	21,002	20,668	19,613	19,385	19,171	18,949	18,793	18,550	18,360	18,173	18,050	17,825	17,665	17,505		
				t/日	73.05	73.47	64.47	62.49	61.38	58.69	57.93	57.54	56.62	53.59	53.11	52.52	51.91	51.35	50.82	50.30	49.79	49.32	48.83	48.40	47.96		
				g/人日	1,133.7	1,146.1	1,010.8	987.1	976.8	945.7	946.9	951.6	946.9	906.4	901.9	896.6	891.8	887.7	884.2	880.8	877.4	874.5	871.4	869.1	866.7		

ごみ排出量 種類別集計

ごみ排出量 種類別集計				実績←→推計																						
項目			単位	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16		
ごみ種類	混合ごみ			t/年	621	704	539	580	702	749	693	769	992	853	862	872	877	884	882	882	881	882	875	873	870	
	可燃ごみ			t/年	21,415	22,204	19,454	18,781	18,454	17,671	17,394	17,168	16,732	16,083	15,838	15,642	15,445	15,303	15,087	14,921	14,763	14,653	14,471	14,332	14,197	
	不燃ごみ			t/年	914	609	556	593	632	577	657	591	521	464	461	457	457	456	456	453	454	454	453	452		
	その他のごみ（泥土）			t/年	819	575	280	264	202	184	125	181	235	195	193	192	189	189	187	185	184	183	182	180	179	
	大型ごみ（可燃・不燃）			t/年	85	87	128	138	160	169	197	168	167	173	176	180	184	188	189	190	191	193	192	193	193	
	資源ごみ	空びん		t/年	543	577	564	538	519	496	471	462	438	405	398	392	388	381	374	370	365	360	354	350	346	
		古紙類	新聞	t/年	576	593	555	495	412	372	321	354	337	274	265	257	248	239	231	225	218	213	206	201	196	
			雑誌	t/年	580	620	571	540	481	468	464	475	448	416	405	398	389	384	379	371	365	362	354	350	346	
			ダンボール	t/年	356	353	333	319	295	268	287	335	320	301	298	294	291	288	286	282	279	278	273	272	268	
			計	t/年	1,512	1,566	1,459	1,354	1,188	1,108	1,072	1,164	1,105	991	968	949	928	911	896	878	862	853	833	823	810	
		ペットボトル		t/年	138	156	157	155	157	155	150	155	159	155	158	158	157	157	158	159	159	159	160	158	157	158
		空かん		t/年	136	147	152	149	142	144	151	141	136	128	127	126	123	123	120	119	116	114	110	109	107	
		古着・布類		t/年	206	233	212	227	219	210	223	193	174	155	192	191	189	189	189	188	187	186	184	183	182	
		発泡スチロール・白色トレイ		t/年	14	31	30	31	28	19	11	10	10	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	
		小計		t/年	2,808	2,710	2,574	2,454	2,253	2,132	2,079	2,124	2,021	1,847	1,855	1,828	1,797	1,773	1,749	1,726	1,701	1,685	1,651	1,634	1,614	
合計			t/年	26,662	26,889	23,531	22,810	22,403	21,481	21,146	21,002	20,668	19,613	19,385	19,171	18,949	18,793	18,550	18,360	18,173	18,050	17,825	17,665	17,505		

表 43 ごみ排出量の推計表（現状のまま推移した場合）（4/4）

[illegible]

項目		単位	実績←推計																				
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
集団回収	新聞紙	t/年	272.2	226.2	209.1	162.8	160.1	129.8	91.0	90.5	80.7	66.2	62.0	60.0	55.0	53.0	50.0	48.0	46.0	43.0	41.0	39.0	36.0
		t/日	0.75	0.62	0.57	0.45	0.44	0.35	0.25	0.25	0.22	0.18	0.17	0.16	0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10
		g/人日	11.6	9.6	9.0	7.0	7.0	5.7	4.1	4.1	3.7	3.1	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8
	雑誌	t/年	114.8	104.0	85.4	66.9	65.9	66.5	57.6	52.8	50.7	42.1	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	31.0	31.0	29.0	29.0	28.0	26.0
		t/日	0.31	0.28	0.23	0.18	0.18	0.18	0.16	0.14	0.14	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07
		g/人日	4.9	4.4	3.7	2.9	2.9	2.9	2.6	2.4	2.3	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3
	ダンボール	t/年	103.0	91.6	86.9	80.0	89.1	79.7	53.7	58.3	55.6	49.0	47.0	45.0	45.0	42.0	42.0	40.0	39.0	39.0	37.0	37.0	36.0
		t/日	0.28	0.25	0.24	0.22	0.24	0.22	0.15	0.16	0.15	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
		g/人日	4.4	3.9	3.7	3.5	3.9	3.5	2.4	2.6	2.5	2.3	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8
	牛乳パック	t/年	1.2	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アルミかん	t/年	35.1	38.3	32.8	29.0	26.0	24.9	20.2	19.4	20.2	15.4	13.0	13.0	13.0	13.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
		t/日	0.10	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.05	0.06	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
		g/人日	1.5	1.6	1.4	1.3	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	スチールかん	t/年	4.1	2.4	3.1	1.7	2.0	1.4	0.5	0.5	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		t/日	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	空びん	t/年	4.9	4.4	3.2	3.0	2.5	1.7	1.2	1.3	1.2	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
		t/日	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	金属類	t/年	2.3	1.8	3.2	3.4	3.3	3.7	3.3	3.0	2.1	2.3	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		t/日	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		g/人日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
布類	t/年	2.7	2.3	2.3	1.3	0.7	0.9	0.7	0.7	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
	t/日	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	g/人日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	t/年	540.4	471.6	426.3	348.0	349.7	308.5	228.3	226.5	211.5	176.3	165.1	158.1	153.1	146.1	140.1	133.1	130.1	125.1	121.1	118.1	112.1	
	t/日	1.48	1.29	1.17	0.95	0.96	0.84	0.63	0.62	0.58	0.48	0.45	0.43	0.42	0.40	0.38	0.36	0.36	0.34	0.33	0.32	0.31	
	g/人日	23.0	20.1	18.3	15.1	15.2	13.6	10.2	10.3	9.7	8.1	7.7	7.4	7.2	6.9	6.7	6.4	6.3	6.1	5.9	5.8	5.5	

5. 焼却処理量、リサイクル量、最終処分量の推計（現状のまま推移した場合）

（1）推計方法

焼却処理量、リサイクル量、最終処分量の推計値は、本市のごみ処理フローを踏まえて整理する。

各処理における推計方法は、表 44～表 46 に示すとおり、ごみ種類ごとの排出量や令和 5 年度における割合を用いて算出している。

表 44 焼却処理量の推計方法

項目		推計方法
焼却処理	可燃ごみ	= 可燃ごみ
	下水汚泥 (脱水汚泥)	= 下水汚泥計画量
	し尿汚泥 (脱水汚泥)	= し尿及び浄化槽汚泥排出量 × R5 し尿汚泥(脱水汚泥)/R5 し尿及び浄化槽汚泥排出量
	破碎残渣	= (大型ごみ＋混合ごみ) × R5 破碎残渣/R5 (大型ごみ＋混合ごみ)

表 45 リサイクル量の推計方法

項目		推計方法
リサイクル	直接資源化	= (空びん＋古紙類＋古着・布類) × R5 直接資源化/R5 (空びん＋古紙類＋古着・布類)
	破碎処理後資源化	= (大型ごみ＋混合ごみ) × R5 破碎処理後資源化/R5 (大型ごみ＋混合ごみ)
	圧縮梱包物	= ペットボトル＋空かん
	固形化物	= 発泡スチロール × R5 固形化物/R5 (発泡スチロール)
	小型家電・パソコン	= 不燃ごみ × R5 小型家電・パソコン/R5 不燃ごみ
	焼却残渣 (セメント原料)	= 焼却処理推計値 × R5 焼却残渣セメント原料/R5 焼却処理
	集団回収	= 各項目の推計値（トレンド推計）

表 46 最終処分量の推計方法

項目		推計方法
最終処分	焼却残渣(不適物)	＝焼却処理推計値× H27～R5 焼却残渣不適物/H27～R5 焼却処理
	不燃物	＝(不燃ごみ＋大型ごみ＋混合ごみ)× R5 不燃物/R5(不燃ごみ＋大型ごみ＋混合ごみ)
	混合ごみ	＝混合ごみ×R5 混合ごみ(最終処分)/R5 混合ごみ
	泥土	＝その他のごみ×R5 泥土/R5 その他のごみ

(2) 焼却処理量、リサイクル量及び最終処分量の推計（現状のまま推移した場合）

焼却処理量、リサイクル量及び最終処分量の推計表（現状のまま推移した場合）は表 47 に示すとおりである。

表 47 焼却処理量、リサイクル量及び最終処分量の推計表（現状のまま推移した場合）

項目		単位	実績←→推計																				
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
			H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
焼却処理量	可燃ごみ	t/年	21,415	22,204	19,454	18,781	18,454	17,671	17,394	17,168	16,732	16,083	15,838	15,642	15,445	15,303	15,087	14,921	14,763	14,653	14,471	14,332	14,197
	下水汚泥	t/年	—	2,746	2,988	2,829	2,721	3,040	3,068	3,175	3,216	2,965	3,234	3,250	3,263	3,271	3,280	3,287	3,295	3,302	3,310	3,317	3,324
	し尿汚泥	t/年	—	936	829	881	834	847	749	714	657	702	643	625	609	595	578	562	547	533	517	502	488
	破碎残渣	t/年	—	456	-326	816	-52	738	1,259	1,062	1,639	1,022	1,035	1,049	1,058	1,069	1,068	1,069	1,069	1,072	1,064	1,063	1,060
	合計		t/年	21,415	26,341	22,945	23,307	21,957	22,296	22,471	22,119	22,245	20,772	20,750	20,567	20,375	20,238	20,012	19,840	19,674	19,561	19,362	19,215

項目		単位	実績←→推計																				
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
リサイクル量	直接資源化	t/年	1,951	2,113	2,031	1,822	1,715	1,591	1,495	1,588	1,499	1,408	1,414	1,390	1,366	1,344	1,324	1,303	1,283	1,269	1,244	1,230	1,214
	破碎処理後資源化	t/年	—	224	207	229	269	245	290	251	215	196	199	201	203	205	205	205	205	206	204	204	203
	圧縮梱包物	t/年	857	286	307	300	311	296	314	285	295	284	285	284	280	280	278	278	275	274	268	266	265
	固形化物	t/年	297	23	20	21	24	21	10	8	7	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	小型家電・パソコン	t/年	—	115	100	133	153	155	171	165	149	116	116	115	115	115	115	115	114	114	114	114	114
	焼却残渣（再資源化）	t/年	2,464	2,352	2,313	2,385	2,207	2,151	2,178	2,128	2,170	2,059	2,057	2,039	2,020	2,006	1,984	1,967	1,950	1,939	1,919	1,905	1,890
	集団回収	t/年	540	472	426	348	350	309	228	227	212	176	165	158	153	146	140	133	130	125	121	118	112
	合計	t/年	6,109	5,586	5,403	5,238	5,027	4,769	4,686	4,651	4,547	4,245	4,240	4,192	4,142	4,101	4,051	4,006	3,962	3,932	3,875	3,842	3,803
	リサイクル率	%	22.5%	20.4%	22.6%	22.6%	22.1%	21.9%	21.9%	21.9%	21.8%	21.4%	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	21.7%	21.6%	21.6%	21.6%	21.6%	21.6%

※リサイクル率＝リサイクル量÷（ごみ排出量合計＋集団回収）×100

項目		単位	実績←→推計																				
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
最終処分量	焼却残渣（不適物）	t/年	110	20	29	30	21	40	40	31	10	0	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21
	不燃物	t/年	199	183	167	178	189	31	19	18	156	139	140	141	142	143	143	142	143	142	142	141	
	混合ごみ	t/年	310	352	270	291	351	400	364	399	507	426	431	436	438	442	441	441	440	441	437	436	435
	泥土	t/年	220	245	252	250	199	183	104	174	189	181	180	179	176	176	174	172	171	170	169	167	167
	災害ごみ	t/年	532	327	24	12	1	2	24	12	14	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	浄化センター	t/年	68	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	t/年	1,439	1,127	742	761	761	656	551	634	876	750	773	778	778	783	780	777	774	775	769	766	764
	最終処分率	%	5.3%	4.1%	3.1%	3.3%	3.3%	3.0%	2.6%	3.0%	4.2%	3.8%	4.0%	4.0%	4.1%	4.1%	4.2%	4.2%	4.2%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%

6. 既計画の目標達成状況

目標達成状況については、施策の実施状況を踏まえ、目標値と単純推計の結果を比較することで確認する。

(1) 施策実施状況

本計画（令和2年3月）にて設定した各施策の実施状況は、表48及び表49のとおりである。

各施策は、概ね実施されているが、「不用品再使用の推進」は現在実施されていない。

表48 行動計画づくりのための施策と市民及び事業者の取り組み

施策		内容	実施内容
市民意識の向上	マイバッグ運動の実施	・スーパー等での買い物時にマイバッグを持参する。	継続実施中
	分別意識向上の啓発	・家庭ごみの出し方、ごみ収集カレンダーを定期的に発行し、基本的な分別を徹底する。	継続実施中
	ごみの出し方の工夫	・定期的にごみ減量化の取組事例を調査する。 ・先進的な取組事例については、広報誌に掲載する等により紹介する。	継続実施中
	ごみ減量化の実践	・生ごみを発酵処理させる電動式生ごみ処理機の導入やダンボールコンポスト、コーポン（土地埋込式）などの活用を図る。	継続実施中
	環境学習の充実	・小・中学校の環境教育のために施設見学を実施する。 ・必要に応じ、担当職員が自治会へ出向きごみの分別や資源化について講習会を開催する。	継続実施中
販売事業者の協力推進	販売店協力の要請	・スーパー等にマイバッグ運動の強化を要請する。 ・資源ごみ店頭回収協力店を広報やホームページで紹介する。	継続実施中
環境衛生推進団体の活用	協議会の活用	・山陽小野田市快適環境づくり協議会を通じて、適正なごみの排出、分別資源化への改善に向けて、各戸配布、班回覧のチラシを作成・配布する。 ・ごみ出しルールが守れない自治会からの相談に対する対応や助言を行う。	継続実施中
行動優先	グリーン購入の推進	・率先して再生品等環境への負荷が少ない製品を利用する。	継続実施中
	プラスチック代替品の購入推進	・使い捨てするお皿やコップ、その他容器類は、プラスチック素材ではなく、できる限り紙製を利用する。	継続実施中

表 49 市民の取り組みを推進・維持するための施策と市民及び事業者の取り組み

施策		内容	実施内容
回収システム等の整備	助成事業の充実	・生ごみ堆肥化を促進するため、生ごみ処理機の助成事業を継続する。 ・集団回収を促進するため、助成事業を継続する。	継続実施中
	廃棄物再生事業者の利用	・生ごみ処理業者や廃棄物再生業者を把握し、事業者独自の資源化ルートの確立を促す。	継続実施中
	不用品再使用の推進	・物の大切さを理解していただくため、不用品を再使用（リユース）できるよう、リサイクルプラザにおいて展示、販売を行う。	実施していない
	フードバンクの活用	・食品ロスの観点から賞味期限が切れていない未使用食材をフードバンクに引き渡すことへの協力を行う。 ・フードバンク団体からの要望があれば、適当な場所を提供し利用促進を図ると同時に食品廃棄の削減に取り組む。	継続実施中
	多量排出事業者への指導	・事業系一般廃棄物を大量に排出する事業者には、運搬業者を通じて排出内容の確認と適正な分別、排出抑制を指導する。	継続実施中
	店頭回収の促進	・スーパー等で自主的に実施されている店頭回収いわゆる資源ごみ回収事業の導入店舗の拡充を図る。	継続実施中

(2) 本計画における数値目標

本計画における数値目標は以下のとおりである。

表 50 本計画における数値目標

項目	数値目標
排出抑制目標	ごみ排出量を令和 16 年度までに 13%削減（H30 年度比）
リサイクル目標	リサイクル率を令和 16 年度で 22.7%以上（H30 年度比）
最終処分目標	最終処分量を令和 16 年度で 717t 以下

(3) ごみ減量化目標の達成状況

本計画のごみ減量化目標は、達成できる見込みである。

今後は、上位計画や県内市町の動向を見ながら、減量化が推進されている状態を維持できるように努める必要がある。

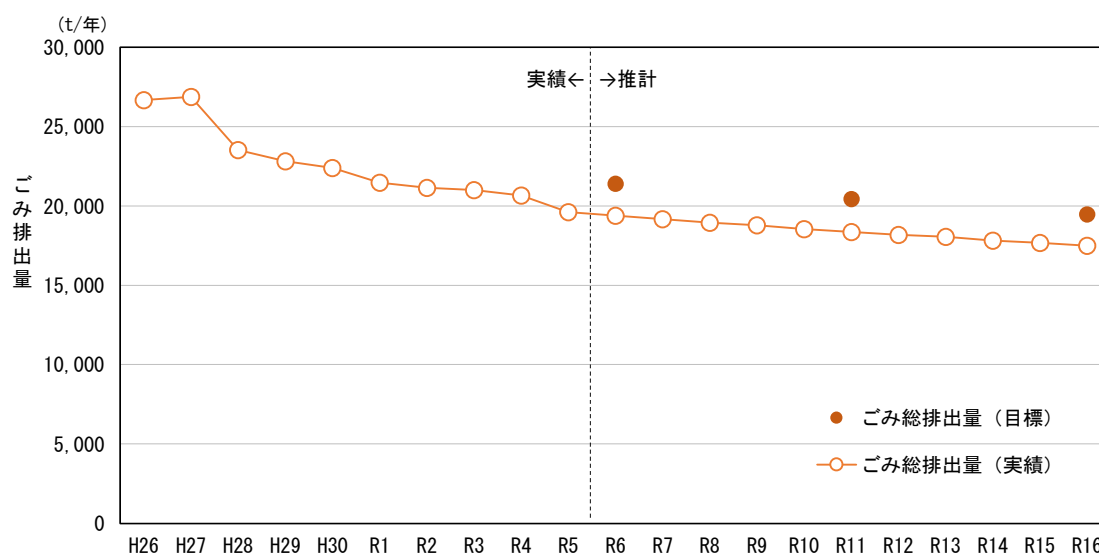


図 30 ごみ減量化目標の達成状況（当初目標と実績の比較）

(4) リサイクル目標の達成状況

本計画のリサイクル目標は、達成が困難と予想される。

今後は、分別徹底等により、資源化可能物の回収に努める必要がある。

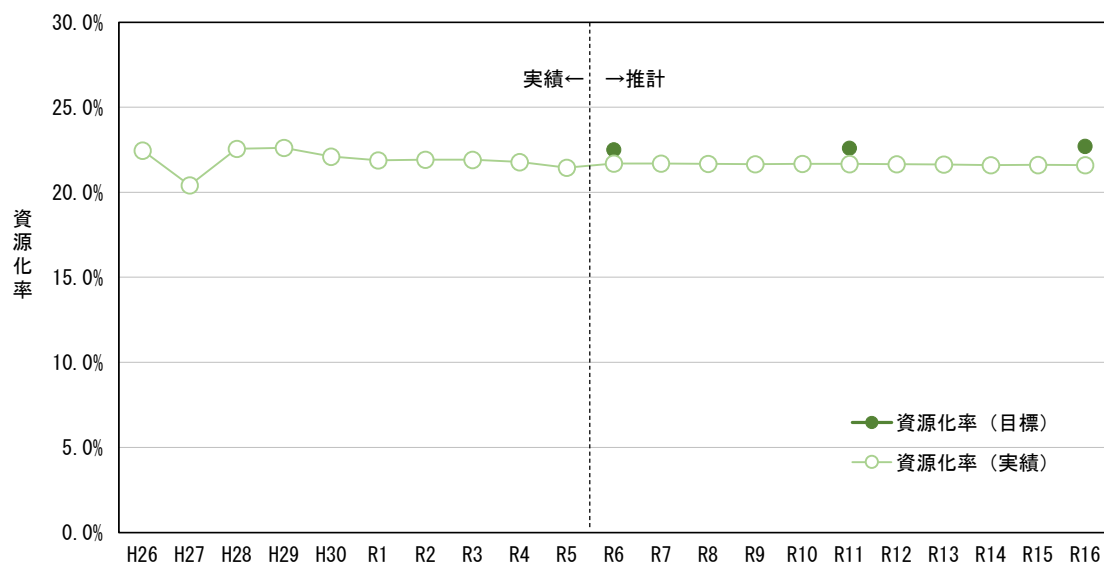


図 31 リサイクル目標の達成状況（当初目標と実績の比較）

(5) 最終処分目標の達成状況

本計画の最終処分目標は、達成が困難と予想される。

今後は、資源化を推進することで最終処分量を削減していくことが求められる。

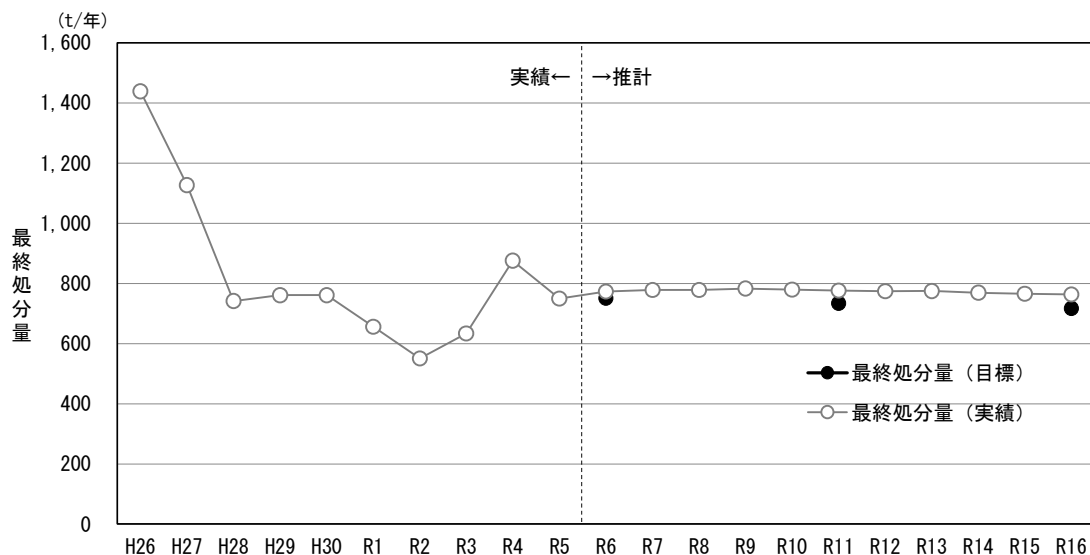


図 32 最終処分目標の達成状況（当初目標と実績の比較）

(6) まとめ

本計画の目標達成状況を確認した結果、今後は以下の取り組みを推進する必要がある。

- ✓ 可燃ごみとして排出されやすい古紙類（新聞・雑誌・ダンボール）や古着・布類の分別徹底や、不燃ごみにおける小型家電・パソコン類の選別の徹底により、資源化可能物の回収に努める。
- ✓ 施設搬入後の混合ごみの選別の徹底により、埋立に回る混合ごみ量の低減に努める。

7. 目標を達成した場合のごみ排出量、中間処理量、リサイクル量及び最終処分量

目標を達成した場合のごみ排出量の推計表は表 51、中間処理量、リサイクル量及び最終処分量は表 52 に示すとおりである。

表 51 ごみ排出量の推計表（目標を達成した場合）（1/4）

項目				単位	実績←→推計																					
					2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	
家庭系	収集	混合ごみ		t/年	0	0	0	0	6	3	3	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
				t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
				g/人日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
		可燃ごみ		t/年	14,386	14,203	13,615	13,178	12,757	12,621	12,386	12,067	11,924	11,203	11,022	10,876	10,724	10,607	10,446	10,310	10,181	10,090	9,940	9,830	9,730	
				t/日	39.41	38.81	37.30	36.10	34.95	34.48	33.94	33.06	32.67	30.61	30.20	29.80	29.38	29.06	28.62	28.25	27.89	27.64	27.23	26.93	26.66	
				g/人日	611.7	605.4	584.9	570.2	556.2	555.7	554.7	546.8	546.3	517.7	512.9	508.7	504.7	502.4	498.0	494.7	491.5	490.1	485.9	483.6	481.8	
		不燃ごみ		t/年	747	472	468	511	550	476	532	490	440	377	370	361	355	349	344	338	331	328	323	317	313	
				t/日	2.05	1.29	1.28	1.40	1.51	1.30	1.46	1.34	1.20	1.03	1.01	0.99	0.97	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.87	0.86	
				g/人日	31.8	20.1	20.1	22.1	24.0	20.9	23.8	22.2	20.1	17.4	17.2	16.9	16.7	16.5	16.4	16.2	16.0	15.9	15.8	15.6	15.5	
		その他のごみ（泥土）		t/年	204	225	224	238	192	182	101	169	188	182	181	180	178	178	176	175	174	173	172	171	170	
				t/日	0.56	0.61	0.61	0.65	0.53	0.50	0.28	0.46	0.52	0.50	0.49	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.48	0.47	0.47	0.47	0.46	
				g/人日	8.7	9.6	9.6	10.3	8.4	8.0	4.5	7.6	8.6	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	
		大型ごみ（可燃・不燃）		t/年	55	65	64	59	62	57	56	66	63	67	67	68	68	70	71	71	72	74	74	75	77	
				t/日	0.15	0.18	0.18	0.16	0.17	0.16	0.15	0.18	0.17	0.18	0.18	0.19	0.19	0.19	0.20	0.19	0.20	0.20	0.20	0.21	0.21	
				g/人日	2.3	2.8	2.7	2.6	2.7	2.5	2.5	3.0	2.9	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.7	3.8	
	資源ごみ	空びん		t/年	543	542	525	492	475	448	439	427	403	372	365	359	355	349	342	338	333	328	323	319	315	
				t/日	1.49	1.48	1.44	1.35	1.30	1.22	1.20	1.17	1.10	1.02	1.00	0.98	0.97	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.87	0.86	
				g/人日	23.1	23.1	22.6	21.3	20.7	19.7	19.6	19.4	18.5	17.2	17.0	16.8	16.7	16.5	16.3	16.2	16.1	15.9	15.8	15.7	15.6	
		古紙類	新聞	t/年	576	548	508	453	374	337	297	322	306	248	249	250	251	252	252	252	253	254	254	254	255	
				t/日	1.58	1.50	1.39	1.24	1.02	0.92	0.81	0.88	0.84	0.68	0.68	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.70	0.70	
				g/人日	24.5	23.4	21.8	19.6	16.3	14.8	13.3	14.6	14.0	11.5	11.6	11.7	11.8	11.9	12.0	12.1	12.2	12.3	12.4	12.5	12.7	
			雑誌	t/年	580	560	519	485	434	419	420	425	397	368	369	370	371	373	372	373	374	376	375	376	378	
				t/日	1.59	1.53	1.42	1.33	1.19	1.14	1.15	1.16	1.09	1.01	1.01	1.01	1.01	1.02	1.02	1.02	1.02	1.03	1.03	1.03	1.03	
				g/人日	24.7	23.9	22.3	21.0	18.9	18.4	18.8	19.3	18.2	17.0	17.2	17.3	17.5	17.6	17.8	17.9	18.1	18.2	18.4	18.5	18.7	
			ダンボール	t/年	356	341	327	294	274	249	264	306	291	274	276	277	279	279	279	280	282	282	282	283	282	
				t/日	0.98	0.93	0.90	0.81	0.75	0.68	0.72	0.84	0.80	0.75	0.75	0.76	0.76	0.76	0.76	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	
				g/人日	15.1	14.5	14.0	12.7	11.9	10.9	11.8	13.9	13.3	12.7	12.8	12.9	13.1	13.2	13.3	13.4	13.5	13.7	13.8	13.9	14.0	
			計	t/年	1,512	1,449	1,354	1,232	1,082	1,004	982	1,054	994	890	894	897	899	904	903	905	907	912	911	913	915	
				t/日	4.14	3.96	3.71	3.38	2.96	2.74	2.69	2.89	2.72	2.43	2.45	2.46	2.46	2.47	2.47	2.48	2.48	2.49	2.50	2.50	2.51	
				g/人日	64.3	61.8	58.2	53.3	47.2	44.2	44.0	47.7	45.5	41.1	41.6	42.0	42.3	42.7	43.0	43.4	43.8	44.2	44.5	44.9	45.3	
		ペットボトル		t/年	138	143	142	139	138	136	135	136	138	134	135	135	134	133	134	133	133	134	133	132	133	
				t/日	0.38	0.39	0.39	0.38	0.38	0.37	0.37	0.37	0.38	0.37	0.37	0.37	0.37	0.36	0.37	0.37	0.36	0.37	0.36	0.36	0.37	
				g/人日	5.9	6.1	6.1	6.0	6.0	6.0	6.1	6.2	6.3	6.2	6.3	6.3	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5	6.5	6.6	
		空かん		t/年	136	133	136	131	125	125	134	123	118	111	110	107	104	104	101	100	97	95	92	91	89	
				t/日	0.37	0.36	0.37	0.36	0.34	0.34	0.37	0.34	0.32	0.30	0.30	0.29	0.29	0.28	0.28	0.27	0.27	0.26	0.25	0.25	0.24	
				g/人日	5.8	5.7	5.8	5.7	5.5	5.5	6.0	5.6	5.4	5.1	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	
		古着・布類		t/年	206	213	195	219	209	196	210	181	164	145	183	182	181	181	179	178	177	176	174	173	172	
				t/日	0.56	0.58	0.53	0.60	0.57	0.53	0.57	0.49	0.45	0.40	0.50	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48	0.47	
				g/人日	8.8	9.1	8.4	9.5	9.1	8.6	9.4	8.2	7.5	6.7	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
		発泡スチロール・白色トレイ		t/年	14	11	11	11	9	9	10	9	8	12	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	
				t/日	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
				g/人日	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
		小計		t/年	2,549	2,491	2,363	2,224	2,038	1,919	1,909	1,930	1,825	1,665	1,697	1,690	1,683	1,681	1,669	1,664	1,657	1,655	1,643	1,638	1,633	
				t/日	6.98	6.81	6.47	6.09	5.58	5.24	5.23	5.29	5.00	4.55	4.65	4.63	4.61	4.59	4.57	4.56	4.54	4.52	4.50	4.49	4.47	
				g/人日	108.4	106.2	101.5	96.2	88.9	84.5	85.5	87.4	83.6	76.9	79.0	79.0	79.2	79.4	79.6	79.8	80.0	80.2	80.3	80.6	80.9	
	合計			t/年	17,941	17,456	16,734	16,210	15,605	15,257	14,988	14,721	14,440	13,494	13,338	13,176	13,009	12,886	12,707	12,559	12,416	12,321	12,153	12,032	11,924	
				t/日	49.15	47.69	45.85	44.41	42.75	41.69	41.06	40.33	39.56	36.87	36.54	36.10	35.64	35.21	34.81	34.41	34.02	33.66	33.30	32.96	32.67	
				g/人日	762.9	744.1	718.9	701.5	680.4	671.7	671.2	667.1	661.6	623.6	620.6	616.2	612.3	608.7	605.7	602.5	599.5	597.0	594.2	592.0	590.4	

※目標達成に向け、R16 年度に古紙類（新聞、雑誌、ダンボール）を R5 年度比 10%増とする。（間の年度は直線補完）

なお、現状のまま推移した場合の推計からの増加分については、可燃ごみからの分別徹底によるものとしていることから、可燃ごみの排出量から増加分を差し引いている。

表 51 ごみ排出量の推計表（目標を達成した場合）（2/4）

項目				単位	実績←→推計																						
					2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16		
家庭系	直接搬入	混合ごみ	t/年		248	381	330	320	379	419	545	572	594	569	580	590	595	601	600	600	599	599	593	591	588		
			t/日		0.68	1.04	0.90	0.88	1.04	1.15	1.49	1.57	1.63	1.56	1.81	1.93	2.06	2.19	2.33	2.47	2.61	2.75	2.90	3.05	3.21		
			g/人日		10.5	16.2	14.2	13.8	16.5	18.5	24.4	25.9	27.2	26.3	27.0	27.6	28.0	28.4	28.6	28.8	28.9	29.0	29.0	29.1	29.1		
		可燃ごみ	t/年		1,194	357	195	188	183	217	280	277	259	264	250	241	232	223	216	210	204	198	193	185	181		
			t/日		3.27	0.98	0.53	0.52	0.50	0.59	0.77	0.76	0.71	0.72	0.68	0.66	0.64	0.61	0.59	0.58	0.56	0.54	0.53	0.51	0.50		
			g/人日		50.8	15.2	8.4	8.1	8.0	9.6	12.5	12.6	11.9	12.2	11.6	11.3	11.0	10.6	10.3	10.2	9.9	9.6	9.5	9.2	9.0		
		不燃ごみ	t/年		13	71	57	56	65	90	118	95	70	79	84	90	96	102	107	113	118	122	127	132	135		
			t/日		0.04	0.19	0.16	0.15	0.18	0.25	0.32	0.26	0.19	0.22	0.31	0.33	0.34	0.36	0.37	0.39	0.41	0.42	0.43	0.45	0.46		
			g/人日		0.6	3.0	2.4	2.4	2.8	4.0	5.3	4.3	3.2	3.6	3.9	4.2	4.5	4.8	5.1	5.4	5.7	5.9	6.2	6.5	6.7		
		その他のごみ（泥土）	t/年		531	334	30	14	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			t/日		1.45	0.91	0.08	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			g/人日		22.6	14.2	1.3	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		大型ごみ（可燃・不燃）	t/年		30	14	46	56	74	102	128	90	91	89	92	96	100	102	103	104	104	105	104	104	103		
			t/日		0.08	0.04	0.13	0.15	0.20	0.28	0.35	0.25	0.25	0.24	0.33	0.35	0.38	0.40	0.42	0.44	0.46	0.48	0.50	0.52	0.54		
			g/人日		1.3	0.6	2.0	2.4	3.2	4.5	5.7	4.1	4.2	4.1	4.3	4.5	4.7	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.1		
		資源ごみ	空びん	t/年		—	33	35	38	37	37	32	35	35	33	33	33	33	32	32	32	32	32	31	31	31	
				t/日		—	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08		
				g/人日		—	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
			古紙類	新聞	t/年		—	45	47	41	38	35	23	32	30	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	
					t/日		—	0.12	0.13	0.11	0.10	0.10	0.06	0.09	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.10	
					g/人日		—	1.9	2.0	1.8	1.7	1.5	1.0	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
				雑誌	t/年		—	52	48	48	46	44	39	49	49	47	48	48	48	48	48	48	49	49	49	49	
					t/日		—	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12	0.11	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
					g/人日		—	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.7	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	
				ダンボール	t/年		—	3	3	2	2	2	3	7	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
					t/日		—	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
					g/人日		—	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
				計	t/年		—	100	98	91	86	81	65	88	84	77	78	78	78	78	78	78	78	79	79	79	80
					t/日		—	0.27	0.27	0.25	0.24	0.22	0.18	0.24	0.23	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.22	0.22	0.22	
					g/人日		—	4.3	4.2	3.9	3.7	3.6	2.9	3.9	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	
			ペットボトル	t/年		—	12	14	15	16	17	15	18	19	17	19	19	19	19	19	21	21	21	20	20	20	
				t/日		—	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
				g/人日		—	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
			空かん	t/年		—	14	15	17	17	18	17	18	18	17	17	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	
				t/日		—	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
				g/人日		—	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
			古着・布類	t/年		—	6	6	6	10	14	13	12	10	10	9	9	8	8	10	10	10	10	10	10	10	
				t/日		—	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04		
				g/人日		—	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
			発泡スチロール・白色トレイ	t/年		—	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
				t/日		—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
				g/人日		—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
		小計	t/年		38	166	169	168	167	168	143	172	167	155	158	160	159	158	160	162	162	163	160	160	161		
			t/日		0.10	0.45	0.46	0.46	0.46	0.46	0.39	0.47	0.46	0.42	0.43	0.44	0.44	0.43	0.44	0.44	0.44	0.45	0.44	0.44			
			g/人日		1.6	7.1	7.3	7.3	7.3	7.4	6.4	7.8	7.6	7.2	7.4	7.5	7.5	7.5	7.6	7.8	7.8	7.9	7.8	7.9	8.0		
	合計	t/年		2,054	1,323	827	802	872	996	1,214	1,206	1,181	1,156	1,164	1,177	1,182	1,186	1,186	1,189	1,187	1,187	1,177	1,172	1,168			
		t/日		5.63	3.61	2.27	2.20	2.39	2.72	3.33	3.31	3.23	3.16	3.19	3.22	3.24	3.25	3.26	3.25	3.24	3.22	3.22	3.21	3.20			
		g/人日		87.3	56.4	35.5	34.7	38.0	43.9	54.4	54.7	54.1	53.4	54.2	55.0	55.6	56.0	56.5	57.0	57.3	57.5	57.5	57.7	57.8			
	家庭系 合計	t/年		19,995	18,779	17,561	17,012	16,477	16,253	16,203	15,928	15,621	14,650	14,502	14,353	14,191	14,072	13,893	13,748	13,603	13,508	13,330	13,204	13,092			
		t/日		54.78	51.31	48.11	46.61	45.14	44.41	44.39	43.64	42.80	40.03	39.73	39.32	38.88	38.45	38.06	37.67	37.27	36.91	36.52	36.18	35.87			
		g/人日		850.2	800.4	754.4	736.2	718.4	715.6	725.6	721.7	715.7	677.0	674.8	671.3	667.9	664.7	662.3	659.6	656.8	654.5	651.7	649.6	648.2			

※目標達成に向け、R16 年度に古紙類（新聞、雑誌、ダンボール）を R5 年度比 10%増とする。（間の年度は直線補完）

なお、現状のまま推移した場合の推計からの増加分については、可燃ごみからの分別徹底によるものとしていることから、可燃ごみの排出量から増加分を差し引いている。

表 51 ごみ排出量の推計表（目標を達成した場合）(3/4)

項目				単位	実績←→推計																					
					2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	
事業系	直接搬入	混合ごみ		t/年	373	323	209	260	317	327	145	197	398	282	281	281	281	282	281	281	281	282	281	281		
				t/日	1.0219	0.8825	0.5726	0.7123	0.8685	0.8944	0.3966	0.5387	1.0907	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	0.7710	
		可燃ごみ		t/年	5,835	7,644	5,644	5,415	5,514	4,833	4,727	4,824	4,549	4,616	4,530	4,464	4,403	4,360	4,298	4,251	4,208	4,179	4,129	4,094	4,060	
				t/日	15.9863	20.8852	15.4630	14.8356	15.1068	13.2053	12.9514	13.2164	12.4627	12.6122	12.4103	12.2288	12.0641	11.9137	11.7753	11.6473	11.5283	11.4172	11.3131	11.2152	11.1228	
		不燃ごみ		t/年	154	66	31	26	17	11	7	7	12	8	7	6	6	5	5	5	4	4	4	4	4	
				t/日	0.4219	0.1803	0.0849	0.0712	0.0466	0.0307	0.0197	0.0186	0.0329	0.0215	0.0193	0.0176	0.0161	0.0149	0.0139	0.0130	0.0123	0.0116	0.0111	0.0106	0.0101	
		その他のごみ		t/年	84	16	26	12	6	2	24	12	47	13	12	12	11	11	10	10	10	10	10	9	9	
				t/日	0.2301	0.0437	0.0712	0.0329	0.0164	0.0047	0.0657	0.0328	0.1278	0.0346	0.0332	0.0320	0.0309	0.0299	0.0291	0.0283	0.0276	0.0269	0.0264	0.0258	0.0253	
		大型ごみ		t/年	—	8	18	23	24	10	14	12	13	17	17	16	16	15	15	15	14	14	14	13	13	
				t/日	—	0.0219	0.0493	0.0630	0.0658	0.0266	0.0377	0.0325	0.0345	0.0468	0.0458	0.0448	0.0439	0.0429	0.0419	0.0409	0.0400	0.0390	0.0380	0.0371	0.0361	
	資源ごみ	空びん		t/年	—	2	4	8	7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0055	0.0110	0.0219	0.0192	0.0300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
		古紙類	新聞	t/年	—	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0000	0.0000	0.0027	0.0000	0.0008	0.0004	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
			雑誌	t/年	—	8	4	7	1	5	5	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
				t/日	—	0.0219	0.0110	0.0192	0.0027	0.0136	0.0141	0.0016	0.0071	0.0015	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	0.0103	
			ダンボール	t/年	—	9	3	23	19	18	20	22	24	23	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
				t/日	—	0.0246	0.0082	0.0630	0.0521	0.0490	0.0558	0.0592	0.0662	0.0635	0.0654	0.0667	0.0676	0.0683	0.0687	0.0690	0.0693	0.0694	0.0695	0.0696	0.0696	
		計		t/年	—	17	7	31	20	23	26	22	27	24	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	
				t/日	—	0.0464	0.0192	0.0849	0.0548	0.0634	0.0703	0.0608	0.0733	0.0650	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	0.0700	
		ペットボトル		t/年	—	1	1	1	3	1	0	0	2	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5		
				t/日	—	0.0027	0.0027	0.0027	0.0082	0.0034	0.0007	0.0008	0.0053	0.0106	0.0111	0.0116	0.0121	0.0126	0.0130	0.0134	0.0138	0.0142	0.0145	0.0148	0.0150	
		空かん		t/年	—	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0000	0.0027	0.0027	0.0000	0.0013	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
		古着・布類		t/年	—	14	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0383	0.0301	0.0055	0.0000	0.0001	0.0003	0.0009	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
		発泡スチロール・白色トレイ		t/年	—	19	18	19	18	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
				t/日	—	0.0519	0.0493	0.0521	0.0493	0.0244	0.0001	0.0003	0.0002	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
		小計		t/年	221	53	42	62	48	45	26	23	29	28	29	29	30	31	31	31	31	31	31	31		
		事業系 合計		t/日	0.6055	0.1448	0.1151	0.1699	0.1315	0.1226	0.0714	0.0627	0.0789	0.0756	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800		
	t/年			6,667	8,110	5,970	5,798	5,926	5,228	4,943	5,074	5,047	4,964	4,876	4,808	4,747	4,705	4,641	4,593	4,549	4,520	4,469	4,433	4,398		
	t/日			18.266	22.159	16.356	15.885	16.236	14.284	13.543	13.902	13.828	13.562	13.3600	13.1700	13.0000	12.8500	12.7100	12.5800	12.4600	12.3500	12.2400	12.1400	12.0500		
t/年	26,662			26,889	23,531	22,810	22,403	21,481	21,146	21,002	20,668	19,613	19,378	19,161	18,938	18,777	18,534	18,341	18,152	18,028	17,799	17,637	17,490			
t/日	73.05			73.47	64.47	62.49	61.38	58.69	57.93	57.54	56.62	53.59	53.09	52.50	51.88	51.30	50.78	50.25	49.73	49.26	48.76	48.32	47.92			
g/人日	1,133.7			1,146.1	1,010.8	987.1	976.8	945.7	946.9	951.6	946.9	906.4	901.6	896.1	891.3	886.9	883.5	879.9	876.4	873.5	870.2	867.7	866.0			

ごみ排出量 種類別集計

ごみ排出量 種類別集計				実績←→推計																						
項目			単位	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16		
ごみ種類	混合ごみ			t/年	621	704	539	580	702	749	693	769	992	853	862	872	877	884	882	882	881	882	875	873	870	
	可燃ごみ			t/年	21,415	22,204	19,454	18,781	18,454	17,671	17,394	17,168	16,732	16,083	15,802	15,581	15,359	15,190	14,960	14,771	14,593	14,467	14,262	14,109	13,971	
	不燃ごみ			t/年	914	609	556	593	632	577	657	591	521	464	461	457	457	456	456	453	454	454	453	452		
	その他のごみ（泥土）			t/年	819	575	280	264	202	184	125	181	235	195	193	192	189	189	187	185	184	183	182	180	179	
	大型ごみ（可燃・不燃）			t/年	85	87	128	138	160	169	197	168	167	173	176	180	184	188	189	190	191	193	192	193	193	
	資源ごみ	空びん			t/年	543	577	564	538	519	496	471	462	438	405	398	392	388	381	374	370	365	360	354	350	346
		古紙類	新聞	t/年	576	593	555	495	412	372	321	354	337	274	275	276	277	278	278	278	279	280	280	280	282	282
			雑誌	t/年	580	620	571	540	481	468	464	475	448	416	418	419	420	422	421	422	423	426	425	426	428	428
			ダンボール	t/年	356	353	333	319	295	268	287	335	320	301	304	305	306	308	308	309	309	311	311	312	311	311
			計	t/年	1,512	1,566	1,459	1,354	1,188	1,108	1,072	1,164	1,105	991	997	1,000	1,003	1,008	1,007	1,009	1,011	1,017	1,016	1,018	1,021	1,021
		ペットボトル			t/年	138	156	157	155	157	155	150	155	159	155	158	158	157	157	158	159	159	160	158	157	158
		空かん			t/年	136	147	152	149	142	144	151	141	136	128	127	126	123	123	120	119	116	114	110	109	107
		古着・布類			t/年	206	233	212	227	219	210	223	193	174	155	192	191	189	189	188	188	187	186	184	183	182
		発泡スチロール・白色トレイ			t/年	14	31	30	31	28	19	11	10	10	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11
		小計			t/年	2,808	2,710	2,574	2,454	2,253	2,132	2,079	2,124	2,021	1,847	1,884	1,879	1,872	1,870	1,860	1,857	1,850	1,849	1,834	1,829	1,825
合計			t/年	26,662	26,889	23,531	22,810	22,403	21,481	21,146	21,002	20,668	19,613	19,378	19,161	18,938	18,777	18,534	18,341	18,152	18,028	17,799	17,637	17,490		

表 51 ごみ排出量の推計表（目標を達成した場合）（4/4）

項目		単位	実績←										→推計										
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
資源ごみ回収拠点 ※家庭系直接搬入 に含まれる	新聞	t/年	42	45	47	41	38	34	23	31	30	25											
	雑誌	t/年	41	49	45	44	43	41	36	45	45	43											
	空びん	t/年	25	32	34	37	36	36	31	33	34	32											
	空かん	t/年	11	14	14	16	16	17	16	17	17	15											
	紙バック	t/年	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—											
	ペットボトル	t/年	11	12	14	15	16	16	14	17	18	16											
	白色トレイ	t/年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											
	合計	t/年	132.0	152.5	155.2	154.5	149.6	145.9	120.0	144.7	144.9	133.3											

項目		単位	実績←										→推計										
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
集団回収	新聞紙	t/年	272.2	226.2	209.1	162.8	160.1	129.8	91.0	90.5	80.7	66.2	62.0	60.0	55.0	53.0	50.0	48.0	46.0	43.0	41.0	39.0	36.0
		t/日	0.75	0.62	0.57	0.45	0.44	0.35	0.25	0.25	0.22	0.18	0.17	0.16	0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10
		g/人日	11.6	9.6	9.0	7.0	7.0	5.7	4.1	4.1	3.7	3.1	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8
	雑誌	t/年	114.8	104.0	85.4	66.9	65.9	66.5	57.6	52.8	50.7	42.1	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	31.0	31.0	29.0	29.0	28.0	26.0
		t/日	0.31	0.28	0.23	0.18	0.18	0.18	0.16	0.14	0.14	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07
		g/人日	4.9	4.4	3.7	2.9	2.9	2.9	2.6	2.4	2.3	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3
	ダンボール	t/年	103.0	91.6	86.9	80.0	89.1	79.7	53.7	58.3	55.6	49.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	51.0	51.0	51.0	51.0	51.0
		t/日	0.28	0.25	0.24	0.22	0.24	0.22	0.15	0.16	0.15	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
		g/人日	4.4	3.9	3.7	3.5	3.9	3.5	2.4	2.6	2.5	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5
	牛乳バック	t/年	1.2	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アルミかん	t/年	35.1	38.3	32.8	29.0	26.0	24.9	20.2	19.4	20.2	15.4	13.0	13.0	13.0	13.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
		t/日	0.10	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.05	0.06	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
		g/人日	1.5	1.6	1.4	1.3	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	スチールかん	t/年	4.1	2.4	3.1	1.7	2.0	1.4	0.5	0.5	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		t/日	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	空びん	t/年	4.9	4.4	3.2	3.0	2.5	1.7	1.2	1.3	1.2	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
		t/日	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	金属類	t/年	2.3	1.8	3.2	3.4	3.3	3.7	3.3	3.0	2.1	2.3	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		t/日	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		g/人日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	布類	t/年	2.7	2.3	2.3	1.3	0.7	0.9	0.7	0.7	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		t/日	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		g/人日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	t/年	540.4	471.6	426.3	348.0	349.7	308.5	228.3	226.5	211.5	176.3	168.1	163.1	158.1	154.1	148.1	143.1	142.1	137.1	135.1	132.1	127.1
		t/日	1.48	1.29	1.17	0.95	0.96	0.84	0.63	0.62	0.58	0.48	0.46	0.45	0.43	0.42	0.41	0.39	0.39	0.37	0.37	0.36	0.35
		g/人日	23.0	20.1	18.3	15.1	15.2	13.6	10.2	10.3	9.7	8.1	7.8	7.6	7.4	7.3	7.1	6.9	6.9	6.6	6.6	6.5	6.3

※目標達成に向け、R16 年度にダンボールを R5 年度比 10%増とする。（間の年度は直線補完）

なお、現状のまま推移した場合の推計からの増加分については、家庭系可燃ごみからの分別徹底によるものとしていることから、家庭系可燃ごみの排出量から増加分を差し引いている。

表 52 中間処理量、リサイクル量及び最終処分量の推計表（目標を達成した場合）

項目		単位	実績←→推計																				
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
			H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
焼却処理量	可燃ごみ	t/年	21,415	22,204	19,454	18,781	18,454	17,671	17,394	17,168	16,732	16,083	15,802	15,581	15,359	15,190	14,960	14,771	14,593	14,467	14,262	14,109	13,971
	下水汚泥	t/年	—	2,746	2,988	2,829	2,721	3,040	3,068	3,175	3,216	2,965	3,234	3,250	3,263	3,271	3,280	3,287	3,295	3,302	3,310	3,317	3,324
	し尿汚泥	t/年	—	936	829	881	834	847	749	714	657	702	643	625	609	595	578	562	547	533	517	502	488
	破碎残渣	t/年	—	456	-326	816	-52	738	1,259	1,062	1,639	1,022	1,035	1,049	1,058	1,069	1,068	1,069	1,069	1,072	1,064	1,063	1,060
	合計		t/年	21,415	26,341	22,945	23,307	21,957	22,296	22,471	22,119	22,245	20,772	20,714	20,506	20,289	20,125	19,885	19,690	19,504	19,375	19,153	18,992

項目		単位	実績←										→推計										
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
リサイクル量	直接資源化	t/年	1,951	2,113	2,031	1,822	1,715	1,591	1,495	1,588	1,499	1,408	1,440	1,437	1,434	1,432	1,425	1,422	1,418	1,418	1,410	1,407	1,406
	破碎処理後資源化	t/年	—	224	207	229	269	245	290	251	215	196	199	201	203	205	205	205	205	206	204	204	203
	圧縮梱包物	t/年	857	286	307	300	311	296	314	285	295	284	285	284	280	280	278	278	275	274	268	266	265
	固形化物	t/年	297	23	20	21	24	21	10	8	7	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	小型家電・パソコン	t/年	—	115	100	133	153	155	171	165	149	116	119	118	118	118	118	118	117	117	117	117	117
	焼却残渣（再資源化）	t/年	2,464	2,352	2,313	2,385	2,207	2,151	2,178	2,128	2,170	2,059	2,053	2,033	2,011	1,995	1,971	1,952	1,933	1,921	1,899	1,883	1,868
	集団回収	t/年	540	472	426	348	350	309	228	227	212	176	168	163	158	154	148	143	142	137	135	132	127
	合計	t/年	6,109	5,586	5,403	5,238	5,027	4,769	4,686	4,651	4,547	4,245	4,269	4,241	4,209	4,189	4,149	4,123	4,095	4,078	4,039	4,014	3,990
	リサイクル率	%	22.5%	20.4%	22.6%	22.6%	22.1%	21.9%	21.9%	21.9%	21.8%	21.4%	21.8%	21.9%	22.0%	22.1%	22.2%	22.3%	22.4%	22.5%	22.5%	22.6%	22.7%

※リサイクル率＝リサイクル量÷（ごみ排出量合計＋集団回収）×100

目標達成に向け、不燃ごみからの小型家電・パソコンの回収量を、現状のまま推移した場合の推計より 3t 増とする。

項目		単位	実績←										→推計										
			2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
最終処分量	焼却残渣（不適物）	t/年	110	20	29	30	21	40	40	31	10	0	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	20
	不燃物	t/年	199	183	167	178	189	31	19	18	156	139	140	141	142	143	143	143	142	143	142	142	141
	混合ごみ	t/年	310	352	270	291	351	400	364	399	507	426	423	420	417	414	411	408	405	402	399	396	389
	泥土	t/年	220	245	252	250	199	183	104	174	189	181	180	179	176	176	174	172	171	170	169	167	167
	災害ごみ	t/年	532	327	24	12	1	2	24	12	14	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	浄化センター	t/年	68	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	t/年	1,439	1,127	742	761	761	656	551	634	876	750	765	762	757	755	749	744	739	736	731	726	717
	最終処分率	%	5.3%	4.1%	3.1%	3.3%	3.3%	3.0%	2.6%	3.0%	4.2%	3.8%	3.9%	3.9%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%

※目標達成に向け、施設搬入後の混合ごみの選別の徹底により、R16 年度の埋立に回る混合ごみ量を現状のまま推移した場合より 46t 減とする。

生活排水処理形態別人口等の推計について

1. 生活排水処理形態別人口の推計

(1) 生活排水処理形態別人口の推計

生活排水処理形態別人口は、表 53 に示す方法で推計している。

表 53 生活排水処理形態別人口の推計方法

項 目	推計方法
下水道人口	山陽小野田市污水处理施設整備構想における各年度の下水道人口割合、農業集落排水人口割合及び生活排水処理率を踏まえて算出した。
農業集落排水人口	
補助合併処理 浄化槽人口	各年度の生活排水処理率から水洗化・生活雑排水処理人口を算出し、下水道人口及び農業集落排水人口を差し引いて算出した。なお、補助合併処理浄化槽人口及びその他合併処理浄化槽人口については、R5 実績値の割合を踏まえて按分した。
その他合併処理 浄化槽人口	
単独処理 浄化槽人口	各年度の生活排水処理率から水洗化・生活雑排水未処理人口及び非水洗化人口の合計値を算出し、し尿収集人口を差し引いて算出した。
し尿収集人口	山陽小野田市污水处理施設整備構想における各年度のし尿収集人口の割合を踏まえて算出した。
自家処理人口	今後も 0 人で推移するものと想定した。

2. し尿、浄化槽汚泥排出量の推計

し尿、浄化槽汚泥排出量は、排出原単位の推計値を設定し、生活排水処理形態別人口の推計値を乗じることで推計している。

排出原単位の推計方法は、実績推移によって、以下の方法に分けられる。

排出原単位の推計方法

- ① 実績が概ね一定で推移している場合
→ 最新の実績である R5 の排出原単位で固定
- ② 実績にばらつきがあり、増減を繰り返している場合
→ 一定範囲内で推移している年度の平均値で固定

本計画において採用する推計方法は、表 54 に示すとおりである。

表 54 排出原単位の推計方法

項目	採用した方法
し尿	R5 にかけて増加していたが、今後再び増加することは想定しにくいことから、過去 5 年間の平均値で固定とした。
浄化槽汚泥	R1 以降、ばらつきはあるものの、概ね一定で推移しているため、過去 5 年間の平均値で固定とした。

3. 推計結果集計表

生活排水処理形態別人口、浄化槽設置基数、し尿及び浄化槽汚泥排出量の推計結果は次頁に示すとおりである。

表 55 生活排水処理形態別人口、浄化槽設置基数、し尿及び浄化槽汚泥排出量の推計表

生活排水処理形態別人口		実績←→推計																					
項目	(年度)	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	
行政区域内人口	(人)	64,433	64,100	63,777	63,313	62,836	62,059	61,180	60,464	59,797	59,125	58,884	58,579	58,211	57,842	57,474	57,106	56,745	56,392	56,039	55,686	55,333	
計画処理区域内人口	(人)	64,433	64,100	63,777	63,313	62,836	62,059	61,180	60,464	59,797	59,125	58,884	58,579	58,211	57,842	57,474	57,106	56,745	56,392	56,039	55,686	55,333	
水	水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	48,916	49,139	49,552	49,151	48,993	48,547	48,114	47,889	48,362	48,539	48,898	49,199	49,440	49,674	49,902	50,122	50,343	50,563	50,776	50,983	51,183
	合併処理浄化槽人口	(人)	18,762	18,684	18,939	18,422	18,176	17,766	17,209	15,998	16,102	16,078	16,345	16,554	16,703	16,845	16,981	17,109	17,238	17,366	17,487	17,602	17,712
	農業集落排水人口	(人)	1,679	1,601	1,496	1,489	1,488	1,453	1,412	255	247	251	250	249	248	247	246	245	244	243	242	241	238
	補助合併処理浄化槽人口	(人)	7,541	7,541	7,868	7,600	7,647	7,519	7,546	7,516	7,614	7,797	7,929	8,032	8,106	8,177	8,244	8,308	8,372	8,435	8,496	8,553	8,608
	その他合併処理浄化槽人口	(人)	9,542	9,542	9,575	9,333	9,041	8,794	8,251	8,227	8,241	8,030	8,166	8,273	8,349	8,421	8,491	8,556	8,622	8,688	8,749	8,808	8,866
	下水道人口	(人)	30,154	30,455	30,613	30,729	30,817	30,781	30,905	31,891	32,260	32,461	32,553	32,645	32,737	32,829	32,921	33,013	33,105	33,197	33,289	33,381	33,471
	小野田処理区	(人)	22,514	22,736	22,832	22,897	22,933	22,912	23,118	24,264	24,613	24,791	24,861	24,932	25,002	25,072	25,142	25,213	25,283	25,353	25,423	25,494	25,562
	山陽処理区	(人)	7,640	7,719	7,781	7,832	7,884	7,869	7,787	7,627	7,647	7,670	7,692	7,713	7,735	7,757	7,779	7,800	7,822	7,844	7,866	7,887	7,909
	水洗化・生活雑排水未処理人口(単独)	(人)	4,765	4,765	4,323	3,763	3,743	3,629	3,563	3,464	3,337	3,236	3,049	2,868	2,682	2,497	2,315	2,135	1,958	1,782	1,609	1,438	1,269
	非水洗化人口	(人)	10,629	10,629	9,902	10,399	10,100	9,883	9,503	9,111	8,098	7,350	6,937	6,524	6,111	5,698	5,285	4,872	4,459	4,046	3,633	3,220	2,811
し	尿収集人口	(人)	10,629	10,629	9,902	10,399	10,100	9,883	9,503	9,111	8,098	7,350	6,937	6,524	6,111	5,698	5,285	4,872	4,459	4,046	3,633	3,220	2,811
	自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率 ※	—	75.9%	76.7%	77.7%	77.6%	78.0%	78.2%	78.6%	79.2%	80.9%	82.1%	83.0%	84.0%	84.9%	85.9%	86.8%	87.8%	88.7%	89.7%	90.6%	91.6%	92.5%	

※生活排水処理率＝水洗化・生活雑排水処理人口÷行政区域内人口

浄化槽設置基数			実績←→推計																				
項 目	(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
浄化槽設置整備事業	設置	(基)	74	83	72	43	49	61	45	50	45	92	91	89	88	86	85	83	81	80	78	77	75
	処理人口	(人)	268	308	251	169	156	211	146	171	122	263	260	256	251	247	242	237	233	229	224	220	215
	累積設置数	(基)	2,353	2,436	2,508	2,551	2,600	2,661	2,706	2,756	2,801	2,893	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

し尿及び浄化槽汚泥排出量				実績←→推計																				
項 目			(年度)	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16
排出量	し尿	年間排出量	(kL/年)	15,920	15,754	15,617	15,104	14,090	13,922	14,000	13,071	12,704	12,603	10,483	9,859	9,235	8,634	7,986	7,362	6,738	6,131	5,490	4,865	4,249
		一日排出量	(kL/日)	43.62	43.04	42.79	41.38	38.60	38.04	38.36	35.81	34.80	34.43	28.72	27.01	25.30	23.59	21.88	20.17	18.46	16.75	15.04	13.33	11.64
		排出原単位	(L/人日)	4.1	4.0	4.3	4.0	3.8	3.8	4.0	3.9	4.3	4.7	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
	浄化槽汚泥	年間排出量	(kL/年)	17,423	17,515	16,458	17,009	17,204	17,708	17,531	17,724	17,117	17,183	16,848	16,870	16,841	16,847	16,761	16,717	16,677	16,679	16,589	16,542	16,487
		一日排出量	(kL/日)	47.73	47.86	45.09	46.60	47.13	48.38	48.03	48.56	46.90	46.95	46.16	46.22	46.14	46.03	45.92	45.80	45.69	45.57	45.45	45.32	45.17
		排出原単位	(L/人日)	2.0	2.0	1.9	2.1	2.2	2.3	2.3	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
	合計	年間排出量	(kL/年)	33,343	33,269	32,075	32,113	31,294	31,631	31,532	30,795	29,820	29,786	27,331	26,729	26,076	25,481	24,747	24,079	23,415	22,810	22,079	21,407	20,736
		一日排出量	(kL/日)	91.35	90.90	87.88	87.98	85.73	86.42	86.39	84.37	81.70	81.38	74.88	73.23	71.44	69.62	67.80	65.97	64.15	62.32	60.49	58.65	56.81
		排出原単位	(L/人日)	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6
汚泥混入率			—	52.3%	52.6%	51.3%	53.0%	55.0%	56.0%	55.6%	57.6%	57.4%	57.7%	61.6%	63.1%	64.6%	66.1%	67.7%	69.4%	71.2%	73.1%	75.1%	77.3%	79.5%

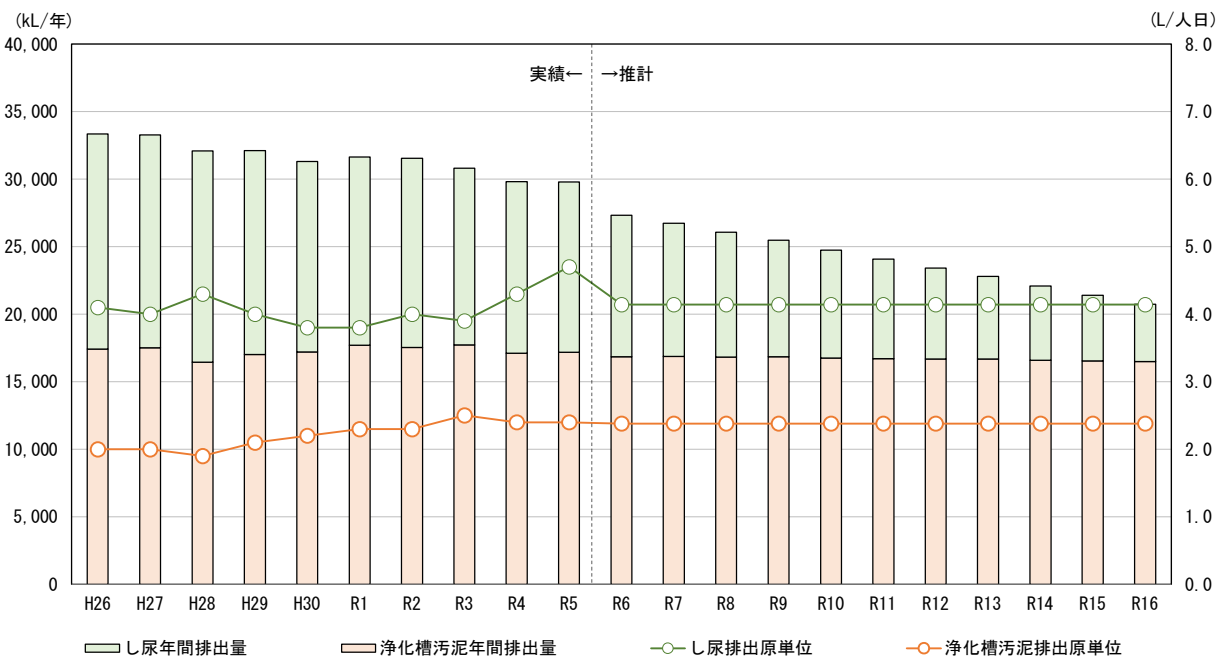
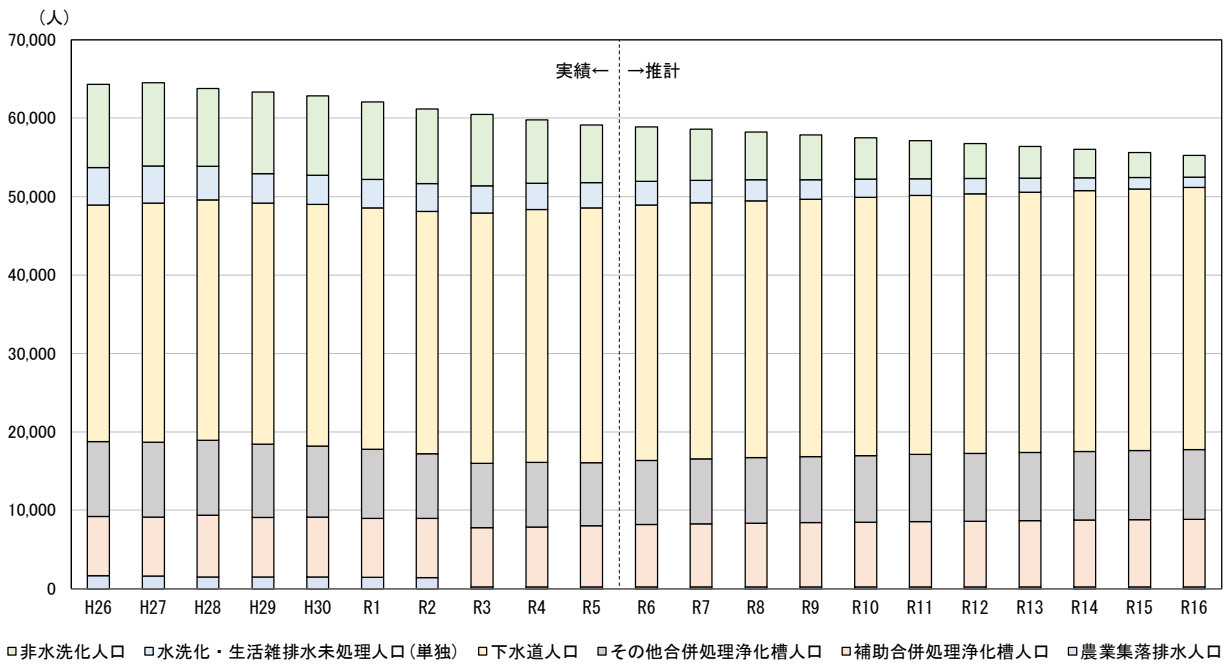


図 33 生活排水処理形態別人口の推移

図 34 し尿及び浄化槽汚泥排出量の推移

